HONDA
The Power of Dreams

取扱説明書

Gathers
Honda Multi Car-AV System

デュアルサイズSDナビコンポ

VXM-122VFi
VXM-122VF

ナビゲーション･オーディオ編

Honda Access

Honda Access

このたびは、Honda純正用品を
お買い上げいただき、ありがとうございます。
この取扱説明書は、
ご使用のまえによくお読みいただき
大切に保管してください。

・当商品はHonda車専用です。商品の適用車種はHonda販売店にご相談ください。適用車種以外の車に取り付けた場合の一切の責任は負えませんのでご承知おきください。
・Honda車への取り付け・配線には専門技術と経験が必要です。安全のためお買い求めのHonda販売店にご依頼ください。
・商品を譲られる場合には、この取扱説明書も一緒にお渡しください。

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意の上、お客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、お願い申し上げます。

■お客様のプライバシー保護のために…

・本機に保存された個人情報を含む全てのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。

■著作権保護のために…

・本機に保存された画像データ／音楽データ等（その他録音データ）を、本書に記載した内容に従って初期化（データの消去）するようにしてください。 本機に著作権があるデータを著作権者の同意なく、残存させたまま、譲渡（有償、及び無償）・転売いたしますと著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害等に関しては一切責任を負いかねますので、上記の通りお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

■個人情報のお取り扱いについて

個人情報保護に関する弊社基本方針、及びナビゲーション地図に登録されております個人データのお取り扱いにつきましては弊社ホームページをご覧ください。
http://www.honda.co.jp/ACCESS/news/0401/

保証書やアフターサービスの詳細、その他ご不明の点はお買い求めのHonda販売店へご相談ください。

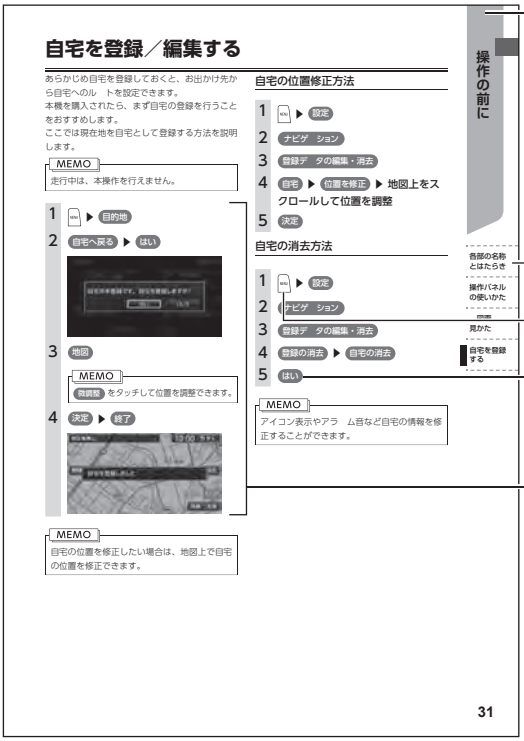
はじめに

本書の構成

はじめに	3
操作の前に	13
目的地の検索	37
ルートの設定と案内	55
ナビの情報と設定	77
電話を利用する	111
オーディオ・ビジュアル	125
アクセサリー／オプションを使う	189
付録	209

本書の見かた

本書は、以下のサンプルページのスタイルを基本に作られています。



サイドインデックス
章のタイトルを表示しています。

サイドインデックス
節のタイトルを表示しています。

ハードボタン
本体に付いているボタンです。

タッチキー
画面上をタッチして操作できるキーです。

操作手順
操作方法を説明しています。

マークの意味

MEMO

- よく使う用語やわかりにくい用語の意味を説明しています。
- 操作の前に注意していただきたいことや、知っておいていただきたいこと、本機を使いこなすための補足事項を説明しています。

警告

指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。

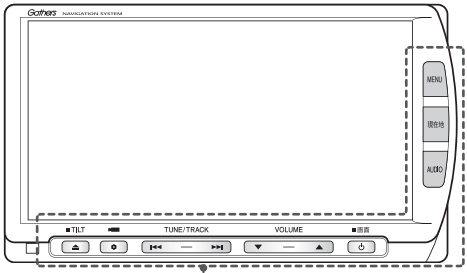
注意

指示に従わないと、傷害を受ける可能性があることを説明しています。

ハードボタンについて

本体に付いているハードボタンを操作するときは、本書では以下のように表記しています。

例：MENU



ハードボタン

タッチキーについて

本機は、画面を指先で触れるだけで操作ができるタッチパネル形式を採用しています。
画面上のキーをタッチして操作するときは、本書では以下のように表記しています。

例：住所

タッチキー

目　次

操作の前に 13
各部の名称とはたらき 14
基本的な使いかた.....16
地図画面の見かた.....20
地図を操作する 24
地図の表示方法を変える 27
地図画面の設定をする 33
自宅を登録／編集する 34

目的地の検索.....37
目的地設定の流れ.....38
基本的な方法で探す.....39
現在地周辺／目的地周辺から探す.....43
ハイウェイの施設を探す 47
TVの情報から探す 48
その他の検索方法.....49
目的地を設定したら… 52

ルートの設定と案内 55
検索した地点を確認・設定する 56
走行するルートを設定する.....59
設定済みのルートを再探索する 62
目的地・経由地を編集する.....64
設定したルートを確認する.....68
その他 70
ルート案内中の地図画面 71
ルート案内中の案内表示 72
ルート案内中の音声案内 76

ナビの情報と設定.....77
VICS情報を利用する.....78
ETC情報を利用する.....84
その他の情報を利用する 88
登録データを編集する 91
地図上のアイコンの設定をする 96
ルートの設定をする.....98
画面の設定をする..... 104
地図の設定をする..... 107
その他のナビの設定をする..... 108

電話を利用する 111
Bluetooth（ブルートゥース）とは 112
Bluetooth機器を使用される前にお読みください
..... 113
携帯電話を登録する（ペアリング）..... 114
携帯電話を利用する..... 116
電話の設定をする..... 120
本機のBluetooth機能について..... 124

オーディオ・ビジュアル 125
オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた..... 126
ラジオを聴く..... 137
テレビを見る..... 140
DVDを見る 156
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く ... 165
Music Rackを使う 168
SDカード／ USBメモリーの音楽を聴く..... 176
iPodを聴く／ iPodビデオを見る..... 178
Bluetoothオーディオを聴く 185

アクセサリー／オプションを使う 189
オーディオリモコンスイッチを使う（別売）..... 190
リモコンを使う（別売）..... 192
リア席モニターを使う（別売）..... 195
リアカメラを使う（別売）..... 196
フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）
..... 200
SDカードを使う..... 202
接続したビデオを見る（別売）..... 204
ナビゲーションからQQコールを利用する 206

付録..... 209
タッチパネルの基本操作 210
収録データベースについて..... 218
市街地図収録エリア一覧 222
VICSシステムの問い合わせ先..... 228
VICS情報有料放送サービス契約約款..... 229
本機で再生可能な音声ファイルについて 230
カントリーコード一覧..... 233
商標について 234
仕様..... 237
困ったときに 238
故障かなと思ったら..... 242
よくある質問について 252
メニューマップ 258
索引..... 262
製品を廃棄・譲渡・転売するときは..... 269
地図に表示される色やマーク 274

安全にお使いいただくために

本書は、ナビゲーションシステムおよびオーディオ・ビジュアルの取り扱いを説明しています。車両本体の取扱説明書と併せてお読みください。
正しく使用するために、必ずお読みになり、内容をよく理解された上でお使いください。
仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

●安全に関する表示

「運転者や他の人が傷害を受ける可能性のあること」を下記の表示で記載し、その危険性や回避方法を説明しています。これらは重要ですので、必ずお読みください。

⚠ 警告	指示に従わないと、 死亡または重大な傷害に至る可能性があるもの
⚠ 注意	指示に従わないと、 傷害を受ける可能性があるもの

⚠警告

本製品での誘導情報を救急施設などへの誘導用に使用しないでください

本製品では全ての病院、消防署、警察署などの情報が含まれている訳ではありません。また実際の情報と異なる場合があり、そのため予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

⚠警告

事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください

万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。そのままにしておくと、生命に危険を及ぼす場合があります。

⚠警告

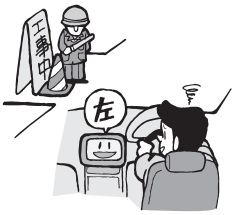
テレビやDVDを見たりナビゲーションの操作をするときに、車庫や屋内などの換気の悪いところでエンジンをかけたままにしないでください

車内に排気ガスが侵入し、一酸化炭素中毒になるおそれがあります。

⚠警告

実際の交通規則に従って走行してください

ナビゲーションによるルート計算は、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規則、道路標識に従って走行してください。



⚠注意

安全のため、運転者は走行中に操作しないでください

前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

⚠警告

リアカメラシステムは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください

後退時には、直接後方の安全確認をしながら運転してください。

⚠注意

可動部などに手や指を挟まれないよう注意してください

液晶パネル開閉時に手や指を入れると、けがの原因になることがありますので、差し込まないでください。

⚠警告

ベンジン、シンナー、自動車用クリーナー、つや出しスプレーなどを使用しない

車内で使用すると可燃性ガスが引火するなど、火災の原因となります。
また、それらを使用して本機をお手入れすると変質したり、塗装がはがれるなどの原因になります。

MEMO

- エンジン停止中やアイドリング中に大きな音量で長時間ご使用になりますと、バッテリーが過放電となり、エンジンの始動ができなくなるおそれがあります。
- ヒューズを交換するときは、必ず規定容量のヒューズを使用してください。規定容量以上のヒューズや、ヒューズ以外のものを使用すると、故障の原因となります。
- ディスク /SD カード挿入口等や操作パネル開閉部にコインなどの異物を差し込まないでください。また、ゴミ等異物を落とさないようご注意ください。故障の原因となることがあります。
- 当商品を分解したり改造しないでください。故障の原因となることがあります。
- 画面が映らない、音が出ない、変な臭いがするなどの状態で使用しないでください。そのまま使用し続けると、故障したり煙が出てくるなど、修理不能になるおそれがあります。このようなときはただちに使用を止め、お買い求めの Honda 販売店にご相談ください。
- 安全運転への配慮から、走行中に操作できない機能がありますので、走行中に表示されるメニューは、機能が制限されたものとなります。操作は、安全な場所に停車して行ってください。
- 停車して操作するときは、停車禁止区域以外の安全な場所で行ってください。
- 適切な音量でお聞きください。運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度の音量でご使用ください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となることがあります。
- 本機が動作中に、振動の激しい悪路や道路のつなぎ目などを走行すると、音飛びや映像乱れを起こすことがあります。
- ラジオや TV、FM 多重の受信については、アンテナの位置が刻々と変わるため電波の強さが変わったり、障害物や電車、信号機などの影響により良好な受信状態を維持することが困難な場合があります。
- バッテリー交換などで本機への電源供給が止まると、お客様が登録したメモリー内容が消えて、初期設定状態になります。その場合には、もう一度設定し直してください。初期設定に戻るのは、FM/AM/TV チューナーのプリセットメモリーおよびチューナーエリア、音質および音量バランスなどオーディオ設定の一部と、操作パネルの角度設定などです。
- 長時間、車を屋外に駐車する場合、真夏や真冬は車内の温度が極度に変化していますので、換気したり暖房したりして車内を適温にしてご使用ください。
- 万一異常が発生したときは、お買い求めの Honda 販売店へご相談ください。
- 表示用のディスプレイは、日差しの角度によっては反射光などで見えにくくなることがあります。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり、雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

操作パネルについて

MEMO

- 操作パネルの開閉時または静止時に無理な力を加えたり、異常な使用をしないでください。
- 操作ボタンや液晶表示部に強い衝撃を加えると、破損や変形など故障の原因になります。
- 操作パネルが閉じるときに、指や異物などの障害物がある場合は、安全機構がはたらいて、自動的に止まります。操作パネルを再び動作させるには、障害物を取り除いた後、オープンボタンを押してください。
- 操作パネルを傾けた状態でトレーの代わりに使用しないでください。また、操作パネルに衝撃を加えたりすると破損、変形などの故障の原因となります。
- 操作パネルに、たばこの火などを触れないようにしてください。キャビネットや液晶表示部が変質、変形することがあります。
- 非常に寒い時は、画面の動きが遅くなったり画面が暗くなったりすることがありますが、故障ではありません。常温に戻れば回復します。
- 操作パネルの液晶表示部に、小さな黒点や輝点が出ることがありますが、この黒点や輝点は液晶特有の現象で故障ではありません。
- 操作パネルの液晶表示部表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたりしないでください。
- 雨の日、または湿度が異常に高いときエアコンの冷風が直接本機に当たると、まれに表示に結露による曇りが発生する場合があります。そのままご使用いただくと 1 時間程度で結露が取り除かれ、曇りはなくなります。
- タッチパネルに保護シートなどを貼らないでください。反応が遅くなったり、誤作動の原因となることがあります。
- お飲み物や、雨の日の傘などからの水滴で濡らさないでください。内部回路の故障の原因となります。
- 操作パネルの角度を調整するときには、液晶表示部を手で押さえたり、荷重を加えないでください。故障の原因となります。
- 夏期は車内温度が高くなることがありますので、車内の温度を下げてからお使いください。液晶表示部が正しく動作する温度は 0℃～ 60℃です。

お手入れ

ディスクのお手入れ

大切なディスクはきちんとお手入れして、長く楽しみましょう。

- ディスクが汚れたときは、やわらかい布でディスクの内側から外側に向かって、よく拭いてください。
- レコード用のクリーナー液やアルコールは使用しないでください。
- DVD/CD 専用クリーナーは使用できますが、その場合はよく乾燥させてからお使いください。
- ディスクは次のような場所には保管しないでください。
  - ・直射日光のあたる場所
  - ・湿気やホコリの多い場所
  - ・暖房の熱が直接当たる場所

本体のお手入れ

本体のお手入れをする際には、以下のことにご注意ください。

- 本体をお手入れするときには、やわらかい乾いた布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤をやわらかい布にごく微量つけて軽くふきとり、乾いた布で仕上げてください。機器のすきまに液体が入ると、故障の原因となりますのでご注意ください。

※ベンジンやシンナー、自動車用クリーナーなどは、変質したり、塗料がはげる原因となりますので、使わないでください。また、ゴムやビニール製品を長期間接触させておくと、シミのつくことがあります。

- 液晶表示部は、ホコリがつきやすいので、ときどきやわらかい布で拭いてください。

お使いになる前に

- 購入後、はじめてお使いになるときや長時間お使いにならなかったときは、現在地を測位するまで 5 分～ 15 分ぐらいかかることがあります。また、通常お使いになっている場合でも、測位状況により測位するまで 2 分～ 3 分程度かかることがあります。
- GPS 情報は、受信状態や時間帯、米国国防総省による故意の衛星精度の低下により測位誤差が大きくなることがあります。その他にも GPS アンテナの近くで携帯電話などの無線機器を使った場合は、電波障害の影響で、一時的に GPS 衛星からの電波を受信できなくなることがあります。
- 検索機能から表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を表したものです。そのまま目的地を設定した場合、まれに施設の裏側や、高速道路上など、不適切な場所に誘導してしまう場合があります。予めご了承の上、目的地付近の経路をお確かめになるよう、お願いいたします。
- 提供される VICS 情報は、最新のものではない場合があります。提供される VICS 情報は、参考情報としてご利用ください。
- ルート（経路）計算ができないときは、目的地を近くの主要な道路に移して計算してください。また、目的地までの距離などの条件によっては、計算できない場合があります。
- Honda スマートキーシステム装備車では、Honda スマートキーをナビゲーション本体に近づけると、ナビゲーション本体が動作しなくなる場合がありますので、十分に注意してください。
- 本機の近くで強力な電気的ノイズを発生する電装品を使用すると、画面が乱れたり雑音が入る場合があります。このような場合は、原因と思われる電装品を遠ざけるか、ご使用をお控えください。

■ VXM-122VFi（インターナビモデル）

- 本機の地図更新は“インターナビ・プレミアムクラブ”会員サービスとしてご提供いたします。（会員登録されない場合は地図更新サービスはお受けいただけません。）必ず Honda 販売店で会員登録をお願いします。
- 無償地図更新の時期、有償地図更新の価格やお申込方法は、インターナビ・プレミアムクラブ　パーソナルホームページやメールニュースでご案内いたします。
- インターナビ・プレミアムクラブについて詳しくは、取扱説明書のインターナビ・プレミアムクラブ編を参照ください。

■ VXM-122VF

Memo

操作の前に

本機をご利用になる前に、知っておいていただきたいことを説明しています。

各部の名称とはたらき …… 14

操作パネル …… 14

本体 …… 15

基本的な使いかた …… 16

電源を入れる …… 16

操作パネルを開閉する …… 16

操作パネルの角度を調整する …… 17

OPTION ボタンを使う …… 17

昼画面・夜画面を切り替える …… 18

操作音を消す …… 18

地図画面の見かた …… 20

現在地地図画面 …… 20

現在地メニューの使いかた …… 22

マルチインフォメーションキーの使いかた …… 22

AV コントロールバーを表示する …… 23

地図を操作する …… 24

地図を拡大／縮小する …… 24

地図の向きを変える …… 25

平面地図のスクロール …… 25

立体地図のスクロール …… 26

地図の表示方法を変える …… 27

地図を 1 画面で表示する …… 28

画面を左右に分割して表示する …… 28

地図を立体的に表示する …… 28

立体地図の角度を調整する …… 29

交差点リストモードで表示する（一般道路） …… 29

交差点リストモードで表示する（高速道路） …… 30

ピクチャービューモードで表示する …… 31

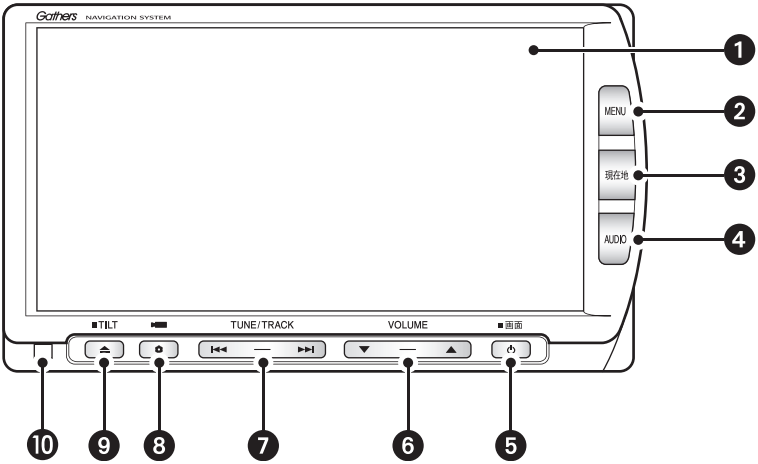
一方通行を表示する …… 32

地図画面の設定をする …… 33

自宅を登録／編集する …… 34

各部の名称とはたらき

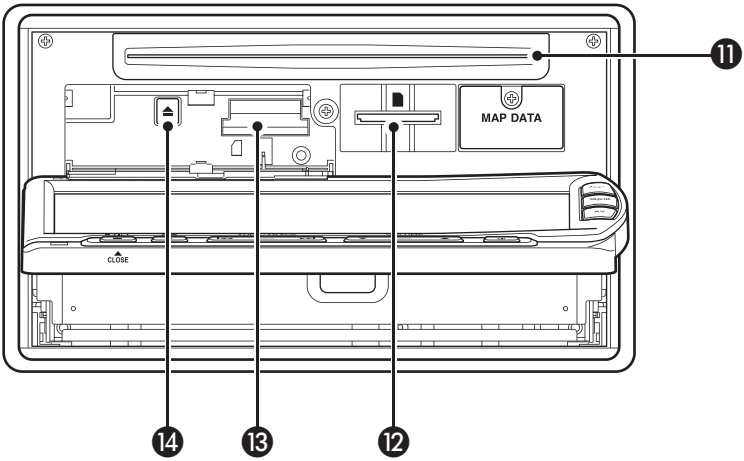
操作パネル

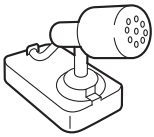


番号	名称	機能の説明
❶	モニター兼タッチパネル	画面が表示され、画面をタッチすることで、タッチパネルとして機能します。
❷	MENU 【MENU】	この画面から「目的地」「ルート」「情報」「設定」の各メニューを表示します。
❸	現在地 【現在地】	現在地の地図画面を表示します（P.20）。
❹	AUDIO 【AUDIO】	オーディオ･ビジュアルのソース選択画面を表示します(P.126)。
❺	【POWER】	• 長押し：画面消し／時計画面表示の選択画面を表示します。 • 短押し:オーディオ･ビジュアルの OFF/ON を切り替えます (P.127)。
❻	【VOLUME】	オーディオ・ビジュアル機能の音量を調整できます（P.126）。
❼	【TUNE ／ TRACK】	テレビ・ラジオの周波数やトラック／チャプターをアップダウンします。また押し続けると早送り／早戻しなどをすることができます。
❽	【OPTION】	このボタンにお好みの機能を割り当て、すぐに呼び出すことができます（P.17）。 フロント／コーナーカメラ接続時は、カメラの表示を呼び出すことができます（P.201）。
❾	【OPEN ／ TILT】	操作パネルを開閉したり、操作パネルの角度を調整できます(P.16、17)。
❿	リモコン受光部	リモコン（別売）からの信号を受信します（P.192）。

本体

【OPEN/TILT】を押して操作パネルを開くと、本体のボタンやメディア挿入口を確認できます。





マイク
本機が Bluetooth 対応携帯電話と無線接続した場合に、ハンズフリー機能用マイクとして使用します。

番号	名称	機能の説明
⓫	ディスク挿入口	DVD、CD、MP3、WMA ディスクを挿入する場所です（P.131）。
⓬	SD カード挿入口	SD カードを挿入する場所です（P.132）。
⓭	mini B-CAS カード挿入口	mini B-CAS カードを挿入する場所です（P.143）。 挿入口は、フタの上部に指をかけて手前に倒すと現れます。
⓮	⏏イジェクトボタン	ディスクを取り出すことができます。ディスク挿入時は ⏏ が点灯します（P.131）。

⚠ 注意

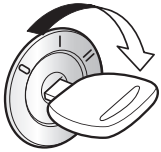
- **車内が極度に冷えた状態のとき、ヒーターを入れてすぐに本機をお使いになると、ディスクや光学部品が結露し、正常に動作しないことがあります。**
  ディスクが曇っているときは、やわらかい布で拭いてください。光学部品が結露しているときは、1時間ほど放置しておくと結露が取り除かれます。
- **ディスクをイジェクトした状態のままで走行しないでください。**
  走行中の振動により、ディスクが落下する恐れがあります。
- **操作パネルの開閉中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SD カードやディスクを取り出さないでください。**
  記録したデータが破損、消滅することがあります。
- **mini B-CAS カード挿入口のフタが開いている状態では、操作パネルは閉じません。**

基本的な使いかた

電源を入れる

1 イグニッションキーを「Ⅰ (ACC)」または「Ⅱ (ON)」にすると、本機に電源が入ります。

エンジンをかける



本機に電源が入ります。オープニング画面の後、現在地地図画面が表示されます。

MEMO

イグニッションキーを「Ⅰ (ACC)」から「0 (OFF)」にすると、本機の電源が切れます。

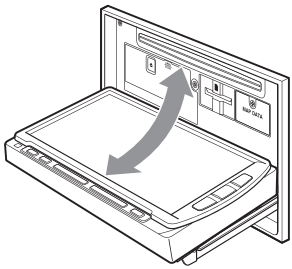
操作パネルを開閉する

⚠ 注意

ディスクや SD カードは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するかあるいは取り出してください。
振動により抜け落ちたり操作パネルが自動的に閉まることにより、破損する恐れがあります。

1 ⏏

操作パネルが開きます。



操作パネルを閉じるには、再度⏏を押します。
しばらく開けた状態にしておくと、「ピピッ、ピピッ」と音がして、操作パネルは自動的に閉まります。

MEMO

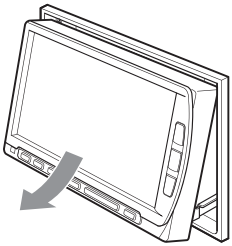
- 操作パネルが開いた状態では、タッチパネルは操作できません。
- ACC OFF 時も、操作パネルを開閉できます。

操作パネルの角度を調整する

操作パネルを見やすい角度に調整できます。調整できる角度は、0 度～ 30 度(約 5 度刻みの 6 段階)の範囲です。

1 ⏏ **(長押し)**

「ピピッ」と音がした後に ⏏ から指を離すと操作パネルが 1 段階開きます。



MEMO

- 最大の角度（30 度）まで開いている状態で ⏏ を長押しすると、0 度の状態に戻ります。また、操作パネルが開いているときに ⏏ の長押しを行い「ピピッ」と音がしてから指を離すと 0 度の状態に戻ります。
- 「ディスプレイの位置が正しくありません。もう一度、パネルをオープンしてください。」と表示された場合、⏏ を押して操作パネルを開いてください。

OPTION ボタンを使う

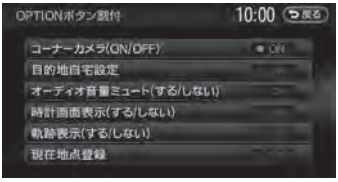
OPTION ボタンに機能を割り付ける

MEMO

別売のフロントカメラ／コーナーカメラ接続時は、自動的に「カメラ映像 ON ／ OFF」が割り付けられています **(P.201)**。

1 ⚙ **(長押し)**

2 **割り付けたい機能を選択**



フロントカメラ（ON/OFF）／コーナーカメラ（ON/OFF）：
別売のカメラ接続時に フロントカメラ(ON/OFF) または コーナーカメラ(ON/OFF) が表示されます。
フロントカメラ映像またはコーナーカメラ映像の ON ／ OFF を切り替えます **(P.201)**。
初期設定は「ON」です。

目的地自宅設定：
自宅を目的地として設定します。

オーディオ音量ミュート（する / しない）：
オーディオ音量ミュートの ON ／ OFF を切り替えます。

時計画面表示（する / しない）：
時計画面の表示／非表示を切り替えます。

軌跡表示（する / しない）：
軌跡の表示／非表示を切り替えます。

現在地点登録：
現在地点を登録します。

選択した機能が ⚙ に割り付けられます。

各部の名称とはたらき
基本的な使いかた
地図画面の見かた
地図を操作する
地図の表示方法を変える
地図画面の設定をする
自宅を登録／編集する

OPTION ボタンを操作する

OPTION ボタンを操作して、割り付けた機能の切り替えを行います。

1 （短押し）

割り付けた機能が実行されます。

昼画面・夜画面を切り替える

1 MENU ▶

MEMO

- スモールランプを点灯させると、自動的に夜画面に切り替わります。昼間にヘッドライトを点灯させていて、画面が見づらい場合などは、手動で昼画面に切り替えると画面が見やすくなります。
- タッチするたびに、昼画面と夜画面が切り替わります。

操作音を消す

1 MENU ▶ 設定 ▶ 音量調整 ▶ 操作音

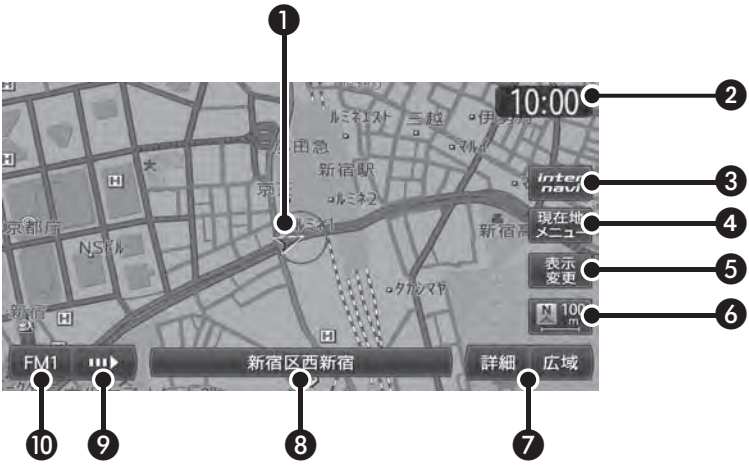
Memo

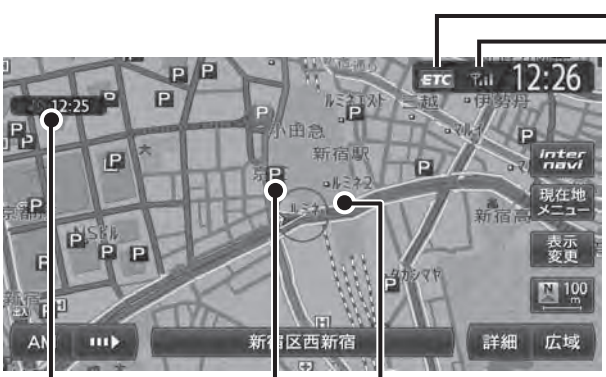
地図画面の見かた

現在地地図画面

1 現在地

現在地の地図画面が表示されます。





※1

※2

※3

渋滞情報を線で表示
(1km 以下のスケールで表示)

赤色	：渋滞
オレンジ色	：混雑
黄色	：規制
水色	：順調

※ 200m 以下のスケールでは、渋滞の方向を示す矢印も表示されます。

※4

VICS アイコン表示（P.275）
（1km 以下のスケールで表示）

※5

受信マーク表示
受信済みの VICS 情報の提供時刻を表示します。

番号	名称	機能の説明
❶	自車位置マーク	現在の車の位置を示しています。マークの種類や位置を変更することができます（P.33）。
❷	現在時刻	GPS 信号をもとに表示されています。
❸	internavi キー	VXM-122VFi のみ 「インターナビトップ画面」を呼び出します。詳しくは「インターナビ・プレミアムクラブ編」取扱説明書を参照ください。
❹	現在地メニューキー	現在地メニューを表示できます（P.22）。
❺	表示変更キー	地図表示変更メニューを表示できます。地図の表示に関する設定を行えます（P.27）。
❻	方位マーク	現在の地図の向きです。タッチするごとに地図の向きが切り替わります（P.25）。3D 表示時はタッチできません。
❼	詳細／広域キー	地図を拡大／縮小できます（P.24）。
❽	マルチインフォメーションキー	現在地名など、自車周辺の情報が表示されます。 キーの下段にお好みの追加情報を表示することもできます（P.22）。
❾	AV コントロールバー表示キー	AV コントロールバーを表示できます（P.23）。
❿	AV 操作キー	視聴しているオーディオ・ビジュアルのメインメニュー画面を表示できます。

※ 1　別売の ETC 車載器接続時に表示されます。
※ 2　携帯電話が接続状態のときに点灯します。
※ 3　VICS 情報の渋滞情報：1km 以下のスケールのとき、FM 多重放送、光・電波ビーコンの VICS 情報から渋滞情報が色で表示されます。
※ 4　VICS アイコン：1km 以下のスケールのとき、FM 多重放送、光・電波ビーコンの VICS 情報のランドマークアイコンが表示されます（P.275）。
※ 5　別売の VICS 光・電波ビーコンユニット接続時は、FM VICS 情報またはビーコン VICS 情報の提供時間が表示されます（未接続時は、FM VICS 情報提供時間のみ表示されます）。

現在地メニューの使いかた

1 現在地メニュー

現在地メニューが表示されます。

ここを登録：
現在地を登録します。登録した地点はあとから呼び出して目的地に設定できます(P.41)。

周辺施設を検索：
自車周辺の施設を検索できます（P.43)。

最寄 IC 入口を検索：
現在地周辺のハイウェイの入口を検索できます（P.47)。

検索アイコンの消去：
地図上の検索アイコン(P.96)を消去できます。

カメラ地点登録：
フロント / コーナーカメラ接続時に表示されます。
フロント / コーナーカメラ自動表示の動作地点を登録します。

周辺駐車場：
現在地周辺の駐車場を検索できます(P.44)。

マルチインフォメーションキーの使いかた

マルチインフォメーションキーの下段にお好みの機能を割り付け、情報を追加表示させることができます。
マルチインフォメーションキーはナビゲーション設定の「現在地名称プレートの常時非表示」で、表示／非表示を切り替えられます。

⚠ 注意

マルチメーターの速度表示は、あくまでも目安です。車両速度は、お車の実際のメーター表示で判断してください。

1 マルチインフォメーションキー ▶ 機能を選択

オーディオ情報：
再生中のトラック名、受信中の放送局名・番組名など、視聴中のオーディオ・ビジュアル情報が表示されます。

マルチメーター情報：
走行速度（Spd)、平均速度（Avg)、最高速度 (Max)、走行距離 (Odo) が表示されます。目的地を設定したり、ルートを取りやめると、表示された情報がリセットされます。

ハイウェイ出入口情報：
ルートが設定されているとき、ルート上にあるハイウェイの出入り口や料金所について、アイコン、名称、現在地からの距離、通過予想時刻などの情報が表示されます。
道路の開通時期などによっては、出入り口や料金所が、正しく表示されない場合があります。

GPS ＆自車方位情報：
GPS 測位状態、GPS 捕捉数、自車進行方向といった GPS に関する情報が表示されます。
- 3 次元測位
  4 つ以上の GPS 衛星から電波を受信し、現在地を 3 次元で測位しています。
- 2 次元測位
  3 つ以上の GPS 衛星から電波を受信し、現在地を 2 次元で測位しています。
- 非測位
  有効な GPS 衛星からの電波を受信できず、測位できない状態です。

追加表示しない：
機能は追加されません。
自車位置周辺情報のみが表示されます。

MEMO

マルチインフォメーションキーを非表示にすることもできます （P.107）。

AV コントロールバーを表示する

地図画面では、オーディオ・ビジュアル機能をすばやく呼び出せる AV コントロールバーを表示できます。表示内容は、使用中のオーディオ･ビジュアルの種類によって異なります。

1 AV コントロールバー表示キー

使用中のオーディオ・ビジュアルのコントロールバーが表示されます。

MEMO

再度 AV コントロールバー表示キーをタッチすると、コントロールバーが消えます。コントロールバーの項目をタッチしないまま 10 秒が経過すると、コントロールバーが自動的に消えるように設定できます。（P.107）。

各部の名称とはたらき
基本的な使いかた
地図画面の見かた
地図を操作する
地図の表示方法を変える
地図画面の設定をする
自宅を登録／編集する

地図を操作する

地図を拡大／縮小する

1 画面地図表示および 2 画面地図表示の地図を、拡大または縮小して表示します。
本機で表示される地図の尺度は以下のとおりです。

市街地図エリアの地図尺度（14 段階（2D）／ 13 段階（3D））
市街地図：10m（2D のみ）、25m、50m
通常地図：50 m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

市街地図がないエリアの地図尺度（11 段階）
50m、100m、200m、500m、1km、2km、4km、10km、16km、64km、256km

MEMO

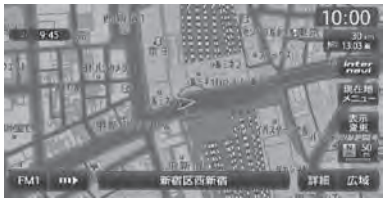
- 道路拡張などで道幅が変わった道路については、実際の道路が表示された地図と異なる場合があります。
- 一部地域では、市街地図の収録エリア内でも表示しない場合があります。

1 地図画面の 詳細 または 広域

地図が拡大／縮小されます。

通常地図 50m 画面

市街地図 50m 画面



スケールコントロールバー

画面下に表示されるスケールコントロールバーの尺度をタッチしても、同様に地図が拡大／縮小されます。50m、100m、200m、500m、1km、2km からスケールを選択することができます。3 秒間操作がない場合、スケールコントロールバーは画面から消えます。

MEMO

- 市街地図の表示中に、車が市街地図の収録エリア外に出たときは、50m スケールの通常地図で表示されます。
- 市街地図の表示中、市街地図のエリア外に近づくと画面に「広域にしてください」と表示されます。このような場合は、広域 をタッチしてください。
- 2 画面地図表示の左地図を拡大または縮小するには、左地図をタッチしてから操作を行ってください。
- 詳細 または 広域 を押し続けると、地図の大きさを細かく拡大／縮小できます。ただし、市街地図 50m スケールと通常地図 256km 表示では、細かい調整表示はできません。

地図の向きを変える

地図の向きを、進行方向上向き、または北方向上向きから選択できます。

1 地図画面の N または

北方向上向き

進行方向上向き

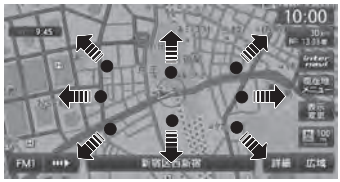
タッチするごとに地図の表示方向が、進行方向上向き、北方向上向きの表示に切り替わります。

MEMO

立体地図では、地図の向きを変えられません。

平面地図のスクロール

1 見たい方向の画面の端をタッチ



▼

地図上を移動できます。

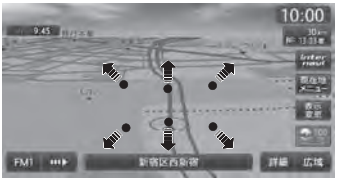
2 位置を微調整する場合は、微調整

見たい方向の矢印をタッチすると、スクロール位置を微調整できます。 解除 をタッチすると、通常のスクロール地図画面に戻ります。

各部の名称とはたらき
基本的な使いかた
地図画面の見かた
地図を操作する
地図の表示方法を変える
地図画面の設定をする
自宅を登録／編集する

立体地図のスクロール

1 見たい方向の画面の端をタッチ



2 見たい方向の矢印をタッチ

3

MEMO

- 市街地図表示で走行中のときは、スクロールはできません。
- 画面を左右に分割して表示しているときの左画面は、スクロールできません。
- 走行中は、平面地図の微調整はできません。
- 平面地図画面を短くタッチした場合は、その場所が中心となるようにスクロールします。
- 地図画面を長くタッチし続けると、タッチした方向に地図がスクロールし続けます。
- 決定 をタッチすると、スクロール先メニューが表示され目的地や登録地に設定できます。スクロール先が登録地、目的地、経由地の場合は、スクロール先メニューから地点を消去することができます。
  別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合、カメラ地点として登録できます (P.54)。
- スクロール中は画面にマップコード、緯度・経度が表示されます。
- 平面地図で市街地図から通常地図へのスクロールはできません。 広域 をタッチして通常地図にしてからスクロールさせてください。
- 画面左上には、スクロール先の地点名称、自車位置からの距離が表示されます。
- 詳細 広域 をタッチし、地図のスケールを変えながらスクロールすると、遠く離れた場所に移動しやすくなります。
- 現在地地図画面に戻るには、 を押すか、戻る をタッチします。

地図の表示方法を変える

地図をいろいろな表示方法に設定できます。また、地図表示に関する設定を変更することができます。

1 地図画面の 表示変更

2 設定したい表示方法を選択

MEMO

を押すごとに、現在地地図画面と選択した地図モードの画面を切り替えることができます。現在地地図画面は、地図表示変更メニューで設定した方法で表示されます。

1 画面／ 2 画面：
地図を分割するかどうかを選択します (P.28)。

交差点リスト：
交差点リストモードに切り替わります(P.29、P.30)。

ピクチャービュー：
ピクチャービューモードに切り替わります(P.31)。

3D：
地図が立体的に表示されます (P.28)。
※地図描画のため、自車位置表示が遅れる場合があります。

／ ：
地図の向きが切り替わります (P.25)。
立体地図を表示している場合は、平面地図に切り替わります。

上がる／下がる：
立体地図の角度を調整します。地図表示を「3D」に設定しているときに表示されます (P.29)。

一方通行表示：
一方通行情報が地図上に表示されます (P.32)。

施設アイコン表示：
地図上に表示する施設アイコンを選択します。

VICS 表示設定：
地図上に表示する VICS 情報を選択します。

その他設定：
地図表示に関するいろいろな設定を行います (P.33)。

地図を 1 画面で表示する

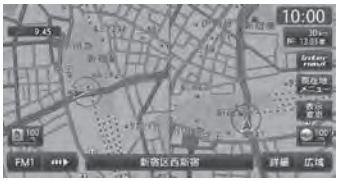
1 地図画面の 表示変更

2 1画面

画面を左右に分割して表示する

1 地図画面の 表示変更

2 2画面



MEMO

- 左画面を拡大または縮小するときは、左画面をタッチしてから操作します。その後、左画面の ✕ をタッチすると、もとの 2 画面表示に戻ります。
- 2 画面の場合は、以下のように表示されます。
  - 地図のスケールと向きは左右別々に設定できます **(P.24、P.25)**。ただし、左地図は、スケールの細かい調整表示はできません。
  - 割り込み表示は、左地図に表示されます。
  - スクロール操作は右地図で行います。

  2 画面表示から 1 画面に切り替えた場合、右地図の表示設定が 1 画面に反映されます。

地図を立体的に表示する

1 地図画面の 表示変更

2 3D

MEMO

- 2 画面表示の場合、立体地図を表示できるのは、左地図か右地図のどちらか一方です。このとき 1 画面に切り替えると、右地図の表示設定が 1 画面に反映されます。
- 立体地図では、視点の角度を調整できます **(P.29)**。
- 平面地図に戻すには、地図表示変更メニューの N または ◎ をタッチします。

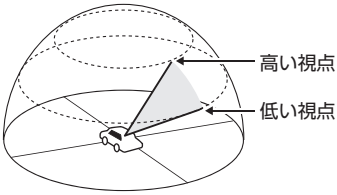
立体地図の角度を調整する

1 地図画面の 表示変更

2 上がる または 下がる

上がる をタッチして視点を高くした場合

下がる をタッチして視点を低くした場合



交差点リストモードで表示する（一般道路）

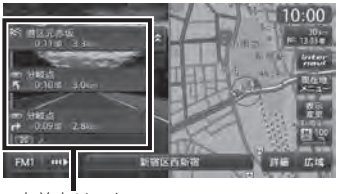
目的地が設定されている場合、一般道路走行中に1 ～ 3 つ先の交差点情報、目的地情報、経由地情報を表示させることができます。

MEMO

- 現在地 を押すと、交差点リストモード画面→現在地地図画面→拡大図→交差点リストモード画面の順で、画面を切り替えることができます。拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。

1 地図画面の 表示変更

2 交差点リスト



交差点リスト

交差点リストが表示されます。

MEMO

- 都市高速道路の入り口約 300m 手前では、都市高速道路入り口イラストが割り込み表示されます。道路形状などの条件によっては表示されない場合もあります。
- 右地図のスケールや向きを変えたり（**P.24、P.25**）、平面や立体で表示できます（**P.28**）。

交差点リストモードで表示する（高速道路）

高速道路および一部の有料道路を走行中に、インターチェンジ、ジャンクション、SA/PA、ランプ、目的地までの合計料金といった情報を表示させることができます。

MEMO

- 以下の条件を満たしている場合は、自動的に交差点リストモードに切り替わります。
  - **「ハイウェイモードの自動表示」（P.33）**が「ON」に設定されている
  - 高速道路、都市高速道路、一部の有料道路を走行している
- 背景イラストはイメージ図です。実際に走行中の道路とは形状が異なります。
- 「ハイウェイモードの自動表示」を「ON」に設定しているときは、[戻る] を押すと、交差点リストモード画面→現在地地図画面→拡大図→交差点リストモード画面の順で、画面を切り替えることができます。拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。

1 地図画面の 表示変更

2 交差点リスト

走行中は操作できません。

交差点リスト

交差点リストが表示されます。

MEMO

- 渋滞状況が色で表示されます。（赤：渋滞、オレンジ：混雑、水色：順調）
- 渋滞状況が白、灰色で表示されるときは、VICS 渋滞情報が配信されていないか、本機の地図データが更新されていないため配信情報が処理できない場合が考えられます。
- サービスエリアやパーキングエリアをタッチするとサービスエリア・パーキングエリア図が表示されます。
- 目的地を設定していない状態でインターチェンジやジャンクションをタッチすると、地点メニューや分岐道路名称などが表示されます。
- 料金所には、料金が表示されます。料金所はタッチすることができません。
- 料金所では、料金所のゲート情報をデフォルメして表示します。時間帯、規制等により実際の状況と一致しない場合がありますので、必ず現地の指示に従って走行して下さい。
- 右地図のスケールや向きを変えたり（**P.24、P.25**）、平面や立体で表示できます（**P.28**）。
- すべての VICS 規制アイコンが表示されるわけではありません。必ず現地の交通規制にしたがって走行してください。
- 高速道路の途中で目的地を設定した場合、料金表示、音声での料金案内は行いません。
- オートリルート（**P.99**）すると、交差点リストモードが一時的に解除される場合があります。
- 一部の有料道路や変則的な料金体系の高速道路の料金表示には対応していない場合があります。また、ETC 割引などの変則的な料金体系には対応していません。このような場合には、料金が正しく表示されないことがあります。
- 道路の開通時期によっては、料金が表示されなかったり、実際とは異なる料金が表示されることがあります。このような場合には、実際の料金にしたがってお支払いください。

サービスエリア・パーキングエリア図

サービスエリアやパーキングエリアの施設情報です。交差点リストでサービスエリアやパーキングエリアの名前をタッチすると表示されます。

地図を表示：
施設の地図を表示します。

MEMO

- サービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路への出入りが可能な ETC 専用のインターチェンジを「スマートインターチェンジ（スマート IC）」と呼びます。
- スマート IC をご利用の際は、「スマート IC とは」（P.67）を参照ください。

ピクチャービューモードで表示する

自車付近のグルメスポット、観光スポットを写真で表示します。
表示中の施設は、目的地や経由地として設定できます。
ピクチャービューモードは、1 画面の平面地図で表示されます。

1 地図画面の 表示変更

2 ピクチャービュー ▶ 戻る

3 写真を選択

▼

ここに行く：
施設へのルートが設定され、案内が開始されます。

ここをルートに追加：
施設を経由地として追加します。ルートが設定されている場合のみ表示されます。

ここを登録：
施設を登録リストに登録します。

詳細情報を見る：
施設の詳細情報を表示します。

位置を修正：
地図をスクロールして、表示している位置を修正することができます。

各部の名称とはたらき
基本的な使いかた
地図画面の見かた
地図を操作する
地図の表示方法を変える
地図画面の設定をする
自宅を登録／編集する

MEMO

- 走行中は、写真はアイコンで表示されます。
- 《、》をタッチすると、写真リストをスクロールできます。|《をタッチすると、写真リストの先頭に戻ります。
- 、 をタッチすると、表示される施設の種類を切り替えることができます。
- ルート沿い をタッチすると、ルート沿いの施設の写真を優先して表示します。ルートが設定されていない、またはルートを外れて走行している場合はタッチすることができません。
- 目的地や経由地に設定済みのスポットには、写真の上に（目的地）、（経由地）が表示されます。
- 地図表示を変更して、1 画面、2 画面、立体地図、交差点リストモードに切り替えると、ピクチャービューモードは解除されます。
- を押すと、ピクチャービューモード画面→現在地地図画面→拡大図→ピクチャービューモード画面の順で、画面を切り替えることができます。拡大図は表示可能な場合のみ切り替わります。
- をタッチすると、スクロール地図画面が表示されます。設定メニューの カーソル表示 (P.106)がOFFのとき、は表示されません。

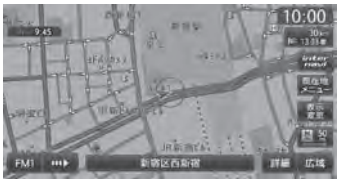
一方通行を表示する

⚠ 警告

一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

1 地図画面の 表示変更

2 一方通行表示



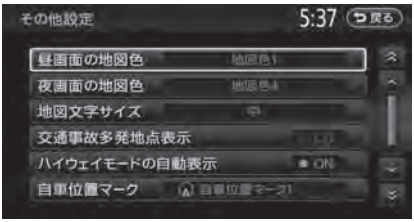
MEMO

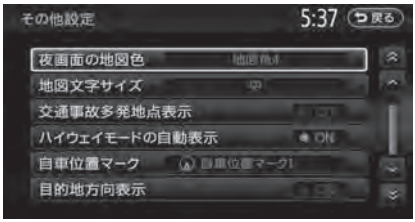
- 一方通行情報は、市街地図および通常地図の50m 以下のスケールで表示されます。
- 立体地図では表示されません。
- 細街路の一方通行情報は、細街路以外の道路を走行中は表示されません。

地図画面の設定をする

1 地図画面の 表示変更

2 その他設定





※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値	参照ページ
昼画面／夜画面の地図色	昼画面、夜画面（車のスモールランプ点灯時）の表示色を選択する	昼画面：地図色１※～４ 夜画面：地図色１～４※	—
地図文字サイズ	地図画面に表示させる文字の大きさを選択する	大／中※／小	—
交通事故多発地点表示	交通事故多発地点アイコン を地図上に表示するかどうかを選択する • 1km 以下のスケールで表示されます。市街地図、立体地図では表示されません。	ON ／ OFF※	—
ハイウェイモードの自動表示	交差点リストモードの自動表示／非表示を切り替える	ON※／ OFF	P.30
自車位置マーク	地図画面に表示される自車位置（現在地）のマークを選択する	自車位置マーク１※～５	—
目的地方向表示	地図画面に目的地の方向を直線で表示するかどうかを選択する	ON ／ OFF※	—

MEMO

「ハイウェイモードの自動表示」を「ON」に設定して、高速道路および一部の有料道路を走行中に を押すと、交差点リストモード画面→現在地地図画面→拡大図の順で、画面を切り替えることができます。

自宅を登録／編集する

あらかじめ自宅を登録しておくと、お出かけ先から自宅へのルートを設定できます。
本機を購入されたら、まず自宅の登録を行うことをおすすめします。
ここでは現在地を自宅として登録する方法を説明します。

MEMO

走行中は、本操作を行えません。

1 MENU ▶ 目的地

2 自宅へ戻る ▶ はい

3 地図

MEMO

微調整 をタッチして位置を調整できます。

4 決定 ▶ 終了

MEMO

自宅の位置を修正したい場合は、地図上で自宅の位置を修正できます。

自宅の位置修正方法

1 MENU ▶ 設定

2 ナビゲーション

3 登録データの編集・消去

4 自宅 ▶ 位置を修正 ▶ 地図上をスクロールして位置を調整

5 決定

自宅の消去方法

1 MENU ▶ 設定

2 ナビゲーション

3 登録データの編集・消去

4 登録の消去 ▶ 自宅の消去

5 はい

MEMO

アイコン表示やアラーム音など自宅の情報を修正することができます。

自宅の情報編集方法

MEMO

自宅が未登録の場合は、自宅(未登録) をタッチすると自宅検索画面が表示されます。

1 MENU ▶ 設定

2 ナビゲーション

3 登録データの編集・消去

4 自宅 ▶ 編集

5 編集したい項目を選択

地図表示：
「ON」に設定すると、地図上の自宅位置に自宅アイコンを表示します。

アイコン：
自宅に割り当てるアイコンを設定します。

アラーム音：
自宅に接近したときに鳴らすアラーム音を設定します。

アラーム方向：
自宅に接近したときに、アラーム音を鳴らすための方向を設定します。方向を設定すると、設定した方向以外の向きで自宅に接近してもアラームは鳴りません。

アラーム距離：
自宅に接近したときにアラームを鳴らすための距離を設定します。

電話番号：
電話番号を編集します。

各部の名称とはたらき
基本的な使いかた
地図画面の見かた
地図を操作する
地図の表示方法を変える
地図画面の設定をする
自宅を登録／編集する

Memo

目的地の検索

本書では、さまざまな方法で目的地を検索できます。

目的地設定の流れ …… 38

基本的な方法で探す …… 39

自宅に戻る …… 39

地図をスクロールして探す …… 39

施設の名称で探す …… 39

電話番号で探す …… 40

住所で探す …… 40

地名で探す …… 41

登録した地点から探す …… 41

ジャンルから探す …… 42

ジャンル名を入力して探す …… 42

現在地周辺／目的地周辺から探す …… 43

現在地周辺の施設を探す …… 43

よく使うジャンルから探す（お好みアイコン） …… 43

現在地周辺の駐車場を探す …… 44

目的地周辺の施設を探す …… 44

目的地周辺の駐車場を探す …… 45

ルート沿いの施設を探す …… 45

地図表示位置周辺から探す …… 46

ハイウェイの施設を探す …… 47

ハイウェイ上の施設名から探す …… 47

ハイウェイの道路名から探す …… 47

ハイウェイの入り口／出口を探す …… 47

TV の情報から探す …… 48

TV 番組の名前で探す …… 48

TV 番組のジャンルから探す …… 48

現在地・目的地周辺から探す …… 48

その他の検索方法 …… 49

履歴から探す …… 49

マップコードから探す …… 49

SD カード内の登録地から探す …… 50

緯度・経度から探す …… 50

郵便番号から探す …… 50

登録ルートから探す …… 51

ピクチャービューから探す …… 51

目的地を設定したら… …… 52

施設情報を見る …… 53

地点メニュー画面について …… 54

目的地設定の流れ

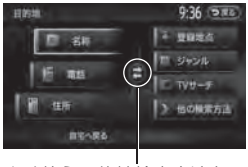
走行中は、本操作を行えません。

例：施設の名称から探す

目的地メニューを開く

1 MENU ▶ 目的地

目的地メニューが表示されます。



よく使う目的地検索方法を設定することができます。

3 つの検索方法を選択して 決定 をタッチします。

目的地を検索する

2 名称 ▶ 名称入力 ▶ 候補を表示 ▶ 施設

ここでは、検索方法として施設の名称から探す方法を選択します。

「施設の名称で探す」(P.39)

矢印の向きは、リストで選択されている施設の自車からの向きを示します。

案内を開始する

3 案内開始

探索したルート案内を開始します。

「目的地を設定したら…」(P.52)

MEMO

- 検索結果として表示される施設の位置は、あくまでもその施設の位置を示しています。そのため、そのまま目的地として設定すると、まれに施設の裏側や高速道路上など、車で行くのに適さない場所に誘導されることがあります。あらかじめご了承のうえ、目的地付近の経路をお確かめいただくよう、お願いいたします。
- 目的地や経由地を道路上に設定するときは、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。
- 目的地メニュー画面は、表示させる項目の順序を入れ替える（カスタマイズする）ことができます(P.104)。

基本的な方法で探す

自宅に戻る

自宅を登録（P.34）しておくと、自宅をすぐに探し出せます。

1 MENU ▶ 目的地

2 自宅へ戻る

3 案内開始

自宅までのルートが設定され、ルート案内を開始します。

地図をスクロールして探す

1 地図をスクロールさせて目的地を表示（P.25、26）

2 決定

3 ここに行く

目的地までのルートが設定され、ルート探索結果画面が表示されます（P.59）。

4 案内開始

施設の名称で探す

⚠ 注意

走行中は、本操作を行えません。

施設の名称が完全にわからなくても、名称の一部で探せます。

MEMO

- 施設の名称の一部からでも目的地を探せますが、省略した名称では探せない施設もあります。できるだけ正式名称で探すことをおすすめします。
- 施設名の一部として入力した文字数が少ないと、対象となる施設が膨大な数になるため、名前に対して完全一致した施設のみが表示されます。入力文字を増やすことで、部分一致する施設を探せるようになります。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 名称

2 施設の名称を入力 ▶ 候補を表示

入力した施設名の候補が 5 件以下になると、候補を表示 をタッチしなくても自動的に手順 3 に進みます。

3 施設を選択

検索結果画面が表示されます（P.52）。

4 案内開始

電話番号で探す

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 電話

2 **電話番号を市外局番から入力** ▶ 決定

検索結果画面が表示されます (P.52)。

3 案内開始

個人宅を検索する場合

入力した電話番号が個人宅の場合、プライバシー保護のため、名字入力画面が表示されます。名字を入力して 決定 をタッチしてください。
名字とデータが一致していれば、検索結果画面が表示されます。一致していない場合は、「名字が一致しません。もう一度入力してください。」と表示されます。
個人宅の名字入力において、複数の読みがある名字については、実際と異なる読みかたで登録されている場合があります。

MEMO

- 携帯電話や PHS の電話番号からは目的地・地点を探せません。
- タウンページに掲載されていない電話番号では目的地・地点を探せません。
- 電話番号で目的地・地点を探したときに、複数の施設がリストに表示される場合がありますので、リストから目的の施設を選択してください。

住所で探す

全国の住所データから、目的地を探せます。

MEMO

- 住所データの整備状態により、一部探せない住所があります。
- 数字以外の文字を含む番地や号は、検索できない場合があります。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 住所

2 **目的地の都道府県を選択**

3 **市区町村を選択**

4 **地域名を選択**

5 **番地、号を選択**

検索結果画面が表示されます (P.52)。

MEMO

- 地名を入力 をタッチすると、地名を入力して地点を探せます。
- 近隣県 をタッチすると、自車位置の近隣県のみが選択項目として表示されます。
- 番地を入力 をタッチすると、番地、号を入力できます。
- 号がない住所の場合は、番地をタッチすると目的地と地点メニューが表示されます。

6 案内開始

地名で探す

都道府県名や市町村名がわからなくても、地名から位置を検索できます。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 住所
2 地名を入力
3 地名を入力 ▶ 候補を表示
4 目的の地名を選択
5 番地、号を選択

検索結果画面が表示されます（P.52）。

6 案内開始

登録した地点から探す

本機に登録したよく行く場所の一覧から目的地を探すことができます。

MEMO

本機の登録リストには、400 件まで地点を登録できます（P.91）。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 登録地点
2 登録地を選択

検索結果画面が表示されます（P.52）。

3 案内開始

目的地設定の流れ
基本的な方法で探す
現在地周辺／目的地周辺から探す
ハイウェイの施設を探す
TV の情報から探す
その他の検索方法
目的地を設定したら…

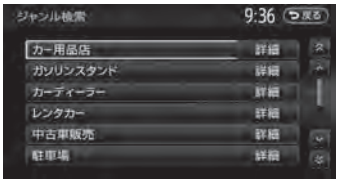
ジャンルから探す

「食べる・飲む」、「遊ぶ・見る」などのジャンルを選択して、該当する施設を探します。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ ジャンル

2 ジャンルを選択

3 施設のジャンルを選択



MEMO

詳細 をタッチすると、さらに細かくジャンルを選択できます。

4 目的の施設を選択

検索結果画面が表示されます（P.52）。

MEMO

対象となる施設の数が 1 万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

5 案内開始

ジャンル名を入力して探す

1 MENU ▶ 目的地 ▶ ジャンル

2 ジャンル名入力

3 キーワードを入力（候補を表示）▶ 候補を表示

MEMO

- キーワードの入力途中でも対象が絞られた場合は、自動的にジャンルのリストが表示されます。
- 予測候補 をタッチして、予測変換リストからジャンルや施設を選択することもできます。

4 目的のジャンルを選択

5 目的の施設を選択

検索結果画面が表示されます（P.52）。

MEMO

- 似た名前の別のジャンルに目的の施設データが含まれる場合があります。目的の施設が見つからない場合は、似た名前のジャンルも探してみることをおすすめします。
- 対象となる施設の数が 1 万件を超えた場合は、都道府県を選択する画面が表示されます。目的地とする施設の都道府県をタッチしてください。

6 案内開始

現在地周辺／目的地周辺から探す

MEMO

- 目的地までのルートが設定されていないと、目的地周辺の検索はできません。
- 周辺検索で検索した施設のアイコンの上には矢印の付いた検索アイコンが表示されます。これを施設アイコンと呼びます。施設アイコンの表示の ON/OFF 設定や、消去ができます（P.96）。

現在地周辺の施設を探す

ジャンルを選択して現在地周辺の施設を探せます。周辺 100km 以内の地域で、最大 100 件までの施設を探せます。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 周辺検索 ▶ 自車周辺

3 施設のジャンルを選択

MEMO

- ジャンル名入力 をタッチすると、キーワードを入力してジャンル名から探すことができます。
- お好みアイコンキーをタッチすると、選択したアイコンのジャンルの施設を現在地周辺から探すことができます。

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 目的の施設を選択

MEMO

施設名の横に施設までの距離が表示されます。

検索結果画面が表示されます（P.52）。

5 案内開始

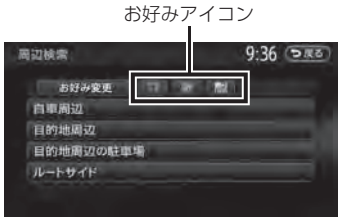
よく使うジャンルから探す（お好みアイコン）

お好みアイコンリストに登録したジャンルで、現在地周辺の施設を探せます。周辺 100km 以内の地域で、最大 100 件までの施設を探せます。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 周辺検索

3 お好みのジャンルのアイコンを選択



MEMO

お好みアイコンは、別の項目に変更することができます（P.95）。

4 目的の施設を選択

検索結果画面が表示されます（P.52）。

5 案内開始

現在地周辺の駐車場を探す

現在地周辺の駐車場を目的地として設定できます。表示先から半径 800m 以内にある駐車場を最大 10 件まで探します。

1 現在地 ▶ 現在地メニュー

2 周辺駐車場

3 駐車場を選択

> **MEMO**
> 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

検索結果画面が表示されます（P.52）。

4 案内開始

目的地周辺の施設を探す

ジャンルを選択して目的地周辺の施設を探せます。周辺 100km 以内の地域で、最大 100 件までの施設を探せます。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺

3 施設のジャンルを選択

> **MEMO**
> - ジャンル名入力 をタッチすると、キーワードを入力してジャンル名から探すことができます。
> - お好みアイコンキーをタッチすると、選択したアイコンのジャンルの施設を目的地周辺から探すことができます。

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 目的の施設を選択

> **MEMO**
> 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

検索結果画面が表示されます（P.52）。

5 案内開始

目的地周辺の駐車場を探す

目的地に最も近い駐車場を目的地として設定できます。目的地の半径 800m 以内にある駐車場を最大 10 件まで探します。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 周辺検索 ▶ 目的地周辺の駐車場

3 **駐車場を選択**

> **MEMO**
> 駐車場名の横に駐車場までの距離が表示されます。

検索結果画面が表示されます (P.52)。

4 案内開始

ルート沿いの施設を探す

目的地までのルート沿いの施設を、立寄地として設定できます。立寄地は目的地までのルート沿いにある施設のことで、経由地とは異なります。
立寄地に近づくとメロディが鳴ります。ルート上から 80m 以内、ルートの距離で 30km 以内にある施設を最大 100 件まで探します。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 周辺検索 ▶ ルートサイド

3 **ジャンルを選択**

> **MEMO**
> - ジャンル名入力 をタッチすると、キーワードを入力してジャンル名から探すことができます。
> - お好みアイコンキーをタッチすると、選択したアイコンのジャンルの施設をルート沿いで探すことができます。

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

> **MEMO**
> - 施設名の横に施設までの距離が表示されます。
> - 施設名の左側に、施設がルート上の左右どちら側にあるかを表すアイコンが表示されます。

地図上の立寄地に 立寄地点 というアイコンが表示されます。

> **MEMO**
> ルートを再計算すると、立寄地は消去されます。

地図表示位置周辺から探す

地図をスクロールして表示した先の周辺にある施設を探します。周辺 100km 以内の地域で、最大 100 件までの施設を探せます。

1 **地図をスクロール ▶ 決定**

2 **周辺施設を検索**

3 **施設のジャンルを選択**

> MEMO
>
> ジャンル名入力 をタッチすると、キーワードを入力してジャンル名から探すことができます。

施設リストが表示されるまで、同様の操作を繰り返します。

4 **目的の施設を選択**

> MEMO
>
> 施設名の横に施設までの距離が表示されます。

検索結果画面が表示されます (P.52)。

5 **案内開始**

ハイウェイの施設を探す

MEMO

検索結果として道路の分岐点や合流点上の地点が表示されることがあります。この場合、適切なルートとならないことがありますので、地点の位置を適宜調整してください。

ハイウェイ上の施設名から探す

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 ハイウェイ ▶ ハイウェイ名称入力

3 **施設の名称を入力** ▶ 候補を表示

4 **施設を選択**

検索結果画面が表示されます（P.52）。

5 案内開始

MEMO

「ハイウェイ上の施設名から探す」では施設の名称を入力するときは、探したい施設名称の最初の文字から順に入力してください。

ハイウェイの道路名から探す

ハイウェイのサービスエリアや入り口・出口などの施設を、路線名から探します。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 ハイウェイ

MEMO

ハイウェイ名称入力 をタッチすると、高速道路名の一部を入力して高速道路を探せます。

3 高速道路の路線名

4 **道路の種類を選択**

5 **路線を選択**

6 **目的の施設を選択**

検索結果画面が表示されます（P.52）。

7 案内開始

ハイウェイの入り口／出口を探す

現在地の近くにあるハイウェイの入り口、または目的地周辺にあるハイウェイの出口を探します。周辺 100km 以内の地域で、最大 100 件までの施設を探せます。
目的地が設定されていないと、ハイウェイの出口は検索できません。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 ハイウェイ

3 自車周辺の入口 または 目的地周辺の出口

4 **入り口または出口を選択**

MEMO

入り口または出口までの距離が表示されます。

検索結果画面が表示されます（P.52）。

5 案内開始

TV の情報から探す

TV 番組で紹介された施設を、目的地として設定できます。
TV の情報は更新することができます (P.203)。

MEMO

- TV で紹介された施設をすべて収録しているわけではありません。レジャーランドなどの有名な施設でも収録されていない場合があります。
- 収録されている番組は継続的に施設を紹介している特定のもので、今後は予告なく変更されることがあります。

TV 番組の名前で探す

紹介された TV 番組から、目的の施設を探す方法です。

1 MENU ▶ 目的地
2 TVサーチ ▶ 番組名
3 目的の番組を選択
4 目的の施設を選択

検索結果画面が表示されます (P.52)。

MEMO

- 画面上部に、紹介された番組と放送日が表示されます。番組の放送日はキー局の放送日であるため、地域によっては実際の放送日とは異なる場合があります。
- 施設リストで施設名称の横に表示されるアイコンは、その施設のジャンルを表します。

：食べる・飲む　：遊ぶ・見る
：泊まる　：買う

5 案内開始

TV 番組のジャンルから探す

目的の施設を、ジャンルから検索します。
ジャンルは、大きく分けて「食べる･飲む」、「遊ぶ･見る」、「泊まる」、「買う」の 4 種類があります。

1 MENU ▶ 目的地
2 TVサーチ ▶ ジャンル
3 目的のジャンルを選択
4 目的の詳細ジャンルを選択
5 目的の施設を選択

検索結果画面が表示されます (P.52)。

6 案内開始

現在地・目的地周辺から探す

現在地または目的地周辺の TV で紹介された施設をジャンルで検索できます。周辺 100km 以内の地域で、最大 100 件までの施設を探せます。

1 MENU ▶ 目的地
2 TVサーチ ▶ 周辺検索
3 自車周辺 または 目的地周辺
4 目的のジャンルを選択

MEMO

詳細 をタッチすると、詳細ジャンルリストから絞り込めます。

5 目的の施設を選択

検索結果画面が表示されます (P.52)。

6 案内開始

その他の検索方法

履歴から探す

今まで目的地として設定した地点の一覧から探します。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法
2 履歴
3 **目的の地点を選択**
検索結果画面が表示されます（P.52）。
4 案内開始

MEMO

- 履歴は最新のものから順に最大 100 件まで自動で保存されます。
- 履歴を消去することもできます（P.95）。

マップコードから探す

ガイドブックなどに掲載されているマップコードから目的地を探します。本機では、標準、高精度どちらのマップコードにも対応しています。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法
2 マップコード
3 **マップコードを入力** ▶ 決定
検索結果画面が表示されます（P.52）。
4 案内開始

MEMO

マップコードに関するお問い合わせ先は以下のとおりです。
ホームページ：
http://guide2.e-mapcode.com/
電話：
0566-61-4210（株式会社デンソー MC プロジェクト）

目的地設定の流れ
基本的な方法で探す
現在地周辺／目的地周辺から探す
ハイウェイの施設を探す
TV の情報から探す
その他の検索方法
目的地を設定したら…

SD カード内の登録地から探す

SD カード（メモリーカード）に保存した登録地点から目的地を探します。

MEMO

あらかじめ、SD カードに登録地を保存しておく必要があります（P.93）。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 バックアップ登録地点

3 **グループフォルダを選択**

4 **地点を選択**

検索結果画面が表示されます（P.52）。

5 案内開始

緯度・経度から探す

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 緯度･経度

3 **北緯と東経を入力** ▶ 決定

検索結果画面が表示されます（P.52）。

4 案内開始

郵便番号から探す

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 郵便番号

3 **郵便番号を入力** ▶ 決定

検索結果画面が表示されます（P.52）。

MEMO

入力した郵便番号に該当するデータが見つからない場合は、メッセージが表示されて郵便番号の入力画面に戻ります。

4 案内開始

登録ルートから探す

あらかじめ本機に登録したルートから、目的地を設定します。

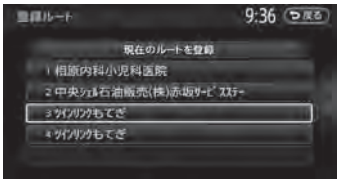
MEMO

ルートの登録は **P.69** を参照ください。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 登録ルート

3 **目的の登録ルートを選択**



項目を選ぶと検索結果画面が表示されます。

MEMO

すでにルートが設定されていると 現在のルートを登録 が選べます。タッチすると設定済みのルートをリストに登録できます。

4 案内開始

ピクチャービューから探す

自車付近のグルメスポット、観光スポットを写真で表示して目的地に設定します。

1 **地図画面の** 表示変更

2 ピクチャービュー ▶ 戻る

3 **写真を選択**

4 ここに行く

目的地までのルートが設定され、案内が開始されます。

MEMO

ピクチャービューモードについて詳しくは、**P.31** を参照ください。

目的地設定の流れ
基本的な方法で探す
現在地周辺／目的地周辺から探す
ハイウェイの施設を探す
TV の情報から探す
その他の検索方法
目的地を設定したら…

目的地を設定したら…

目的地を設定すると、以下のような検索結果画面が表示されます。目的地を設定した後は、この画面からルートを設定します。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。

1 案内開始

現在の探索条件でルート計算がはじまります。設定したルートにしたがって走行を始めると、ルート案内が開始されます。目的地に到着すると、自動的にルート案内は終了します。

- ルートの確認や、探索条件を変更する場合は、ルートを選ぶ をタッチしてください。ルート探索結果画面が表示されてから、何もタッチしないまま 30 秒経過すると、自動的に現在の探索条件でルート案内が開始されます。

MEMO

- 走行中は、表示できる項目が限定されます。
- 地図をスクロールして地点を設定した場合は、表示される画面が異なります。
- 画面左上にあらかじめ設定された探索条件が表示されます。ルート案内の条件を変更することもできます（P.59）。

検索結果画面では、以下の操作を行えます。

案内開始：
現在の条件でルートを設定します。

ルートを選ぶ：
5 種類の条件でルートを探索し、その中からお好みのルートを選択できます（P.59）。

位置を修正：
地点の位置を調整します（P.57）。

ルートに追加※
現在のルートに経由地または目的地として追加します（P.60）。

ここを登録：
表示している地点を本機の登録リストに登録します（P.58）。

周辺駐車場：
周辺の駐車場情報を表示します（P.58）。

情報：
施設情報を表示します（P.58）。

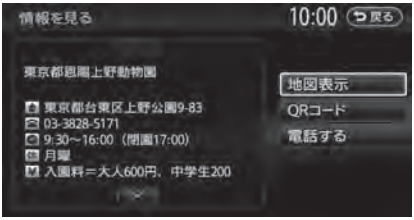
※ルート設定時に表示されます。

施設情報を見る

施設情報画面の表示

検索結果画面に 情報 が表示されている施設には、施設情報が登録されています。

情報 をタッチすると、施設情報画面が表示されます。



地図表示：
検索結果画面に戻ります。

QR コード：
QR コードを表示します。

電話する：
電話番号が登録されているときに Bluetooth 対応携帯電話を接続すると表示され、タッチして電話をかけます （P.118）。

QR コードの読み取り

施設情報画面で QRコード をタッチすると、施設情報が含まれた QR コード（携帯電話のカメラなどで読み取れるバーコード）が表示されます。QR コードを利用して、施設情報を携帯電話で確認できます。

縮小：
情報量が多く表示できないときに、QR コードを縮小表示します。

MEMO

- 施設によっては、目的地検索後に以下のメッセージが表示される場合があります。
  「施設出入り口地点を表示します。」
  表示されている場所が施設の入り口であるため、そのまま目的地として設定すると、車で走行するのには適さない場所に誘導される場合があります。また、複数出入り口がある施設の場合は、目的地に最寄りの出入り口地点に誘導されない場合があります。なお、一部の場所では到着地点を示す旗のほかに、実際の目的地に黄色い旗が表示されます。
- 専用駐車場や契約駐車場を併設した施設を選択すると、地図表示の前に駐車場のリスト画面が表示されることがあります。この場合、施設または駐車場を選択すると、それぞれの場所の地図が表示されます。
- 目的地としてピンポイントで表示された位置が、案内すべき道路から離れている場合があります。その際は目的地を「位置調整」で移動して決定してください （P.57）。

目的地設定の流れ
基本的な方法で探す
現在地周辺／目的地周辺から探す
ハイウェイの施設を探す
TV の情報から探す
その他の検索方法
目的地を設定したら…

地点メニュー画面について

地図をスクロールした先で地点メニューを呼び出して、スクロール先の地点を目的地に設定したり、ルートに追加するなどの操作を行えます。

1 **地図をスクロール**

2 決定

地点メニューが表示されます。

ここに行く：
スクロール先の地点が目的地に設定されます（P.39）。

ここをルートに追加：
ルート設定時にスクロール先の地点を目的地、または経由地に追加できます（P.60）。

周辺施設を検索：
スクロール先周辺の施設を検索できます（P.46）。

ここを登録：
スクロール先の地点を登録できます。

消去：
スクロール先の地点が、登録地、自宅、目的地、経由地のいずれかである場合、その地点を消去できます。

カメラ地点登録：
別売のフロントカメラ／コーナーカメラを接続している場合、スクロール先の地点を、カメラ地点として登録できます。
登録した地点に近づくと、自動でカメラ映像に切り替わります。
あらかじめ「登録地点検知」を ON にする必要があります（P.201）。

ルートの設定と案内

目的地を探したら、ルートを設定します。ルートが設定されると案内がはじまりますので、ルート案内にしたがって走行してください。

検索した地点を確認・設定する … 56

現在の条件でルートを設定する …… 56

ルートの確認や設定をする …… 57

検索した地点の位置を修正する …… 57

検索した地点をルート上に追加する … 57

検索した地点を本機に登録する …… 58

検索した地点周辺の駐車場を探す …… 58

検索した地点の情報を確認する …… 58

走行するルートを設定する …… 59

現在の条件でルートを設定する …… 59

異なる条件のルートから選択する …… 59

ルートの確認・登録をする …… 60

行き先を追加する …… 60

有料道路の出入り口を選択する …… 61

設定済みのルートを再探索する … 62

設定した条件で再探索する …… 62

探索条件を変更して再探索する …… 62

迂回ルートを再探索する …… 63

目的地・経由地を編集する …… 64

目的地・経由地設定時のご注意 …… 64

経由地を追加する …… 65

目的地・経由地の位置を修正する …… 65

目的地・経由地の順番を並べ替える … 66

目的地・経由地を消去する …… 66

区間ごとに探索条件を設定する …… 66

有料道路の出入り口を変更する …… 67

設定したルートを確認する …… 68

ルート上の情報を見る …… 68

ルートをシミュレーション走行する … 68

ルートを登録する …… 69

ルート上の地図をスクロールする …… 69

ルート案内の音量を確認・設定する … 69

ルート案内時の音声出力を切り替える …… 69

その他 …… 70

ルート案内を中止する …… 70

目的地を消去する …… 70

オートリルートについて …… 70

ルート案内中の地図画面 …… 71

ルート案内中の案内表示 …… 72

交差点手前で出る案内表示 …… 72

高速道路での案内表示 …… 73

ETC レーンガイドでの案内表示 …… 74

細街路での表示 …… 75

ルート案内中の音声案内 …… 76

運転中の音声案内例 …… 76

進行方向の案内について …… 76

検索した地点を確認・設定する

地点検索（P.37）で地点を探したら、ルートを設定する前に位置を修正したり、地点を登録することができます。また、目的地の施設情報などを確認することもできます。
この操作は、検索結果画面から行います。

地点を検索（P.37）▶▶

検索結果画面

※走行中は選択できる項目が限定されます。

現在の条件でルートを設定する

現在設定されている条件のまま、検索した地点を目的地としてルートを設定します。ルート探索の条件は変更できます（P.59、P.62）。

1 **地点を検索（P.37）▶ 案内開始**

そのままの条件でルートが設定されます。

MEMO

- 以下の場合、一般道と有料道路 (または高速道路) のどちらを現在走行中であるかを確認する画面が表示されます。 有料/高速 または 一般道走行 をタッチしてください。
  この確認画面は、探索条件を指定するものではありません。
  - 有料道路または高速道路に自車位置がある場合
  - 一般道に自車位置があり、自車位置からおよそ 100m 以内に有料道路や高速道路がある場合
- 設定したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。
- 緊急施設（病院など）を目的地にした場合、確認画面が表示されます。
- なお、検索方法によっては緊急施設を目的地に設定できないときがあります。
- 検索した地点から最も近い道路が有料道路または高速道路の場合は、その道路上で案内を終了するかどうか確認する画面が表示されます。
  なお、検索方法によっては、確認画面が表示されない場合があります。

ルートの確認や設定をする

地点を検索してルート案内を開始する前に、ルートの確認をしたり、ほかのルートを検索して選択することができます。

1 **地点を検索（P.37）▶ ルートを選ぶ**

ルート探索結果画面が表示されます(P.59)。

案内開始：
選択したルートにしたがってルート案内を開始します（P.59）。

他のルートを選ぶ：
異なる条件の 5 つのルートから、お好みのルートを選択できます（P.59）。

ルートの確認・登録：
ルートの各種情報の確認やルートの登録ができます（P.60）。

行き先を追加：
ルートに行き先を追加することができます（P.60）。

検索した地点の位置を修正する

検索した地点の位置を、地図をスクロールして調整できます。

1 **地点を検索（P.37）▶ 位置を修正**

2 **地図をスクロールして位置を修正 ▶ 決定**

検索結果画面に戻り、調整した地点を中心とした地図が表示されます。

MEMO

微調整 をタッチすると、詳細な修正ができます（P.25）。

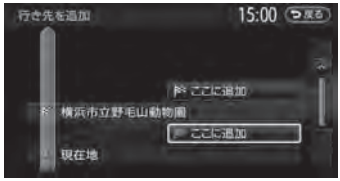
検索した地点をルート上に追加する

すでにルートが設定されている場合に、検索した地点を新たにルート上の経由地として追加したり、目的地に設定し直すことができます。

1 **地点を検索（P.37）▶ ルートに追加**

行き先追加画面が表示されます。

2 **ここに追加**



選択した位置に地点が追加され、ルート探索結果画面が表示されます（P.59）。

検索した地点を確認・設定する
走行するルートを設定する
設定済みのルートを再探索する
目的地・経由地を編集する
設定したルートを確認する
その他
ルート案内中の地図画面
ルート案内中の案内表示
ルート案内中の音声案内

検索した地点を本機に登録する

検索した地点を本機の登録リストに登録できます。

1 **地点を検索（P.37）▶ ここを登録**

地点が登録地として本機に登録されます。

MEMO

- 地点の検索方法が「登録地」の場合は、この操作は行えません。
- 本機に登録できる地点は最大 400 件です。

検索した地点周辺の駐車場を探す

検索した地点の周辺にある駐車場を探し、駐車場を目的地として設定できます。検索結果地点から半径 800m 以内にある駐車場を最大 10 件まで探します。

1 **地点を検索（P.37）▶ 周辺駐車場**

2 **駐車場を選択**

3 **案内開始**

MEMO

駐車場キーをタッチすると、検索結果画面に戻ります。

検索した地点の情報を確認する

検索した地点の施設情報を表示します。
検索した施設の種類によって、表示される画面は異なります。

1 **地点を検索（P.37）▶ 情報**

施設情報画面が表示されます。

SA/PA の場合

SA/PA 以外の場合

地図表示：
検索結果画面に戻ります。

QR コード：
施設情報が含まれた QR コードが表示されます。携帯電話で QR コードを読み取ると、施設情報が確認できます。

電話する：
施設に電話番号が登録されている場合に表示されます。Bluetooth 対応携帯電話を本機に接続していると、タッチして電話をかけられます。

MEMO

- 施設に情報がない場合、情報 は選択できません。
- 「QR コード」をタッチすると、画面に QR コードと 縮小 が表示されます。QR コードの情報量が多く、表示できないときに 縮小 をタッチすると、正しく表示することができます。

走行するルートを設定する

目的地を設定したら、走行するルートを決めます。条件の異なるルートを比較したり、経由地を追加することもできます。
この操作はルート探索結果画面から行います。この画面を表示したまましばらく操作をしないと、自動的にルート案内が開始します。

地点を検索（P.37）▶▶

ルートを選ぶ ▶▶

ルート探索結果画面

※走行中は選択できる項目が限定されます。

現在の条件でルートを設定する

現在設定されている条件のまま、ルートを設定して案内を開始します。

1 地点を検索（P.37）▶ ルートを選ぶ

2 案内開始

現在の条件でルートが設定されます。

MEMO

- 案内開始 をタッチしなくても、ルート探索結果画面を表示して何も操作しないまましばらくすると、自動的に現在の条件でルート案内が開始します。
- 設定したルートに冬季規制道路がある場合は、ルート案内がはじまる前にお知らせ画面が表示されます。

異なる条件のルートから選択する

ルート探索時には、地図上に５つのルートが表示され、現在の探索条件のルートが明るい色で表示されます。
異なる条件で探索された５つのルートから、お好みのルートを選択できます。

MEMO

経由地、または高速道路出入り口の指定がある場合は、この操作は行えません。

1 地点を検索（P.37）▶ ルートを選ぶ

2 他のルートを選ぶ

ルート選択画面が表示されます。

3 お好みのルートを選択 ▶ 決定

有料優先：
有料道路を優先的に使用し、目的地までの所要時間が短くなるルートです。

有料優先（別ルート）：
「有料優先」に対して、他の有料道路（別ルート）を探索します。
「有料優先」のルートと同じになる場合があります。

一般優先：
一般道路を優先的に使用し、目的地までの所要時間が短くなるルートです。

一般優先（別ルート）：
「一般優先」に対して、他の一般道路（別ルート）を探索します。
「一般優先」のルートと同じになる場合があります。

距離優先：
一般道路を優先的に使用し、目的地までの距離が短くなるルートです。渋滞情報は考慮しませんが、規制情報は考慮します。

ルートの確認・登録をする

現在のルートの情報を確認したり、登録ルートとして本機に登録することができます。

1 地点を検索（P.37）▶ ルートを選ぶ

2 ルートの確認・登録

ルート確認・登録画面が表示されます。
この画面から、ルート情報の確認やルートの登録ができます。

ルート情報：
ルート上の情報を表示します（P.68）。

現在のルートを登録：
現在のルートを本機に登録します（P.69）。

地図スクロール：
地図をスクロールしてルートを確認します（P.69）。

行き先を追加する

ルート上に新しく行き先を追加します。追加した地点は、目的地や経由地に設定できます。

MEMO
経由地が５つ設定されている場合は追加できません。

1 地点を検索（P.37）▶ ルートを選ぶ

2 行き先を追加

3 行き先を検索（P.37）

4 ここに決定する

この画面からは、以下の操作が行えます。

ここに決定する：
検索した地点を確定し、手順 5 に進みます。

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行います。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示します(P.53)。

ここを登録：
検索した地点を本機に登録します。

5 ここに追加

選択した位置に地点が追加されます。

有料道路の出入り口を選択する

使用する有料道路の出入り口をリストから選択できます。

1 地点を検索（P.37）▶ ルートを選ぶ

2 入り口施設名称、または出口施設名称を選択

入り口施設名称　　出口施設名称

選択した出入り口の前後 3 つまでの出入り口と、その間で分岐・合流する有料道が変更対象となります。

MEMO

「有料道」と表示されている入り口施設名称、出口施設名称はタッチすることができません。

3 変更する出入り口の名称を選択

「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、以下のような画面が表示されます。同様に、変更する出入り口を選択してください。

入り口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わり、ルートが設定されます。

検索した地点を確認・設定する
走行するルートを設定する
設定済みのルートを再探索する
目的地・経由地を編集する
設定したルートを確認する
その他
ルート案内中の地図画面
ルート案内中の案内表示
ルート案内中の音声案内

設定済みのルートを再探索する

ルートメニュー画面では、一度設定したルートを条件を変更するなどして手動で再探索することができます。また、渋滞を迂回してルートを探索することもできます。

ルートメニュー画面

※走行中は選択できる項目が限定されます。

設定した条件で再探索する

ルート設定時に探索された 5 つのルート(P.59)をすべて再探索します。

1 MENU ▶ ルート

2 再探索

ルートを再探索します。

MEMO

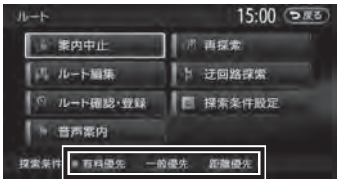
- 立寄地 (P.45) 設定時にこの操作をすると、立寄地は消去されます。
- 経由地、または有料道路の出入り口が設定されている場合は、1 ルートのみ探索します。
- 有料道路の出入り口設定時は、設定を継続するか確認するメッセージが表示されます。

探索条件を変更して再探索する

探索条件を選択して、ルートを再探索します。
高速道路を走行していて、途中で一般道に降りたくなった場合などに便利な機能です。

1 MENU ▶ ルート

2 **希望の探索条件を選択**



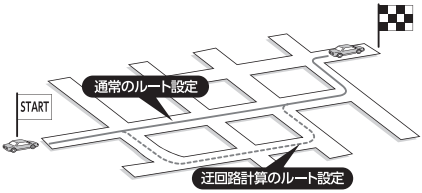
MEMO

- 探索条件は前回の設定が保存されています。
- 探索条件について詳しくは P.59 を参照ください。

選択した探索条件で、ルートを再探索します。

迂回ルートを再探索する

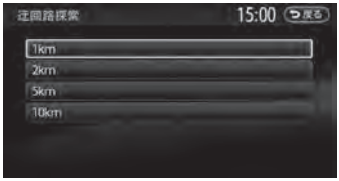
渋滞など、避けたい場所を迂回したルートを再探索できます。



1 MENU ▶ ルート

2 迂回路探索

3 迂回ルートを設定する、現在地からの距離を選択



迂回するルートが再探索されます。

MEMO

迂回ルートが見つからない場合もあります。

検索した地点を確認・設定する
走行するルートを設定する
設定済みのルートを再探索する
目的地・経由地を編集する
設定したルートを確認する
その他
ルート案内中の地図画面
ルート案内中の案内表示
ルート案内中の音声案内

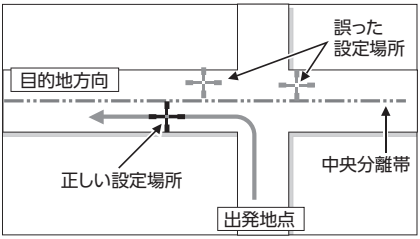
目的地・経由地を編集する

目的地・経由地設定時のご注意

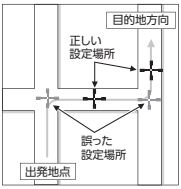
ルートの途中で寄り道をしたいときなど、ルートに経由地を 5 つまで設定できます。設定された順番に経由地を通り、目的地に向かうルートが計算されます。また、目的地・経由地の位置を修正することもできます。
目的地・経由地を設定してルートを変える際には、以下のことにご注意ください。

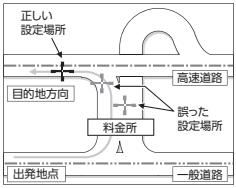
1 目的地・経由地は、国道・主要地方道路・都道府県道路・主要一般道路・高速道路・有料道路に設定してください。

2 上下線や一方通行路に目的地・経由地を設定するときは、車線を正確に設定してください。

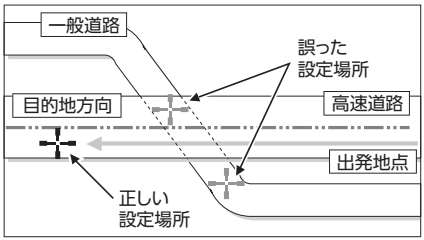


3 交差点やインターチェンジなどに目的地・経由地を設定しないでください。交差点やインターチェンジ付近に目的地・経由地を設定したい場合は、目的地方向に少し離れた道路上に設定してください。





4 高速道路と一般道路が交差している場所や、高速道路が一般道路上に高架になっている道路には、目的地・経由地を設定しないでください。

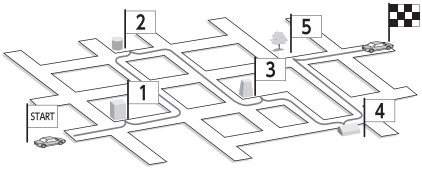


MEMO

設定した目的地・経由地を通過しないで先に進んだ場合、通過しなかった目的地・経由地に向かって、ルートが自動的に設定されることがあります。

経由地を追加する

経由地は最大 5 つまで設定できます。現在設定されている目的地よりも後ろの位置に地点を追加すると、その場所が目的地として設定されます。



1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 経由地を追加する位置の ここに追加

4 地点を検索（P.37）

5 ここに決定する

この画面からは、以下の操作が行えます。

ここに決定する：
検索した地点を確定し、手順 6 に進みます。

位置を修正：
地図をスクロールして、検索した地点の位置調整を行います。

情報を見る：
検索した地点の施設情報を表示します (P.53)。

ここを登録：
検索した地点を本機に登録します。

6 探索開始

経由地が追加され、新しいルートが設定されます。

目的地・経由地の位置を修正する

ルートに設定した目的地や経由地の位置を、地図をスクロールして変えられます。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 位置を調整したい地点を選択

4 位置を修正

5 位置を修正 ▶ 決定

6 探索開始

目的地、または経由地の位置が調整され、ルートが設定されます。

検索した地点を確認・設定する
走行するルートを設定する
設定済みのルートを再探索する
目的地・経由地を編集する
設定したルートを確認する
その他
ルート案内中の地図画面
ルート案内中の案内表示
ルート案内中の音声案内

目的地・経由地の順番を並べ替える

経由地を設定した場合、後から順番を並べ替えられます。

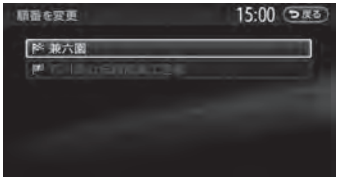
1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **順番を変えたい地点を選択**

4 順番を変更

5 **移動する位置を選択**



6 探索開始

目的地、または経由地の順番が変わり、新しいルートが設定されます。

目的地・経由地を消去する

設定した目的地・経由地をルートから消去します。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **消去したい地点を選択**

4 消去 ▶ はい

5 探索開始

選択した目的地、または経由地が消去され、新しいルートが設定されます。

MEMO

目的地を消去した場合は、最後の経由地が目的地に変わります。

区間ごとに探索条件を設定する

現在地～経由地～目的地間で、区間ごとに探索条件を設定できます。

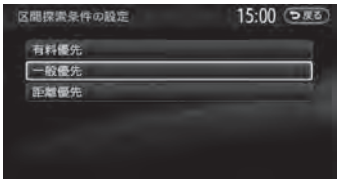
1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 行き先の追加・修正

3 **探索条件を設定したい区間の探索条件キーを選択**

探索条件キー

4 **希望の探索条件を選択**



MEMO

探索条件について詳しくは、P.59を参照ください。

5 探索開始

選択した探索条件で、ルートが設定されます。

MEMO

再探索を行うと、探索条件の設定は解除されます。

有料道路の出入り口を変更する

設定したルート上の有料道路の出入り口を、リストから選択して変更できます。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート編集 ▶ 有料区間の修正

3 入り口を変更 、または 出口を変更

MEMO

入口ICを元に戻す 、または
出口ICを元に戻す をタッチすると、指定した IC を解除します。

4 **変更する出入り口の名称を選択**

「分岐・合流」を表す道路名をタッチした場合は、以下の画面が表示されます。同様に、変更する出入り口を選択してください。

ルート探索結果画面に戻り、入り口施設名称、または出口施設名称の表示が切り替わります。

MEMO

選択した出入り口がスマート IC の場合は、確認画面が表示されます。はい をタッチすると、スマート IC を考慮したルートが設定され、いいえ をタッチすると、選択がキャンセルされます。

スマート IC とは

スマート IC とは、高速道路のサービスエリアやパーキングエリアなどから一般道路に出入りできる ETC 専用のインターチェンジです。
本機では、利用できるスマート IC を考慮してルート設定を行います。

MEMO

- スマート IC は、ETC ユニットを搭載した車両のみご利用できます。
- スマート IC の中には、社会実験として実施されている箇所があります。そのようなスマート IC では、対象車種、出入り方向などに制約がありますが、それらを考慮したルート設定は行っていません。ご利用の際はご注意ください。

設定したルートを確認する

走行する前に設定したルートを確認したり、音声を設定できます。

MEMO

走行中にルートの確認はできません。必ず車を安全なところに停車して操作してください。

ルート上の情報を見る

ルート上の道路の種類や走行距離、通行料金、目的地への到着予想時刻などを確認することができます。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 ルート情報

ルート情報画面が表示されます。

MEMO

現在走行中の道路の情報は表示されませんので、各道路ごとの走行距離の合計と、目的地までの走行距離とは一致しません。

ルートをシミュレーション走行する

画面上で、ルートを走行する様子をシミュレーションして確認します。

1 MENU ▶ ルート

2 ルート確認・登録

3 ルートシミュレーション

ルートシミュレーションが開始されます。

▶：
ルートシミュレーションを再生します。

⏸：
ルートシミュレーションを一時停止します。

■：
ルートシミュレーションを中止します。

MEMO

- ルートシミュレーション中にも、詳細 広域 で地図の縮尺を変えることができます。
- ルートシミュレーション実行中に、以下の操作を行うと、シミュレーションは停止します。
  - ハードボタンの操作
  - 電話を着信
  - カメラ画面を表示
  - 走行を開始
- ルート探索結果画面から ルートの確認・登録 をタッチした場合は、ルートシミュレーションは操作できません。

ルートを登録する

現在のルートを本機に登録します。

1 MENU ▶ ルート
2 ルート確認・登録
3 現在のルートを登録 ▶ はい

本機の登録ルートに登録されます。

MEMO

- 本機に登録できるルートは 5 件までです。
- 本機能は、探索されたルートそのものを登録するものではなく、経由地・目的地・探索条件の組み合わせをセットで登録するものです。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録を行ったときのルートとは異なる場合があります。

ルート上の地図をスクロールする

地図をスクロールしてルートを確認します。

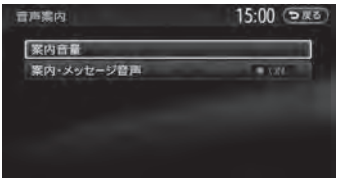
1 MENU ▶ ルート
2 ルート確認・登録
3 地図スクロール

カーソルの位置を中心にして、全画面地図が表示されます。

ルート案内の音量を確認・設定する

ルート案内時の音量や、音声出力の ON/OFF を切り替えることができます。

1 MENU ▶ ルート
2 音声案内
3 案内音量



4 ＋ － で音量を調整

通常走行時と高速走行時とに分けて設定できます。

MEMO

この設定は、ナビゲーション設定の「**ルート案内の設定**」(P.98) の「案内音量」と連動しています。

ルート案内時の音声出力を切り替える

音声案内などのナビゲーション音声を出力するかしないかを選択できます。

1 MENU ▶ ルート
2 音声案内
3 案内・メッセージ音声

MEMO

この設定は、ナビゲーション設定の「**ルート案内の設定**」(P.98) の「案内・メッセージ音声」と連動しています。

検索した地点を確認・設定する
走行するルートを設定する
設定済みのルートを再探索する
目的地・経由地を編集する
設定したルートを確認する
その他
ルート案内中の地図画面
ルート案内中の案内表示
ルート案内中の音声案内

その他

ルート案内を中止する

1 MENU ▶ ルート

2 案内中止 ▶ はい

ルート案内が中止されます。

MEMO

ルート案内を再開したい場合は MENU ▶ ルート ▶ 案内再開 をタッチしてください。

目的地を消去する

目的地を消去すると、経由地も同時に消去されます。

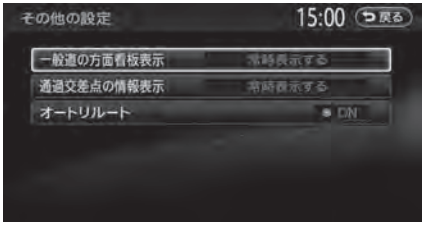
1 MENU ▶ 目的地

2 目的地消去 ▶ はい

目的地が消去され、ルート案内が中止されます。

オートリルートについて

オートリルートは、ルート案内中に新しい最適ルートが見つかった場合や、ルートを外れてしまった場合に、自動的に新しいルートに切り替えて案内を再開する機能です。オートリルート機能を利用しない場合は、「ルート案内の設定」で「オートリルート」を OFF に設定してください (P.99)。



オートリルートは、以下の場合に行われます。

●お車がルートを外れている場合

お車がルートから外れて一定距離以上走行しているときに、自車位置から目的地までのルートを自動的に再設定します。

● ルート上を走行中に最適なルートが探索された場合

渋滞や規制など、ルート上の交通情報の変化に対して自動的に最適なルートを設定します。

この探索には以下の設定が必要な場合があります。

- リアルタイム交通情報を考慮 (P.103)：ON
- 時間規制道路 (P.103)：規制に従う（推奨）

ルート案内中の地図画面

ルート案内中は、地図上に渋滞情報や案内地点、案内ルートなど、さまざまな情報がわかりやすく表示されます。

⚠ 警告

- **安全のため、運転者は走行中に操作しない**
  前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。
- **実際の交通規制にしたがって走行する**
  ナビゲーションによるルート計算では、道路の状況やナビゲーションシステムの精度により、不適切な案内をすることがあります。必ず実際の交通規制にしたがって走行してください。

❶ 目的地情報キー
自車位置から目的地までのルート距離と到着予想時間※1が表示されます。
ルートを外れて走行している場合は、目的地までの直線距離が表示されます。
タッチすると目的地周辺の地図が表示されます。目的地の位置が正確でない場合は微調整ができます。

❷ 音声案内地点
音声で案内される地点です。
通常道路・細街路での右左折を案内します。

❸ 目的地方向表示
目的地までの方向を直線で示しています。目的地方向表示は地図表示変更メニュー「その他設定」の「目的地方向表示」で表示／非表示を切り替えられます (P.33)。

❹ 誘導ルート
目的地までの走行道路です。
経路色：黄色（一般道路）、黄緑色（有料道路）、暗黄色（細街路）

❺ 軌跡
車が走行した軌跡が軌跡マークで表示されます。軌跡マークは「ナビゲーション設定」の「軌跡の表示」で表示／非表示を切り替えられます (P.97)。

※1 **「自動計算」(P.101)** が「OFF」に設定されている場合、到着予想時刻は **「到着予想時刻の速度設定」(P.99)** で定めた平均速度で計算され、渋滞情報は考慮されません。

ルート案内中の案内表示

交差点手前で出る案内表示

交差点や都市高速道路入り口の約 300m 手前で、交差点が拡大して表示されます。
交差点によっては、実際の交差点に差し掛かったときのイラストが表示される場合があります。

MEMO

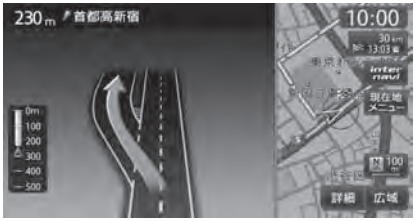
一部の交差点では、実際の景色に似たイラストが表示されます。

交差点の手前

都市高速道路の手前※1

複雑交差点の手前

側道分岐点の手前※2



レーン表示※3

※1 **「拡大図設定」（P.98）**の「高速入口の画像表示」が ON の場合に表示されます。
※2 表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。
※3 交差点の直前では、レーンの進行方向を示すレーンガイドが表示されます。交差点名とともに、進入すべきレーンが黄色で表示されます。

高速道路での案内表示

都市高速道路の入り口※1

入り口の名称と通行車線が表示されます。

都市高速道路の出口※2

出口の名称と通行車線が表示されます。

高速道路の分岐点※2

分岐点名、分岐点までの距離、通行車線が表示されます。

高速道路走行中

高速道路内の情報や到着予想時刻、料金が表示されます。

※1 **「拡大図設定」(P.98)** の「高速入口の画像表示」が ON の場合に表示されます。
※2 **「拡大図設定」(P.98)** の「高速分岐の画像表示」が ON の場合に表示されます。

■ デフォルメ図

以下の分岐点の手前では、道路形状をデフォルメ化した拡大図が表示されます。

- 側道分岐点
- 高速道路・有料道路の 3 分岐以内の分岐点
- 画像がない場合の高速道路の分岐点

デフォルメ図には、通行車線が表示されます。
※表示される拡大図はイメージです。実際の道路とは車線数や分岐形状などが異なる場合があります。

検索した地点を確認・設定する
走行するルートを設定する
設定済みのルートを再探索する
目的地・経由地を編集する
設定したルートを確認する
その他
ルート案内中の地図画面
ルート案内中の案内表示
ルート案内中の音声案内

ETC レーンガイドでの案内表示

■ ETC レーンガイド表示

- 本機と連動する別売の ETC が接続状態であり、かつ、ETC カードが挿入されているとき「黄色矢印」を ETC レーン側に表示、それ以外の場合は、矢印は、一般側に表示します。

	ETC 利用不可時	ETC 利用可能時※
料金所付近		
ハイウェイモード		
拡大図		

※ ETC 接続中、かつ、ETC カードが挿入されているとき

MEMO

ETC レーンの整備上実際のレーンと異なる事があります。実際のレーン状況を確認のうえ走行・通過してください。

細街路での表示

出発ポイントや目的地周辺の道幅が 5.5m 以下の細街路でも、目的地までルート案内されます。

⚠ 警告

- **出発地、目的地周辺では細街路や地図データ上の幅 3.3 ～ 5.5m の一般道路が暗い黄色の線でルート表示されます。また、これらのルートは交通規制（一方通行や右左折禁止など）の情報がない道路を含みますので、必ず実際の交通規制や道路標識などにしたがって走行してください。**

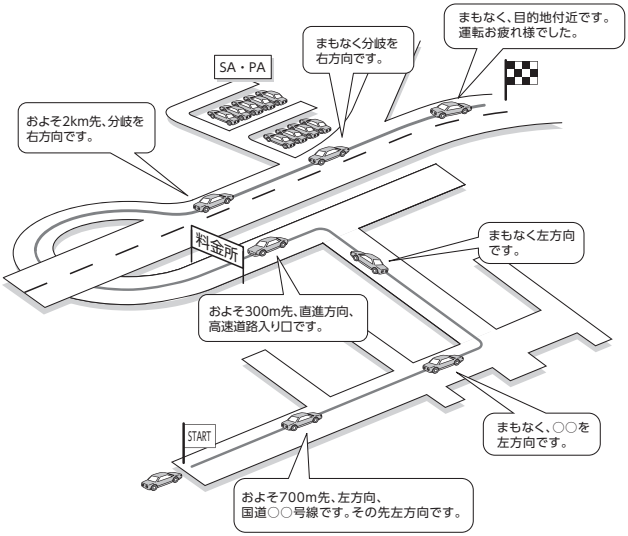
MEMO

200m および 100m スケールで停止中、細街路走行中（50m スケールでは、細街路以外の道路走行中も表示されます）は細街路を表示します。200m スケールで表示されるのは一部の細街路のみです。走行中に地図をスクロールしているときは、細街路表示はされません。

ルート案内中の音声案内

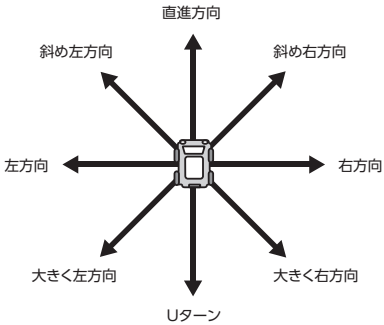
案内地点が近づくと、音声で案内されます。はじめて行く場所でも安心して運転に集中できます。

運転中の音声案内例



進行方向の案内について

進行方向の音声案内は、図のとおり 8 方向で案内されます。



ナビの情報と設定

本機では、FM VICS 情報やビーコン VICS 情報、メンテナンス情報など、ドライブに便利な情報を入手することができます。

VICS 情報を利用する …… 78
FM VICS 情報を利用する …… 78
ビーコン VICS 情報を利用する …… 81
VICS 情報の設定をする …… 83
ETC 情報を利用する …… 84
ETC 情報とは …… 84
ETC 情報の画面表示 …… 84
料金所通過時の案内 …… 84
警告の案内 …… 84
ETC カード挿入／排出時の案内 …… 85
セットアップ時の案内 …… 85
最新の利用履歴を読み上げる …… 85
ETC カードの有効期限を表示する …… 85
ETC 情報の利用履歴を見る …… 85
ETC の車載器情報を表示する …… 85
ETC 料金を割り勘にする …… 86
ETC の設定をする …… 87
その他の情報を利用する …… 88
GPS から現在地の情報を取得する …… 88
本機の情報を見る …… 88
メンテナンス情報を利用する …… 88
販売店情報を登録する …… 90
ラジオの交通情報を受信する …… 90
登録データを編集する …… 91
よく行く地点を登録する …… 91
よく行く地点を SD カードにバックアップする …… 93
よく行くルートを登録する …… 94
よく使うジャンルを登録する（お好みアイコンリスト） …… 95
目的地の履歴を消去する …… 95
地図上のアイコンの設定をする …… 96
地図上に表示されるアイコンの設定をする …… 96
検索アイコンの表示／消去をする …… 96
走行軌跡の設定をする …… 97
ルートの設定をする …… 98
ルート案内の設定をする …… 98
ルート探索条件の設定をする …… 102
画面の設定をする …… 104
ナビゲーション画面の画質を調整する …… 104
目的地メニュー画面をカスタマイズする …… 104
オープニング画面の設定をする …… 105
画面の表示を消す／時計画面にする …… 105
時計の表示を設定する …… 106
選択項目をハイライト表示する …… 106
地図の設定をする …… 107
地図上に表示する情報を設定する …… 107
現在地を修正する …… 107
その他のナビの設定をする …… 108
表示言語・音声言語を変える …… 108
車両の設定をする …… 109

VICS 情報を利用する

FM VICS 情報を利用する

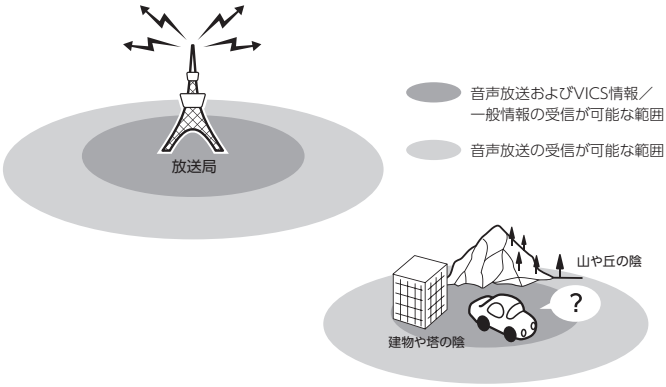
VICS（Vehicle Information and Communication System）とは、日本道路交通情報センターからの情報をもとにした道路情報サービスです。
本機は、内蔵の FM 多重受信機で FM 文字多重放送を受信し、広域の交通情報を表示します。渋滞情報、所要時間、事故情報、道路工事情報などが数分ごとに更新されます。

MEMO

表示される FM VICS 情報は、あくまでも参考です。実際の交通規制や道路状況を確認してください。

VICS 情報／一般情報が取得できないときは

VICS 情報／一般情報は、音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。また、すべての FM ラジオ放送局で VICS 情報、一般情報を放送しているわけではないので、放送状況を確認してください。



VICS 情報画面の見かた

⚠ 警告

安全のため、運転者は走行中に操作しない
前方不注意になり、交通事故の原因となるおそれがあります。

VICS 情報が表示された画面は以下のようになります。
画面に表示されるアイコンや渋滞情報を示す線は、「VICS の設定」**(P.83)** で表示／非表示を設定できます。
また、ルート上に渋滞・規制情報が存在する場合は、それぞれについて音声案内を行います。

MEMO

FM VICS 情報の表示に関する注意

本機を購入してから数年経過するとレベル 3（地域情報）の情報が表示されない場所が増えます。

この現象は、地図データを更新することで改善されます。地図データ更新サービスにつきましてはお買い求めの Honda 販売店にお問い合わせください。

VICS アイコン表示（P.275）
1km 以下のスケールで表示

受信マーク表示
受信済みの VICS 情報の提供時刻を表示します。

渋滞情報を線で表示
(1km 以下のスケールで表示)

赤色	：渋滞
オレンジ色	：混雑
黄色	：規制
水色	：順調

200m 以下のスケールでは、渋滞の方向を示す矢印も表示されます。

地図をスクロールしてカーソルを VICS 情報のランドマークに合わせると、VICS アイコン情報が表示されます。VICS アイコン情報は、**「地図上に表示する情報を設定する」(P.107)** で表示／非表示を設定できます。

VICS アイコン情報
カーソルの置かれたアイコンの情報が表示されます。(2D 地図のみ)

FM VICS 情報を見る

ここでは、図形情報で渋滞情報を表示させる手順を例として、NHK-FM 受信時の操作を説明します。

1 MENU ▶ 情報 ▶ FM多重

2 **見たい情報を選択**

図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認します。

文字情報：
渋滞情報などを表示します。
※地域によっては、情報が発信されない場合があります。

所要時間：
各地への所要時間を見ます。

緊急情報：
FM VICS 情報から受信した緊急情報を見ます。

3 **見たい項目の番号を選択**

FM VICS 情報が表示されます。

MEMO

- 民放の FM 文字多重放送を見るには、ラジオ画面の設定メニューから操作してください (P.139)。
- 地図の大きさを詳細に変えているときは、各 FM VICS 情報が表示されない場合があります。
- FM VICS 情報が更新されていない場合は、更新前に受信した情報が表示されます。
- エンジンスイッチを切っても、VICS 情報は保持されます。
- FM 多重放送の受信地域を変更することもできます (P.83)。

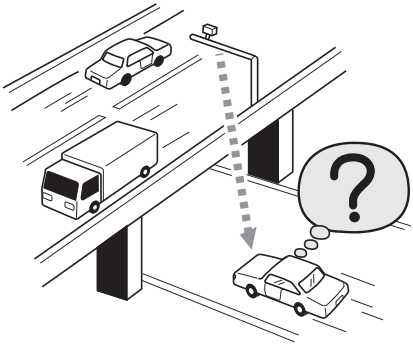
ビーコン VICS 情報を利用する

別売の VICS 光・電波ビーコンユニット接続時に受信できる情報です。VICS 光・電波ビーコンユニットから受信した最新の簡易図形情報や災害発生時の緊急情報は、自動的に表示され、しばらくすると消えます。また、音声でもお知らせします。
緊急情報が消えた後に、再度最新 VICS 情報を表示させるには、手動で表示させます（P.82）。
ビーコン VICS 情報は、車の走行状態や状況により、受信できなかったり、誤受信することがあります。

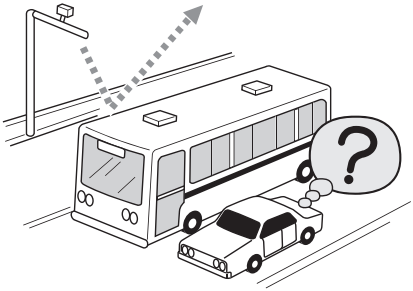
ビーコン情報受信時のご注意

■ 一般道路走行中には

- 高速道路と交差する道路や、近くを平行して走る道路などでは、高速道路の VICS 情報を受信することがあります。

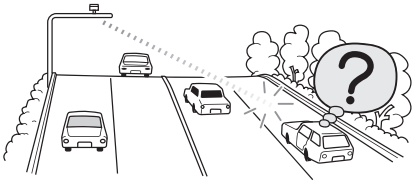


- 道路に設置されている VICS 光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS 情報を受信できないことがあります。
- VICS 光・電波ビーコン受信状況により、VICS 情報が受信しにくかったり、対向車線の VICS 情報を受信することがあります。



■ 高速道路走行中には

- トンネル内や幅の広い道路では、VICS 情報を受信できないことがあります。
- 道路に設置されている VICS 光・電波ビーコン発信機との間に大型車両などがいる場合には、VICS 情報を受信できないことがあります。
- 豪雪や豪雨時などには、VICS 情報を受信しにくいことがあります。



■ VICS 光･電波ビーコンアンテナ（別売）の取り扱いについて

- 別売の VICS 光・電波ビーコンアンテナの表面に、シールなどを貼らないでください。

ビーコン VICS 情報を見る

ここでは、ビーコン VICS 情報の図形情報を見る方法を例として説明します。

1 MENU ▶ 情報 ▶ ビーコン情報

2 見たい情報を選択

図形情報：
渋滞情報を図形表示で確認します。

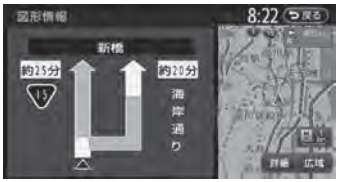
文字情報：
渋滞情報などを表示します。

所要時間：
各地への所要時間を見ます。

緊急、注意警戒情報：
ビーコン情報から受信した緊急情報／注意警戒情報を見ます。

3 見たい項目の番号を選択

ビーコン VICS 情報が表示されます。



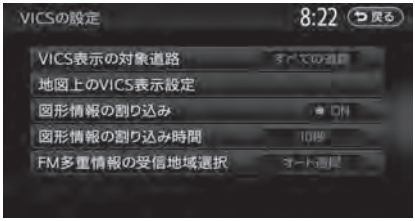
MEMO

- 図形情報などを受信すると、自動的に割り込み表示されます。この設定は変更することができます。
- エンジンスイッチを切っても、ビーコン情報は保持されます。

VICS 情報の設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 VICSの設定



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
VICS 表示の対象道路 (*)	VICS 情報表示の対象となる道路を選択する 設定した内容は、ビーコン VICS にも適用されます。	すべての道路※／有料道／一般道／表示しない
地図上の VICS 表示設定 (*)	表示する VICS 情報の項目を選択する 設定した内容は、ビーコン VICS にも適用されます。 ・渋滞・混雑 ・順調 ・事故・規制情報 ・駐車場情報 ・SA・PA の駐車場情報	 ON※／ OFF ON ／ OFF※ ON※／ OFF ON※／ OFF ON※／ OFF
図形情報の割込み (**)	VICS 光・電波ビーコンから受信する図形情報を、画面に割り込み表示させるかどうかを設定する	ON※／ OFF
図形情報の割込み時間 (**)	VICS 光・電波ビーコンから受信する図形情報を、画面に割り込み表示させる時間を設定する	5 秒／ 10 秒※／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒
FM 多重情報の受信地域選択	FM 多重情報の受信地域の設定を行う ・ オート選局 をタッチすると、自車位置から最も適した地域を自動的に受信します。 ・ 都道府県選択 をタッチすると、都道府県を選択できます。	オート選局※／都道府県選択／履歴 1 ～ 3

(*) 設定した内容はビーコン VICS 情報にも適用されます。
(**) 別売の VICS 光・電波ビーコンユニット接続時のみ設定できます。

MEMO

ビーコン情報を利用するには、別売の VICS 光・電波ビーコンユニットを接続します。

ETC 情報を利用する

ETC 情報とは

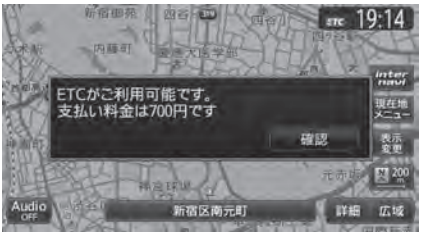
ETC 情報とは、本機と連動する別売の ETC ユニットを接続すると表示される、ETC の料金情報や予告案内、警告情報などです。料金所ゲートを通過するときに、ETC 情報を受信し、画面表示と音声で案内されます。

MEMO

- 料金情報の案内や履歴の表示を行うには、ETC ユニットに ETC カードがセットされている必要があります。ETC ユニットについて詳しくは、ETC ユニット付属の取扱説明書を参照ください。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます
- ETC の車載器管理番号などを表示させることもできます **(P.85)**。

ETC 情報の画面表示

ETC ユニットからの料金情報を受信すると、料金案内が表示されます。表示内容はナビゲーション画面、オーディオ画面ともに同様です。



料金所通過時の案内

ゲート通過可否の案内

ETC ゲートを通行できるかどうかを案内します。

- 「ETC がご利用可能です」
- 「ETC がご利用できません」

料金案内

ETC ゲート通過時に料金が徴収された場合、また料金の払い戻しがあった場合に案内されます。

- 「支払い料金は、xxxx 円です」
- 「払い戻し金額は、xxxx 円です」

予告案内

料金所手前に予告アンテナ／ ETC カード入れ忘れお知らせアンテナが設置されている場合のみ案内されます。

- 「ETC がご利用可能です」
- 「ETC がご利用できません」
- 「ETC カードを確認してください」

警告の案内

ETC カードや ETC ユニットの異常が発生した場合、または ETC カードの有効期限が切れている場合／期限切れが近い場合に案内されます。

- 「ETC カードを確認してください」
  ETC カードが故障、またはカードが ETC カードでないときに案内されます。
- 「ETC に異常が検出されました　販売店に連絡してください」ETC ユニットの異常が発生したときに案内されます。
- 「ETC カードが挿入されていません」
  ETC カードの入れ忘れ警告を「ON」に設定した場合 **(P.87)**、本機起動時に案内されます。
- 「ETC カードの有効期限が切れています　ETC がご利用できません」
  ETC カードの有効期限が切れているとき、起動時と ETC カード挿入時に案内されます。
- 「ETC カードを確認しました　ETC カードの有効期限は **** 年 ** 月です」
  ETC カードの有効期限月の 2 ヶ月前から有効期限まで、起動時と ETC カード挿入時に案内されます。
  (例)　カード有効期限が 2012 年 3 月の場合、警告の開始は 2012 年 1 月 1 日からになります。
- 「ETC カードの有効期限が読み取れませんでした」
  ETC カードから有効期限データが読み出せなかったときに案内されます。

ETC カード挿入／排出時の案内

- 「ETC カードを確認しました」
  ETC カードを挿入して正常に認証されたときに案内されます。
- 「ETC カードの有効期限にご注意ください」
  カード有効期限案内に対応していない ETC ユニットを接続している場合に、起動時と ETC カード挿入時に案内されます。
- 「ETC カードが取り出されました」
  ETC カードを排出したときに案内されます。
- 「ETC カードを挿入してください」
  ETC カード未挿入で「利用履歴」「最新利用日履歴」「精算」をタッチしたときに案内されます。

セットアップ時の案内

- 「ETC ユニットがセットアップされていません」
  ETC ユニット本体がセットアップされていないときに案内されます。
- 「ETC ユニットのセットアップは行われませんでした」
  ETC ユニットのセットアップが正常に行われなかったときに案内されます。
- 「ETC ユニットのセットアップが終了しました」
  ETC ユニットのセットアップが正常に終了したときに案内されます。

最新の利用履歴を読み上げる

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 最新利用履歴の読上げ

最後に課金された ETC の金額が音声で案内されます。

ETC カードの有効期限を表示する

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 カード情報

ETC カードの有効期限（年、月）が表示されます。

ETC 情報の利用履歴を見る

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 利用履歴 または 最新利用日履歴

ETC の利用履歴が表示されます。

MEMO

- ETC 情報の履歴は、ETC カードが差し込まれている場合に、新しい利用履歴から最大 100 件分を確認できます。
- 最新利用日履歴を選択した場合は、最新日に利用した分だけ表示されます。
- 一度も使用したことのない新しいカードの場合は、「情報がありません」と表示されます。

ETC の車載器情報を表示する

ETC の車載器情報を表示させることができます。

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 車載器情報

ETC の車載器管理番号、型式登録番号、車載器型式が表示されます。

VICS 情報を利用する
ETC 情報を利用する
その他の情報を利用する
登録データを編集する
地図上のアイコンの設定をする
ルートの設定をする
画面の設定をする
地図の設定をする
その他のナビの設定をする

ETC 料金を割り勘にする

ETC 情報の履歴の中から履歴を指定して、希望の人数で割った金額を算出できます。また、駐車料金などの調整金額を含めて算出することもできます。

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 精算

3 精算したい履歴を選択 ▶ 決定

MEMO

- 日+ をタッチするごとに 1 日分ずつの履歴が選択されます。
- 日− をタッチするごとに選択した履歴を 1 日分ずつ解除します。

4 ＋ または − で人数を調整

1 人あたりの支払い金額が表示されます。

5 ETC 以外にかかった料金がある場合は、駐車料金などを入力

6 金額を入力 ▶ 決定

1 人あたりの支払い金額が表示されます。

MEMO

- ETC 履歴の IC ランプ情報が不明の場合、または料金所が新規追加され情報が不足している場合は、「情報なし」と表示されます。
- 計算可能な金額は 100 万円未満です。100 万円以上になると「料金計算の範囲を超えています」と表示されます。

ETC の設定をする

別売の ETC ユニット接続時の設定です。

1 MENU ▶ 情報 ▶ ETC情報

2 ETC設定

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
カード挿入アイコン表示	ETC カード挿入時に、画面右上に ETC アイコンを表示させるかどうかを設定する	ON※／OFF
本体ブザー音	ETC ユニットのブザー音を鳴らすかどうかを設定する	ON※／OFF
音声案内	本機からの音声案内を出力するかどうかを設定する	ON※／OFF
カード入れ忘れ警告	ETC カードを入れ忘れたときに案内させるかどうかを設定する	ON※／OFF
カード有効期限案内	ETC カードの有効期限に関する情報を音声と表示で通知するかどうかを設定する • 有効期限月の 2 ヶ月前から有効期限切れまでに、有効期限についての注意が通知されます。 • 有効期限が切れると、有効期限切れにより ETC を利用できないことが通知されます。	ON※／OFF
表示割り込み時間	ETC 情報を割り込み表示する時間を設定する	しない、5 秒※、10 秒、15 秒、30 秒

MEMO

- ETC ユニットが「有効期限通知機能」に対応していないモデルでは、ETC カードの有効期限に関する警告は表示されません。
- 以下の方法でも設定することができます。
  MENU ▶ 設定 ▶ その他設定 ▶ ETC設定

その他の情報を利用する

GPS から現在地の情報を取得する

GPS から現在地の情報を取得します。

1 MENU ▶ 情報

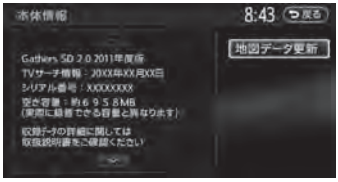
2 GPS現在地情報

GPS の測位状態、自車位置の緯度・経度、測位衛星・待機衛星それぞれの数が表示されます。

本機の情報を見る

1 MENU ▶ 情報 ▶ 本体情報

本体情報（メモリー情報）画面が表示されます。



本体情報画面には、TV サーチ情報データの最終更新日、シリアル番号、SD カードの空き容量、地図のバージョン情報が表示されます。

メンテナンス情報を利用する

あらかじめ日付や距離を設定しておくことで、車のオイルや消耗品の交換、点検、免許更新などの時期を通知できます。

設定できるメンテナンス項目は、以下のとおりです。各項目に対して、日付、距離、お知らせ設定、交換間隔設定／更新機能を設定できます。

オイル関連：

エンジンオイル、オイルフィルタ、ミッションオイル、ブレーキオイル

タイヤ関連：

空気圧チェック、タイヤローテーション、タイヤ交換

消耗品：

ワイパーブレード、エアクリーナー、クーラント、バッテリー、ブレーキパッド

点検・車検：

車検、定期点検（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

免許証・保険：

免許証更新、自動車保険更新（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

オリジナル 1 ～ 3：

任意の項目を設定できます。（日付とお知らせ設定のみ、設定できます）

MEMO

お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と、実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。

お知らせ設定をする

ここでは、エンジンオイル交換のメンテナンス時期を設定する方法を例として説明します。

1 MENU ▶ 情報 ▶ メンテナンス情報

2 オイル関連

> **MEMO**
> オリジナル1 ～ オリジナル3 をタッチした場合→手順 4 へ

3 エンジンオイル

4 各項目を設定

設定できる項目は以下のとおりです。
設定項目の内容は、メンテナンス項目によって異なります。

お知らせ表示：
メンテナンス時期をお知らせ表示するかどうかを設定します。

お知らせ日：
お知らせする日を設定します。

交換間隔：
1 ヶ月単位でお知らせする交換間隔を設定します。
例：
「交換間隔」を 24 ヶ月に設定し 交換完了 をタッチすると、現在の日付から 24 ヶ月後がお知らせ日に設定されます。お知らせ日に、再度同じ間隔で案内させる場合は、交換完了 をタッチすると、さらに 24 ヶ月後がお知らせ日に設定されます。

お知らせ距離：
お知らせする走行距離を設定します。計測される走行距離と実際の走行距離では誤差が生じる場合があります。

名称：
メンテナンス項目の名前を設定します。手順 2 で オリジナル1 ～ オリジナル3 を選択したときのみ表示されます。

> **MEMO**
> 交換完了 をタッチすると、設定した交換間隔でお知らせ日が更新され、走行距離が 0 に戻ります。

お知らせメッセージを確認する

メンテナンス項目が設定され、設定した年月日や走行距離に達すると、次に本機を起動したときにお知らせのメッセージが表示されます。

1 確認

> **MEMO**
> 後で見る をタッチすると、後からメンテナンス項目を確認できます。**「お知らせ設定をする」(P.89)** の手順 2、3 で ! が表示されている項目がお知らせされた項目です。 交換完了 をタッチすると、! は消えます。

2 お知らせ項目を選択

次のメンテナンス時期を設定します。

> **MEMO**
> お店へ行く をタッチすると、登録した販売店までのルートが設定されます。

VICS 情報を利用する
ETC 情報を利用する
その他の情報を利用する
登録データを編集する
地図上のアイコンの設定をする
ルートの設定をする
画面の設定をする
地図の設定をする
その他のナビの設定をする

販売店情報を登録する

販売店の情報を登録しておくと、メンテナンス情報お知らせ時に販売店へルート案内できます。

1 MENU ▶ 情報 ▶ メンテナンス情報

2 販売店情報

3 販売店登録

4 **登録したい販売店を選ぶ（P.37）**

地域やキーワードなどで、候補を絞り込んだり、現在地から近い順や読み順などの並べ替えができます。

5 決定

6 はい

販売店が登録されます。設定した販売店の名称、電話番号、位置は自動で入力されます。

■ 販売店を登録したら

販売店情報を登録した後の販売店情報画面およびお知らせ項目確認画面には、お店へ行く が表示されます。タッチすると、販売店までの地図とルート選択メニューが表示されます。
ルート選択メニューの 案内開始 をタッチすると、販売店までのルートが設定されます。

MEMO

販売店の名称、電話番号、担当者、位置を編集したい場合は、販売店情報画面で各項目をタッチしてください。

ラジオの交通情報を受信する

1 AUDIO ▶ 交通情報

交通情報を受信します。

周波数を選択する場合は、1620kHz または 1629kHz をタッチします。

MEMO

解除 をタッチすると、交通情報を聞く前に使っていたオーディオに戻ります。

登録データを編集する

よく行く地点を登録する

よく行く地点を 400 件まで登録リストに登録できます。登録した地点は登録リストから呼び出せます。

MEMO

本機の登録リストに登録した地点は、4,500 件まで SD カードに書き出せます。最大 10 グループ（1 グループの最大登録件数は 450 件）保存することができます。

登録リストに登録する

1 登録したい地点を探す（P.37）

2 ここを登録

地点が登録リストに登録されます。

MEMO

- 現在地を登録する場合は、現在地メニュー ▶ ここを登録 をタッチします。
- スクロール先の地点を登録する場合は、地図をスクロール ▶ 決定 ▶ ここを登録 をタッチします。

登録リストを並べ替える

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地点

3 並べ替え

MEMO

新規登録 をタッチすると、地点を探して登録する画面が表示されます。

4 並べ替える種類を選択

登録順：
登録した日付の新しい順に表示します。

読み順：
50 音順に表示します。

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンの順に表示します。

グループ指定：
タッチすると、グループ選択画面が表示されます。並べ替えるグループを選択すると、グループ指定順に表示します。

地点のデータを編集する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地点

3 登録地点を選択

4 編集

5 項目を選択 ▶ 登録地点の内容を編集

地図表示：
地図上のアイコン表示（登録地番号など）を ON/OFF します。

名称：
名称を設定します。名称入力後、決定 をタッチしてください。

ヨミ：
読みを設定します。読みを入力後、決定 をタッチしてください。

アイコン：
登録地点に割り当てるアイコンを設定します。

アラーム音：
車が登録地に近づいたときに鳴るアラーム音を設定します。

アラーム方向：
車が登録地に近づいたときにアラームを鳴らすときの進入方向を設定します。設定した方向から車が近づいたときにアラーム音が鳴ります。方向設定後、決定 をタッチしてください。

アラーム距離：
自車位置とアラームを鳴らす登録地までの距離を設定します。車が設定した距離内まで登録地に近づいたときにアラーム音が鳴ります。

電話番号：
登録地点の電話番号を設定します。電話番号入力後、決定 をタッチしてください。

グループ：
登録地を所属させるグループを選択します。

登録番号：
登録番号を表示、または変更できます。

地点の位置を修正する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録地点

3 登録地点を選択

4 位置を修正

5 地図をスクロールして位置を修正

> **MEMO**
> 微調整 をタッチすると、詳細な修正ができます （P.25）。

6 決定

リストから地点を消去する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録の消去 ▶ 登録地点の消去

3 1件消去

> **MEMO**
> 一括消去 をタッチすると、登録地点をすべて消去します。

4 地点を選択 ▶ はい

選択した地点が登録リストから消去されます。

よく行く地点を SD カードにバックアップする

登録地点を SD カードに書き出す

本機の登録リストから登録地点を選択して、SD カードに書き出すことができます。SD カードに保存できる登録地点の数は、最大 4,500 件です。最大 10 グループ（1 グループの最大登録件数は 450 件）まで登録できます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 バックアップ
4 登録地点を選択 ▶ 決定
5 グループを選択
6 はい

選択した登録地点が SD カードに書き出されます。

MEMO

登録地点の書き出しはバックアップとして保存されます。

登録地点を SD カードから取り込む

SD カード内の登録地点を、本機の登録リストに最大 400 件まで取り込むことができます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 バックアップデータの取り込み
4 グループを選択
5 登録地点を選択 ▶ 決定

選択した地点が登録リストに取り込まれます。

登録地点のグループ名を変更する

SD カード内の登録地点グループの名称を変更することができます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 SDメモリーカード内グループフォルダ名の編集
4 グループを選択
5 名称を入力 ▶ 決定

グループ名が変更されます。

SD カードの登録地点を消去する

SD カード内の登録地点を消去することができます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード
2 登録地点
3 SDメモリーカード内バックアップデータの消去
4 登録地点が所属するグループを選択
5 登録地点を選択 ▶ 決定
6 はい

選択した登録地点が SD カードから消去されます。

VICS 情報を利用する
ETC 情報を利用する
その他の情報を利用する
登録データを編集する
地図上のアイコンの設定をする
ルートの設定をする
画面の設定をする
地図の設定をする
その他のナビの設定をする

よく行くルートを登録する

よく行くルートを 5 件まで本機に登録できます。登録したルートは登録ルートから呼び出せます。

MEMO

本機能は、探索されたルートそのものを登録するものではなく、経由地・目的地・探索条件の組み合わせをセットで登録するものです。そのため、登録ルートを呼び出したときに実際に案内されるルートは、ルート登録を行ったときのルートとは異なる場合があります。

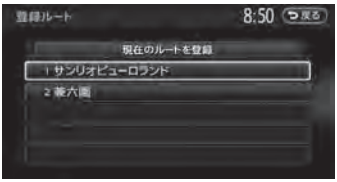
登録ルートに登録する

1 **ルートを設定（P.55）**

2 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

3 登録ルート

4 現在のルートを登録 ▶ はい



現在設定しているルートが本機に登録されます。

登録ルートを編集する

登録済みのルートを編集します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録ルート

3 **編集するルートを選択**

4 **項目を選択 ▶ 登録ルートの内容を編集**

名称変更：
登録ルートの名称を設定します。名称入力後、決定 をタッチします。

現在ルートに入替：
現在設定しているルートを、登録済みのルートに上書きします。

消去：
登録済みのルートを消去します。

5 終了

リストからルートを消去する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション ▶ 登録データの編集・消去

2 登録の消去 ▶ 登録ルートの消去

3 1件消去

MEMO

一括消去 をタッチすると、登録ルートをすべて消去します。

4 **登録ルートを選択 ▶ はい**

選択したルートが、登録ルートリストから消去されます。

よく使うジャンルを登録する（お好みアイコンリスト）

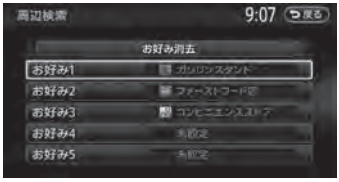
よく使う施設のジャンルを５つまで本機に登録できます。ジャンルを登録しておくと､目的地をジャンルで探すときにすばやく呼び出せて便利です。コンビニやガソリンスタンドは、店名まで指定して登録することもできます。

1 MENU ▶ 目的地 ▶ 他の検索方法

2 周辺検索

3 お好み変更

4 登録したいお好み番号を選択



MEMO

- ジャンルが表示されているお好み番号を選択すると、ジャンルが上書きされます。
- お好み消去 をタッチすると、お好みアイコンリストに登録したジャンルを消去できます。

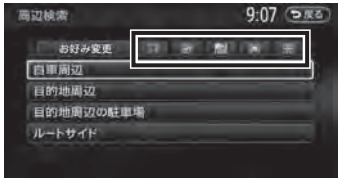
5 ジャンルを選択

6 さらにジャンルを選択

MEMO

- 選択したジャンル内のすべてのジャンルが登録されます。
- 詳細 をタッチすると、店名を設定できます。

よく使うジャンルが登録され、周辺検索メニュー画面に選択したジャンルのアイコンが表示されます。



目的地の履歴を消去する

今まで目的地として設定した地点を消去します。

1 MENU ▶ 設定

2 ナビゲーション

3 登録データの編集・消去

4 登録の消去

5 目的地履歴の消去

最近の行き先の全件消去：
すべての目的地履歴を消去します。

最近の行き先の 1 件消去：
目的地履歴から 1 件ずつ選択して消去します。

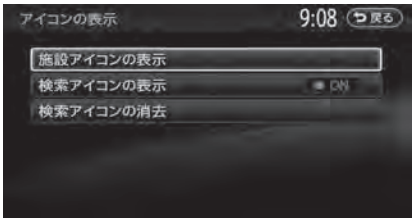
前回出発地の消去：
前回ルート案内した際の出発地点履歴を消去します。

地図上のアイコンの設定をする

地図上に表示されるアイコンの設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 アイコンの表示



設定項目	設定の内容	設定値
施設アイコンの表示	地図上に表示される施設を示すアイコンの種類を選択する • 複数のジャンルを選択できます。 • 詳細 をタッチすると、ジャンル内のブランドまで指定できます。	初期設定では、以下が表示されています。 • Honda Cars • ホンダ（オートテラス店）
検索アイコンの表示	周辺検索（P.43）で探した施設に表示されるアイコンの表示／非表示を切り替える	ON※／ OFF
検索アイコンの消去	検索アイコンの表示を地図上から消去する	—

検索アイコンの表示／消去をする

MEMO

検索アイコンとは、周辺検索（P.43）で検索すると表示される、矢印付きのアイコンを指します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 アイコンの表示

検索アイコンの表示：
検索アイコンの表示／非表示を切り替えます。

検索アイコンの消去：
検索アイコンの表示を地図上から消去することができます。はい にタッチします。

走行軌跡の設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 軌跡の設定

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
軌跡の表示	地図上の軌跡マークの表示／非表示を切り替える	ON※／OFF
軌跡の間隔	走行軌跡のポイントを置く間隔を設定する 選択した間隔ごとにポイントが置かれます。走行軌跡のポイントは、3,000 を超えると古いものから順に消去されます。軌跡の間隔を長く設定すると、長い距離の軌跡を表示できるようになります。	50m ／ 100m ／ 200m※／ 500m
軌跡の消去	走行軌跡の記録（本機への保存情報）を消去する 一度消した走行軌跡は再度表示できません。	—

MEMO

- 車が走行すると、設定された間隔でポイントが置かれます。これを走行の軌跡情報といいます。ポイント数は、3,000 までです。
- 長距離の軌跡情報を使いたい場合は、間隔を広く設定することをおすすめします。
- 軌跡マークの表示例は、P.71 をご参照ください。

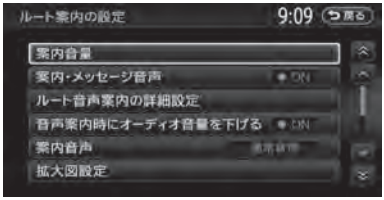
VICS 情報を利用する
ETC 情報を利用する
その他の情報を利用する
登録データを編集する
地図上のアイコンの設定をする
ルートの設定をする
画面の設定をする
地図の設定をする
その他のナビの設定をする

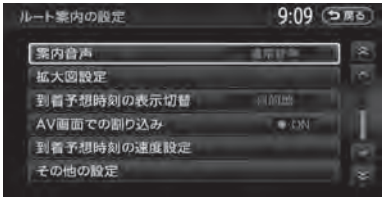
ルートの設定をする

ルート案内の設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート案内の設定





※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
案内音量	音声案内の音量を、通常走行時と高速走行時とに分けて設定する ・走行速度が 80km/h を超えると、高速走行時の音量設定で案内されます。	レベル 1 ～ 16 (通常走行時:レベル 6※、高速走行時：レベル 7※)
案内・メッセージ音声	音声案内などのナビゲーション音声を出力するかしないかを選択する	ON※／ OFF
ルート音声案内の詳細設定	音声案内や案内表示に関する詳細設定を行う ・交差点ガイド設定（P.100） 交差点での音声案内および案内表示を設定する ・レーンガイド ルート案内中の通過交差点に対して、レーン規制に注意する必要がある場合に音声で案内をする ・料金ガイド ・合流ガイド ・踏み切りガイド 踏み切りでの音声案内および案内表示を設定する	— ON※／ OFF ON※／ OFF ON※／ OFF 表示しない／案内中に表示する※
音声案内時にオーディオ音量を下げる	音声案内時、一時的にオーディオの音量を下げる	ON※／ OFF
案内音声	音声案内の言語を選択する	通常音声※／英語／中国語／韓国語
拡大図設定（P.72）	高速入り口と高速分岐において、拡大図を表示するかどうかを、それぞれ選択する ・高速入口の画像表示 ・高速分岐の画像表示	 ON※／ OFF ON※／ OFF
到着予想時刻の表示切替	到着予想時刻を表示する地点を設定する	目的地※／最寄の経由地

設定項目	設定の内容	設定値
AV 画面での割り込み（*）	オーディオ画面表示中の、交差点案内の割り込み表示／非表示を切り替える	ON※／ OFF
到着予想時刻の速度設定	到着予想時間を計算するための基準となる速度を設定する（P.101）	—
その他の設定	ルート案内に関するその他の設定をする ・一般道の方面看板表示／通過交差点の情報表示 一般道の方面看板表示と通過交差点の情報表示をするかどうかを、それぞれ選択する ・オートリルート ルート案内中、ルートを外れてしまったときに、自動的に元のルートに戻るように再設定する	 表示しない／案内中に表示する／常時表示する※ ON※／ OFF

(*)「ON」に設定すると、オーディオ OFF の画面の状態でも、交差点案内は表示されます。

VICS 情報を利用する
ETC 情報を利用する
その他の情報を利用する
登録データを編集する
地図上のアイコンの設定をする
ルートの設定をする
画面の設定をする
地図の設定をする
その他のナビの設定をする

交差点ガイドの設定をする

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート案内の設定

3 ルート音声案内の詳細設定

4 交差点ガイド設定

交差点ガイド設定画面が表示されます。
現在の設定状態が、画面右側の「ジャストガイド」「交差点ガイド」「事前ガイド」に表示されます。

ジャストガイド：
交差点直前で音声案内を行います。初期設定は「ON」です。

ランドマークガイド：
交差点でのランドマーク表示と、ランドマークを含めた音声案内を行います。初期設定は「ON」です。
例：
「ON」の場合
まもなく、○○○（施設名）の手前を右方向です。
「OFF」の場合
まもなく、右方向です。

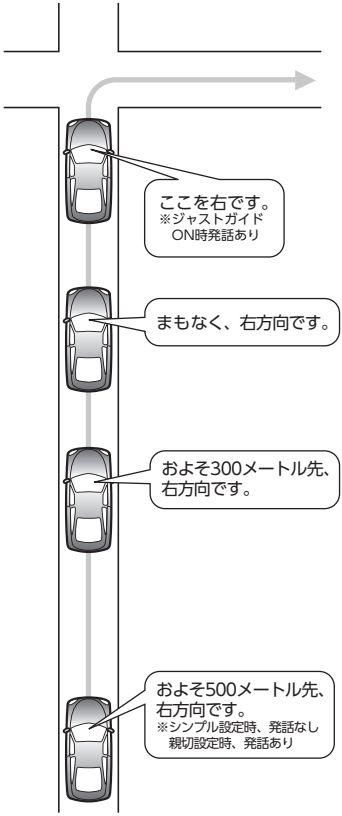
親切設定：
交差点の 500m 手前と 300m 手前で、事前に音声案内を行います。

シンプル設定：
交差点の 300m 手前で音声案内を行います。

■ ガイド設定と音声案内回数

	シンプル設定 ON	親切設定 ON
ジャストガイド ON	音声案内 3 回	音声案内 4 回
ジャストガイド OFF	音声案内 2 回	音声案内 3 回

■ 一般道でのガイド位置と発話内容



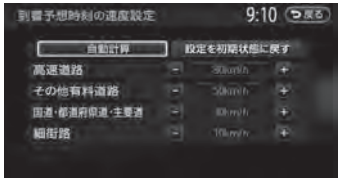
到着予想時刻の計算基準速度を設定する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート案内の設定

3 到着予想時刻の速度設定

4 各設定の ＋ または －



到着予想時刻の計算基準となる速度が設定されます。

自動計算：
統計交通情報などを考慮して、自動で速度を設定します。
この設定が ON のときは、道路ごとの速度設定は考慮されません。

高速道路：
高速道路走行時の速度を 5 ～ 120km/h に設定できます。

その他有料道路：
有料道路走行時の速度を 5 ～ 100km/h に設定できます。

国道・都道府県道・主要道：
国道・都道府県道・主要道走行時の速度を 5 ～ 80km/h に設定できます。

細街路：
細街路走行時の速度を 5 ～ 30km/h に設定できます。

MEMO

- 工場出荷時は、「自動計算」に設定されています。
- 設定を初期状態に戻す をタッチすると、それぞれの設定速度が初期値に戻ります。

ルート探索条件の設定をする

探索条件の設定をする

ルート探索時の優先路を設定します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定

3 探索条件

有料優先：
有料道路を優先的に使用し、目的地までの所要時間が短くなるルートです。

一般優先：
一般道路を優先的に使用し、目的地までの所要時間が短くなるルートです。

距離優先：
一般道路を優先的に使用し、目的地までの距離が短くなるルートです。

ルートが設定されているときは、選択した道路を優先して、ルートを再探索します。

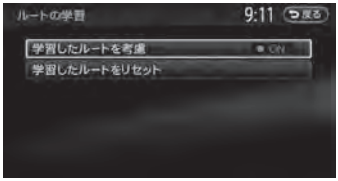
ルートの学習の設定をする

自宅から一定範囲（半径約 3km）の走行履歴を考慮するかどうかを設定します。何度も走行した道路ほどルートに採用されやすくなります。
ルートの学習を考慮するには、あらかじめ自宅を設定しておく必要があります （P.34）。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定

3 ルートの学習 ▶
学習したルートを考慮



MEMO

- 学習したルートをリセット をタッチすると、ルートの学習をリセットすることができます。地図データを更新した場合も、学習内容はいったんリセットされ、再び学習が行われます。
- ルートの学習は、走行履歴を使用しておりますが、お客様が想定される結果と合わない場合があります。

その他の探索条件を設定する

ルート案内に関するいろいろな探索条件が選択できます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 ルート探索条件の設定

3 その他の条件

※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
時間規制道路	時間規制道路の時間規制を考慮するかどうかを選択する	規制に従う（推奨）※／規制情報を使わない／通らない
冬季通行止め	冬季通行規制を考慮するかどうかを選択する	規制に従う（推奨）※／規制情報を使わない／通らない
フェリー航路を使う	フェリー航路を使用するかどうかを選択する	ON ／ OFF ※
統計交通情報を考慮	統計交通情報（*）を考慮するかどうかを選択する	ON ※／ OFF
リアルタイム交通情報を考慮	受信したインターナビ交通情報や FM VICS 情報、ビーコン VICS 情報などの交通情報を考慮するかどうかを選択する	ON ※／ OFF
スマート IC を考慮	スマート IC を出入り口として考慮するかどうかを選択する • 設定を ON にすると、ETC ユニットの接続、ETC カードの挿入の有無にかかわらず、スマート IC を利用する経路を設定します。	ON ／ OFF ※

(*) 統計交通情報とは、過去の 1 年分の VICS 情報から、曜日、時間により分類し、統計処理したデータです。

画面の設定をする

ナビゲーション画面の画質を調整する

1 MENU ▶ 設定 ▶ 画質調整

2 明るさ または コントラスト

3 ＋ または －

MEMO

- 画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。
- テレビ／ DVD ／ VTR 視聴時、または iPod ビデオ再生時の画質調整については、各ソースのページを参照ください。

目的地メニュー画面をカスタマイズする

目的地メニュー画面に表示させるキーの順序を変更できます。
選択した項目を、目的地メニューの大きなキーとして割り当てます。

1 MENU ▶ 目的地

2 ⇄

3 **項目を 3 箇所選択**

MEMO

- 選択解除 をタッチすると、現在選択されている項目がすべて解除されます。
- 3 項目を選択しないと、決定 キーは表示されません。
- 初期に戻す をタッチすると工場出荷時の表示に戻り、名称 、電話 、住所 が大きなキーで表示されます。

4 決定

選択した項目が、目的地メニュー画面の大きなキーに表示されます。

オープニング画面の設定をする

本機を起動したときに表示されるオープニング画面を設定します。あらかじめ SD カードを使って、オープニング画面を本機に取り込んでおく必要があります (P.203)。

MEMO

走行中は本操作を行えません。

1 MENU ▶ 設定

2 オープニング画面

3 オープニング画面を選択 ▶ 決定

4 はい

選択したオープニング画面が設定されます。

MEMO

- 消去 をタッチすると、SD カードから取り込んだオープニング画面データを消去できます。
- オリジナル を選択すると、工場出荷時の画像に設定されます。

画面の表示を消す／時計画面にする

画面を非表示にします。

1 ⏻ (長押し)

2 画面消し

この画面で 時計画面表示 をタッチすると画面全体に時計が表示されます。

MEMO

- 再度画面を表示させるには、以下のいずれかの操作を行います。
  - 画面をタッチする
  - MENU、現在地、AUDIO、◎ のいずれかを押す
- 画面が消えた状態でエンジンを切った場合は、画面消し状態は解除されます。

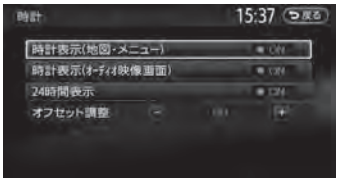
時計の表示を設定する

画面に表示される時計は、GPS 信号を受信すると自動で表示されます。

1 MENU

2 設定 ▶ その他設定 ▶ 時計

3 各キーで時計表示を設定



時計表示（地図・メニュー）：
各画面で時計を常に表示させるかどうかを設定します。

時計表示（オーディオ映像画面）：
テレビ／ DVD ／ VTR ／ iPod ビデオなど、映像ソースのオーディオ画面で時計を表示させるかどうかを設定します。

24 時間表示：
時刻の表示形式を 24 時間表示／ 12 時間表示で切り替えます。

オフセット調整：
1 分単位で時刻を調整できます。調整できる範囲は、－ 59 分～＋ 59 分です。

選択項目をハイライト表示する

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定

2 カーソル表示

画面上で選択している項目がハイライト表示されます。

地図の設定をする

地図上に表示する情報を設定する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 その他設定

3 **設定項目をタッチし、設定を行う**

現在地名称プレートの常時非表示：
地図画面のマルチインフォメーションキーを常時表示／非表示を切り替えます。

スクロール地点情報表示：
スクロール先の緯度・経度、マップコードの表示／非表示、また、スクロール中にカーソルをアイコンにあてた場合の情報の表示／非表示を切り替えます。

- 登録地アイコン情報
- VICS アイコン情報（2D 地図のみ）
- 行き先アイコン情報
- 緯度・経度情報
- マップコード

センサーの学習リセット：
距離係数と 3D センサーの学習記録を初期化（リセット）します。
タイヤを交換したときや、タイヤチェーン着脱時などに学習記録を初期化すると、学習時間が短くなります （P.238）。

コントロールバー自動消し：
地図上の AV コントロールバーの表示を自動的に消すかどうかを選択します。

現在地を修正する

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 その他の設定

3 現在地修正

4 **正しい現在地に移動**（P.37）

5 **場所を確認** ▶ 決定

6 ↓ または ↑ ▶ 決定

現在地が修正され、現在地地図画面に戻ります。

VICS 情報を利用する
ETC 情報を利用する
その他の情報を利用する
登録データを編集する
地図上のアイコンの設定をする
ルートの設定をする
画面の設定をする
地図の設定をする
その他のナビの設定をする

その他のナビの設定をする

表示言語・音声言語を変える

目的地メニュー画面や検索結果画面などの一部を、選択した言語で表示することができます。
または、一部の音声言語を切り替えられます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 言語選択

3 Text または Voice

▶ 言語を選択

Text をタッチした場合は、以下の画面でキーの名称や配列が変わります。また、「マップコード」と「電話」をタッチした後に表示される画面では、すべて選択した言語の表示になります。

メニュー画面

「目的地」、「戻る」が選択した言語の表示になります。

目的地メニュー画画

メニュー名、「マップコード」、「電話」、「戻る」が選択した言語の表示になります。
Voice をタッチした場合は、案内音声言語が一部切り替わります。

MEMO

- 目的地メニュー画面を日本語以外の表示にすると、⇄ は操作できません。
- 「TV サーチ」は、他の検索方法 をタッチして表示される、その他の方法で探すメニュー画面に移動します。

検索結果画面

メニュー名、「案内開始」、「戻る」が選択した言語の表示になります。

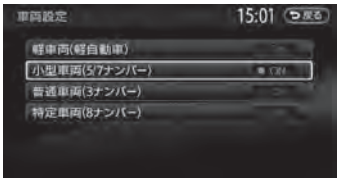
車両の設定をする

有料道路の料金表示時に、設定した車種が反映されます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定

2 車両設定

3 ナンバープレートを選択



「軽車両（軽自動車）」、「小型車両（5/7 ナンバー）」、「普通車両（3 ナンバー）」、「特定車両（8 ナンバー）」、から選択します。初期値は「小型車両（5/7 ナンバー）」です。

入力した車種情報が設定されます。

Memo

電話を利用する

本機に Bluetooth 対応の携帯電話を接続して、ハンズフリーで電話を使用することができます。

Bluetooth（ブルートゥース）とは …… 112

Bluetooth 機器を使用される前にお読みください …… 113

携帯電話を登録する（ペアリング） …… 114

本機に登録（ペアリング）する …… 114

接続する携帯電話を切り替える …… 115

登録した携帯電話を消去する …… 115

携帯電話を利用する …… 116

通話中の画面 …… 116

番号を入力して電話をかける …… 117

短縮ダイヤルから電話をかける …… 117

発着信履歴からかける …… 118

電話帳から電話をかける …… 118

施設情報から電話をかける …… 118

電話を受ける …… 119

電話を切る …… 119

電話の設定をする …… 120

短縮ダイヤルを登録する …… 120

短縮ダイヤルの編集をする …… 120

短縮ダイヤルを消去する …… 121

電話帳を登録する …… 121

電話帳のデータを消去する …… 122

発着信履歴を消去する …… 123

通話音量と着信音の設定をする …… 123

本機の Bluetooth 機能について …… 124

Bluetooth 機能の OFF ／ ON 切り替えについて …… 124

パスキー・デバイス名称の変更について …… 124

Bluetooth（ブルートゥース）とは

Bluetooth とは、産業団体 Bluetooth SIG により提唱されている携帯情報機器向けの短距離無線通信技術です。2.4GHz 帯の電波を利用して Bluetooth 対応機器どうしで通信を行います。
本機では、Bluetooth 対応機器（携帯電話およびオーディオ機器）を接続して利用できます。
Bluetooth 対応機器を接続するには、本機に登録（ペアリング）する必要があります **(P.114)**。

MEMO

- 本機では、Bluetooth 対応携帯電話（ハンズフリー）と Bluetooth オーディオを同時に使用することができます。ただし、音声についてはハンズフリーを優先します。
- 携帯電話およびオーディオ機器は、Bluetooth 方式に対応しているものを使用してください。ただし、携帯電話、オーディオ機器の種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。
- 携帯電話、オーディオ機器の収納場所、本機との距離によっては、接続できない場合があります。
  本機と Bluetooth 対応機器との間に障害物が無いようにして、ご使用ください。
- 携帯電話、オーディオ機器について詳しくは、各取扱説明書を参照ください。

Bluetooth 対応携帯電話の対応機種や設定方法については、インターナビのホームページ（http://www.honda.co.jp/internavi/）を参照ください。
本機は、以下の Bluetooth プロファイルに対応しています。

ハンズフリープロファイル（HFP）：
本機で Bluetooth 対応機器とハンズフリーで通話する

オブジェクトプッシュプロファイル（OPP）：
Bluetooth 対応機器から本機に電話帳などを転送する

オーディオプロファイル（A2DP、AVRCP）：
Bluetooth 対応機器と接続し、ワイヤレスで音楽の再生と簡易コントロールを行う

ダイヤルアップネットワークプロファイル（DUN）：
本機で Bluetooth 対応機器をネットワークに接続し、データ通信を行う（VXM-122VFi のみ）

フォンブックアクセスプロファイル（PBAP）：
携帯電話のメモリーを読み出す

※ Bluetooth プロファイルに対応している機器であっても、相手機器の特性や仕様によっては接続できなかったり、表示や動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。

Bluetooth 機器を使用される前にお読みください

この機器の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、アマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機能を使用する前に、近くで移動体識別用構内無線局及び、特定小電力無線局、アマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から移動体識別用構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を移動するか又は、電波の発射を停止し、電波干渉を避けてください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局、アマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことがおきたときは、お買い求めの Honda 販売店、または、（株）ホンダアクセスお客様相談室までご連絡ください。

携帯電話を登録する（ペアリング）

はじめて Bluetooth 対応携帯電話を利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。

MEMO

走行中はペアリングを実行できません。

本機に登録（ペアリング）する

1 MENU ▶

MEMO

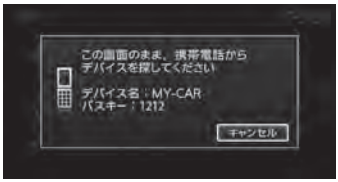
携帯電話が 1 台も登録されていない場合は、電話機を登録するよう、メッセージが表示されます。

2 電話機登録

MEMO

MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth ▶ 機器登録 ▶ 携帯電話 をタッチしても、同様の操作ができます。

3 **携帯電話からデバイス名「MY-CAR」（初期値）を選択し、パスキー「1212」(初期値) を入力**



携帯電話から本機の探索を行い、ペアリングが完了します。

MEMO

- ペアリング完了後、携帯電話上で接続確認の操作が必要な場合があります。
- ペアリング完了後、携帯電話上で接続するプロファイルを選択する必要がある場合は、「ハンズフリー」を選択してください。また、同時にオーディオプレーヤーを使用する場合は、「オーディオ」も選択してください。
- 携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照ください。
- 携帯電話の受信感度、電池残量の表示は、接続する携帯電話によっては、数値が一致しない場合があります。

MEMO

- ハンズフリー中（発信、着信、通話）は、ほかの Bluetooth 対応機器の接続 (通話、通信) やペアリングはできません。また、ハンズフリー中は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetooth 機器は、5 台までペアリングすることができます。6 台目をペアリングするには、すでに登録された Bluetooth 対応機器を消去する必要があります **(P.115)**。
- すでに携帯電話を接続した状態でペアリングを行った場合は、接続を解除し、最後にペアリングした携帯電話と接続します。
- デバイス名、パスキーは変更可能です。

MEMO

- 携帯電話が「接続待機中」の設定でない場合や待ち受け状態でない場合は、自動的に接続されないことがあります。詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照ください。
- Bluetooth 対応携帯電話と距離が離れているなど、何らかの理由で接続が切断された場合に、自動的に再接続を試みます。
- 携帯電話を再起動した場合、携帯電話の種類によって、自動的に接続されない場合があります。自動接続されない場合は電話メニュー画面の 電話機選択 をタッチしてリストから接続したい携帯電話を選択してください **(P.115)**。

接続する携帯電話を切り替える

本機に複数の Bluetooth 機器が登録されている場合に、接続する機器を切り替えることができます。

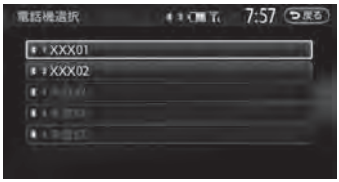
MEMO

Bluetooth 機器は、5 台までペアリング可能ですが、接続できるのは 1 台のみです。

1 MENU ▶

2 電話機選択

3 **切り替える機器を選択**



- 接続中の Bluetooth 対応携帯電話の番号アイコンが青色で表示され、同様の番号アイコンが画面右上部にも表示されます。

4 接続する

接続する：
接続する機器を切り替えます。

編集する：
携帯電話の登録名称を変更します。
編集できる文字数は 9 文字までです。

消去する：
選択した機器を本機の登録済みリストから消去します。

MEMO

現在使用中の携帯電話の切り替えを行うと、短縮ダイヤル・発着信履歴などの機器情報も選択した機器の情報に切り替わります。

登録した携帯電話を消去する

ペアリング済みの Bluetooth 機器情報を消去します。

1 MENU ▶

2 電話機選択

3 **消去したい機器を選択**

4 消去する

5 はい

MEMO

- 携帯電話の登録情報を消去すると、該当する携帯電話の発着信履歴、短縮ダイヤル、電話帳情報も消去されます。
- 携帯電話の登録情報を消去している最中に本機の電源を切ると、消去できないことがあります。その場合は電源を入れ、再度消去の操作を行ってください。

Bluetooth（ブルートゥース）とは
Bluetooth 機器を使用される前にお読みください。
携帯電話を登録する（ペアリング）
携帯電話を利用する
電話の設定をする
本機の Bluetooth 機能について

携帯電話を利用する

⚠ 注意

携帯電話を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

通話中の画面

通話中は、以下のような画面が表示されます。

通話中画面

タッチすると、通話を終了します。

タッチすると、Bluetooth 対応携帯電話本体での通話に切り替わります。※

タッチすると、送話音声がミュート状態になります。

タッチすると、番号入力画面が表示され、通話中にパスワードなどの数字を入力することができます。

※ご使用の携帯電話によっては、プライベート動作にならない場合があります。

通話中に [電話] を押すと、以下のような画面になります。この画面のまま、目的地検索などの操作も行えます。

通話中地図画面

携帯電話の受信感度が表示されます。

通話中画面に切り替わります。

タッチすると、Bluetooth 対応携帯電話本体での通話に切り替わります。

タッチすると、電話を切り現在地が表示されます。

通話時間、相手先の名前または電話番号が表示されます。

MEMO

- ハンズフリー通話中に第三者から着信があった場合は、自動的に着信を拒否します。その際の着信履歴は保存されません。
- ハンズフリー通話中に車が携帯電話のサービス圏外（電波が届かないところ）に移動したときは回線が切れます。
- ハンズフリー通話中は、オーディオソース切り替えができません。
- 携帯電話が待ち受け状態にないと、発着信できないことがあります。

番号を入力して電話をかける

⚠ 注意

走行中は、電話番号を入力して電話をかけることはできません。必ず車を安全な場所に停車させてから行ってください。

MEMO

- 一般の電話にかけるときは、市内通話であっても必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 携帯電話によっては、ダイヤル発信後、発信中の電話を切った場合、すぐに再発信できないことがあります。しばらく経ってから、ダイヤル発信を行ってください。

1 MENU ▶

2 ダイヤル入力

3 **電話番号を入力**

4 電話をかける

電話番号が発信され、相手を呼び出します。

電話を切る：
呼び出し途中でタッチすると、電話を切ることができます。

5 **通話を終了する場合は** 電話を切る

電話を切り、電話をかける前の画面に戻ります。
発信した電話番号、名称（電話帳に登録されている場合）、発信日時が発信履歴として保存されます。同一電話番号の場合、最新の履歴のみが表示されます。

短縮ダイヤルから電話をかける

あらかじめ、短縮ダイヤルが登録(P.120)されている必要があります。

1 MENU ▶

2 短縮ダイヤル

3 **ダイヤルしたい相手先を選択**

4 電話をかける

登録されている短縮ダイヤルが発信され、電話がかかります。

発着信履歴からかける

1 MENU ▶

2 発着信履歴

3 着信履歴 または 発信履歴

4 ダイヤルしたい相手先を選択

着信履歴／発信履歴：
リストに表示する履歴を切り替えます。

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

MEMO

- 非通知着信時の着信履歴からは電話をかけられません。
- 発着信の履歴は、本機に記録された最新の 5 件を表示します。
- 同一電話番号を異なる名称で短縮ダイヤルと電話帳に登録している場合、短縮ダイヤルの情報を優先して履歴を表示します。
- 短縮ダイヤルまたは、電話帳に登録されている電話番号の場合、登録している名称を表示します。

電話帳から電話をかける

1 MENU ▶

2 ハンズフリー電話帳

3 名前を選択

4 電話番号を選択

5 電話をかける

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

MEMO

電話帳を登録する方法は、「電話帳を登録する」（P.121）を参照ください。

施設情報から電話をかける

施設情報画面に「電話する」が表示されている場合、Bluetooth 対応携帯電話を接続すると画面から電話をかけることができます。

1 電話する

登録されている電話番号が発信され、電話がかかります。

電話を受ける

本機に接続した Bluetooth 対応携帯電話が着信すると、着信画面が表示されます。

⚠ 注意

走行中に電話を受けるときは、必ず周りの安全を十分に確認してください。

1 電話がかかってきたら 電話に出る

MEMO

- 着信中に 着信拒否する をタッチすると、着信を拒否します。
- 保留する をタッチすると、応答を保留することができます。

電話を切る

1 電話を切る

通話が終了し、着信直前の画面に戻ります。

MEMO

AV コントロールバーの でも電話を切ることができます。

Bluetooth（ブルートゥース）とは
Bluetooth 機器を使用される前にお読みください。
携帯電話を登録する（ペアリング）
携帯電話を利用する
電話の設定をする
本機の Bluetooth 機能について

電話の設定をする

短縮ダイヤルを登録する

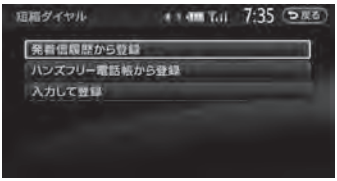
本機に短縮ダイヤルを登録すれば、簡単に電話をかけることができます。

1 MENU ▶

2 短縮ダイヤル

3 新規登録

4 **登録する方法を選択**



発着信履歴から登録：
発着信履歴リストから登録したい電話番号を選択します。

ハンズフリー電話帳から登録：
電話帳から登録したい電話番号を選択します。

入力して登録：
登録したい電話番号を直接入力します。入力後は、決定 をタッチしてください。

5 **登録情報を確認**

短縮ダイヤルの登録番号、名称、電話番号、アイコンの種類は編集することができます。それぞれの項目をタッチし、希望の設定値を入力してください。短縮ダイヤル登録後に編集することもできます。

6 決定

短縮ダイヤルが登録されます。

MEMO

短縮ダイヤルの最大登録件数は携帯電話 1 台につき 5 件です。

短縮ダイヤルの編集をする

登録済みの短縮ダイヤルの編集をします。

1 MENU ▶ 設定 ▶ 電話

2 短縮ダイヤル登録･編集

3 **編集したい短縮ダイヤルを選択**

4 編集する

「登録番号」「名称」「番号」「種類」から編集したい項目を選択し、希望の設定値を入力してください。

短縮ダイヤルを消去する

1 MENU ▶ 設定 ▶ 電話

2 メモリ消去

3 短縮ダイヤル

MEMO

メモリ全消去 をタッチすると、短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去することができます。

4 **消去する方法を選択**

一括消去：
すべての短縮ダイヤルを消去します。

1 件消去：
選択した 1 件の短縮ダイヤルを消去します。短縮ダイヤルリストから消去したい短縮ダイヤルを選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい

選択した短縮ダイヤルが消去されます。

電話帳を登録する

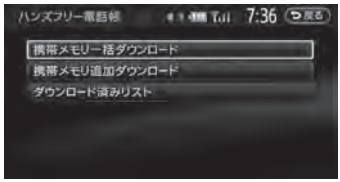
あらかじめ Bluetooth 対応携帯電話の電話帳を本機に登録しておき、そこから電話をかけることができます。
携帯電話の電話帳は、携帯電話側の電話帳転送機能を使用して登録します。携帯電話によっては、電話帳を転送できないものがあります。
詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照ください。

MEMO

電話帳を転送後、Bluetooth 対応携帯電話の接続が切断される場合があります。その場合は、再度、電話機選択画面から接続したい携帯電話を選択してください。

1 MENU ▶ 設定 ▶ 電話 ▶ ハンズフリー電話帳

2 携帯メモリ一括ダウンロード または 携帯メモリ追加ダウンロード ▶ はい



携帯メモリ一括ダウンロード：
Bluetooth 対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに上書き保存されます。

携帯メモリ追加ダウンロード：
Bluetooth 対応携帯電話から電話帳データを送信し、本機の電話帳データに追加保存されます。

ダウンロード済みリスト：
すでに登録されている電話帳データがリスト表示されます。リストから名称→電話番号の順にタッチすると、選択した電話番号を短縮ダイヤルに登録したり、消去することができます。

電話帳転送の待ち受け画面になります。

Bluetooth（ブルートゥース）とは
Bluetooth 機器を使用される前にお読みください。
携帯電話を登録する（ペアリング）
携帯電話を利用する
電話の設定をする
本機の Bluetooth 機能について

3 携帯電話から電話帳転送

ダウンロード済みリストが表示されます。追加ダウンロード完了時には、キャンセル をタッチして登録作業を終了してください。

MEMO

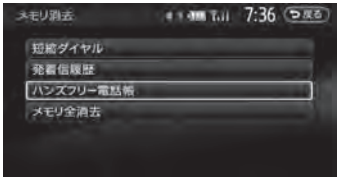
- 登録可能な電話帳データは、携帯電話 1 台あたり 300 件です。
- 電話帳の 1 つの名称に対して、最大 5 件の電話番号を表示できます。
- 電話帳の転送は、同一の電話番号でも常に追加で登録され上書きされません。必要に応じて電話番号を消去してください。
- 電話番号リストに表示されるアイコンには以下の種類があります。
  （携帯電話）／（一般電話）／（自宅）／（会社）／（その他）
- 転送した電話帳の表示順序は、携帯電話で表示される順序とは異なります。読みがなで並べ替えを行いますので、ダイヤルの際は発信する相手の電話番号をご確認ください。

電話帳のデータを消去する

1 MENU ▶ 設定 ▶ 電話

2 メモリ消去

3 ハンズフリー電話帳



MEMO

メモリ全消去 をタッチすると、短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去することができます。

4 **消去する方法を選択**

一括消去：
電話帳を一括消去します。

1 件消去：
選択した 1 件の電話帳を消去します。電話帳リストから消去したい電話帳を選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい

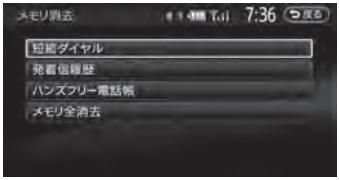
選択した電話帳が消去されます。

発着信履歴を消去する

1 MENU ▶ 設定 ▶ 電話

2 メモリ消去

3 発着信履歴



MEMO

メモリ全消去 をタッチすると、短縮ダイヤル、電話帳および発着信履歴のすべてのデータを消去することができます。

4 **消去する方法を選択**

一括消去：
すべての発着信履歴を消去します。

履歴ごとに消去：
すべての発信履歴、またはすべての着信履歴を選択して消去します。

1 件消去：
選択した 1 件の発着信履歴を消去します。発着信履歴リストから消去したい履歴を選択し、消去する をタッチしてください。

5 はい

選択した履歴が消去されます。

通話音量と着信音の設定をする

電話の音量と着信音について設定できます。

1 MENU ▶

2 音量調整

3 **各項目を設定**

着信音量：
着信音量をレベル 1 ～ 16 に設定できます。初期値はレベル 4 です。

受話音量：
受話音量をレベル 1 ～ 16 に設定できます。初期値はレベル 4 です。

送話音量：
送話音量をレベル 1 ～ 5 に設定できます。初期値はレベル 3 です。

自動応答保留：
電話がかかってきたときに、2 秒後に電話をつなぎ、保留状態にするよう設定できます。初期値は「OFF」です。

車載機の着信音使用：
本機からの着信音を使用するかどうかを選択します。初期値は「OFF」です。

MEMO

- 着信中または通話中に、▲ ▼ を操作しても、音量を調整することができます。
- 通話中に音量を調整した場合、他のオーディオソースへ切り替えて音量を変更しても、次回電話を受発信したときは元の音量で通話できます。

本機の Bluetooth 機能について

Bluetooth 機能の OFF ／ ON 切り替えについて

携帯電話によっては、携帯電話側の問題で通信異常が発生し、操作が正常にできなかったり、表示されなかったりすることがあります。その場合は、Bluetooth 機能の OFF → ON 切り替えを行ってください。

MEMO

携帯電話の Bluetooth 機能を OFF → ON に切り替える際には、本機の Bluetooth 機能も OFF → ON に切り替えてください。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 Bluetoothで接続

MEMO

- Bluetooth 機能を OFF にすると、本機で Bluetooth 機能の操作を行うことはできません。また、Bluetooth 対応携帯電話から本機への接続や操作もできなくなります。
- 工場出荷時、Bluetooth 機能は「OFF」に設定されています。

パスキー・デバイス名称の変更について

Bluetooth の設定の中で、扱いを別にしたいなど、本機に設定されているパスキーとデバイス名称を変更したい場合は、以下の手順で変更できます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 車載機のBluetooth情報・変更

3 パスキー または デバイス名

4 新しいパスキーまたは名称を入力

5 決定

MEMO

- 工場出荷時、パスキーは「1212」、名称は「MY-CAR」に設定されています。
- デバイスアドレスは変更できません。

オーディオ・ビジュアル

本機では、ラジオ、地上デジタル放送、DVD、iPod･iPhone や CD を録音して編集・再生できる Music Rack など、視聴したいソース（音源や映像）を選んでお楽しみいただけます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた …… 126
ソースを切り替える …… 126
音量を調整する …… 126
表示画面を切り替える …… 126
オーディオを OFF ／ ON する …… 127
本機で使えるメディアについて …… 128
SD カード／ USB メモリーについて …… 130
ディスクの出し入れ …… 131
SD カードの出し入れ …… 132
オーディオの音質を設定する …… 133
ラジオを聴く …… 137
ラジオを受信する …… 137
ラジオの放送局リストを利用する …… 138
プリセットチャンネルとは …… 138
受信バンドを活用する …… 138
ラジオの設定をする …… 139
テレビを見る …… 140
地上デジタル放送とは …… 141
テレビ放送の受信について …… 142
アナログ放送からデジタル放送への移行について …… 142
テレビを見る前に …… 143
地上デジタル放送の受信について …… 144
地上デジタル放送の選局をする …… 146
地上デジタル放送の放送局リストを利用する …… 147
地上デジタル放送の便利な機能を利用する …… 149
地上デジタル放送の設定をする …… 151
DVD を見る …… 156
DVD を再生する …… 156
DVD の設定をする …… 160
DVD ビデオの初期設定を変更する …… 162
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く …… 165
ディスクを再生する …… 165
Music Rack を使う …… 168
Music Rack に録音する …… 168
Music Rack を聴く …… 171
録音設定を変更する …… 173
アルバム・トラック情報を編集する …… 174
SD カード／ USB メモリーの音楽を聴く …… 176
SD カード／ USB メモリーの音楽を再生する …… 176
iPod を聴く／ iPod ビデオを見る …… 178
接続できる iPod …… 178
iPod を再生する …… 180
iPod の設定をする …… 183
Bluetooth オーディオを聴く …… 185
Bluetooth オーディオを聴くには …… 185
Bluetooth オーディオ機器を登録する（ペアリング） …… 186
複数の Bluetooth オーディオ機器を使うには …… 186
Bluetooth 対応携帯電話をご使用の場合 …… 186
Bluetooth オーディオ機器を再生する …… 187

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた

ソースを切り替える

1 AUDIO

2 お好みのソースを選択

選択したソースをお楽しみいただけます。以降の操作について詳しくは、各ソースのページを参照ください。

音量を調整する

1 ▲ または ▼

音量が変わります。

MEMO

- ▲ または ▼ を押し続けると、連続して音量が変化します。
- ナビゲーションの音声案内の音量については、別の操作で調整します （P.69、98）。
- 車両のスマートパーキングアシストシステム（駐車時に音声で案内する機能）が作動中の場合、オーディオの音声がミュートされるため、音量は調整できません。

表示画面を切り替える

オーディオ・ビジュアルの画面には、各オーディオ専用の画面と地図画面の 2 種類の表示があり、オーディオ画面と地図画面は以下の手順で切り替えることができます。

オーディオ画面に切り替える

1 AV 操作キー

選択したソースのオーディオ画面が表示されます。

※画面は DVD の場合です。

■ 地図画面に切り替える

1 現在地

▼

地図画面が表示されます。
※画面は DVD の場合です。

オーディオを OFF ／ ON する

オーディオを OFF にする

1 ⏻

オーディオが OFF になります。

地図画面からオーディオ機能が OFF になったことを確認できます。

▼

Audio OFF と表示されます。

MEMO

- ソース画面からも OFF できます。

AUDIO ▶ Audio OFF

- オーディオを OFF にしたときも、ナビゲーションの音声案内は出力されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

オーディオを ON にする

1 ⏻

オーディオが ON になります。

OFF にする前にお使いになっていたオーディオ機能が再生されます。
ON になったオーディオ機能は AV 操作キーで確認できます。

▼

AV 操作キーが表示されます。

MEMO

- 前回とは別のオーディオ機能を ON にしたい場合は、ソース選択画面から ON にしたい項目を選びます。

  AUDIO ▶ 好みのソースを選択

- 現在、未接続および未挿入のオーディオを ON にしたい場合、好みのディスクを挿入、または USB/iPod の接続をするとオーディオ機能がすぐに ON になります。

本機で使えるメディアについて

ディスクについて

- ディスク内の最大フォルダ・ファイル・トラック数：
  フォルダ：255（ルートを含む）
  ファイル：512
  トラック：1 フォルダあたり 255

⚠ 注意

- **下記のディスクは、ディスクに傷が付いたり、ディスクが取り出せなくなる可能性があるので使用しないでください。**
  - 8cmCD
  - 異形のディスク
  - デュアルディスク（Dual Disc）
  - ラベルを貼り付けたディスク
- **ディスク面にラベルを貼ったり、鉛筆やペンなどで文字を記入しないでください。**
- **ディスクは、表面に傷や指紋を付けないように扱ってください。**
- **セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡があるディスクは使用しないでください。そのまま本機に挿入すると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。**

■ 再生できる CD

- 音楽 CD
- CD-TEXT ディスク
- CD-Extra ディスク ※ただし音楽 CD として
- Super Audio CD ※ハイブリッドディスクの CD 層のみ
- パソコンで、正しいフォーマットで記録されたディスク※1
- 音楽 CD レコーダーで録音した音楽用 CD-R、CD-RW ディスク※2
- コピーガード付き CD※3

※ 1アプリケーションソフトの設定や環境によっては再生できない場合があります。詳しくはアプリケーションソフトの発売元にお問い合わせください。

※ 2正常に再生できないこともあります。また CD-RW ディスクは、ディスク挿入後から再生まで、通常の CD や CD-R より時間がかかります。

※ 3再生できないこともあります。

■ 再生できない CD

- MIX MODE CD
- CD-DA 以外のディスク（オーバーバーン CD など）
- DTS CD
- ビデオ CD
- ファイナライズしていない CD-R、CD-RW ディスク

■ 再生できる DVD

本機では市販の DVD ビデオ、ご家庭で映像・静止画を保存された DVD-VR を再生できます。
DVD-VR を再生する場合は、あらかじめお持ちのレコーダーでディスクをファイナライズしておく必要があります。

- DVD VIDEO のついているディスク
- リージョン番号が「2」「ALL」のディスク
- DVD-VR

■ 再生できない DVD

- リージョン番号が「2」「ALL」以外のディスク
- パケットライト方式で記録されたディスク
- ご家庭でハイビジョン録画したディスク
- DVD-RAM

※ビデオモードで録画・ファイナライズした DVD-R、DVD-RW、DVD+R、DVD+RW は、機器の仕様や環境設定、ディスクの特性、傷、汚れなどにより再生できない場合があります。

■ ディスクの保管場所について

ディスクは次のような場所には保管しないでください。

- 直射日光の当たる場所
- 湿気やホコリの多い場所
- 暖房の熱が直接当たる場所

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

SD カード／ USB メモリーについて

本機で使える SD カード／ USB メモリー

- 記録メディア
  SD カード、SDHC カード（32GB 以下）、USB メモリー
  ※SDXC メモリーカードには対応していません。
- 記録フォーマット
  SD カード：FAT16、FAT32
  USB メモリー：FAT12、FAT16、FAT32
- SD カード内の最大フォルダ・ファイル・トラック数
  フォルダ：500
  ファイル：8000
  トラック：1 フォルダあたり 99
- USB メモリー内の最大フォルダ・ファイル・トラック数
  フォルダ：512
  ファイル：8000
  トラック：1 フォルダあたり 255
- 拡張子が .MP3、または .WMA のファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3/WMA ファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）
- ファイルサイズが 2GB 未満のファイル
  （ただし、ファイルサイズが 1GB を超えるファイルを再生した場合、再生時間の表示が停止することがあります。）

MP3・WMA について詳しくは、**P.230** を参照ください。

利用可能な SD カード

SD カードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。
本機でお使いいただける SD カードは以下のとおりです。
本機では SD カードと互換のない記録メディアには対応していません。

- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード
- miniSD カード※
- microSD カード※

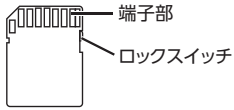
※専用のアダプターが必要です。

MEMO

- miniSD アダプター、microSD アダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

SD カードについてのご注意

- SD カードを折り曲げたり、落としたりしないでください。
- シンナー・ベンジンなどの有機溶剤で、SD カードを拭かないでください。
- 書き込み、読み込みなどの使用中は操作パネルを開けたり、SD カードを本機から抜いたり、エンジンを切ったりしないでください。
- SD カードを本機で使用する際は、パソコンメーカーおよび周辺機器メーカーが提示する警告・注意指示もあわせてお読みください。
- SD カードは、ダッシュボードの上や直射日光の当たる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- SD カードの端子部に、手や金属で触れないでください。
- SD カードの最適化は行わないでください。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SD カードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SD カード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- SD カードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



SDカード

ディスクの出し入れ

ディスクは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するかあるいは取り出してください。
振動により抜け落ちたり操作パネルが自動的に閉まることにより、破損する恐れがあります。

MEMO

ディスクの記録面（光沢のある面）には触れないでください。

ディスクの入れかた

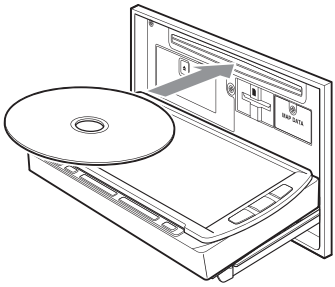
⚠ 注意

ディスクを 2 枚重ねて挿入しないでください。
重ねて挿入した場合、2 枚のうち 1 枚が飛び出していると、ディスクをパネルで挟み込んでしまうことがあります。

1 ⏏

操作パネルが開きます。

2 ディスクの記録面（光沢のある面）を下にして、挿入口に差し込む



ディスクが取り込まれ、操作パネルが自動的に閉じます。しばらくすると、ディスクの再生がはじまります。

MEMO

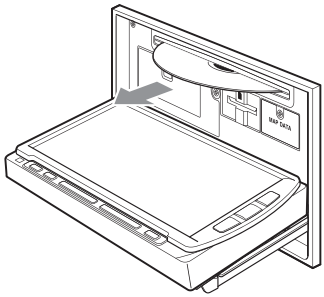
- ⏏ マークが点灯しているときは、すでにディスクがセットされています。セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。
- ある程度差し込むと、ディスクは自動的に取り込まれます。ディスクが取り込まれない場合は、すでにディスクがセットされています。ディスクを無理やり挿入せず、セットされたディスクを取り出してから、ディスクを挿入してください。

ディスクの取り出しかた

1 ⏏

操作パネルが開きます。

2 本体の ⏏ を押して、ディスクを取り出す



3 ⏏

操作パネルが閉まります。

MEMO

ディスクを取り出さないまま、しばらくすると、自動的にディスクが取り込まれ、操作パネルが閉じます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

SD カードの出し入れ

⚠ 注意

SD カードは挿入口から出た状態のままにせず、完全に挿入するかあるいは取り出してください。
振動により抜け落ちたり操作パネルが自動的に閉まることにより、破損する恐れがあります。

MEMO

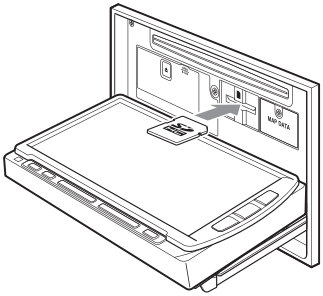
SD カードの端子部には触れないでください。

SD カードの入れかた

1 ⏏

操作パネルが開きます。

2 SD カードのラベル面を上にして、挿入口に差し込む



カチッと音がするまで、SD カードを奥にしっかりと差し込んでください。操作パネルは開けてから一定時間が経過すると自動的に閉じます。

MEMO

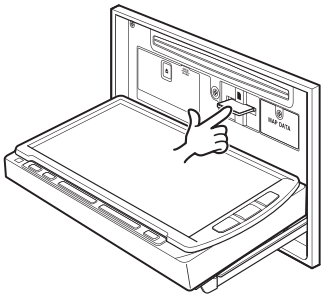
SD カードが正しく差し込まれていないと、操作パネルを閉じることはできません。

SD カードの取り出しかた

1 ⏏

操作パネルが開きます。

2 SD カードを押す



SD カードが少し飛び出します。

3 SD カードを取り出す

4 ⏏

操作パネルが閉まります。

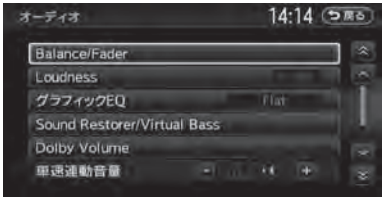
MEMO

SD カードを取り出すときは、指で SD カードをしっかりつまんでください。SD カードが飛び出すおそれがあります。

オーディオの音質を設定する

オーディオの音質に関する設定を行います。
オーディオ OFF 時には設定できません。オーディオを ON にしてから操作してください。

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ



※は工場出荷時の初期設定です。

設定項目	設定の内容	設定値
Balance/Fader	前後左右のスピーカーの音量バランスを調整する **(P.134)**	L5～R5(0※)／R5～F5(0※)
Loudness	音量の大きさに合わせて、高音と低音を強調する	ON／OFF ※
グラフィック EQ	あらかじめ設定された音質効果メモリーからお好みの音質を選択する **(P.134)** 音質効果メモリーを調整することもできます。	Bass.B ／ High.B ／ Acoustic ／ Impact ／ Smooth ／ Flat ※
	〈ユーザーカスタマイズ〉 音質効果メモリーを作成して保存する **(P.135)**	—
Sound Restorer/ Virtual Bass	圧縮オーディオに対して高音域を補完することで、圧縮前の原音に音質を近づける（Sound Restorer）	ON／OFF ※
	低音域の倍音成分を付加することで重低音を増強し、豊かな低音再生を可能とする（Virtual Bass）	OFF ※ ／ LOW ／ MID ／ HIGH
Dolby Volume	〈Dolby Volume〉 再生ソースによる音量レベル差や、テレビの番組と CM の音量レベル差、映画のシーンごとの音量レベル差などを検知し、音量レベルを自動調整する **(P.136)**	OFF ※ ／ LOW ／ MID ／ HIGH
	〈Dolby Volume Modeler〉 Dolby Volumeの聴感補正機能を有効にする **(P.136)** ・Dolby Volume がOFF のときは操作できません。	ON／OFF ※
車速連動音量	加速すると音量が自動で上昇し、減速すると音量が自動で下降するように調整する ・レベルの数値が大きいほど、音量の上がる幅が大きくなります。	OFF ／ LOW ／ MID ※ ／ HIGH

設定項目	設定の内容	設定値
Vocal image Control	ボーカルの音量バランスを調整することで、ボーカルの音像を前後左右に移動する（**P.134**）	L9 ～ R9（0 ※） R9 ～ F9（0 ※）
録音設定	Music Rack の録音設定をする（**P.173**）	挿入と同時に録音：1 倍速／挿入と同時に録音：2 倍速／手動で録音※

スピーカーの音量バランスやボーカルの音量バランスを調整する

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 Balance/Fader または Vocal image Control

3 ▲、▼、◀、▶ をタッチして設定

MEMO

- 初期値に戻す をタッチすると、現在選択している調整内容（音量バランス、または Vocal image Control）が初期値に戻ります。
- Balance/Fader が全体の音量バランスを調整するのに対し、Vocal image Control はステレオ音源の中央に定位するボーカルや主要な楽器などの成分の音量バランスを調整します。
- スピーカーの構成や乗車人数などに応じて、ボーカルの左右のバランスや奥行き感を調整する際にご使用ください。

音質効果メモリーを選んで設定する

お好みの音質を選んで設定できます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 グラフィックEQ

3 音質を選択

Bass.B：
重低音の増強

High.B：
中高域の増強

Acoustic：
中域（人の声）の増強

Impact：
低域と高域の増強

Smooth：
しっとりと落ち着いた感じ

Flat：
原音、EQ を OFF

お好みの音質効果を設定する

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 グラフィックEQ

3 User 1 、User 2 、または User 3

4 調整する

5 音質効果を設定

▲、▼：
低音、中音、高音それぞれの帯域の強弱を調整します。

Flat：
各帯域の設定を「0」に戻します。

MEMO

次回からは手順 3 で同じ設定を呼び出せます。

Dolby Volume を調整する

■ Dolby Volume とは

Dolby Volume は、あらゆる音楽ソースやシーンにおける音量レベル差を自動調整し、音量補正を行う機能です。Dolby Volume を ON にすると、オーディオ信号の聴感上の音量レベルを常時モニター、調整し、音量レベル差を一定の範囲に抑えて視聴することができます。
音量レベル差は以下のようなケースで起こります。

- CD を聴いているときとラジオを聴いているときの音量レベル差
- TV を見ているときの番組と CM の音量レベル差、または番組ごとの音量レベル差
- DVD などで映画を見ているときの爆発シーンなど大きな音量のシーンと、静かなシーンとの音量レベル差

Dolby Volume を ON にすると、これらのケースでも音量操作をすることなく、各ソースを聴こえやすい音量レベルで視聴することができます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

■ Dolby Volume のレベルを調整する

Dolby Volume のレベルを調整することで、「音量補正」の効果を変化させることができます。「LOW」→「MID」→「HIGH」の順で、音量補正の効果が高くなります。

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 Dolby Volume

3 ［Dolby Volume］の ◀ または ▶

Dolby Volume のレベルが調整されます。

MEMO

- テレビや DVD などの音量レベル差が大きいソースを視聴するときは、「MID」または「HIGH」に設定することをおすすめします。
- Dolby Volume は、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定することができます。ソースを切り替えると、Dolby Volume もそれぞれの設定値に切り替わります。

■ Dolby Volume Modeler の ON/OFF を切り替える

Dolby Volume Modeler では、Dolby Volume の聴感補正機能を設定することができます。Dolby Volume Modeler を ON にすると、オーディオソースを小音量で視聴している場合と、大音量で視聴している場合で知覚的印象が同じになるように聴感補正を行います。

1 MENU ▶ 設定 ▶ オーディオ

2 Dolby Volume

3 Dolby Volume Modeler

MEMO

- テレビや DVD などの映像ソースを視聴するときは、Dolby Volume Modeler を ON にすることをおすすめします。
- CD などの音楽ソースを再生するときは、曲調に合わせて ON/OFF を切り替えてください。曲調に合わない場合は、OFF にしてください。
- Dolby Volume Modeler が ON のときは、「Loudness」を OFF にすることをおすすめします。また「Loudness」が ON のときは、Dolby Volume Modeler を OFF にすることをおすすめします。
- Dolby Volume Modeler は、Dolby Volume が OFF のときは操作できません。
- Dolby Volume Modeler は、映像ソース（テレビ、DVD）とその他のソースで、それぞれ設定することができます。ソースを切り替えると、Dolby Volume Modeler もそれぞれの設定値に切り替わります。

ラジオを聴く

ラジオを受信する

AM/FM を切り替える

AM ラジオ、FM ラジオを切り替えて受信します。

1 AUDIO ▶ FM/AM

ラジオが受信されます。

2 FM/AM

タッチするたびに、AM ラジオと FM ラジオが切り替わります。

MEMO

自宅モードの場合、「AM」→「FM1」→「FM2」→「AM」…の順で切り替わります。お出かけモードの場合、「AM（お出かけ）」と「FM（お出かけ）」が交互に切り替わります。

自動で放送局を選ぶ

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 ⏮ または ⏭（1.5 秒以内の長押し）

受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

MEMO

⏮ または ⏭ を 1.5 秒以上長押しすると、周波数が連続して切り替わります。指を離すと自動で受信可能な放送局を検出し、受信します。

手動で放送局を選ぶ

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 ⏮ または ⏭

押すごとに周波数が切り替わります。

リストから選局する

登録した放送局を、リストから選局します。

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 目的の放送局を選択

選択した放送局が受信されます。

MEMO

AV コントロールバーの 前P.CH または 次P.CH をタッチして、放送局を切り替えることもできます。

ラジオの放送局リストを利用する

よく聴く放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ周波数を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、自宅モードに AM/FM1/FM2 の 3 種類、お出かけモードに AM/FM の 2 種類があります。登録できる放送局は、それぞれのリストで 6 つまでです。

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局の周波数を登録できるチャンネルです。何度も周波数を合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の 2 種類があります。

プリセットチャンネルリスト
（放送局リスト）

リストに「重複」と表示されるときは

同一周波数内で、異なる放送局名が存在するときは、リストに「重複」と表示されます。
「重複」と表示されている放送局を受信中に、そのチャンネルリストをタッチすると、表示されている放送局名を切り替えることができます。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 お出かけ

放送局リストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、キーのランプが点灯します。自宅モード選択時にはランプが消灯します。

リストに自動で登録する（オートプリセット）

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 オートプリセット ▶ はい

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

MEMO

- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。中止するには、キャンセル をタッチします。
- オートプリセットを途中で停止させた場合、それまでに受信した放送局は登録されません。

リストに手動で登録する

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 **登録したい放送局を受信**

3 **登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまで長押し**

受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

ラジオの設定をする

受信地域を選択する

受信地域を正しく設定することで、受信中の放送局名を自動的に表示できます。

MEMO

走行中は本操作を行えません。

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 設定

3 地域選択

4 オート または地域を選択

受信地域が切り替わります。

MEMO

- オート をタッチすると、自車位置に応じた地域の放送局名を表示します。
- 自宅モードとお出かけモードでそれぞれ地域を設定できます。

FM 多重放送を表示する

FM ラジオ受信時に FM 多重放送を受信し、直近の道路交通情報などを画面に表示させることができます。

1 AUDIO ▶ FM/AM

2 設定

3 FM多重放送

FM 多重放送が受信されます。

MEMO

- AM ラジオ受信時には FM多重放送 キーは表示されません。
- 複数の番組メニューがある場合は「番組番号」キーが表示されます。見たい番組番号をタッチして切り替えてください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

テレビを見る

本機では、地上デジタル放送のテレビをお楽しみいただけます。

アナログ放送終了後の周波数リパックについて

2011 年 7 月 24 日の地上アナログ放送停波後から、周波数の再編（周波数リパック）が実施されます。地上デジタル放送については現在 13ch ～ 62ch が割り当てられていますが、2011 年 7 月 24 日以降、13ch ～ 52ch の割り当てに変更になります。53ch 以上の放送は、地上デジタル放送のチャンネルが切り替わることで視聴ができなくなるため、本機でオートプリセットする必要があります **(P.147)**。なお周波数の切り替え時期は地域によって異なります。

なお、平成 23 年 3 月 11 日の東日本大震災により甚大な被害を受けた岩手県、宮城県、福島県においては、法令上の期限である平成 23 年 7 月 24 日までに地上デジタル放送の受信環境の整備が間に合わないと見込まれたため、当該地域における地上アナログ放送の周波数の使用の期限を平成 24 年 3 月 31 日までとしていますので、これら地域におけるリパックは、平成 24 年 4 月 1 日から 1 年以内に実施する予定です。

周波数リパックの情報に関しては下記の URL を参照ください。

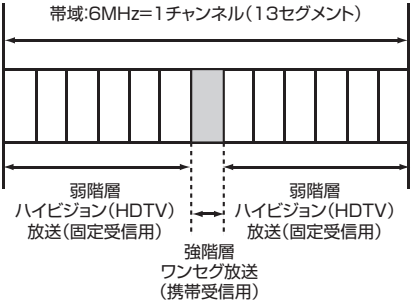
- デジサポのホームページ
  http://digisuppo.jp/index.php/repack/
- 総務省の資料
  http://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/dtv/pdf/090403_02_bt.pdf

地上デジタル放送とは

地上波の UHF 帯を使用したデジタル放送です。高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。本機では、ワンセグ／ 12 セグの地上デジタル放送を楽しめます。

12 セグとワンセグについて

日本の地上デジタル放送は、UHF 帯域の電波を使用しており、約 6MHz の帯域を 1 つのチャンネルとして 13 個のセグメントと呼ばれる領域に分けて放送する仕組みとなっています。そのうち 12 セグメントを使って高画質・高音質の固定受信向けの HDTV 放送（弱階層）を行うサービスを 12 セグと呼びます。ワンセグ放送は、残り 1 セグメントを使って携帯や移動体向けの簡易動画放送（強階層）を行うサービスです。
ワンセグは 12 セグに比べると画質や音質は劣りますが、電波の到達距離は 12 セグより長く、送信局から離れた場所でも安定して受信できる特長を備えています。



マルチチャンネル放送について

地上デジタル放送では、1 つの放送局が図のように周波数帯域を 2 ～ 5 に分け、それらを組み合わせることでチャンネルを構成しています。

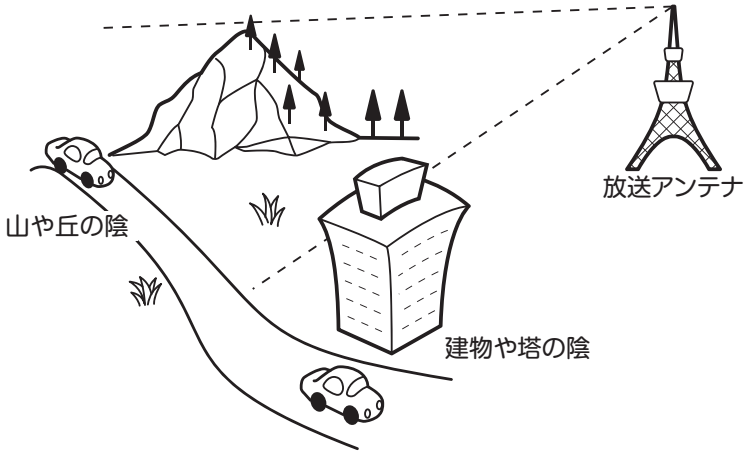
	A 放送局		
	○○○ch	△△△ch	×××ch
6 時	プロ野球中継 （デジタルハイビジョン放送）		
7 時	プロ野球 （標準テレビ放送）	ドラマ （標準テレビ放送）	ニュース （標準テレビ放送）
8 時	映画 （デジタルハイビジョン放送）		

上記の例で、6 時台は○○○ ch と△△△ ch と××× ch のすべてを使いプロ野球を放送。7 時台は○○○ ch でプロ野球、△△△ ch でドラマ、××× ch でニュースをそれぞれ放送。8 時台は、○○○ ch と△△△ ch と××× ch のすべてを使い映画を放送、などのような編成ができます。
上記の放送の例では、○○○ ch をメインチャンネル、△△△ ch と××× ch をサブチャンネルと呼びます。
本機はマルチチャンネルに対応しています。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

テレビ放送の受信について

テレビ放送をご覧になるにあたって、以下のような現象が起こることがあります。
車の移動によって、建物や山などの障害物に影響されて電波の強さが変わり、受信状態が悪くなることがあります。
放送エリアから離れると、電波が弱くなり、受信状態が悪くなります。
電車の架線や高圧線、信号機などの外部要因により、画像が乱れたりする場合があります。



アナログ放送からデジタル放送への移行について

地上アナログ放送は 2011 年 7 月に終了し、地上デジタル放送へと移行しました。

テレビを見る前に

テレビを視聴するために必要な mini B-CAS カードについて説明します。

mini B-CAS カードについて

mini B-CAS カード（以降、B-CAS カード）は、デジタル放送番組の著作権保護や有料放送の視聴などに利用するカードです。
地上デジタル放送では、この B-CAS カードがセットされていないと放送をご覧になれません。
地上デジタル放送を視聴するときは、必ず本機に B-CAS カードを入れてください。

MEMO

B-CAS カードは本機に付属のものを使用してください。

●地上デジタルテレビ放送は、放送番組の著作権保護のため、コピー制御信号を加えて放送しています。その信号を有効に機能させるために B-CAS カードが必要です。
● B-CAS カードを折り曲げたり、濡らしたり、大きな衝撃を加えたりしないでください。衝撃などが加わると B-CAS カードが故障するおそれがあります。
● B-CAS カードの金属端子部は触らないでください。金属端子部に触れると B-CAS カードが故障するおそれがあります。
● B-CAS カードを直射日光に当たるところに長時間放置しないでください。高温により B-CAS カードが故障するおそれがあります。
● B-CAS カードを磁気がある場所に放置しないでください。
磁気により B-CAS カードが故障するおそれがあります。
●試乗車など、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
※試乗車の場合は、特別用途向けカードをご使用ください。

mini B-CAS カードを台紙から取る

B-CAS カードの「使用許諾契約約款」をよくお読みになり、お客様ご自身でパッケージを開封してください。お客様がカードのパッケージを開封した時点で、カード台紙に記載の「B-CAS カード利用許諾契約約款」を締結したことになります。
B-CAS カードが貼り付けられていた台紙は、大切に保管しておいてください。B-CAS カスタマーセンターへ問い合わせる際の案内などが記載されています。

MEMO

- B-CAS カードに関する内容の問い合わせや、B-CAS カードを紛失された場合は、下記の問い合わせ先へ連絡してください。
株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ　カスタマーセンター
TEL：0570-000-250（AM10：00 ～ PM8：00）（年中無休）
- お問い合わせ時に B-CAS カードの ID（識別）番号が必要となる場合があります。あらかじめ B-CAS カードの ID 番号は控えておいてください（**P.154**）。

mini B-CAS カードのセット

MEMO

- B-CAS カードの抜き差しは、必ずエンジンを切った状態で行ってください。
- 故障の原因となりますので、カード挿入口に B-CAS カード以外のものを挿入しないでください。
- 車から離れるときは、必ず操作パネルを閉じてください。

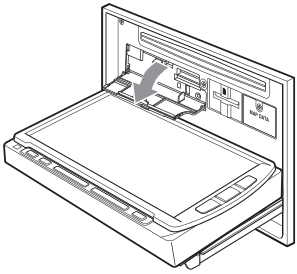
1 **エンジンを切る**

2 ⏏

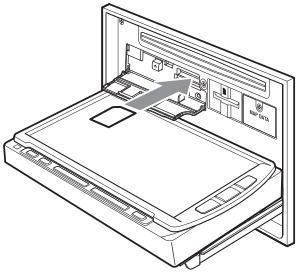
操作パネルが開きます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

3 **mini B-CAS カード挿入口のフタを指先で手前に倒す**



4 **金属端子部を下にして、mini B-CAS カードをカード挿入口に挿入する**

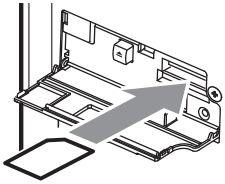


5 **mini B-CAS カード挿入口のフタを閉める**

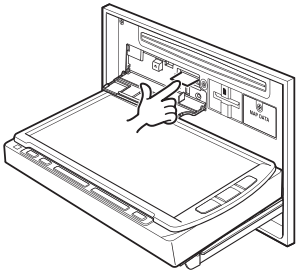
6 ⏏

MEMO

- mini B-CAS カードを入れる向きを間違えないようにしてください。入れる向きを間違えると地上デジタル放送を視聴できません。



- mini B-CAS カードは必ず奥に突き当たるまで差し込んでください。奥まで差し込まれていないと、操作パネルが閉じなくなり、受信できません。（カチッと音がするまで差し込みます。）
- mini B-CAS カードを抜く場合は、カードや本体を傷つけないよう静かに抜いてください。（指先でカチッと音がするまで押して離します。その後、指先でカードをしっかりつまんで手前に抜き取ります。）



- mini B-CAS カード挿入口のフタが開いている状態では、操作パネルは閉じません。
- 操作パネルが閉じた状態で、走行中に B-CAS 挿入口のフタが開くと、自動的に操作パネルが開くようになっています。

地上デジタル放送の受信について

⚠ 警告

- **運転者がテレビを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみテレビの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

MEMO

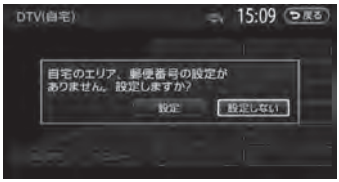
- 地上デジタル放送を受信するには、受信用アンテナが必要です。
- 本機は地上デジタル 12 セグ放送とワンセグ放送の自動切り替え機能を備えています。12 セグ放送の受信状態が悪化したときに、自動的にワンセグ放送に切り替えることができます （P.151）。
- 地上デジタル放送受信中に音量を調整した場合、ほかのソース（ラジオ、DVD などの音源・映像源）に切り替えて音量を変えても、次回地上デジタル放送を受信したときに元の音量で見られます。
- 地上デジタル放送受信時に画像が乱れることがありますが、故障ではありません。また画像が一時止まる場合がありますが、デジタル処理によるもので故障ではありません。

はじめて使うときは

はじめて地上デジタル放送を見るときは、受信できる放送局を探して、本機に記憶（オートプリセット）させます。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 設定



MEMO

設定しない をタッチすると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。

3 テレビを受信する地域を選択

4 テレビを受信する地域の郵便番号を入力 ▶ 決定

5 はい

受信できる放送局を探して、本機に自動登録します。オートプリセットが終了するまで、しばらくお待ちください。
オートプリセットが終了すると、テレビ画面に切り替わります。

次回から AUDIO ▶ Digital TV でテレビ画面が表示されます。
画面のキーに触れないまま約 8 秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO

- 手動でキーを消すには、戻る をタッチします。
- 手順 3、手順 4 で「設定しない」を選択しても、オートプリセットを実行することができます。
- 手順 5 で「いいえ」を選択すると、テレビ画面に切り替わります。この場合、放送局のリスト（プリセットチャンネルリスト）には何も表示されません。
- 受信する地域と郵便番号は、設定画面からも設定できます **(P.153)**。

ワンセグ／ 12 セグの自動切替機能について

本機の地上デジタル TV チューナーは、12 セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12 セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。
自動切替機能 ON **(P.151)** 時に、12 セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。

MEMO

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や 12 セグ放送で視聴していたチャンネルがワンセグ放送にない場合には、自動切替機能は働きません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていないのにワンセグと認識してデータが送信され、自動切替機能が動作する場合があります。
- 自動切替機能を ON に設定していると、手動でワンセグ放送に切り替えても 12 セグ放送の受信電波が強くなった場合は、12 セグ放送に切り替わります。
- 放送局によっては、12 セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。
- 自動切替機能 OFF 時に、12 セグ放送受信時に電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、12 セグ放送の映像が静止画で表示されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

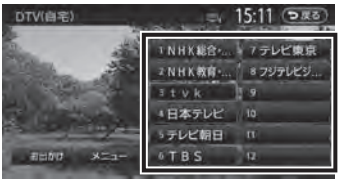
地上デジタル放送の選局をする

テレビ画面から選局する

現在見ている画面から、ほかのチャンネルに切り替えることができます。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 **放送局を選択**



選択した放送局に切り替わります。

MEMO

⏮ または ⏭ を押して、チャンネルを切り替えることもできます。

自動で選局する

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 ⏮ または ⏭ **(長押し)**

受信可能な放送局を検出すると、自動的に終了しその放送局を受信します。

MEMO

「1 セグ / 地デジ切替」**(P.151)** を「自動」に設定している場合、12 セグ放送を優先して受信します。

受信可能な中継局／系列局を探す

走行中に受信状態が悪くなった場合などに、中継局や系列局を探して切り替えることができます。はじめに中継局を探し、中継局がなければ系列局を探します。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 系列局サーチ

走行エリア内で、受信状態の良い中継局／系列局を探索し切り替えます。
異なる地域をまたいで走行する場合は、中継局／系列局を自動で探し出して受信することができます **(P.152)**。

MEMO

- 「1 セグ / 地デジ切替」**(P.151)** を「自動」に設定している場合、12 セグ放送を優先して受信します。
- 系列局に切り替わった場合、時間帯によって番組内容が異なることがあります。
- 切り替わった中継局／系列局は、プリセットチャンネルリストに自動登録されません。

番組表（EPG）から選局する

見たい番組を番組表から探して選局します。

1 AUDIO ▶ Digital TV
2 メニュー ▶ 番組表
3 ▲、▼、◀、▶ で番組を選択 ▶ 決定

選択した番組の放送を受信します。

番組表切替：
タッチするたびに、番組表の表示をワンセグ／ 12 セグに切り替えます。
※「1 セグ / 地デジ切替」**(P.151)** を「自動」に設定している場合のみ

前日：
翌日以降の番組表を参照中に、前日の番組表を表示します。

翌日：
翌日の番組表を表示します。

表示切替：
番組表の表示を、メインチャンネルのみ／全チャンネルに切り替えます。

拡大縮小：
タッチするごとに 4 パターンの拡大縮小画面が表示されます。

更新：
番組表の内容を更新します。

MEMO

- 番組表は、ほかのソース選択時やオーディオパワー OFF 時などテレビモードが OFF のときには、15 分ごとに自動で更新されます。
- 現在の放送時間ではない番組を選択すると、番組内容が表示されます **(P.149)**。

チャンネル番号を入力して選局する

12 セグおよびワンセグ放送のメイン／サブチャンネルを直接入力して選局することができます。

1 AUDIO ▶ Digital TV
2 メニュー ▶ 設定
3 チャンネル番号入力
4 チャンネル番号を入力 ▶ 決定

MEMO

- 3 桁に満たない番号を入力した場合は、決定はタッチできません。
- 「1 セグ/地デジ切替」**(P.151)** が「自動」の場合は、ワンセグ／ 12 セグのどちらの 3 桁チャンネル番号を入力しても放送局があれば選局されます。
- 「1 セグ固定」の場合はワンセグ 3 桁チャンネル、「地デジ固定」の場合は 12 セグ 3 桁チャンネル番号のみ選局されます。
- テレビ画面で見たい番組の放送局をタッチして、直接選局することもできます。

地上デジタル放送の放送局リストを利用する

よく見る放送局を放送局リストにプリセット（あらかじめ放送局を本機に記憶させておくこと）できます。放送局リストは、自宅モードとお出かけモードの 2 種類があります。登録できる放送局は、それぞれのモードで 12 個までです。

プリセットチャンネルとは

現在走行中のエリアで受信可能な放送局を登録できるチャンネルです。何度もチャンネルを合わせることなく、ワンタッチでお好みの放送局を受信できます。
プリセットチャンネルへの登録方法は、手動と自動の 2 種類があります。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

プリセットチャンネルリスト
(放送局リスト)

MEMO

- プリセットチャンネルに登録される放送局は、メインチャンネルのみです。サブチャンネルを受信中にプリセットチャンネルを登録しても、そのメインチャンネルが登録されます。
- 「1 セグ/地デジ切替」(P.151)の設定を変更して、ワンセグと 12 セグを切り替えても、プリセットチャンネルリストの表示は変わりません。

受信バンドを活用する

地域によって放送局が異なる場合に、そのエリア内でのプリセットチャンネルを「自宅」、「お出かけ」にそれぞれ設定することで、受信バンドをワンタッチで切り替えて利用できます。
たとえば東京にお住まいで、よく大阪に出かけられる場合は、「自宅」に東京、「お出かけ」に大阪の放送局を登録しておけば、お出かけ時にもワンタッチでお好みの放送局を受信することができます。
12 セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにバンドを切り替え、再度元のバンドに戻ると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 お出かけ

放送局リストの表示が切り替わります。
お出かけモード選択時には、キーのランプが点灯します。自宅モード選択時にはランプが消灯します。

リストに自動で登録する(オートプリセット)

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ オートプリセット

受信可能な放送局が、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。

MEMO

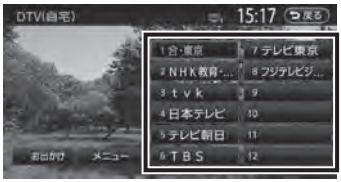
- お出かけモード中で、かつ、お出かけ地域を設定(P.153)している場合は、手順2の後に「現在のお出かけ地域設定を考慮しますか?」というメッセージが表示されます。 はい または いいえ をタッチして、オートプリセットを行います。
- 本操作中は、放送局を選択できません。終了するまでお待ちください。
- 受信状態によっては、1 分ほど処理時間がかかることがあります。
- オートプリセット中は、キャンセル を押してキャンセルすることができます。
- オートプリセットを行うと、現在のプリセットチャンネルに上書き登録されます。
  以前に手動で登録したプリセットチャンネルが消去される場合もあります。
- オートプリセットを途中解除した場合は、プリセットチャンネルの内容は書き換わらず、プリセットチャンネルのうち、オートプリセット前に受信していたチャンネルが選局されます。
- 地域設定(P.153)で優先エリアに指定されている地域の番組は、優先的にプリセットチャンネルに登録されます。
- 県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合は、オートプリセットしたリスト内の未登録のプリセットチャンネルに割り振られます。
- 空きプリセットチャンネル数により、オートプリセットした結果が全部は登録できない場合があります。
- 「1 セグ/地デジ切替」(P.151)が「自動」の場合は、12 セグを優先して受信します。「1 セグ固定」または「地デジ固定」の場合は、選択したモードで受信します。

リストに手動で登録する

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 登録したい放送局を受信

3 登録するチャンネルを、「ピーッ」という音がするまで長押し



受信中の放送局が、そのチャンネルに上書き登録されます。

メイン／サブチャンネルを選局する

受信中のチャンネルにサブチャンネルが存在する場合、メインチャンネルからサブチャンネルに切り替えることができます。サブチャンネルが存在する場合は、画面に「SUB」と表示されます。（12セグのみ）

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 受信中のプリセットチャンネルを選択

サブチャンネルに切り替わります。

地上デジタル放送の便利な機能を利用する

番組内容を見る（12セグ放送のみ）

現在受信中の番組の詳細内容を表示します。

MEMO

走行中は、本操作を行えません。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 番組内容

MEMO

番組表（EPG）画面（P.147）で現在の放送時間ではない番組を選択した場合も、番組内容を表示できます。この場合は、番組内容の概要が表示されます。

データ放送を利用する（12セグ放送のみ）

地上デジタル放送には、映像や音声によるテレビ放送のほかに、現在地周辺の生活情報やクイズ・ニュース・天気予報などの便利な情報をお知らせするデータ放送があります。

MEMO

データ放送がない番組の場合、d をタッチしてもデータ放送画面は表示されません。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ データ放送操作キー呼出

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVDを見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rackを使う
SDカード／USBメモリーの音楽を聴く
iPodを聴く／iPodビデオを見る
Bluetoothオーディオを聴く

3 d

データ放送画面が表示されます。
画面を操作する場合は手順 4 に進みます。

：
手順 4 に進み、画面を操作できます。

d：
データ放送の表示／非表示を切り替えます。

終了：
データ放送の表示を終了し、テレビ画面に戻ります。

4

画面上に操作キーが表示されます。

青 赤 緑 黄：
画面に表示されている指示にしたがってタッチします。

0-9：
数字入力メニューに切り替わります。

d：
データ放送の表示／非表示を切り替えます。

移動：
操作キーの位置を画面の左右に移動します。

消す：
操作キーの表示を消します。

MEMO

- チャンネル選局直後には d をタッチしても動作しないことがあります。その際は、再度 d をタッチしてください。
- 画面下に「データ取得中」と表示されているときは、データ放送取得中のため、表示が消えてから d をタッチしてください。

緊急放送を見る

緊急放送とは、災害など、緊急な出来事が発生した場合に視聴者に、いち早く情報を知らせる放送システムです。
デジタル放送受信中に緊急放送がはじまると、画面に「EWS」(Emergency Warning System)、または「緊急放送を受信しました」と表示され、自動で緊急放送に切り替わります。

放送が終了すると、緊急放送前のチャンネルに自動で戻ります。

MEMO

- 緊急放送中でもチャンネル切り替えなどの操作はできます。
- 切り替えた放送局が緊急放送中の場合も、同様に緊急放送が表示されます。

自動表示メッセージについて

テレビを視聴中に、放送局から自動的に送られてくるメッセージがある場合は、そのメッセージ内容が画面上に表示されます。

テレビ画面で メッセージ消 をタッチすると、自動表示メッセージが消去されます。表示されない場合は、自動表示メッセージは消去できません。放送局側によって自動消去されるまでお待ちください。

地上デジタル放送の設定をする

地上デジタル放送で 12 セグとワンセグ共通の各種設定・編集ができます。

ワンセグ／ 12 セグの切り替え設定をする

本機の地上デジタル TV チューナーは、12 セグ放送受信時に電波が弱くなった場合、12 セグ放送からワンセグ放送へ自動的に切り替える機能を搭載しています。
「自動」に設定中は、12 セグ放送視聴中に受信電波が弱くなると、視聴していたチャンネルのワンセグ放送に自動的に切り替わります。
また、ワンセグ／ 12 セグのみ受信することもできます。

MEMO

- ワンセグ放送の受信感度が悪い場合や 12 セグ放送で視聴していたチャンネルにワンセグ放送がない場合には、自動的に切り替わりません。ただし放送局によっては、ワンセグ放送を行っていなくても、自動的に切り替わる場合があります。
- 放送局によっては、12 セグ放送とワンセグ放送とで番組が異なる場合があります。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 設定

3 [1 セグ / 地デジ切替] の ◀ 、▶ で項目を選択

自動：
12 セグ放送とワンセグ放送を自動で切り替えます。

地デジ固定：
12 セグ放送を受信します。

1 セグ固定：
ワンセグ放送を受信します。

MEMO

- 工場出荷時、「1 セグ / 地デジ切替」は「自動」に設定されています。
- 12 セグ放送のサブチャンネルを視聴しているときにワンセグ放送に切り替え、再度 12 セグ放送に切り替えると、視聴しているサブチャンネルに戻ります。
- 「地デジ固定」に設定中、電波が弱くなった場合は、ワンセグ放送に切り替わらずに、12 セグ放送の映像が静止画で表示されます。

音声言語を切り替える

2 ヶ国語放送や複数の音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 設定

3 [音声] の ◀ 、▶ で音声を選択

受信される番組は、それぞれ音声種類を持っています。12 セグ放送は最大 16 音声まで、ワンセグ放送は 2 音声まで切り替えられます。

MEMO

音声を切り替えた後、ほかのチャンネルに切り替えると第 1 音声に戻ります。同じチャンネルのまま 12 セグとワンセグを切り替えた場合、設定した音声は変わりません。

二重音声を切り替える

主音声／副音声がある番組で、音声を切り替えます。

1 AUDIO ▶ Digital TV
2 メニュー ▶ 設定
3 ［主 / 副］の ◀ 、▶ で音声を選択

「主音声」「副音声」「主 / 副 音声」から選択します。

MEMO

- 工場出荷時、音声は「主音声」に設定されています。
- 副音声の状態でほかのチャンネルに切り替えたとき、同じく副音声で放送されていればそのまま継続されます。

字幕表示を切り替える

字幕のついた番組受信中に字幕を表示する機能を設定します。
表示する場合は「第一言語」「第二言語」の各言語から選択します。

1 AUDIO ▶ Digital TV
2 メニュー ▶ 設定
3 ［字幕］の ◀ 、▶ で項目を選択

「第一言語」「第二言語」「非表示」から選択します。

MEMO

工場出荷時、字幕表示は「非表示」に設定されています。

放送局を自動で切り替える

時間内に放送が終わらなかったとき、局が変更される番組（高校野球中継など）について、放送局の切り替えを自動で行えます。

1 AUDIO ▶ Digital TV
2 メニュー ▶ 設定
3 イベントリレー

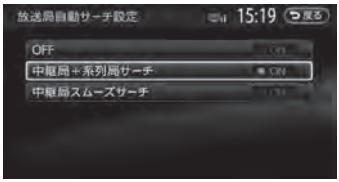
MEMO

工場出荷時、イベントリレーは「ON」に設定されています。

系列局／中継局を自動で探す

走行中に電波状態が悪化し、30 秒間受信レベルが回復しない場合、放送局を自動でサーチするように設定することができます。

1 AUDIO ▶ Digital TV
2 メニュー ▶ 設定
3 放送局自動サーチ設定



OFF：
放送局の自動サーチを行いません。

中継局＋系列局サーチ：
走行している地域が変わった場合、その地域の中継局／系列局を自動でサーチします。電波が弱くなると、自動サーチを開始します。

中継局スムーズサーチ：
受信中の番組が 12 セグからワンセグに切り替わった場合、その地域の中継局を自動でサーチします。受信中の番組が受信不可となる前に、受信状態が良好な中継局の番組に自動的に切り替わります。また、受信不可になると自動で中継局／系列局をサーチします。
「1 セグ / 地デジ切替」が「地デジ固定」の場合は本機能は動作しません。

MEMO

- 工場出荷時、「放送局自動サーチ設定」は「中継局＋系列局サーチ」に設定されています。
- 中継局スムーズサーチは、放送局から送られてくる情報をもとにサーチ先を決定しています。そのため、新規に追加された中継局などは、サーチ対象とならない場合があります。

優先エリアを切り替える

県境などでオートプリセットを実行時、同じチャンネルに複数の放送局が重なった場合に、優先エリアのチャンネルが選択されるよう設定します。またデータ放送受信時に地域情報を取得するために郵便番号を設定します。
優先地域と郵便番号は「自宅」と「お出かけ」でそれぞれ設定できます。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 設定

3 自宅エリア・郵便番号設定
（自宅モード中）または
お出かけエリア・郵便番号設定
（お出かけモード中）

4 優先させたい地域を選択

5 郵便番号を入力 ▶ 決定

6 はい または いいえ

はい をタッチすると、オートプリセット(P.148)が開始されます。いいえ をタッチすると、オートプリセットを行わず、テレビ画面に切り替わります。

MEMO

- 工場出荷時、地域および郵便番号は設定されていません。
- エリアのみ設定したい場合や、その地域の郵便番号が不明な場合には、「設定しない」を選択してください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

放送メールを表示する

放送局から送られてくるメールの内容を表示できます。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 設定

3 放送メール

放送メール一覧画面が表示されます。
すでに表示したメールは「既読」が、まだ表示していないメールには「未読」が表示されます。

4 メールを選択 ▶ 決定

選択した放送メールの内容が表示されます。

MEMO

- 放送メールの内容が複数ページあるときは、▲ ▼ で画面をスクロールして表示します。
- 放送メールを選択して消去することができます。手順 4 で 消去 をタッチし、確認画面で はい をタッチしてください。また、すべての放送メールを一括で消去することもできます。
- 受信した放送メールは最大 8 個まで保存されます。8 個以上の放送メールを受信した場合は、一番古い放送メールが自動的に消去されます。一番古いメールが未読状態でも消去されます。
- 放送メールの受信が 1 通もない場合、放送メール はタッチできません。

B-CAS カード情報を確認する

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 設定

3 B-CASカード情報

B-CAS カード ID の確認画面が表示されます。

MEMO

- テスト をタッチすると、B-CAS カードの通信テストを行います。通信テストがエラーの場合、番組放送画面に戻るときにメッセージが表示されます。メッセージの内容にしたがって対処してください。
- B-CAS カード未挿入時には、B-CAS カード ID の確認画面の各項目には［－－－－］が表示されます。

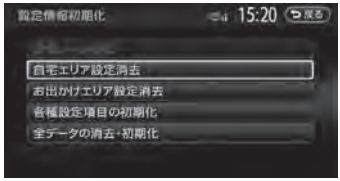
地上デジタル放送の設定情報を初期化する

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 設定

3 設定情報初期化

4 初期化したい設定情報を選択



消去の確認画面が表示されます。

受信メール消去：
放送メールをすべて消去します。

自宅エリア設定消去：
自宅モードの地域と郵便番号設定を消去します。

お出かけエリア設定消去：
お出かけモードの地域と郵便番号設定を消去します。

各種設定項目の初期化：
設定メニューで設定した項目を初期化します。プリセットチャンネルリストおよび画質調整設定の初期化、放送メールの消去は行いません。

全データの消去・初期化：
設定メニューで設定した項目およびプリセットチャンネルリストを初期化します。また、放送メールをすべて消去します。 画質調整の設定は初期化されません。

5 はい

選択した各設定が初期化されます。

MEMO

初期化メッセージ表示中には、エンジンを切らないでください。初期化中にエンジンを切った場合、初期化できないことがあります。

映像／音声のずれを補正する

12 セグ／ワンセグ自動切り替え時の映像／音声のずれを軽減します。

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 設定

3 遅延補正

MEMO

工場出荷時、遅延補正は「ON」に設定されています。

地上デジタル放送の画質を調整する

1 AUDIO ▶ Digital TV

2 メニュー ▶ 設定

3 画質調整

4 調整する項目を選択

明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

5 − または ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

MEMO

画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

DVD を見る

本機では、市販されている DVD ビデオ、またご家庭などで録画された DVD-VR をお楽しみいただけます。DVD ビデオと DVD-VR では操作方法が異なります。ご利用になる DVD の種類に該当する箇所を参照ください。
利用できる DVD については、「ディスクについて」（P.128）を参照してください。

DVD を再生する

⚠ 警告

- **運転者が DVD の映像を見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみ DVD の映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

MEMO

市販の DVD（DVD ビデオ）とご家庭で録画された DVD（DVD-VR）の画面は異なります。

市販の DVD（DVD ビデオ）の再生

1 DVD ビデオをセットする、または AUDIO ▶ DVD/CD

本機にセットされた DVD ビデオが再生されます。

画面のキーに触れないまま 5 秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO

手動でキーを消すには、戻る をタッチします。

ご家庭で録画した DVD（DVD-VR）の再生

1 DVD-VR をセットする、または AUDIO ▶ DVD/CD

本機にセットされた DVD-VR が再生されます。

画面のキーに触れないまま 5 秒が経過すると、画面に表示されているキーが消えます。再度表示させるには画面をタッチします。

MEMO

手動でキーを消すには、戻る をタッチします。

再生を停止する

1 再生中に ▶/II（長押し）

MEMO

- 停止中に ▶/II をタッチすると、再生がはじまります。
- 停止中に ▶/II をタッチし続けると、再生が完全に停止します。次に再生したときは、ディスクの先頭から再生されます。

一時停止する

1 再生中に ▶/II

MEMO
- 一時停止中に ▶/II をタッチし続けると、再生が停止します。
- 一時停止中に交通情報を聞くと、一時停止が解除され、再生がはじまります。
- DVD ビデオの場合、メニュー中に一時停止や再生開始などのキー操作ができない場合があります。そのような場合は、メニュー操作 をタッチして、DVD メニューの操作キーから操作を行ってください。

前／次のチャプターを再生する

1 ⏮ または ⏭

MEMO
- ⏮ を押すとチャプターの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のチャプターに移動します。
- ⏭ を押すごとに次のチャプターに移動します。

早戻し／早送りする

1 再生中に ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）（長押し）

MEMO
⏮、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

スロー再生する

1 再生中に ▶/II ▶ ⏭（長押し）

MEMO
- ⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- スロー再生中は、再生情報表示部に「スロー再生 1/4」と表示されます。

リピート再生をする

1 つのチャプターまたはタイトルを繰り返して再生（リピート再生）できます。

MEMO
DVD-VR でプレイリストを利用して再生している場合は、リピート再生を行えません。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 リピート

リピート再生がはじまります。

MEMO
通常再生に戻す場合は、リピート を再度タッチします。

メニューから再生する（DVD ビデオ）

DVD ビデオディスクには、そのディスク特有の DVD メニュー（ディスクメニュー）が収録されているものがあります。ディスクメニューを利用して、本編や映像特典など、見たい映像をすぐに再生できます。
表示されるメニューや操作方法は、各ディスクにより異なります。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

2 メニュー操作

MEMO

「現在その操作はできません」と表示された場合は、DVD ビデオのディスク自体にメニューが設定されていません。

3 トップメニュー または メニュー

トップメニューまたは再生中のチャプターのメニューが表示されます。

4 ▲、◀、▶、▼ でメニューを選択 ▶ 決定

選択したメニュー項目が再生されます。

MEMO

10キー をタッチすると、メニュー番号を直接入力してメニュー項目を選択できます。

タイトルリストから再生する（DVD-VR）

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 リスト

3 見たいタイトルを選択

4 戻る

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

プレイリストから再生する（DVD-VR）

プレイリストとは、DVD 映像をお好みのシーンだけに編集し、独自に作成したタイトルです。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 プレイリスト （ランプの点灯を確認）

3 リスト

4 見たい項目を選択

選択した項目が再生されます。

MEMO

番号指定 をタッチしてプレイリスト番号を入力すると、入力した番号が先頭になったプレイリストが表示されます。

5 戻る

リスト画面が消え、映像画面に切り替わります。

MEMO

プレイリスト をタッチするたびに、タイトルリスト表示とプレイリスト表示が切り替わります。 プレイリスト のランプが点灯した状態で リスト をタッチすると、プレイリストが表示されます。

静止画の切り替えをする（DVD-VR）

1 つのチャプターに複数の静止画が記録されている場合、静止画の切り替えを行うことで、チャプター内の静止画が再生できます。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 静止画切替

MEMO

静止画切替 は静止画再生時のみ表示されます。

タッチするたびにチャプター内の静止画が切り替わります。

MEMO

- 静止画切替 をタッチしてもほかのチャプターの静止画は再生されません。ほかのチャプターは ⏮ ⏭ を押して再生してください。
- チャプター内に静止画が 1 枚しか収録されていない場合などは、「現在その操作はできません」というメッセージが表示されます。

タイトル・チャプター番号を入力して再生する（DVD ビデオ）

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 設定 ▶ 10キーダイレクト入力

3 タイトル番号・チャプター番号を入力

チャプター：
チャプター番号を入力するときにタッチします。

タイトル：
タイトル番号を入力するときにタッチします。

4 決定 ▶ 戻る ▶ 戻る

入力したタイトルまたはチャプターが再生されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

DVD の設定をする

字幕言語・音声言語・アングルを切り替える（DVD ビデオ）

DVD に字幕、複数の音声およびアングルが収録されている場合のみ有効です。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 設定 ▶ 音声・字幕・アングル

3 音声 、字幕 、アングル

タッチするたびに音声言語、字幕言語、アングルの設定が切り替わります。

MEMO

- 設定できる言語はディスクによって異なります。
- 初期設定(P.162)で設定できる言語以外の言語が収録されている場合は、「その他」と表示されます。
- 「OFF」を表示させると、字幕を消せます。

4 戻る

設定が確定します。

字幕表示・音声を切り替える（DVD-VR）

DVD に字幕、複数の音声が収録されている場合のみ有効です。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 設定 ▶ 音声・字幕

3 音声 または 字幕

タッチするたびに音声または字幕の設定が切り替わります。

MEMO

設定できる音声はディスクによって異なります。

4 戻る

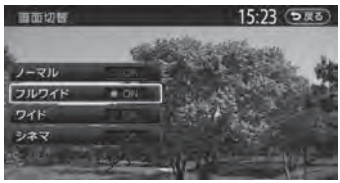
設定が確定します。

画面サイズを切り替える

1 AUDIO ▶ DVD/CD

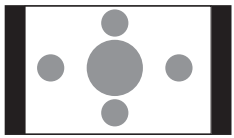
2 設定 ▶ 画面切替

3 画面サイズを選択



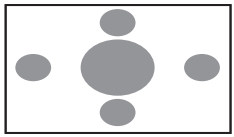
選択したサイズで画面が表示されます。

ノーマル：



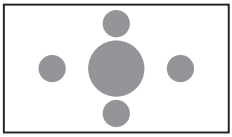
映像が縦横の比率を変えずに中央に表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、画面の余った部分が黒く表示されます。

フルワイド：



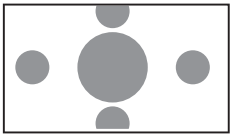
映像が画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の比率が変わって表示されます。

ワイド：



映像の左右部分が横に広がって画面いっぱいに表示されます。映像と画面のサイズが異なる場合に違和感を少なく表示できます。

シネマ：



シネスコサイズやビスタサイズの映像を表示するときに使います。映像と画面のサイズが異なる場合、映像の横部分と画面の横縦部分の大きさを合わせて表示されます。上下の余った部分が黒く表示されます。

4 戻る

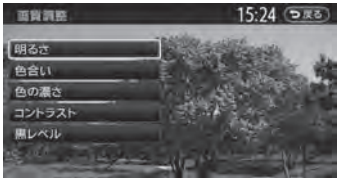
画質を調整する

DVD ビデオ、DVD-VR の画質をお好みで調整できます。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 設定 ▶ 画質調整

3 **調整する項目を選択**



明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

4 − または ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

MEMO

画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

状態表示を設定する

DVD の再生画面に、常に再生状態（チャプター番号、再生時間）を表示できます。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 DVD ビデオ：設定 ▶ 初期設定

DVD-VR：設定

3 常に状態を表示する

再生状態の表示が設定されます。

MEMO

再生状態の表示を解除する場合は、
常に状態を表示する を再度タッチします。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

DVD ビデオの初期設定を変更する

MEMO

- 初期設定画面から各設定画面に移動すると、DVD の再生は停止します。設定終了後は、DVD の再生がはじまりますが、設定内容によって再生がはじまる位置が異なります。(DVD の先頭から再生されることもあれば、設定前の場所から再生がはじまることもあります)
- 以下の初期設定画面で何もせずに画面を閉じると、設定前の場所から再生がはじまります。

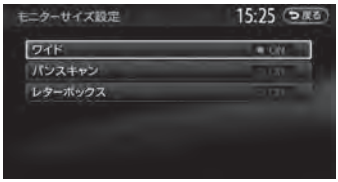
モニターサイズを設定する

1 AUDIO ▶ DVD/CD

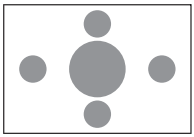
2 設定 ▶ 初期設定

3 モニターサイズ設定

4 モニターサイズを選択

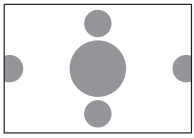


ワイド：



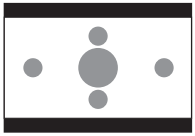
映像が画面にぴったり納まります。映像と画面の比率が違う場合は、変形して表示されます。映像が切れる部分はありません。

パンスキャン：



画面の上下と映像の高さが合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、映像の左右が切れて表示されます。

レターボックス：



画面の横幅と映像の幅が合わせて表示されます。映像と画面の比率が違う場合は、上下に黒い帯が表示されます。

MEMO

収録されているモニターサイズは、ディスクごとに異なります。モニターサイズを「パンスキャン」または「レターボックス」に設定しても、ディスクによっては自動的にどちらかで再生される場合があります。

優先する言語を設定する

再生時に優先する言語を、メニュー言語、音声言語、字幕言語のそれぞれについて設定できます。ここでは、メニュー言語の設定を例として説明しています。

MEMO

本設定は、DVD 再生時に優先する言語の設定です。必ずしも切り替えた言語で再生されるわけではありません。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 設定 ▶ 初期設定

3 メニュー言語 、音声言語 、字幕言語

4 言語を選択

MEMO

字幕言語のみ、英語、フランス語、スペイン語、中国語、日本語、OFF から選択できます。

パレンタルレベルとパスワードを設定する

パレンタルレベルとは、お子様に対し DVD の視聴を制限させるために設定するものです。パレンタルレベルの設定には、パスワードが必要です。

■ 視聴制限（パレンタルレベル）について

DVD ビデオには、「視聴制限（パレンタルレベル）」が設定されているものがあります。パレンタルレベルはレベル 1 ～ 8 まであり、数字が小さくなるほど視聴制限が厳しくなります。視聴制限が設定されているディスクは、本機のパレンタルレベル設定によっては再生できないことがあります。

例：DVD の視聴制限がレベル 3 の場合

本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル 4 ～ 8」の場合のみ、再生できます。
本機で設定したパレンタルレベルが、「レベル 1 ～ 3」の場合は、再生しようとすると「パレンタルレベル変更」の警告メッセージが表示されます。
また、パレンタルレベルは国によって異なるため、カントリーコードを設定しないと、視聴制限がうまく機能しない場合があります。

MEMO

- パレンタルレベルは、DVD のパッケージなどに記載されています。パッケージにパレンタルレベルが記載されていないディスクは、パレンタルレベルを設定しても視聴制限はかけられません。
- パレンタルレベルの設定をする場合は、パスワードの設定が必要です。
- 視聴制限をかけない場合は、パレンタルレベルの設定は必要ありません。
  パレンタルレベルの初期設定は「パレンタルレベル OFF」で、すべての DVD ビデオに対して視聴制限のない状態になっています。

■ パスワードを設定・変更する

視聴制限の設定に必要なパスワードを設定・変更します。

1. AUDIO ▶ DVD/CD
2. 設定 ▶ 初期設定
3. パスワード
4. パスワードを入力 ▶ 決定

   入力されたパスワードは、「＊＊＊＊」と表示されます。
   新規パスワード設定の場合→手順 7 へ
5. パスワードの変更
6. 新しいパスワードを入力 ▶ 決定
7. 再度同じパスワードを入力 ▶ 決定

   新しいパスワードが設定されます。

MEMO

- パスワードは初期設定では「未設定」となっています。パレンタルレベルの設定変更をよく行う場合は、パスワードの消去を行いパスワードの設定を「未設定」にしておくとパスワード入力の手間を省けます。
- パスワードを消去するには、パスワード編集画面で パスワードの消去 をタッチします。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

■ パレンタルレベルを設定する

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 設定 ▶ 初期設定

3 視聴制限（パレンタルレベル）

4 パスワードを入力 ▶ 決定

5 パレンタルレベルを選択

パレンタルレベルが設定されます。

MEMO

パレンタルレベルOFF をタッチすると、パレンタルレベルは設定されず、すべての DVD ビデオのパレンタルレベルに対して視聴制限が解除されます。

カントリーコードを設定する

パレンタルレベルは国によって内容が異なります。本機でパレンタルレベルを正しくお使いになるには、DVD のカントリーコードを設定する必要があります。カントリーコードは、国を識別するためのコードです （P.233）。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 設定 ▶ 初期設定

3 カントリーコード

4 DVD に記録してある国または地域のカントリーコードを入力 ▶ 決定

カントリーコードが設定されます。

MEMO

初期状態では、「7480（JAPAN）」が設定されています。

CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く

本機では、音楽 CD のほかに、MP3・WMA 形式の音楽データを保存したディスクをお楽しみいただけます。
利用できるCD、MP3、WMA形式の音楽データを保存したディスクについては、「ディスクについて」(P.128)を参照してください。

ディスクを再生する

MEMO

- 再生中のディスクおよびトラックタイトルなどの情報は、本機内にある Gracenote Music Recognition Service℠ (P.235) の情報です。また、CD-TEXT 対応ディスクまたは ID3 タグの入ったディスクであれば、ディスク内の情報を表示できます。
- Gracenote Music Recognition Service℠ からタイトル情報が得られない場合や、ディスクから CD-TEXT および ID3 タグの情報が得られない場合は、トラックタイトルは表示されず、「Track01」などの番号が表示されます。
- ノンストップ CD（トラックとトラックがつながっている CD）を再生した場合、トラックとトラックの間に 2 ～ 3 秒の無音部分が発生します。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

CD を再生する

1 CD をセットする、または

AUDIO ▶ DVD/CD

本機にセットされた CD が再生されます。

MEMO

本機に SD カードがセットされている場合、操作パネルが完全に閉じるまで再生ははじまりません。

MP3・WMA のディスクを再生する

1 MP3/WMA ディスクをセットする、または AUDIO ▶ DVD/CD

本機にセットされたディスクが再生されます。

早戻し／早送りする

1 再生中に ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）（長押し）

MEMO

⏮、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ⏮ または ⏭

MEMO

- ⏮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ⏭ を押すごとに次のトラックに移動します。

前／次のフォルダを再生する（MP3/WMA のみ）

1 再生中に 前フォルダ または 次フォルダ

MEMO

前フォルダ 、次フォルダ をタッチするごとに、前／次のフォルダに移動し、フォルダ内の先頭のトラックが再生されます。

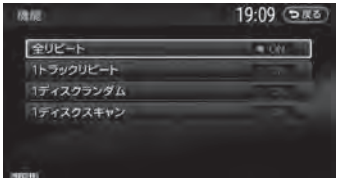
リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 機能

3 目的の項目を選択

CD 画面



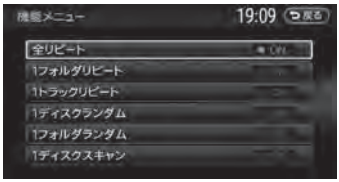
全リピート：
ディスク内の全トラックをリピート再生します。

1 トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

1 ディスクランダム：
現在再生中の CD の全トラックをランダムに再生します。

1 ディスクスキャン：
現在再生中の CD の各トラックの出だしを 10 秒間ずつ再生します。

MP3/WMA 画面



全リピート：
ディスク内の全トラックをリピート再生します。

1 フォルダリピート：
現在再生中のフォルダ全体をリピート再生します。

1 トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

1 ディスクランダム：
ディスク内の全トラックをランダムに再生します。

1 フォルダランダム：
現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生します。

1 ディスクスキャン：
ディスク内の全トラックの出だしを 10 秒間ずつ再生します。

タイトルリストから再生する

MEMO

走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 AUDIO ▶ DVD/CD

2 (MP3/WMA の場合)

再生中のフォルダを選択

再生中のトラックリストが表示されます。

(CD の場合)

トラックリストが表示されます。

MEMO

再生中以外のフォルダを選択した場合は、フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

3 **トラックを選択**

CD 画面

MP3/WMA 画面

選択したトラックから再生がはじまります。

MP3/WMA 画面で、右にリスト表示されるフォルダをタッチすると、フォルダ内のトラックがリスト表示されます。トラックをタッチすると選択したトラックが再生されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク(MP3・WMA)の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

Music Rack を使う

本機では、CD の曲を本機で SD カードに録音して再生できる Music Rack をお楽しみいただけます。
Music Rack で利用できる SD カードについては、「SD カード／ USB メモリについて」**(P.130)** を参照ください。

Music Rack に録音する

Music Rack とは、CD のトラック (音楽) を SD カードへ録音し、再生する機能のことです。全トラックを録音しておけば、CD を本機にセットすることなくお楽しみいただけます。また、以降の録音は不要です。

録音する前にお読みください

Music Rack を使用するには SD カードが必要です。
録り直しのきかない録音の場合は、正しく録音されていることを確認してください。
万が一、本機の故障や誤作動および不具合により録音に支障が生じた場合でも、録音内容および消失した録音データについては補償ができかねます。ご容赦願います。
録音したデータは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使えません。
ノンストップ CD（トラックとトラックがつながっている CD）を録音に使用された場合、トラックとトラックの間に 2 ～ 3 秒の無音部分をはさんで録音します。

録音についてのご注意

■ 録音時の状態について

以下のような場合には、音声が途切れたり音が飛んで録音されることがあります。
- 録音中に CD の音が飛んだ
- 傷があるなど CD の状態が悪い
- 録音中に振動の激しい悪路を走行した

■ 録音中の操作について

録音中は、他のトラックの再生はできません。また、録音中に以下の操作を行うと、録音中止の確認メッセージが表示されます。録音を中止する場合は はい を、続行する場合は いいえ をタッチします。
- REC をタッチする
- リピート／スキャン／ランダム再生
- SD カードを使用した操作（データの取り込み／書き出しなど）
- Music Rack、SD メモリーカードを選択したとき

MEMO

- 録音中は早送り、早戻し、トラックのアップ／ダウン操作はできません。
- 録音中は操作パネルを開閉することはできません。録音中に ⏏ を押すと、「SD メモリーカード書き込み中のためオープンできません」というメッセージが表示されます。操作を継続される場合はその指示にしたがってください。

録音中にエンジンを切ると、録音中のトラックが消えます。
次回エンジンをかけると、前回録音していたトラックの先頭から録音がはじまります。

録音する

1 CD 再生中に REC

2 希望の録音速度を選択

1 倍速で録音：
録音速度を 1 倍速に設定します。

2 倍速で録音：
録音速度を 2 倍速に設定します。録音中は、CD を聴くことはできません。

3 希望の録音方法を選択

全曲録音：
再生中の CD のすべてのトラックを録音できます。アルバムの先頭から録音されていないトラックの録音がはじまります。

現在の曲を録音：
再生中のトラックを録音できます。トラックの先頭に戻り、録音がはじまります。

曲を指定して録音：
録音したいトラックをリストから複数選択して録音できます。リストからトラックを選択して 録音開始 をタッチすると、先頭に近い曲から順に録音がはじまります。

MEMO

録音モード選択画面にディスクの情報や SD カードの情報が表示されます。SD カードの空き容量が 1MB 未満の場合、空き容量に「1MB 未満です」と表示されます。

Music Rack について

Music Rack の仕様は、以下のとおりです。

録音可能トラック数：
最大 4000 トラック（アルバムは最大 500 枚、1 つのアルバムに収録できるトラック数：最大 99 トラック）
※ただし、SD カードの容量により録音できるトラック数は異なります。16GB の SD カードではおよそ 4000 トラックです。

録音できる音源音楽：
音楽 CD のみ （P.128）

音質：
ATRAC3 という音声圧縮技術を採用しています。CD の音質を損なわず、容量を約 1/10 に圧縮できます。

本機は、SCMS（Serial Copy Management System）の規格に準拠したデジタルオーディオ機器です。SCMS では、各種デジタルオーディオ機器の間で「デジタル信号をデジタル信号のまま録音する」というデジタル信号どうしのコピーを〈1 世代まで〉と規制しております。
したがって、以下の操作を本機で行えません。
●本機に録音した CD の曲をデジタル出力、デジタルコピーすること
●デジタル録音した CD-R と CD-RW およびコピーの禁止されている CD を録音すること

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

タイトル表示について

CD を Music Rack に録音すると、本機内蔵の Gracenote Music Recognition Service℠ のデータベースからタイトル・読み・アーティスト名・ジャンルの情報が取得され、画面上に表示されます。
CD や曲によっては、情報の取得ができない場合があります。
情報を取得できなかった CD には録音した日付が表示されます。

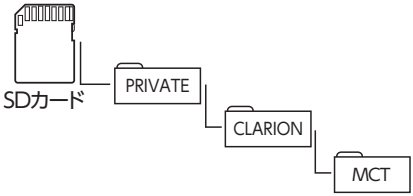
MEMO

Gracenote Music Recognition Service℠ のデータベースは、インターネット上の Gracenote データベースから最新の情報に更新できます (P.175)。

録音した音楽データについて

■ 録音した音楽データのバックアップ

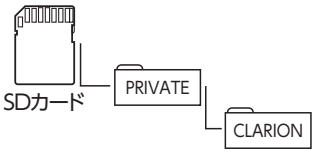
録音した音楽データは SD カード内の以下のフォルダに保存されます。



お使いのパソコンに、このフォルダをそのまま保存することでバックアップできます。

■ バックアップした音楽データの復元

バックアップした音楽データフォルダ ("MCT") を SD カード内の下記フォルダに書き戻すことで復元できます。



このとき、すでに上記フォルダ内に“MCT”フォルダが存在する場合は、バックアップまたは消去してください。

MEMO

- “MCT”フォルダ内に存在するファイルおよびフォルダの消去や変更は絶対に行わないでください。Music Rack が正常に動作しなくなる可能性があります。
- 音楽データのバックアップや復元は、録音データ保存以外の目的では行わないでください。

Music Rack を聴く

MEMO

走行中は、操作できる項目が限定されます。

Music Rack を再生する

1 **SD カードを本機にセット**

2 AUDIO ▶ Music Rack

Music Rack 内のトラックが再生されます。

MEMO

- 録音中は Music Rack の再生は行えません。録音中に Music Rack をタッチすると、「録音中です。録音を中止してもよろしいですか？」という確認画面が表示されます。再生したい場合は、はい を押して録音を中止してください。
- 再生中に操作パネルを開くと、再生が停止します。

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）（長押し）**

MEMO

⏮ 、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**

⏮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のトラックに移動します。
⏭ を押すごとに次のトラックに移動します。

前／次のアルバムを再生する

1 **再生中に 前アルバム または 次アルバム**

MEMO

前アルバム 、次アルバム をタッチするごとに、前／次のアルバムに移動し、アルバム内の先頭のトラックが再生されます。

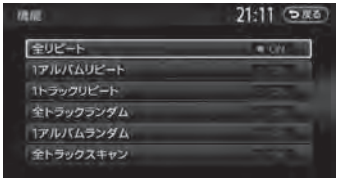
オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 機能

3 目的の項目を選択



選択した動作での再生がはじまります。

全リピート：
全アルバムの全トラックをリピート再生します。

1 アルバムリピート：
現在再生中のアルバム全体をリピート再生します。

1 トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

全トラックランダム：
全アルバムの全トラックをランダムに再生します。

1 アルバムランダム：
現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

全トラックスキャン：
全アルバムの各トラックの出だしを 10 秒間ずつ再生します。

リストから再生する

Music Rack のリストからアルバムやトラックを選択して再生できます。

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 再生中のアルバム名を選択

トラックリストが表示されます。

MEMO

再生中以外のアルバムを選択した場合は、アルバムリストが表示されたまま先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じアルバムを選択します。

3 トラックを選択

選択したトラックが再生されます。

アーティスト名から再生する

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 設定 ▶ アーティスト検索

3 アーティスト名を選択

4 アルバムを選択

選択したアルバムの先頭から再生がはじまります。

MEMO

選択演奏 (P.173) 中は、選択演奏の対象となっているアーティストまたはアルバムのみが検索対象となります。

条件から複数のアルバムを選んで再生する

複数のアルバムを指定して再生できます。
アルバムリストからアルバムを指定する方法と、アーティストのすべてのアルバムを指定する方法があります。

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 設定 ▶ 選択演奏

3 アルバム選択 または アーティスト選択

アルバム選択：
リスト表示されたアルバムから複数のアルバムを指定できます。

アーティスト選択：
リスト表示されたアーティストのすべてのアルバムを指定できます。

選択演奏解除：
選択演奏設定を解除できます。選択演奏解除は、選択演奏が設定されているときのみ表示します。

4 アルバムまたはアーティスト名を選択 ▶ 決定

選択した項目が再生されます。

MEMO

決定 をタッチした直後は、SD カードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できないことがあります。

録音設定を変更する

Music Rack に CD を録音するには、自動と手動の 2 つの方法があります。

自動録音に切り替える

1 MENU ▶ 設定

2 オーディオ ▶ 録音設定

3 挿入と同時に録音:1倍速 または 挿入と同時に録音:2倍速

挿入と同時に録音：1 倍速：
CD 挿入時に 1 倍速で CD が録音されます。

挿入と同時に録音：2 倍速：
CD 挿入時に 2 倍速で CD が録音されます。2 倍速で録音中は、CD を聴くことはできません。

自動で録音する

1 SD カードを本機にセット

2 CD を再生する

自動的に録音がはじまります。

MEMO

- 録音時は、画面左下に REC×1 または REC×2 が表示されます。
- すでに CD 全曲の録音が済んでいる場合は、録音を行いません。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

アルバム・トラック情報を編集する

MEMO

- 選択演奏中は、タイトル編集 は選べません。タイトルやトラック名を編集したいときは、選択演奏を解除してください。
- アルバム・トラック情報の編集中や操作直後は、SD カードに書き込み処理を行うため、操作パネルを開閉できないことがあります。

アルバム名、アーティスト名を編集する

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 設定 ▶ タイトル編集

3 アルバムを選択

4 アルバム または アーティスト

5 アルバム名またはアーティスト名を入力 ▶ 決定

編集後のアルバム名、アーティスト名を確認できます。

MEMO

アルバム名、アーティスト名は全角・半角で 20 文字まで入力できます。

アルバムを消去する

MEMO

一度消去したアルバムは元に戻せません。

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 設定 ▶ 曲の消去

3 消去するアルバムを選択 ▶ 決定

MEMO

複数のアルバムを選択できます。

4 はい

選択したアルバムが消去されます。

アルバムの再生順序を並べ替える

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 設定 ▶ アルバム並べ替え

3 移動させたいアルバムを選択

4 移動先を選択

選択した位置にアルバムが移動します。
確認メッセージが表示され、アルバムリスト画面に戻ります。
アルバムリスト画面に戻ると、先頭のアルバムから再生がはじまります。

トラック名を編集する

トラック名を編集できます。

1 AUDIO ▶ Music Rack

2 設定 ▶ タイトル編集

3 編集するトラックを含むアルバムの 詳細

トラックリストが表示されます。

4 トラックを選択

5 トラック名を入力 ▶ 決定

編集後のトラック名を確認できます。

MEMO

トラック名は全角・半角で 20 文字まで入力できます。

トラックを消去する

MEMO
一度消去したトラックは元に戻せません。

1 AUDIO ▶ Music Rack
2 設定 ▶ 曲の消去
3 消去するトラックを含むアルバムの 詳細
トラックリストが表示されます。
4 消去するトラックを選択 ▶ 決定
MEMO
複数のトラックを選択できます。
5 はい
選択したトラックが消去されます。

アルバム情報の書き出し／取り込み

■ アルバム情報の更新について

新譜など、本機に内蔵のデータベースにアルバム情報が含まれていない場合は、曲名などが正しく表示されないことがあります。その際は、SD カードとパソコンを使用して、Gracenote サーバーから最新のアルバム情報を取得してください。
本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「ナビマスター S」が必要になります (P.202)。

本機にて、SD カードへアルバム情報を書き出します。

▼

お使いのパソコンにて、「ナビマスター S」の CD タイトルキャッチャー機能を使用し、SD カードへアルバム情報を保存します。

▼

本機にて、SD カードからアルバム情報を取り込みます。

アルバム情報が更新されます。
「ナビマスター S」画面上のヘルプボタンを押すと CD タイトルキャッチャー機能を参照できます。

■ アルバム情報を書き出す

1 AUDIO ▶ Music Rack
2 設定 ▶ アルバム情報の書き出し
3 アルバムを選択 ▶ 決定
4 はい
選択したアルバム情報が SD カードに書き出されます。

■ アルバム情報を取り込む

1 AUDIO ▶ Music Rack
2 設定 ▶ アルバム情報の取り込み
3 はい
SD カード内のアルバム情報が本機に取り込まれます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

SD カード／ USB メモリーの音楽を聴く

本機では、お手持ちの SD カードや USB メモリーに保存した音楽を聴くことができます。
利用できる SD カード、USB メモリーについては、「SD カード／ USB メモリーについて」(P.130) を参照してください。

⚠ 注意

- **USB メモリーを車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**
- **USB メモリーが接続されているときに、USB メモリーの上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。**

SD カード／ USB メモリーの音楽を再生する

SD カードを本機にセット、または別売の USB 接続ジャックに USB メモリーを接続することで、パソコンで編集した MP3/WMA 形式の音楽データを本機で再生することができます。

MEMO

- 本機に iPod を接続している場合は、USB メモリーはご利用になれません。
- SD カードおよび USB メモリー内のファイルは、ファイル名順でのみ再生できます。再生順序を変更したい場合は、ファイル名の先頭に数字を入力してください。

SD カードを再生する

1 **SD カードをセット**

2 AUDIO ▶ SDメモリーカード

SD カードのオーディオが再生されます。

MEMO

録音中は SD カードの再生は行えません。録音中に SDメモリーカード をタッチすると、「録音中です。録音を中止してもよろしいですか？」という確認画面が表示されます。

USB メモリーを再生する

1 **USB メモリーを接続する、または**

AUDIO ▶ USB/iPod

USB メモリーのオーディオが再生されます。

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）（長押し）**

MEMO

⏮ 、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラックを再生する

1 **再生中に ⏮ または ⏭**

MEMO

- ⏮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ⏭ を押すごとに次のトラックに移動します。

フォルダ／トラックを選んで再生する

MEMO

走行中はフォルダリスト、トラックリストのスクロールはできません。

1 AUDIO ▶ SDメモリーカード

または USB/iPod

2 再生中のフォルダを選択

トラックリストが表示されます。

MEMO

再生中以外のフォルダを選択した場合は、フォルダリストが表示されたまま、選択したフォルダの先頭のトラックから再生がはじまります。トラックリストを表示するには、もう一度同じフォルダを選択します。

3 トラックを選択

選択したトラックから再生がはじまります。

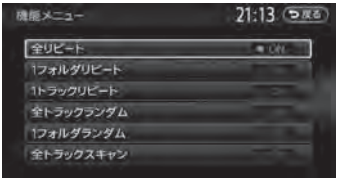
リピート・ランダム・スキャン再生をする

1 AUDIO ▶ SDメモリーカード

または USB/iPod

2 機能

3 目的の項目を選択



全リピート：
全トラックをリピート再生します。

1 フォルダリピート：
現在再生中のフォルダ全体をリピート再生します。

1 トラックリピート：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

全トラックランダム：
全トラックをランダムに再生します。

1 フォルダランダム：
現在再生中のフォルダの全トラックをランダムに再生します。

全トラックスキャン：
全トラックの出だしを 10 秒間ずつ再生します。

MEMO

全トラックランダム は、フォルダがランダムに選択され、そのフォルダ内のトラックからさらにランダムで選択された曲が再生されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

iPod を聴く／ iPod ビデオを見る

本機では、iPod（別売）を接続して iPod 内の音楽データやビデオ映像をお楽しみいただけます。別売の iPod 接続コードを使用して接続してください。（iPod に付属の接続コードは、ご使用できません。）

⚠ 注意

- **iPod を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。**
- **iPod が接続されているときに、iPod の上に乗ったり、物を上に置かないでください。故障の原因となります。**

本機は第 5 世代 iPod、iPod classic®、iPod nano®、iPod touch®、iPhone® 3G、iPhone 3GS、iPhone 4 に対応しています。
詳細は以下の表を参照ください。なお、iPod は本機に付属していません。お手持ちの iPod をお使いください。
iPod ビデオを視聴するには、別売の iPod 接続コードのビデオ端子を、別売の VTR コードに接続、USB 端子は別売の USB 接続ジャックに接続します。USB 端子の差込部は、車両ごとに取付位置が異なります。
本機で iPod をご使用になるときは、iPod のファームウェアを最新にしてください。

接続できる iPod

Made for iPod iPhone

接続可能な iPod	備考
iPod（第 5 世代）	ビデオ再生可
iPod classic（80GB、120GB、160GB）※1	ビデオ再生可
iPod nano（第 1 世代、第 2 世代）	
iPod nano（第 3 世代、第 4 世代※1、第 5 世代）	ビデオ再生可
iPod nano（第 6 世代）	
iPod touch（第 1 世代※2, ※3）	ビデオ再生不可
iPod touch（第 2 世代、第 3 世代、第 4 世代）	ビデオ再生可
iPhone 3G/iPhone 3GS/iPhone 4	ビデオ再生可

※ 1 ビデオファイルのみ保存している場合、iPod が認識されない場合があります。一つでも音楽ファイルを保存すると解消されます。
※ 2 ファームウェア 2.0 以降では、ビデオを再生することができます。ファームウェアが 2.0 より古い場合は、ミュージックモードでのみお使いください。
※ 3「On-The-Go」は再生できません。iTunes® と同期後はプレイリストとして再生できます。

MEMO

- iPod の動作についてはすべてを保証するものではありません。
- iPod の接続対象機種一覧に記載があっても、ファームウェアのバージョンによって動作しない場合があります。
- 本機と接続するときは、iPod のヘッドフォンなどのアクセサリーを使用しないでください。
- iPod の機種やファームウェアバージョンによっては、一部機能の制限があります。

最新機種の情報について詳しくは、以下を参照ください。
http://www.honda.co.jp/navi/support/ipodlist

MEMO

- iPod の動作が停止した場合、カテゴリーリストから曲やビデオを選択することによって操作可能になる場合があります。
- iPod のトラックリピート機能を設定している場合、もしくは、iPod のシャッフル機能を設定している場合は、iPod の機種やファームウェアバージョンによっては、本機の機能の一部が正しく動作しない場合があります。その場合は、設定解除をしてからご利用ください。
- iPod の機種によっては再生対象の曲数が多い場合、タイトル表示やリスト表示ができない場合があります。
- エラーメッセージが表示された場合は、一度本機から iPod を取り外して再度接続してください。
- iPod が操作不能になった場合は、iPod 本体をリセットし、再度接続してください。
  リセット方法の例
  - iPod の場合：「センター」ボタンと「メニュー」ボタンを Apple のロゴが表示されるまで同時に押し続けます。
  - iPod touch の場合：「スリープ／スリープ解除」ボタンと「ホーム」ボタンを、Apple のロゴが表示されるまで同時に押し続けます。

  ※iPod をリセットして再接続しても動作しない場合は、リセット後、iPod 単体で動作することを確認してから接続するようにしてください。
- 車のエンジンを切った後は、必ず iPod を取り外してください。接続したままでは iPod の電源が切れない場合があるため、iPod の電源を消耗するおそれがあります。

iPod を再生する

接続方法については、クイックガイドを参照してください。

⚠ 注意

走行中は、iPod 本体の操作は行わないでください。

MEMO

- 万が一 iPod が操作不能になってしまったときは iPod をリセットしてください。iPod のリセット方法は、iPod の取扱説明書などで確認してください。
- 本機にオーディオファイル再生中の iPod を接続した場合、再生していた曲の続きから再生されます。ビデオ再生中の iPod を接続した場合は、ご使用の iPod により再生位置が異なることがあります。再生していたビデオを見る場合は、再度、ビデオファイルを選択してください。

MEMO

- iPod ビデオを見るには、別売の iPod 接続コードのビデオ端子を、別売の VTR コードに接続します。
- 本機と iPod の接続中は、iPod からは操作できません。
- iPod は、安全な場所に置いてご使用ください。
- 走行中は、操作できる項目が限定されます。

iPod を聴く

別売の iPod 接続コードを別売の USB 接続ジャックに接続すると、自動的に再生がはじまります。すでに接続されている場合は、以下の方法で再生します。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

iPod 内のトラックが再生されます。

iPod ビデオを見る

⚠ 警告

- **運転者が iPod ビデオを見るときは、必ず安全な場所に停車させてください。**
- **本機は安全のため、停車時のみ iPod ビデオの映像をご覧いただけます。走行中は、音声のみお楽しみいただけます。**

MEMO

- あらかじめ、iPod の接続方法を切り替える必要があります **(P.184)**。
- 「USB + VTR 接続（アナログ音声）」に設定している場合は、別売の iPod 接続コードのビデオ端子を、別売の VTR コードに接続する必要があります。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

iPod ビデオが再生されます。

MEMO

iPod の接続方法を「USB+VTR 接続（アナログ音声）」に設定している場合は、オーディオから iPod ビデオの映像へ、手動で切り替えることができます **(P.205)**。

早戻し／早送りする

1 **再生中に ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）（長押し）**

MEMO

⏮、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。

前／次のトラック・チャプターを再生する

1 再生中に ⏮ または ⏭

チャプターの存在するトラックを再生している場合は、前または次のチャプターの先頭トラックが再生されます。

MEMO

- ⏮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ⏭ を押すごとに次のトラックに移動します。

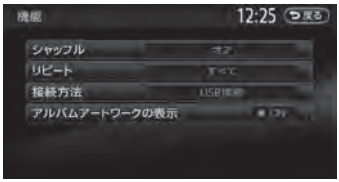
リピート・シャッフル再生をする

1 AUDIO ▶ USB/iPod

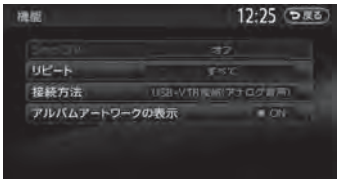
2 機能

3 目的の項目を選択

iPod オーディオ画面



iPod ビデオ画面



MEMO

接続方法 をタッチすると、iPod の接続方法を設定できます （P.184）。

4 目的の項目を選択

シャッフル（オーディオのみ）

オフ：
シャッフル再生を解除します。

曲：
現在再生中のアルバムの全トラックをランダムに再生します。

アルバム：
全アルバムをランダムに再生します。アルバム内のトラックは順番に再生されます。

リピート

1 曲：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

すべて：
全アルバムの全トラックをリピート再生します。
選択した動作での再生がはじまります。

MEMO

- iPod の機種によっては、リピート再生ができない場合があります。
- シャッフル再生中に、iPod をビデオモードに切り替えると、シャッフル再生は自動的に解除されます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

タイトルリストから再生する（オーディオ）

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 **トラックを選択**

選択したトラックが再生されます。

条件を指定して再生する（オーディオ）

さまざまな条件から iPod のトラックを探して再生できます。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 メニュー

MEMO

- 各画面にて メニュー をタッチすると 1 つ前の画面に戻ります。
- 各画面にて メニュー を長押しすると以下の画面に戻ります。

3 ミュージック

4 **希望の項目を選択**

MEMO

選択できる項目は以下のとおりです。
プレイリスト／アーティスト／アルバム／曲／ Podcast ／ジャンル／作曲者

目的のトラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返してください。

5 **トラックを選択**

選択した曲の再生がはじまります。

MEMO

- 再生中 をタッチすると以下の画面が表示されます。

- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。
- リスト表示中に何もタッチしないまま 10 秒が過ぎると、iPod 再生画面に戻ります。

条件を指定して再生する（ビデオ）

さまざまな条件から iPod ビデオのトラックを探して再生できます。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 メニュー

MEMO

- 各画面にて メニュー をタッチすると 1 つ前の画面に戻ります。
- 各画面にて メニュー を長押しすると以下の画面に戻ります。

3 ビデオ

4 希望の項目を選択

MEMO

選択できる項目例：

ビデオプレイリスト／ムービー／ミュージックビデオ／テレビ番組／ビデオPodcast／レンタルムービー

など

目的のトラックリストが表示されるまで、同様の操作を繰り返してください。

5 トラックを選択

選択したトラックの再生がはじまります。

MEMO

- 再生中 をタッチすると以下の画面が表示されます。

- プレイリストが多階層になっていると、階層の深さによって不明な項目が表示されることがあります。
- リスト表示中に何もタッチしないまま 10 秒が過ぎると、iPod ビデオ再生画面に戻ります。

iPod の設定をする

iPod ビデオの画質を調整する（ビデオ）

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 画質調整

3 調整する項目を選択

明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

4 − または ＋

画面の映像を見ながら画質を調整します。

MEMO

画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

iPod の接続方法を切り替える

再生したいモードによって接続方法を設定する必要があります。iPod の接続方法を、「USB 接続」または「USB ＋ VTR 接続（アナログ音声）」から選択します。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 機能 ▶ 接続方法

3 **接続方法を選択**

USB 接続：
音楽データをお聴きになる場合は、こちらの接続方法を選択します。

USB ＋ VTR 接続（アナログ音声）：
iPod のビデオ映像を見る場合は、こちらの接続方法を選択します。

MEMO

- 接続方法を変更した場合は、一旦、iPod の USB コード接続を外し再度接続してください。
- 「USB ＋ VTR 接続（アナログ音声）」に設定する場合は、別売の iPod 接続コードのビデオ端子を、別売の VTR コードに接続する必要があります。
- 「USB ＋ VTR 接続（アナログ音声）」を選択している場合、オーディオとビデオの切り替えができます **(P.205)**。
- 「USB ＋ VTR 接続（アナログ音声）」を選択すると、ソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR 機器のご利用はできません。
- 工場出荷時は「USB 接続」に設定されています。
- MENU ▶ 設定 ▶ その他設定 ▶ VTR接続設定 の順にタッチしても VTR 機能または iPod ビデオの接続を選択できます。

アルバムのジャケット写真を表示する

iPod に取り込まれているアルバムのジャケット写真を表示させることができます。

1 AUDIO ▶ USB/iPod

2 機能 ▶ アルバムアートワークの表示

MEMO

ジャケット写真の取得には、数秒かかることがあります。

Bluetooth オーディオを聴く

Bluetooth に対応しているオーディオ機器を本機に登録して、音楽を再生できます。

⚠ 注意

ポータブル機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。

Bluetooth オーディオを聴くには

はじめて Bluetooth オーディオを利用するときは、本機に登録（ペアリング）する必要があります。
Bluetooth については、**P.112** からの説明を参照ください。

MEMO

- Bluetooth 方式に対応しているオーディオ機器を使用してください。ただし、Bluetooth オーディオの種類によっては、ご利用になれない場合やご利用いただける機能に制限がある場合があります。機能が非対応の場合は、ボタンやキーを押すことができません。または操作不可メッセージが表示されます。ただし、オーディオ機器により操作不可メッセージも表示されないことがあります。
- Bluetooth オーディオについて詳しくは、各取扱説明書を参照ください。
- Bluetooth オーディオの収納場所、距離によっては、接続できない場合や音とびが発生する場合があります。できるだけ通信状態の良い場所に置くことをおすすめします。
- 走行中はペアリングを実行できません。
- Bluetooth オーディオ対応の携帯電話を使用して電話関連機能やインターナビ情報センターとの接続を実行している間は、オーディオ音声は出力されません。
- Bluetooth オーディオは、5 台までペアリングすることができます。6 台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を消去する必要があります。また、登録される Bluetooth オーディオ機器は、ハンズフリー機器と共有です。
- iPhone を Bluetooth オーディオとして再生中、iPhone 側で Bluetooth 画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth 画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetooth オーディオは、本機からの自動接続を行いません。接続したいオーディオ機器を操作し、接続を行ってください。
- Bluetooth オーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 接続していても音声が出力されない場合は、オーディオ機器からプロファイル切断を行い、再度接続操作を行ってください。
- Bluetooth オーディオ機器は必ず最新のソフトウェアバージョンにアップデートしてお使いください。詳しくはご使用の Bluetooth オーディオ機器の販売会社にお問合せください。
- インターナビ情報センターとの接続やハンズフリー通話終了後、オーディオ再生が一時停止状態になるものがあります。AV コントロールバーの再生キーをタッチして再生を開始してください。

Bluetooth オーディオ機器を登録する（ペアリング）

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器登録 ▶ オーディオ機器

3 登録機器のパスキー入力

4 決定

5 Bluetooth 機器から登録操作

MEMO

- Bluetooth オーディオ機器からの登録操作については、Bluetooth オーディオ機器の取扱説明書を参照してください。
- ペアリング完了後、Bluetooth オーディオ機器上で接続するプロファイルを選択する必要がある場合は、「オーディオ」を選択してください。詳しくは、Bluetooth オーディオ機器の取扱説明書を参照ください。

複数の Bluetooth オーディオ機器を使うには

Bluetooth オーディオ機器は、5 台までペアリングすることができます。6 台目をペアリングするには、すでに登録されたペアリング情報を消去する必要があります。
複数の Bluetooth オーディオ機器を接続する場合は、使用する Bluetooth オーディオ機器を切り替えます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ Bluetooth

2 機器の接続切替･編集･消去 ▶ オーディオ音楽再生

3 Bluetooth オーディオ機器選択

4 選択する

選択した機器が接続されます。

MEMO

消去する をタッチすると登録済みの Bluetooth オーディオ機器の登録を消去できます。

Bluetooth 対応携帯電話をご使用の場合

- Bluetooth オーディオ対応の携帯電話によっては、ハンズフリープロファイルを接続すると同時に、携帯電話側から自動でオーディオプロファイルの接続を行う機器があります。
- 携帯電話のメディアプレーヤーを停止した場合、Bluetooth オーディオが切断されることがあります。再度接続を行うには、携帯電話のメディアプレーヤーを起動後、「ヘッドフォン切替」などの設定で本機を選択してご使用ください。詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照ください。
- iPhone を Bluetooth オーディオとして再生中、iPhone 側で Bluetooth 画面を表示すると、音飛びが発生することがあります。このような場合は、Bluetooth 画面の表示を閉じれば正常に再生されます。
- Bluetooth オーディオ機器の機種の適合性に関して、詳しくは Honda 販売店にお問合せください。

Bluetooth オーディオ機器を再生する

Bluetooth オーディオを再生する

1 AUDIO ▶ Bluetooth AUDIO

Bluetooth オーディオが再生されます。

MEMO

- 再生を一時停止するには ⏸ を、再開するには ▶ をタッチします。
- Bluetooth オーディオの種類によって、本機からの再生、一時停止などの操作ができないことがあります。この場合、Bluetooth オーディオから操作してください。詳しくは、Bluetooth オーディオの取扱説明書を参照ください。

早戻し／早送りする

1 再生中に ⏮（早戻し）または ⏭（早送り）（長押し）

MEMO

- ⏮ 、⏭ から指を離すと、通常の再生に戻ります。
- Bluetooth オーディオの種類によっては、本機からの操作ができないことがあります。その場合、Bluetooth オーディオ側から操作してください。詳しくは、Bluetooth オーディオの取扱説明書を参照ください。

前／次のトラックを再生する

1 再生中に ⏮ または ⏭

MEMO

- ⏮ を押すとトラックの先頭に戻り、さらに ⏮ を押すごとに前のトラックに移動します。
- ⏭ を押すごとに次のトラックに移動します。
- Bluetooth オーディオの種類によっては、本機からの操作ができないことがあります。その場合、Bluetooth オーディオ側から操作してください。詳しくは、Bluetooth オーディオの取扱説明書を参照ください。

オーディオ・ビジュアルの基本的な使いかた
ラジオを聴く
テレビを見る
DVD を見る
CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く
Music Rack を使う
SD カード／USB メモリーの音楽を聴く
iPod を聴く／iPod ビデオを見る
Bluetooth オーディオを聴く

シャッフル再生をする

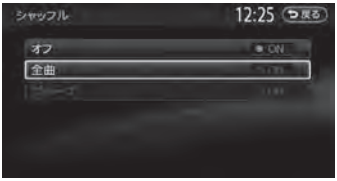
MEMO

- この機能は、AVRCP Ver1.3 以上に対応した Bluetooth オーディオのみ使用できます。
- Bluetooth オーディオの種類によって、シャッフル再生ができない場合があります。

1 AUDIO ▶ Bluetooth AUDIO

2 機能 ▶ シャッフル

3 目的の項目を選択



オフ：
全曲シャッフル、またはグループシャッフルを解除します。

全曲：
Bluetooth オーディオ内の全トラックをランダムに再生します。

グループ：
現在再生中のグループ内のトラックをランダムに再生します。

リピート再生をする

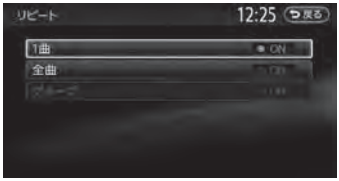
MEMO

- この機能は、AVRCP Ver1.3 以上に対応した Bluetooth オーディオのみ使用できます。
- Bluetooth オーディオの種類によって、リピート再生ができない場合があります。

1 AUDIO ▶ Bluetooth

2 機能 ▶ リピート

3 目的の項目を選択



1 曲：
現在再生中のトラックのみをリピート再生します。

全曲：
Bluetooth オーディオ内の全トラックをリピート再生します。

グループ：
現在再生中のグループ内のトラックをリピート再生します。

アクセサリー／オプションを使う

さまざまなアクセサリー機器やオプション機器の使いかたについて説明しています。

オーディオリモコンスイッチを使う（別売） …… 190

スイッチの使いかた …… 190

リモコンを使う（別売）…… 192

リモコンボタンの名称とはたらき … 192

リモコン操作時の注意 …… 193

リモコンの使いかた …… 193

電池に関する警告 …… 194

電池に関するご注意 …… 194

電池を交換する …… 194

リア席モニターを使う（別売）… 195

リア席モニターに表示できる映像 … 195

リアカメラを使う（別売）…… 196

リアカメラの映像について …… 196

リアカメラの映像を表示する …… 196

リアカメラの画質を調整する …… 197

ガイドラインを表示する …… 198

表示ビューを切り替える（リアワイドカメラ接続時のみ）…… 198

フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）…… 200

カメラ映像について …… 200

カメラ映像を自動で映し出させる … 200

地点通過時にカメラ映像を自動表示する …… 201

カメラ映像を手動で映し出させる … 201

コーナーカメラのガイドを表示させる …… 201

SD カードを使う …… 202

利用可能な SD カード …… 202

SD カードに関する注意 …… 202

ナビマスター S について …… 202

オープニング画面の取り込み …… 203

TV サーチ情報の取り込み …… 203

接続したビデオを見る（別売）… 204

VTR 機器／ポータブルオーディオを接続する …… 205

VTR 機器接続の設定を切り替える … 205

ナビゲーションから QQ コールを利用する …… 206

QQ コールの主なサービス …… 206

ナビゲーションから QQ コールを利用するには …… 207

QQ コールに電話をする …… 208

オーディオリモコンスイッチを使う（別売）

スイッチの使いかた

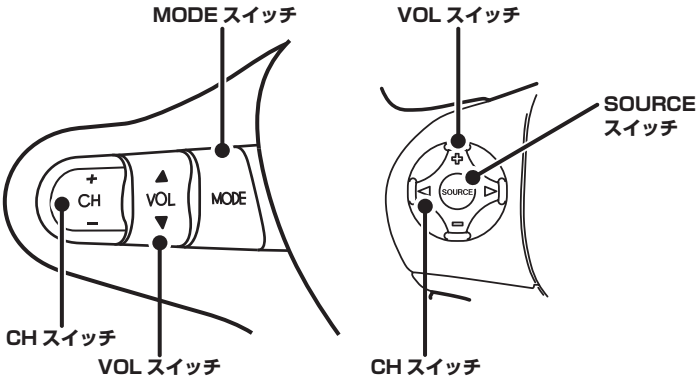
⚠ 注意

- 操作パネル以外にも、ステアリング（ハンドル）パッドのリモコンで操作することができます。
- **車種により対応していない場合があります。**

MEMO

- 走行中運転の妨げにならないように十分注意してください。
- 車両によってオーディオリモコンスイッチが装備できない場合があります。
- 車両標準装備または別売の場合があります。

ボタンの名称とはたらき



■ MODE スイッチ／ SOURCE スイッチ

オーディオソースを切り替えるときに使用します。ソースは次の順番で切り替わります。

FM1 ▶ FM2 ▶ AM ▶ DVD/CD ▶ Music Rack ▶ USB/iPod ▶ SD カード▶ Bluetooth オーディオ▶地上デジタル放送▶ VTR ▶ FM1

- 機器の接続状態や本機の設定により切り替えられない場合は、次のソースへスキップします。

■ VOL スイッチ

オーディオ、テレビの音量を調整します。スイッチを長押しすることで、連続調整もできます。

▲／✚：音量が大きくなります。
▼／▭：音量が小さくなります。

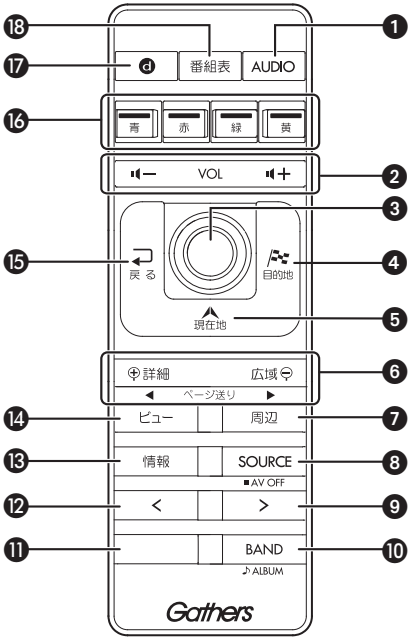
■ CH スイッチ

オーディオ、テレビの機能操作に使用します。それぞれ選択したソースによって機能が異なります。
詳しくは、本取扱説明書各項を参照ください。

ソース名	＋－／◁▷短押し	＋－／◁▷長押し
FM/AM	P.CH（プリセット選局）	SEEK（自動選局）
Music Rack	トラック（曲）選曲	ALBUM UP ／ DOWN
SD カード	トラック（曲）選曲	FOLDER UP ／ DOWN
Bluetooth オーディオ	トラック（曲）選曲	無効
CD	トラック（曲）選曲	無効
DVD/DVD-VR	チャプターを進める／戻す	無効
TV	P.CH（プリセット選局）	SEEK（自動選局）
iPod	トラック（曲）選曲	無効
USB	トラック（曲）選曲	FOLDER UP ／ DOWN

リモコンを使う（別売）

リモコンボタンの名称とはたらき



❶ AUDIO ボタン
ナビゲーションモード、オーディオモードを切り替えます。

❷VOL ＋ ボタン／ VOL － ボタン
音量を調整します。

❸ ジョイスティック 実行 ボタン
地図ではスクロールや地点登録、メニューでは項目などの選択と決定に使います。
DVD ビデオモードのときは、上下左右いずれかの方向に操作すると、ディスクメニューを表示します。

❹ 目的地 ボタン
行き先を設定するための目的地メニューを表示します。

❺ 現在地 ボタン
現在地を表示します。

❻ 詳細 ボタン／ 広域 ボタン
地図の表示スケールを切り替えます。押し続けると拡大／縮小を細かく切り替えることができます。（フリースケール）
ページ送りには対応していません。

❼ 周辺 ボタン
周辺検索メニューを表示します。

❽ SOURCE ボタン
オーディオモードのソースを切り替えます。
AV OFF には対応していません。

❾ ＞ ボタン
テレビ／ラジオ時：
　プリセットチャンネルアップ
長押し時：
　チャンネルのシークアップ
その他のオーディオソース選択時※ 1：
　トラックアップ、トラックのサーチアップ

❿ BAND ボタン
テレビ、ラジオのバンド切り替えなどを行います。
テレビ／ラジオ／ iPod 以外では、フォルダ／グループなどの UP ボタンとして機能します。

⓫ ボタン
使用しません。

⓬ ＜ ボタン
テレビ／ラジオ時：
　プリセットチャンネルダウン
長押し時：
　チャンネルのシークダウン
その他のオーディオソース選択時※ 1：
　トラックダウン、トラックのサーチダウン

⓭ 情報 ボタン
VICS など、各種情報を見るための情報メニューを表示します。

⓮ ビュー ボタン
地図の表示方法を変えます。

⓯ 戻る ボタン
前の画面に戻ります。

⓰ カラーボタン
地上デジタル TV 放送のカラーキーを操作します。

⓱ d ボタン
地上デジタル TV 放送のデータ放送を受信します。
押し続けると、データ放送操作キー呼出画面を表示します。

⓲ 番組表 ボタン
EPG（電子番組ガイド）を表示します。

※ 1 DVD では、リモコンで操作できないメニューがあります。その場合は、本機のタッチパネルで操作してください

リモコン操作時の注意

リモコンをお使いになるときは、以下の点にご注意ください。

●本機のリモコン受信部に直射日光が当たっていると、操作ができないことがあります。このような場合は、直射日光をさえぎって操作してください。

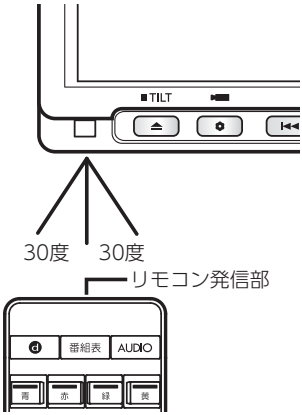
●リモコンは、直射日光の当たるダッシュボードの上など、高温になる場所に放置しないでください。本体の変形や電池の液漏れなど、故障の原因となります。

●リモコンの発信距離が短くなったり、操作可能範囲が狭くなった場合は、リモコンの電池を交換してください。

●リモコンを 1 ヶ月以上使用しないときは、液漏れ防止のため、電池をリモコンから取り出してください。液漏れした場合は、液をよく拭き、電池を交換してください。

リモコンの使いかた

1 本機のリモコン受光部に向けて操作する



リモコンの発信部は、上下左右 30 度の範囲で、リモコン受光部に向けて操作してください。

MEMO

本機をリモコンで操作すると、自動的に「カーソル表示」設定が ON に切り替わり、選択された項目がハイライト表示になります(P.106)。

オーディオリモコンスイッチを使う（別売）
リモコンを使う（別売）
リア席モニターを使う（別売）
リアカメラを使う（別売）
フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）
SD カードを使う
接続したビデオを見る（別売）
ナビゲーションから QQ コールを利用する

電池に関する警告

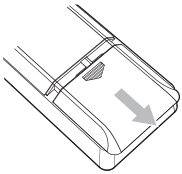
●事故防止のため、電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師の治療を受けてください。
●乾電池は充電しないでください。電池の破裂により、けがの原因となることがあります。
●電池を機器内に挿入する場合は、極性（＋極と⊖極）に注意し、表示どおりに入れてください。電池の極性をまちがえると破裂、液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
●使い切った電池はすぐに交換してください。液漏れにより、周囲を汚染する原因となることがあります。

電池に関するご注意

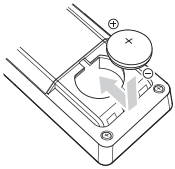
●指定された電池以外は使用しない
電池の破裂や液漏れにより、火災やけが、周囲を汚染する原因となることがあります。
●リモコン内に電池を入れるときは、極性（⊕極と⊖極）に注意し、指示どおりに入れる
指示どおりに入れないと、電池の破裂や液漏れにより、けがや周囲を汚染する原因となることがあります。
●加熱・分解したり、火・水の中に入れない
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
●金属製のボールペン・ネックレス・コインなどと一緒に携帯または保管しない
電池の破裂や液漏れにより、火災やけがの原因となることがあります。
●使用済みの電池は定められた方法および場所に廃棄する
●リモコンに付属の電池は、乳幼児の手の届くところに置かないでください。誤って飲み込むおそれがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医者にご相談ください。

電池を交換する

1 電池カバーを開け、電池を取り出す



2 新しいリチウム電池（CR2032）を⊕表示を上にして入れ、電池カバーを閉める



MEMO

はじめてリモコンを使用するときは、付属の電池を入れてください。

リア席モニターを使う（別売）

車の後席に別売のリア席モニターを増設すれば、後席で映像をお楽しみいただけます。

リア席モニターに表示できる映像

リア席モニターに表示できる映像は、以下のとおりです。リア席モニターにコントロールバーなどは表示されません。走行中／停車中に関係なく映像が表示されます。

- DVD ビデオ、DVD-VR
- テレビ
- VTR
- iPod ビデオ

MEMO

- DVD、テレビ、VTR、iPod ビデオ以外のソースを選択しても、リア席モニターには何も表示されません。
- 本機の画面でナビゲーション画面を表示中でも、リア席モニターには、再生中の映像が表示されます。

リアカメラを使う（別売）

リアカメラ標準装備車または本機に別売のリアカメラを接続している場合、車両の後方をモニターで見ることができます。リアワイドカメラ標準装備車または本機に別売のリアワイドカメラを接続している場合は、リアカメラ表示ビューを切り替えることができます。

⚠ 警告

モニター画面だけを見ながら車を後退させることは、絶対にしないでください。必ず直接目で車の周囲の安全を確認して、ゆっくりとした速度（徐行）でご使用ください。

⚠ 注意

- **リアカメラが映し出す範囲には限界があります。また、リアカメラの画面上に表示されるガイドは、実際の車幅・距離間隔と異なる場合があります。**
- **リアカメラの映像は、障害物などの確認のための補助手段として使用してください。雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **表示ビューの切り替え、画質の調整、ガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

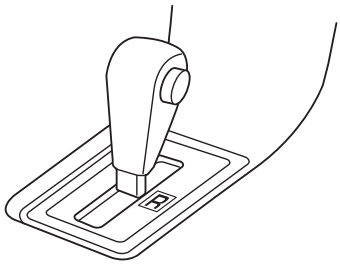
リアカメラの映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- リアカメラの映像は鏡像です。鏡像とは、映し出される画像が車両のバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた画像です。
- 夜間または暗所ではリアカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- リアカメラは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。
- カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませたやわらかい布などで拭き取ってください。ゴミなどが付いた状態で、乾いた布などで強くこするとレンズカバーに傷が付くことがあります。

リアカメラの映像を表示する

1 **エンジンをかける**

2 **シフトレバーを R（リバース）にする**



リアカメラの映像に切り替わります。
オーディオ関連の画像が表示されているときでも、リアカメラの映像が優先して表示されます。

MEMO

- ビュー は、リアワイドカメラ接続時のみ表示されます。
- カメラ表示中に操作できるのは、操作パネルの ⏻ 、▲ 、▼ 、⏮ 、⏭ 、⏏ 別売のリモコンの上記同機能ボタンです。
- 別売のオプションカメラを同時に接続することもできます。

リアカメラの画質を調整する

1 リアカメラ映像表示中に画面をタッチ

2 画質調整

MEMO

- 何もタッチしないまま 5 秒が過ぎると 画質調整 は画面から消えます。
- コーション にタッチするとメニューの表示位置を画面上部または下部のいずれかに変更できます。

3 調整する項目を選択

明るさ：
明るさを調整します。

色合い：
色味を調整します。

色の濃さ：
色の濃さを調整します。

コントラスト：
明るさと暗さの差を調整します。

黒レベル：
黒レベルを調整します。

4 ＋ または －

画面の映像を見ながら画質を調整します。

5 戻る

調整した画質に設定されます。

MEMO

画質は昼画面と夜画面でそれぞれ設定できます。

オーディオリモコンスイッチを使う（別売）
リモコンを使う（別売）
リア席モニターを使う（別売）
リアカメラを使う（別売）
フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）
SD カードを使う
接続したビデオを見る（別売）
ナビゲーションから QQ コールを利用する

ガイドラインを表示する

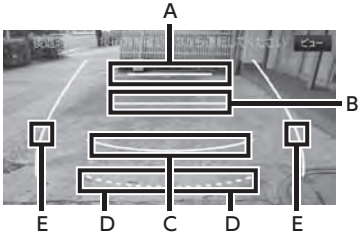
1 **リアカメラ映像表示中に画面をタッチ**

2 ガイドライン表示

MEMO

- 何もタッチしないまま 5 秒が過ぎると ガイドライン表示 は画面から消えます。
- コーション↓ をタッチすると、メニューの表示位置を画面上部または下部のいずれかに変更できます。

ガイドラインが表示されます。
ガイドラインの表示は、設定した車両、ビューによって異なります。以下はノーマルビュー表示時を例にとって説明します。



A：車両後端から約 3m の位置を示します。
B：車両後端から約 2m の位置を示します。
C：車両後端から約 50cm または 1m の位置を示します。
D：テールゲートまたはトランクが開閉可能な位置の目安を示します。
E：車幅＋約 25cm の目安を示します。

MEMO

- トップダウンビュー表示時（リアワイドカメラ接続時のみ）は、A、B は表示されません。
- ガイドラインの C は車両またはガイドラインの設定によって、表示される目安位置が変わります。

表示ビューを切り替える（リアワイドカメラ接続時のみ）

リアワイドカメラ装着時に、リアカメラ映像の表示ビューを変更することができます。

■ 表示ビューを切り替える

1 ビュー

MEMO

ビュー が点滅しているときは、表示ビューを切り替えることができません。

2 **ビュー選択**

ノーマル：
車両の後方を確認します。
ワイド：
標準よりも広い範囲で車両の後方を確認できます。
トップダウン：
車両の後方を上から見下ろしたように確認できます。

⚠ 注意

表示ビューの切り替えは低速走行中でも可能ですが、十分に周囲の安全を確認してから行ってください。

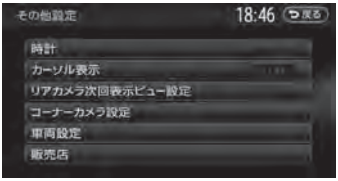
MEMO

ビュー選択表示後、5 秒間何も操作が無い場合は、リアカメラ映像に戻ります。

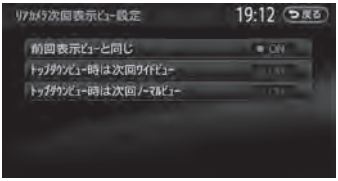
■ 次回表示時の表示ビューを設定する

トップダウンビューでリアカメラ表示を終了した場合の次回リアカメラ表示ビューを設定できます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定 ▶ リアカメラ次回表示ビュー設定



2 表示ビューを選択



前回表示ビューと同じ：
前回と同じ表示ビューで、車両の後方が表示されます。

トップダウンビュー時は次回ワイドビュー：
次回リアカメラ表示時に、自動的にワイドビューに切り替えて表示します。

トップダウンビュー時は次回ノーマルビュー：
次回リアカメラ表示時に、自動的にノーマルビューに切り替えて表示します。

MEMO

ワイドビューまたはノーマルビューでリアカメラ表示を終了した場合、次回のリアカメラ表示は本設定によらず前回表示ビューと同じになります。

オーディオリモコンスイッチを使う（別売）
リモコンを使う（別売）
リア席モニターを使う（別売）
リアカメラを使う（別売）
フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）
SD カードを使う
接続したビデオを見る（別売）
ナビゲーションから QQ コールを利用する

フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）

ここでは、コーナーカメラを例にあげて説明しています。

⚠ 警告

フロントカメラ／コーナーカメラはあくまで運転の補助手段として使用してください。安全のためカメラ使用時も目視による安全確認を行ないながら運転してください。

⚠ 注意

- **雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなるおそれがあります。**
- **画質の調整やガイド表示の調整などをするときは、必ず安全なところに停車してから操作を行ってください。**

車速判定機能により、停車が予測されると自動的にカメラ映像が映し出されます。また、動作する地点を登録しておいても、自動的にカメラ映像を映し出すことができます。

カメラ映像について

- カメラの映像は広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。
- 夜間または暗所ではカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。
- フロントカメラ／コーナーカメラシステムは、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にやめてください。防滴性能の劣化をまねき、故障などの原因となります。
- レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な映像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは、水を含ませた柔らかい布などで拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

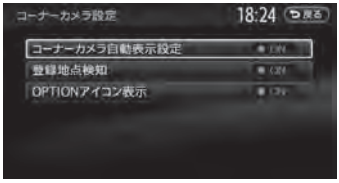
カメラ映像を自動で映し出させる

自動表示停車が予測されたとき、カメラ映像が自動で表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定

2 フロントカメラ設定 または コーナーカメラ設定

3 フロントカメラ自動表示設定 または コーナーカメラ自動表示設定



MEMO

OPTION ボタンを押すことでカメラ映像を手動で表示することもできます。

地点通過時にカメラ映像を自動表示する

■ 登録地ごとのカメラ映像自動表示を設定する

自動表示設定された登録地点通過時に停車が予測されたとき、カメラ映像を自動で表示するかどうかを設定します。

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定

2 フロントカメラ設定 または コーナーカメラ設定

3 登録地点検知

■ 登録地にカメラ映像自動表示を設定する

登録地ごとに、カメラ映像を自動的に映し出すよう設定することができます。

1 MENU ▶ 設定 ▶ ナビゲーション

2 登録データの編集・消去 ▶ 登録地点 ▶ 地点選択 ▶ 編集

3 アイコン ▶

MEMO

- 現在地メニューから、現在地をカメラ地点として登録できます (P.22)。
- 地点メニューから、スクロール先の地点をカメラ地点として登録できます (P.54)。

カメラ映像を手動で映し出させる

カメラ映像を手動で表示するには、あらかじめ OPTION ボタンにフロントカメラ／コーナーカメラ表示機能を設定する必要があります。

1 [OPTION]

カメラの映像が表示されます。

MEMO

- 再度 [OPTION] を押すか車を加速すると、直前に表示していた画面に戻ります。
- 「パネル異状停止コーション」が表示された場合は、[OPTION] ボタンを押してもフロントカメラ／コーナーカメラは表示されません。

コーナーカメラのガイドを表示させる

1 カメラ映像表示中に画面にタッチ ▶ ガイドライン表示 にタッチ

映像画質を調整できます (P.197)。

2 ガイドラインが表示されます。

SD カードを使う

MEMO

登録地の SD カードへのバックアップについては「よく行く地点を SD カードにバックアップする」（P.93）を参照してください。

利用可能な SD カード

SD カードをご購入の際は、規格に準拠した市販品をお選びください。
本機でお使いいただける SD カードは以下のとおりです。

- SD メモリーカード
- SDHC メモリーカード
- miniSD カード※
- microSD カード※

※ 専用のアダプターが必要です。

本機では SD カードと互換のない記録メディアには対応していません。

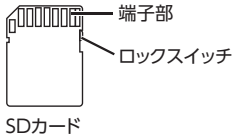
MEMO

- miniSD アダプター、microSD アダプターを本機内に残さないでください。
- 本機では、DRM（デジタル著作権管理）で保護されたデータの再生はできません。

SD カードに関する注意

SD カードをお使いの際は、以下のようなことにご注意ください。

- SD カードは、ダッシュボードの上や直射日光のあたる場所など、高温になる場所に放置しないでください。変形、故障の原因となります。
- SD カードの端子部に、手や金属で触れないでください。
- SD カードの最適化は行わないでください。
- 書き込み中や読み込み中に SD カードを抜いたり、エンジンを切らないでください。また、静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所では使用しないでください。データが破壊されることがあります。
- 操作パネルの開閉動作中や、操作パネルの角度を調整した状態では、SD カードを取り出さないでください。記録したデータが破損、消滅することがあります。
- SD カード内の大切なデータは、バックアップをとっておくことをおすすめします。
- SD カードへアクセスしている状態では、操作パネルを開けないでください。
- SD カードのロックスイッチを「LOCK」にすると、記録・消去ができなくなります。



ナビマスター S について

本機に取り込む画像のサイズ調整や、アルバム情報の更新には、弊社で提供しておりますパソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」が必要です。
「ナビマスター S」は、以下の弊社ホームページからダウンロードできます。

・VXM-122VFi
http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-122vfi/
・VXM-122VF
http://www.honda.co.jp/navi/versionup/vxm-122vf/

「ナビマスター S」の操作方法は、アプリケーションの提供とあわせてご案内します。

オープニング画面の取り込み

SD カード内のオープニング画面データを 20 個まで取り込むことができます。オープニング画面として取り込んだ画像はほかの用途には使えません。

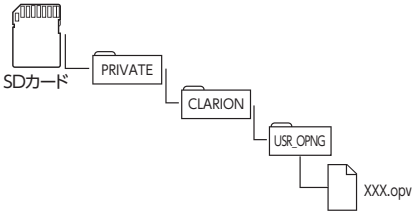
オープニング画面とは

オープニング画面とは、本機起動時に画面に表示される画像のことです。デジタルカメラなどで撮影したお好みの画像ファイルをオープニング画面としてお使いいただけます (P.105)。

オープニング画面として画像を扱うには

オープニング画面は、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」で作成した画像データを「opv」形式で保存したもの。
- 以下のフォルダ構造でファイルが保存されていること。



オープニング画面を取り込む

1 **オープニング画面の画像を保存した SD カードを挿入 (P.132)**

2 MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード ▶ オープニング画面の取り込み ▶ **オープニング画面を選択** ▶ 決定

オープニング画面が本機に取り込まれます。

TV サーチ情報の取り込み

TV サーチ情報とは、テレビで紹介された情報で、本機で目的地を検索する際に使用できます。
継続的に施設を紹介する特定の番組から、クラリオン株式会社オリジナルデータとして過去 3 年分の情報を抽出・本機に収録しています。

TV サーチ情報を更新する

⚠ 注意

データの更新中は、本機に関する一切の操作を行わないでください。データが破壊され、「TV の情報から探す」(P.48) 機能が正しく動作しなくなる恐れがあります。

1 **「ナビマスター S」の TV 情報機能を使用し、SD カードへ TV サーチ情報を保存します。**

2 **SD カードを使って本機の TV サーチ情報を更新します。**

MENU ▶ 設定 ▶ SDメモリーカード ▶ TVサーチ情報の更新 ▶ はい

データの更新が終了します。
(「ナビマスター S」画面上の「?」マークをタッチすると、TV 情報機能の取扱説明書を参照できます。)

MEMO

- SD カードとパソコンを使用して TV サーチ情報を更新することができます。
- 本機能を使用するには、インターネットに接続できるパソコン、情報を取得するためのパソコン用専用アプリケーション「ナビマスター S」が必要になります。
  詳しくは「ナビマスターSについて」(P.202)を参照してください。なお、TV サーチ情報は過去 3 年分を収録しているため、データを更新すると、古いデータは消去され、過去 3 年以内の情報のみになります。消去したくない施設は、あらかじめ地点登録などをしておいてください。

接続したビデオを見る（別売）

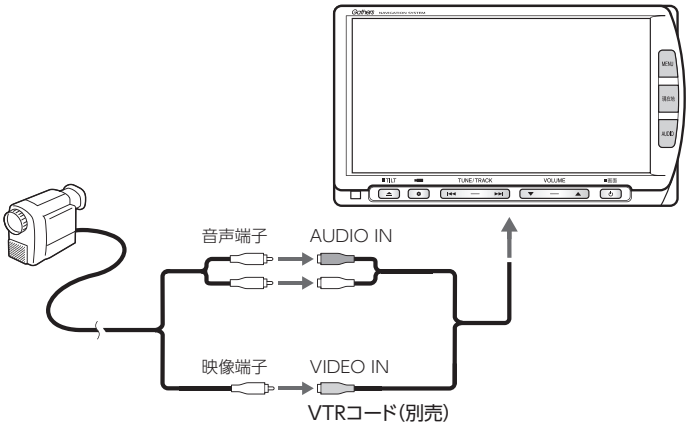
別売の VTR コード接続時のみ VTR 機器／ポータブルオーディオの視聴ができます。

⚠ 警告

運転者がテレビやビデオを見るときは、必ず安全な場所に車を停車させてください。本機は安全のため、停車時のみテレビやビデオの映像を見ることができます。走行中は、音声だけ聴くことができます。

⚠ 注意

接続する VTR 機器を車室内に放置しないでください。炎天下など、車室内が高温となり、故障の原因となります。



VTR 機器／ポータブルオーディオを接続する

1 **別売の VTR コードで、本機とお手持ちの VTR 機器／ポータブルオーディオを接続**

MEMO

- 映像入力端子と音声入力端子を正しく確実に接続してください。
- 接続した VTR 機器／ポータブルオーディオの取扱説明書をあわせて参照ください。

2 AUDIO ▶ VTR

MEMO

別売の VTR コードを接続していない場合、または iPod の接続方法を「USB+VTR 接続（アナログ音声）」**(P.184)** に設定していると、VTR は表示されません。

3 **VTR 機器／ポータブルオーディオを操作**

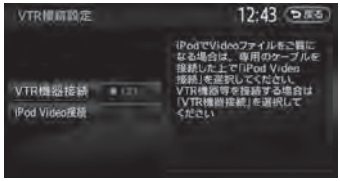
VTR 映像が再生されます。

MEMO

- VTR 操作画面の 画面切替 をタッチすると、画面の表示サイズを切り替えることができます。詳しくは、「画面サイズを切り替える」**(P.160)** を参照してください。
- VTR 操作画面の 画質調整 をタッチすると、映像の画質を調整することができます。詳しくは、「画質を調整する」**(P.161)** を参照してください。

VTR 機器接続の設定を切り替える

1 MENU ▶ 設定 ▶ その他設定 ▶ VTR接続設定



VTR 機器接続：
VTR 機器やポータブルオーディオ機器を接続するときに選択します。

iPod Video 接続：
iPod のビデオ映像を見る場合は、こちらの接続方法を選択します。本設定を行うとソース選択画面の VTR は非表示になり、VTR 機器は使用できません。

MEMO

接続方法を変更後に iPod を使う場合は、一旦、iPod の USB コード接続を外し再度接続してください。

オーディオリモコンスイッチを使う（別売）
リモコンを使う（別売）
リア席モニターを使う（別売）
リアカメラを使う（別売）
フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）
SD カードを使う
接続したビデオを見る（別売）
ナビゲーションから QQ コールを利用する

ナビゲーションから QQ コールを利用する

QQ コールは、ドライブの出発前から到着後まで、安全・安心なドライブをサポートする Honda 車専用のロードサービスです。路上救援だけでなく、代替交通費の補償や、修理後の車両搬送など充実のアフターフォローでカーライフをサポートします。

QQ コールの主なサービス

■ 路上救援

- 落輪、乗り上げ
- 雪道、泥道などでのスタック
- パンク（スペアタイヤ）交換
- 故障応急処理（キー閉じ込み、バッテリー上がり含む）
- 燃料切れ（ガソリン、軽油）10L 無料（年 1 回）

■ アフターフォロー

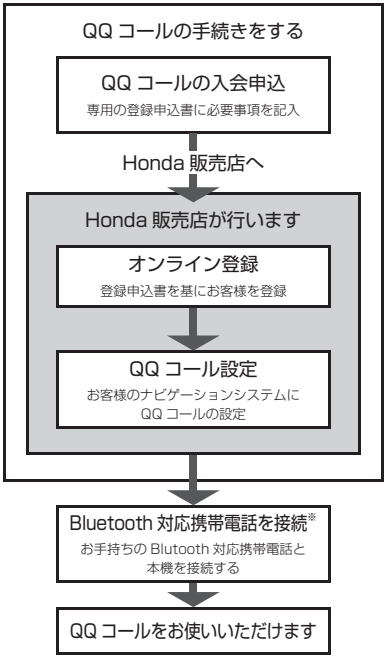
- 走行不能時の牽引：最寄りの Honda 販売店まで無料（距離制限 30km）
- 帰宅、旅行など予定継続手段の手配：1 名につき最大 5 万円（総額 10 万円まで）
- 修理が必要で最寄りの Honda 販売店が閉店時には車両を保管
- ドライブ中の急病やケガに際し、最寄りの病院を紹介。救急車の手配も。
- 事故の際、加入されている保険会社への連絡が必要な場合、連絡を代行（※）
- 修理後、自宅近くの Honda 販売店まで無償搬送（全国距離無制限）
- ご要望に応じ、ご家族、ご友人、会社などへメッセージ

※ 保険会社に連絡した内容に関しての責任は負いかねますので、ご了承ください。制度上、警察への連絡は、お客様から行っていただく必要があります。

【ご注意】「QQ コール」は有料ロードサービスです。別途 Honda 販売店でのお申し込みが必要です。
お申し込み、お問い合わせはお近くの Honda 販売店まで。
詳しくは、QQ コールホームページ：http://www.honda.co.jp/qqcall/

ナビゲーションから QQ コールを利用するには

ナビゲーションから QQ コールを利用するには、以下の手続き、操作が必要となります。



※ 本機に接続できる携帯電話をお持ちでない場合は、画面に QQ コールセンターの電話番号が表示されますので、お手持ちの携帯電話などを使って QQ コールに電話をかけられます。
携帯電話の接続方法について詳しくは、「電話を利用する」（P.111）を参照ください。

QQ コールに電話をする

ハンズフリー機能を利用して、QQ コールに連絡します。

MEMO

- QQ コール表示中は、以下の機能のみ操作できます。
  - 北方向上地図／進行方法上地図の切り替え
  - 地図の拡大／縮小
  - 地図スクロール
  - 音量調整
  - 現在地表示
- QQコール は、入会手続きと設定を行わないと表示されません。
  入会手続きと設定はHonda販売店にて行います。詳しくは、Honda販売店にお問い合わせください。

1 MENU ▶ QQコール

2 発信 をタッチする

QQ コールのコールセンターに電話がかかります。本機に表示されるマップコードをアシスタンスコーディネーターに伝え、指示に従ってください。

MEMO

- 上記の画面が表示されない場合は、携帯電話が接続されていません。あらかじめ携帯電話を接続してください。
- QQ コールのコールセンターに連絡できるのは、お使いの携帯電話の通話可能区域内です。
- 発信 をタッチしてもつながらない場合や、バッテリー上がりなどで本機を起動できない場合は、携帯電話などから直接コールセンターに電話してください。
- 走行中は QQ コールの電話番号およびマップコードは表示されません。車を安全な場所に停車してから操作を行ってください。

付録

タッチパネルの基本的な操作方法や、本機の収録データ、仕様などに関する情報を記載しています。また、ナビゲーション・オーディオの操作方法に困ったとき、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。
本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときは、P.269 を参照ください。

タッチパネルの基本操作 …… 210
文字パネルを操作する …… 210
予測候補を表示する …… 212
リストをスクロールする …… 212
インデックスを使って選ぶ …… 213
リストの選択／解除をする …… 213
全選択をする …… 213
項目を絞り込む …… 214
関連する地図を表示する …… 216
数値を増減する …… 216
リストを並べ替える …… 217
収録データベースについて …… 218
株式会社ゼンリンからお客様へのお願い …… 221
市街地図収録エリア一覧 …… 222
VICS システムの問い合わせ先… 228
VICS 情報有料放送サービス契約約款 …… 229
本機で再生可能な音声ファイルについて …… 230
再生できる MP3・WMA ディスク… 230
MP3・WMA の記録メディアについて …… 232
カントリーコード一覧 …… 233
商標について …… 234
Gracenote® Music Recognition Service℠ について …… 235
仕様 …… 237
困ったときに …… 238
自車位置がずれていたら …… 238
故障かなと思ったら …… 242
ナビゲーション関連 …… 242
オーディオ関連 …… 244
電話 …… 249
リアカメラ …… 250
オプションカメラ …… 250
その他 …… 251
よくある質問について …… 252
ナビゲーション関連 …… 252
オーディオ関連 …… 254
その他 …… 255
メニューマップ …… 258
索引 …… 262
製品を廃棄・譲渡・転売するときは …… 269
ナビゲーション内のデータ消去について …… 269
地図に表示される色やマーク … 274

タッチパネルの基本操作

文字パネルを操作する

文字の種類を切り替える

文字を入力する前に、ひらがな・漢字、カナ、アルファベットといった文字の種類を切り替えます。

MEMO

Music Rack のアルバム名編集など、編集時のみの機能です。

1 入力したい文字の種類を選択

キーの表示が切り替わります。

文字の種類は以下の順で切り替えることができます。
ひらがな→カタカナ（全角／半角）→英数（大文字／小文字／全角／半角）→記号（全角／半角）→ひらがな

文字を入力する

MEMO

画面に表示されるキーは、使う機能により異なります。

1 画面上の文字を選択

2 続けて画面上の文字を選択 ▶ 確定

MEMO

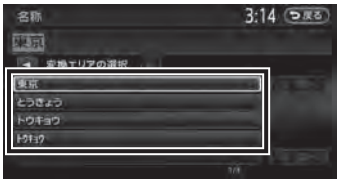
ひらがな、カタカナキーでは、文字入力後 小文字 をタッチすると、小さい文字を入力できます。
例：「っ」「ょ」「ィ」など

文字を変換する

1 文字を入力

2 変換

変換候補が表示されます。



3 変換対象を選択

MEMO

変換候補が多い場合は、前へ、次へ をタッチして変換対象を探してください。

範囲を変えて変換する

入力した文字列の範囲を変えて変換することができます。

1 文字を入力

2 変換

変換候補が表示されます。

3 ［変換エリアの選択］の ◀、▶

変換する範囲が変更され、該当する変換候補が表示されます。

4 変換対象を選択

文字を消去する

1 ◀、▶

消したい文字にカーソルを移動します。

2 修正

文字が 1 字消えます。

MEMO

- 修正 をタッチし続けると、文字をすべて消すことができます。
- カーソルが文字の間にあるときに 修正 をタッチし続けると、カーソルがある位置の文字とその右側の文字をすべて消去することができます。

文字を挿入する

1 ◀、▶

挿入したい位置の右にある文字にカーソルを移動します。

2 挿入する文字を入力

文字が挿入されます。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

予測候補を表示する

入力した文字ではじまる語句の予測候補をリスト表示させます。予測候補から文字を選ぶことで、入力をすばやく行えます。

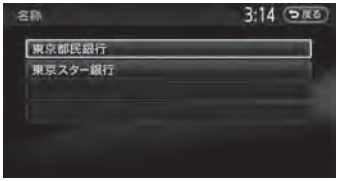
MEMO

予測候補機能は、目的地検索メニューでのみ使用できます。

1 文字を入力

2 予測候補

3 目的の項目を選択



タッチした候補が文字入力欄に表示されます。

MEMO

- 表示される候補は、それまでに入力した語句や、県名・ブランド名などよく入力される語句、また有名施設の名称などです。
- 候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。MAP をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。

リストをスクロールする

リストの項目が多い場合、複数のページに表示されます。

リストを 1 つ移動するには

1 ▲ または ▼

リストのページを移動するには

1 ⏶ または ⏷

MEMO

⏶ または ⏷ をタッチし続けると、連続してページが移動します。リストの最後まで移動するとリストの先頭に戻ります。

インデックスを使って選ぶ

画面左部には、ひらがなのキーが表示されています。タッチしたキーやキーの行を先頭文字とする項目をリスト表示できます。ここでは、例として、リストから「と」ではじまる項目を絞り込む方法を説明します。

1 た

「た」、「ち」、「つ」、「て」、「と」ではじまる項目が表示されます。

2 リストから該当する項目を選択

このように「あ」、「か」、「さ」、「た」、「な」など 50 音の行頭キーが表示された場合は、行頭キーをタッチしてリストから該当する項目を探します。

MEMO

インデックスがすべて表示されていない場合は、 または をタッチしてページを送ってください。

リストの選択／解除をする

リストの項目に以下の画面のような ON/OFF のランプがついているものは、項目をタッチするごとに、選択／解除が切り替わります。「ON」の状態が選択中を表します。

全選択をする

すべて選択／解除 というキーが表示されている場合は、すべての項目を選択できます。

1 すべて選択／解除

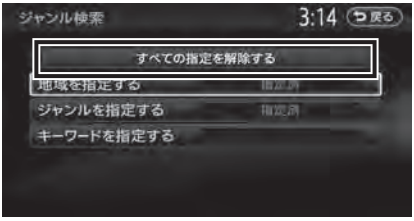
すべての項目が選択されます。

MEMO

再度 すべて選択／解除 をタッチすると、すべての選択を解除できます。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

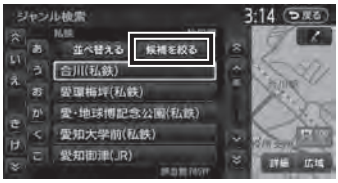
項目を絞り込む



MEMO

- 複数の絞り込みを行うと、前の絞り込みで除かれた項目は表示されません。たとえば地域とジャンルで絞り込みを行った場合、地域で絞り込んだ項目に「東京都」がない場合は、ジャンルで絞り込んだ項目の中に「東京都」は表示されません。
- すべての絞り込みを解除したいときは、絞り込み指定の画面で すべての指定を解除する 、または検索結果リスト画面で 戻る をタッチしてください。

1 **検索結果リスト画面で 候補を絞る**



絞り込み指定の画面が表示されます。

地域を指定する

リストの項目数が多い場合、地域を指定して項目を絞り込めます。

1 **[地域を指定する] の 未指定**

2 **都道府県名を選択 ▶ 市区町村指定**

MEMO

- すでに都道府県を指定している場合は、手順 3 に進みます。
- 5 つまでの都道府県を選択できます。
- 市区町村名が不明の場合は、 指定を完了 をタッチすると都道府県で項目が絞り込まれます。

3 **市区町村名を選択 ▶ 指定を完了**

項目が絞り込まれて表示されます。

MEMO

再度 候補を絞る をタッチして、地域を絞り込むこともできます。その際には、[地域を指定する] の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。都道府県選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定した地域が解除され 未指定 に戻ります。

ジャンルを指定する

リストの項目数が多い場合、ジャンルを指定して項目を絞り込めます。

1 **[ジャンルを指定する] の 未指定**

2 ジャンルを選択

MEMO

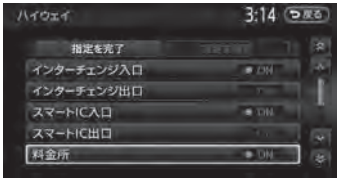
- 指定を完了 をタッチすると、選択した分類内のすべてのジャンルが絞り込みの対象となります。
- 再度 候補を絞る をタッチして、ジャンルを絞り込むこともできます。その際には [ジャンルを指定する] の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。ジャンル選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定したジャンルが解除され 未指定 に戻ります。

施設種別を指定する

ハイウェイの施設リストで、インターチェンジ入り口、サービスエリアといった施設の種別を絞り込めます。

1 [施設種別を指定する] の 未指定

2 施設種別を選択 ▶ 指定を完了



項目が絞り込まれて表示されます。

MEMO

再度 候補を絞る をタッチして、施設種別を絞り込むこともできます。その際には [施設種別を指定する] の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。施設種別選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定した施設種別が解除され 未指定 に戻ります。

路線を指定する

ハイウェイの施設リストで、4 号新宿線上り、5 号池袋線下りといった路線を絞り込めます。

1 [路線を指定する] の 未指定

2 路線名を選択 ▶ 指定を完了

項目が絞り込まれて表示されます。

MEMO

再度 候補を絞る をタッチして、路線を絞り込むこともできます。その際には [路線を指定する] の 指定済 をタッチし絞り込みを実行してください。路線選択画面で 指定を解除 をタッチすると、絞り込みで指定した路線が解除され 未指定 に戻ります。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

キーワードを指定する

リストの項目数が多い場合、施設名に含まれる文字を指定して項目を絞り込めます。1 文字でも絞り込めます。

1 **[キーワードを指定する] のエリア**

2 **施設名に含まれる文字を選択 ▶ 候補を表示**

項目が絞り込まれて表示されます。

> **MEMO**
>
> 再度 候補を絞る をタッチして、キーワードで絞り込むこともできます。その際には [キーワードを指定する] の表示項目をタッチしてください。文字入力画面で 修正 を長押しすると、抽出に指定した文字を消せます。

近隣県を指定する

住所やハイウェイ施設から目的地を探すときに、近隣県 をタッチすると、現在地周辺の都道府県を指定して絞り込めます。

1 **近隣県**

> **MEMO**
>
> - 地名を入力 をタッチすると、地名を入力して目的地・地点を探せます。
> - MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所が地図で表示されます。

2 **絞り込みたい県を選択**

関連する地図を表示する

候補画面の施設名に MAP が表示されている場合があります。MAP をタッチすると、その施設の検索結果画面が表示されます。
都道府県リストで MAP をタッチすると、選択した県の中心となる場所の検索結果画面が表示されます。

数値を増減する

リストの項目に ＋、－ が表示されている場合は、数値や音量などを増減することができます。

リストを並べ替える

リストの項目数が多い場合、リストの項目を並べ替えて、選びやすくできます。

1 並べ替える

2 並べ替える方法を選択

リストの項目が選択した方法で並べ替えられます。

読み順：
50 音順にリストが並べ替えられます。

近い順：
自車位置から目的地までの距離が近い順にリストが並べ替えられます。

登録順：
地点登録順にリストが並べ替えられます。

新着順：
メディアに紹介された年月日の新しい順にリストが並べ替えられます（TV サーチ情報検索のみ）。

アイコン順：
登録地に設定されたアイコンごとにリストが並べ替えられます。

グループ指定：
指定したグループを先頭にしてリストが並べ替えられます。

路線順：
各路線の上り／下り方向の順にリストが並べ替えられます（ハイウェイ検索のみ）。

MEMO

機能によっては、表示されないキーもあります。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

収録データベースについて

■ データ取得日について

本機 SD 内の情報は、以下を使用しています。

- 道路情報　：2010 年 9 月（一般道路）／ 2010 年 12 月（高速・有料道路）
- ハイウェイ情報　：2010 年 12 月現在
- 交通規制情報　：2010 年 11 月現在
- イラスト情報　：2010 年 9 月（一般道路）／ 2010 年 12 月（高速・有料道路）
- スマート IC 情報　：2010 年 12 月現在
- 施設検索情報　：2010 年 11 月現在
- 住所検索情報　：2010 年 11 月現在
- 市区町村合併情報　：2010 年 11 月現在
- 郵便番号検索情報　：2010 年 11 月現在
- TV サーチ　：2010 年 12 月現在（定期的に最新データを提供しています。**(P.203)**）
- 個人宅電話番号　：2010 年 10 月現在

※本機 SD 内の各情報は、作成日の都合上、現状と異なる場合があります。

■ 地図データについて

- 本商品に収録されている高速（有料）道路料金データについては、高速道路無料化社会実験の内容が反映されております。
  無料化社会実験については、2011 年 6 月に終了致しましたので、実際の料金と収録内容が異なります。事前に料金を確認して、ご利用ください。
- 本商品に収録されている地図データ（以下「地図データ」といいます。）の作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図を使用（測量法第 30 条に基づく成果使用承認平 17 企指公第 1 号）した財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベース（測量法第 44 条に基づく成果使用承認 07-173）を基に（株）ゼンリンにて作成しております。（© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会）
- この地図データの作成にあたっては、（株）ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の 2 万 5 千分の 1 地形図を使用しております。（承認番号平 20 業使、第 204-638 号）
- この地図データの作成にあたっては、（株）ゼンリンが国土地理院長の承認を得て、同院発行の 50 万分の 1 地方図を使用しております。（承認番号平 21 業使、第 757-165 号）
- 市街地図データは、住宅地図データベースを基に（株）ゼンリンが作成したものです。
- 本商品で表示している経緯度座標数値は、日本測地系に基づくものとなっています。基図の作成時期などにより、新設道路の地図データが収納されていないもの、名称や道路などが一部異なる場合があります。
- この地図データの作成にあたっては、国土地理院長の承認を得て、同院の技術資料 H・1-No.3「日本測地系における離島位置の補正量」を使用しています。（承認番号　国地企調発第 78 号　平成 16 年 4 月 23 日）
- 交通事故多発地点データは、（財）交通事故総合分析センターが作成した交通事故多発地点の地図データに基づき作成したものを使用しています。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、1998 年 11 月時点の交通事故多発地点です。この地図データに使用している交通事故多発地点データは、（財）日本交通事故管理協会と（財）交通事故総合分析センターが所有権を有し、（株）ゼンリンは二次的著作物に使用実施権を取得しております。
- 地形データは、国土地理院長の承認を得て同院発行の 5 万分の 1 地形図を使用し、（株）武揚堂にて作成されたものです。（承認番号平 9 総使、第 47 号）
- 道路データは、高速道路、有料道路はおおむね 2010 年 12 月、国道、県道、主要地方道はおおむね 2010 年 9 月までに収集された情報に基づき製作されておりますが、表示される地図が現場の状況と異なる場合があります。
- 音声データは、（株）ゼンリンが作成した資料を基にして、（株）アレックスが録音・編集をおこなっております。（© 2010.AREX CO., LTD.）

© 2007 財団法人日本デジタル道路地図協会
© 2010 AREX CO., LTD.
© 2010 ZENRIN CO., LTD.

■ 交通規制データについて

●交通規制データは、道路交通法及び警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、MAPMASTER が作成したものを使用しています。
●この地図に使用している交通規制データは普通車両に適用されるもののみで、大型車両や二輪車等の規制は含まれておりません。あらかじめご了承ください。

■ 検索データについて

●個人宅電話番号検索では、公開電話番号登録者の名字で複数の読み方が可能なものは、データ上実際とは異なった読み方で収録されている場合があります。また、電話番号非公開個人宅のデータは収録されておりません。
● TV サーチは、クラリオン株式会社オリジナルデータを使用しました。TV サーチの著作権は、クラリオン株式会社に帰属します。承諾なく複写、改変、本製品以外での使用等をすると、著作権法に違反し、場合によっては罰せられることがあります。
●施設検索データは以下のデータを元に作成されています。
- NTT タウンページデータ
- 株式会社ゼンリン提供のデータ
- 株式会社昭文社提供のデータ

● NTT タウンページデータなどの元データそのものが間違っている場合、間違った位置を表示する事があります。また、住所番地が広大な場所や、元のデータからは該当施設を特定できない場所では、指定した地区の代表地点が表示される事があります。
●施設検索データは、その施設の住所位置（中心位置）を表示しますので、そのままルート設定をした場合、必ずしも入口や、駐車場までの案内にはなりません。

■ 注意事項

●データベース作成時点の関連で、表示される地図あるいは検索データが現状と異なることがありますが、ご了承ください。
●自然災害による道路形状の変更等につきましては対応いたしかねます。
●本品で表示される地図や検索結果データの内容が、誤字・脱字・位置ずれなど、現状と異なることがあっても、商品の取り替えや代金の返却は致しませんのであらかじめご了承ください。
●本品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求などにつきましても、弊社は一切その責任を負いかねます。
●本品を弊社に無断で、複製・複写・加工・解析・業務上での使用や第三者への有償での譲渡・貸与を禁じます。またネットワークや他の方法などで複数の機器での同時使用を禁止します。
●本品の内容は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

■ 安全上のご注意（交通事故防止等安全確保のために必ずお守りください。）

本取扱説明書には、お使いになるかたやほかの人への危害と物的損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の「表示」で説明しています。

⚠ 警 告	指示に従わないと、死亡または重大な傷害に至る可能性があることを説明しています。

お守りいただく内容の種類を、次の「図記号」で区分し、説明しています。

禁 止	「してはいけない内容」を示しています。
指 示	「しなければならない内容」を示しています。

⚠ 警告

運転者は、走行中に操作をしないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

操作は、安全な場所に車を停止させてから行ってください。
安全な場所以外では追突、衝突されるおそれがあります。

運転中は、画面を注視しないでください。
運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

常に実際の道路状況や交通規制標識・標示などを優先して運転してください。
本商品に使用している地図データ、交通規制データ、経路探索結果、音声案内などが実際と異なる場合があるため、運転を誤り、交通事故を招くおそれがあります。

一方通行表示については、常に実際の交通規制標識・標示を優先して運転してください。
一方通行表示はすべての一方通行道路について表示されているわけではありません。また、一方通行表示のある区間でも実際にはその一部が両面通行の場合があります。

本商品を救急施設などへの誘導用に使用しないでください。
本商品にはすべての病院、消防署、警察署などの情報が含まれているわけではありません。また、情報が実際と異なる場合があります。そのため、予定した時間内にこれらの施設に到着できない可能性があります。

株式会社ゼンリンからお客様へのお願い

本商品に格納されている地図データおよび検索情報等のデータの製作にあたって、毎年新しい情報を収集・調査していますが、膨大な情報の更新作業をおこなうため収録内容に誤りが発生する場合や情報の収集・調査時期によっては新しい情報の収録がなされていない場合など、収録内容が実際と異なる場合がありますので、ご了承ください。

重要

本使用規定（「本規定」）は、お客様と株式会社ゼンリン（「弊社」）間の「本商品」に格納されている地図データおよび検索情報等のデータ（「本ソフト」）の使用許諾条件を定めたものです。本ソフトのご使用前に、必ずお読みください。本ソフトを使用された場合は、本規定にご同意いただいたものとします。

■ 使用規定

- 弊社は、お客様に対し、本取扱説明書（「取説」）の定めに従い、本ソフトを本ソフトが格納されている本商品で使用する権利を許諾します。
- お客様は、本ソフトのご使用前には必ず取説を読み、その記載内容に従って使用するものとし、特に以下の事項を遵守するものとします。
  - 必ず安全な場所に車を停止させてから本ソフトを使用すること。
  - 車の運転は必ず実際の道路状況や交通規制に注意し、かつそれらを優先しておこなうこと。
- お客様は、以下の事項を承諾するものとします。
  - 本ソフトの著作権は、弊社または弊社に著作権に基づく権利を許諾した第三者に帰属すること。
  - 本ソフトおよび本ソフトを使用することによってなされる案内・料金表示などは、必ずしもお客様の使用目的または要求を満たすものではなく、また、すべてが正確かつ完全ではないこと。弊社は、このような場合においても、本ソフトの交換・修補・代金返還その他の責任を負わないこと。
  - 弊社は、本ソフトに関するお客様に対する損害賠償責任を、弊社の故意または重過失による場合を除き、一切負わないこと。なお、この規定は、本ソフトに関する弊社の損害賠償責任のすべてを規定したものとすること。
  - 本規定に違反したことにより弊社に損害を与えた場合、その損害を賠償すること。
- お客様は、以下の行為をしてはならないものとします。
  - 本規定で明示的に許諾される場合を除き、本ソフトの全部または一部を複製、抽出、転記、改変、送信すること。
  - 第三者に対し、有償無償を問わず、また、譲渡・レンタル・リースその他方法の如何を問わず、本ソフト（形態の如何を問わず、その全部または一部の複製物、出力物、抽出物その他利用物を含む。）の全部または一部を使用させること。
  - 本ソフトをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルすること、その他のこれらに準ずる行為をすること。
  - その他本ソフトについて、本規定で明示的に許諾された以外の使用または利用をすること。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICSシステムの問い合わせ先
VICS情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

市街地図収録エリア一覧

＜ 95%＞ ……全面積の 95%以上が収録されている都市
＜ 80%＞ ……全面積の 80%以上が収録されている都市
それ以外　……市街中心部または一部地域が収録されている都市

MEMO

一部地域では、収録エリア内でも市街地図が表示されないことがあります。

収録都道府県	市街地図収録都市
北海道・東北地域	
北海道	**<95%> 室蘭市** **<80%> 札幌市、江別市** 函館市、小樽市、旭川市、釧路市、帯広市、北見市、夕張市、岩見沢市、網走市、留萌市、苫小牧市、稚内市、美唄市、芦別市、赤平市、紋別市、士別市、名寄市、三笠市、根室市、千歳市、滝川市、砂川市、歌志内市、深川市、富良野市、登別市、恵庭市、伊達市、北広島市、石狩市、北斗市、当別町、七飯町、江差町、喜茂別町、京極町、余市町、赤井川村、南幌町、長沼町、新十津川町、鷹栖町、東神楽町、当麻町、比布町、斜里町、白老町、音更町、芽室町、幕別町、釧路町、白糠町
青森県	**<95%> 三沢市** 青森市、弘前市、八戸市、黒石市、五所川原市、十和田市、むつ市、つがる市、平川市、平内町、藤崎町、大鰐町、田舎館村、七戸町、六戸町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町
岩手県	盛岡市、宮古市、大船渡市、花巻市、北上市、久慈市、遠野市、一関市、陸前高田市、釜石市、二戸市、八幡平市、奥州市、雫石町、岩手町、滝沢村、紫波町、矢巾町、平泉町、大槌町、山田町、岩泉町
宮城県	**<95%> 多賀城市** **<80%> 仙台市、塩竈市、七ヶ浜町、色麻町、加美町** 石巻市、気仙沼市、白石市、名取市、角田市、岩沼市、東松島市、大崎市、七ヶ宿町、大河原町、村田町、柴田町、川崎町、山元町、松島町、利府町、大和町、富谷町、大衡村、涌谷町、美里町、女川町
秋田県	秋田市、能代市、横手市、大館市、男鹿市、湯沢市、鹿角市、由利本荘市、潟上市、大仙市、にかほ市、仙北市、五城目町、八郎潟町、井川町
山形県	山形市、米沢市、鶴岡市、酒田市、新庄市、寒河江市、上山市、村山市、長井市、天童市、東根市、尾花沢市、南陽市、山辺町、中山町、最上町、高畠町、三川町
福島県	福島市、会津若松市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、喜多方市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、国見町、大玉村、鏡石町、下郷町、西郷村、矢吹町、三春町、小野町

収録都道府県	市街地図収録都市
関東地域	
東京都	**<95%> 千代田区、中央区、港区、新宿区、文京区、台東区、墨田区、江東区、品川区、目黒区、大田区、世田谷区、渋谷区、中野区、杉並区、豊島区、北区、荒川区、板橋区、練馬区、足立区、葛飾区、江戸川区、八王子市、立川市、武蔵野市、三鷹市、青梅市、府中市、昭島市、調布市、町田市、小金井市、小平市、日野市、東村山市、国分寺市、国立市、福生市、狛江市、東大和市、清瀬市、東久留米市、武蔵村山市、多摩市、稲城市、羽村市、あきる野市、西東京市、瑞穂町、日の出町** 檜原村、奥多摩町
千葉県	**<95%> 千葉市、市川市、船橋市、木更津市、松戸市、野田市、茂原市、佐倉市、東金市、習志野市、柏市、勝浦市、市原市、流山市、八千代市、我孫子市、鎌ケ谷市、君津市、浦安市、四街道市、袖ケ浦市、八街市、印西市、白井市、富里市、匝瑳市、いすみ市、酒々井町、栄町、大網白里町、九十九里町、芝山町、横芝光町、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町、御宿町** **<80%> 旭市、香取市** 銚子市、館山市、成田市、鴨川市、富津市、南房総市、山武市、神崎町、多古町、東庄町、大多喜町、鋸南町
埼玉県	**<95%> さいたま市、川越市、熊谷市、川口市、行田市、所沢市、加須市、本庄市、東松山市、春日部市、狭山市、羽生市、鴻巣市、深谷市、上尾市、草加市、越谷市、蕨市、戸田市、入間市、鳩ヶ谷市、朝霞市、志木市、和光市、新座市、桶川市、久喜市、北本市、八潮市、富士見市、三郷市、蓮田市、坂戸市、幸手市、鶴ヶ島市、日高市、吉川市、ふじみ野市、伊奈町、三芳町、滑川町、嵐山町、川島町、吉見町、鳩山町、長瀞町、美里町、上里町、宮代町、白岡町、杉戸町、松伏町** **<80%> 毛呂山町、小川町** 秩父市、飯能市、越生町、ときがわ町、横瀬町、皆野町、小鹿野町、東秩父村、神川町、寄居町
茨城県	**<95%> 取手市、つくば市、ひたちなか市、守谷市、つくばみらい市、東海村、利根町** **<80%> 水戸市、日立市、龍ケ崎市** 土浦市、古河市、石岡市、結城市、下妻市、常総市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、笠間市、牛久市、鹿嶋市、潮来市、那珂市、筑西市、坂東市、稲敷市、かすみがうら市、桜川市、神栖市、鉾田市、小美玉市、茨城町、大洗町、城里町、美浦村、阿見町、河内町、八千代町、五霞町、境町
栃木県	**<95%> 小山市** **<80%> 宇都宮市、足利市、野木町** 栃木市、佐野市、鹿沼市、日光市、真岡市、大田原市、矢板市、那須塩原市、さくら市、那須烏山市、下野市、上三川町、西方町、益子町、市貝町、芳賀町、壬生町、塩谷町、高根沢町、那須町
群馬県	**<95%> 玉村町** **<80%> 伊勢崎市、太田市** 前橋市、高崎市、桐生市、沼田市、館林市、渋川市、藤岡市、富岡市、安中市、みどり市、榛東村、吉岡町、下仁田町、甘楽町、中之条町、嬬恋村、草津町、東吾妻町、川場村、昭和村、みなかみ町、板倉町、明和町、千代田町、大泉町、邑楽町

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICSシステムの問い合わせ先
VICS情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

収録都道府県	市街地図収録都市
神奈川県	**<95%> 横浜市、川崎市、相模原市、横須賀市、平塚市、鎌倉市、藤沢市、小田原市、茅ヶ崎市、逗子市、三浦市、秦野市、厚木市、大和市、伊勢原市、海老名市、座間市、南足柄市、綾瀬市、葉山町、寒川町、大磯町、二宮町、中井町、大井町、松田町、開成町、箱根町、真鶴町、湯河原町、愛川町、清川村** 山北町
中部地域	
静岡県	**<95%> 清水町** **<80%> 静岡市、沼津市、富士市、湖西市、長泉町** 浜松市、熱海市、三島市、富士宮市、伊東市、島田市、磐田市、焼津市、掛川市、藤枝市、御殿場市、袋井市、下田市、裾野市、伊豆市、御前崎市、菊川市、伊豆の国市、牧之原市、東伊豆町、河津町、松崎町、西伊豆町、函南町、小山町、吉田町、川根本町、森町
長野県	長野市、松本市、上田市、岡谷市、飯田市、諏訪市、須坂市、小諸市、伊那市、駒ヶ根市、中野市、大町市、飯山市、茅野市、塩尻市、佐久市、千曲市、東御市、安曇野市、軽井沢町、御代田町、下諏訪町、富士見町、辰野町、箕輪町、南箕輪村、中川村、松川町、高森町、阿智村、豊丘村、大鹿村、山形村、朝日村、白馬村、坂城町、小布施町、高山村、山ノ内町、飯綱町
新潟県	新潟市、長岡市、三条市、柏崎市、新発田市、小千谷市、加茂市、十日町市、見附市、村上市、燕市、糸魚川市、妙高市、五泉市、上越市、阿賀野市、佐渡市、魚沼市、南魚沼市、胎内市、聖籠町、田上町、湯沢町
山梨県	**<95%> 昭和町** 甲府市、富士吉田市、都留市、山梨市、大月市、韮崎市、南アルプス市、北杜市、甲斐市、笛吹市、上野原市、甲州市、中央市、市川三郷町、早川町、身延町、南部町、富士川町、道志村、富士河口湖町
富山県	**<95%> 射水市、舟橋村** 富山市、高岡市、魚津市、氷見市、滑川市、黒部市、砺波市、小矢部市、上市町、立山町、入善町
石川県	**<95%> 野々市町、内灘町** 金沢市、七尾市、小松市、輪島市、珠洲市、加賀市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、津幡町、志賀町、宝達志水町
岐阜県	**<95%> 岐阜市、多治見市、各務原市、岐南町、笠松町、坂祝町** **<80%> 羽島市、可児市、安八町** 大垣市、高山市、関市、中津川市、美濃市、瑞浪市、恵那市、美濃加茂市、土岐市、山県市、瑞穂市、本巣市、下呂市、海津市、養老町、垂井町、関ケ原町、神戸町、輪之内町、揖斐川町、大野町、北方町、富加町、川辺町、御嵩町
愛知県	**<95%> 名古屋市、一宮市、瀬戸市、半田市、春日井市、豊川市、津島市、碧南市、刈谷市、安城市、西尾市、蒲郡市、犬山市、常滑市、江南市、小牧市、稲沢市、東海市、大府市、知多市、知立市、尾張旭市、高浜市、岩倉市、豊明市、日進市、田原市、清須市、北名古屋市、弥富市、みよし市、あま市、東郷町、長久手町、豊山町、大口町、扶桑町、大治町、蟹江町、飛島村、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町、幸田町** **<80%> 豊橋市、愛西市、一色町** 岡崎市、豊田市、新城市、吉良町、幡豆町

収録都道府県	市街地図収録都市
福井県	福井市、敦賀市、小浜市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、越前町、美浜町、高浜町
近畿地域	
大阪府	**<95%> 大阪市、堺市、岸和田市、豊中市、池田市、吹田市、泉大津市、高槻市、貝塚市、守口市、枚方市、茨木市、八尾市、富田林市、寝屋川市、河内長野市、松原市、大東市、和泉市、箕面市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、高石市、藤井寺市、東大阪市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、阪南市、島本町、豊能町、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、太子町、河南町、千早赤阪村** **<80%> 泉佐野市、泉南市、能勢町**
京都府	**<95%> 宇治市、亀岡市、城陽市、向日市、長岡京市、八幡市、京田辺市、木津川市、大山崎町、久御山町、井手町、精華町** **<80%> 笠置町** 京都市、福知山市、舞鶴市、綾部市、宮津市、京丹後市、南丹市、宇治田原町、和束町、南山城村
兵庫県	**<95%> 神戸市、尼崎市、明石市、西宮市、芦屋市、伊丹市、加古川市、宝塚市、三木市、高砂市、川西市、三田市、稲美町、播磨町、太子町** 姫路市、洲本市、相生市、豊岡市、赤穂市、西脇市、小野市、加西市、篠山市、養父市、丹波市、南あわじ市、朝来市、淡路市、宍粟市、加東市、たつの市、猪名川町、多可町、福崎町、上郡町、佐用町、香美町、新温泉町
奈良県	**<95%> 大和高田市、大和郡山市、橿原市、御所市、生駒市、香芝市、葛城市、平群町、三郷町、斑鳩町、安堵町、川西町、三宅町、田原本町、上牧町、王寺町、広陵町、河合町** 奈良市、天理市、桜井市、五條市、宇陀市、山添村、御杖村、高取町、明日香村、大淀町
滋賀県	**<95%> 草津市** **<80%> 大津市** 彦根市、長浜市、近江八幡市、守山市、栗東市、甲賀市、野洲市、湖南市、高島市、東近江市、米原市、日野町、竜王町
三重県	**<95%> 木曽岬町、東員町、朝日町、川越町** **<80%> 津市、四日市市、鈴鹿市** 伊勢市、松阪市、桑名市、名張市、尾鷲市、亀山市、鳥羽市、熊野市、いなべ市、志摩市、伊賀市、菰野町、多気町、明和町、玉城町、度会町、紀宝町
和歌山県	**<95%> 和歌山市** **<80%> 岩出市** 海南市、橋本市、有田市、御坊市、田辺市、新宮市、紀の川市、紀美野町、かつらぎ町、九度山町、湯浅町、広川町、有田川町、美浜町、日高町、日高川町、白浜町、那智勝浦町、太地町

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICSシステムの問い合わせ先
VICS情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

収録都道府県	市街地図収録都市
中国・四国・九州・沖縄地域	
岡山県	**<95%> 早島町、里庄町** **<80%> 岡山市、倉敷市、玉野市、浅口市** 津山市、笠岡市、井原市、総社市、高梁市、新見市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、真庭市、美作市、和気町、矢掛町、鏡野町、勝央町、奈義町、西粟倉村、久米南町、美咲町、吉備中央町
鳥取県	鳥取市、米子市、倉吉市、境港市、岩美町、智頭町、八頭町、三朝町、湯梨浜町、日吉津村
島根県	松江市、浜田市、出雲市、益田市、大田市、安来市、江津市、東出雲町、斐川町、吉賀町
広島県	**<95%> 府中町、海田町、熊野町、坂町** **<80%> 広島市、福山市** 呉市、竹原市、三原市、尾道市、府中市、三次市、庄原市、大竹市、東広島市、廿日市市、安芸高田市、江田島市、安芸太田町、北広島町、神石高原町
山口県	**<95%> 和木町** **<80%> 周南市** 下関市、宇部市、山口市、萩市、防府市、下松市、岩国市、光市、長門市、柳井市、美祢市、山陽小野田市、田布施町、平生町
高知県	高知市、室戸市、安芸市、南国市、土佐市、須崎市、宿毛市、土佐清水市、四万十市、大川村、いの町、佐川町、梼原町、四万十町
香川県	**<80%> 宇多津町** 高松市、丸亀市、坂出市、善通寺市、観音寺市、さぬき市、東かがわ市、三豊市、土庄町、小豆島町、三木町、綾川町、琴平町、多度津町、まんのう町
徳島県	**<95%> 徳島市** 鳴門市、小松島市、阿南市、吉野川市、阿波市、勝浦町、佐那河内村、石井町、神山町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町
愛媛県	松山市、今治市、宇和島市、八幡浜市、新居浜市、西条市、大洲市、伊予市、四国中央市、東温市、上島町、久万高原町、松前町、砥部町、伊方町
福岡県	**<95%> 北九州市、福岡市、大牟田市、中間市、春日市、志免町、須恵町、粕屋町、芦屋町、水巻町、遠賀町、苅田町** **<80%> 直方市、小郡市、大野城市、太宰府市、新宮町** 久留米市、飯塚市、田川市、柳川市、八女市、筑後市、大川市、行橋市、豊前市、筑紫野市、宗像市、古賀市、福津市、うきは市、宮若市、嘉麻市、朝倉市、みやま市、糸島市、那珂川町、宇美町、篠栗町、久山町、岡垣町、鞍手町、桂川町、筑前町、大刀洗町、広川町、香春町、糸田町、川崎町、大任町、福智町、みやこ町、吉富町、上毛町、築上町
佐賀県	佐賀市、唐津市、鳥栖市、多久市、伊万里市、武雄市、鹿島市、小城市、嬉野市、神埼市、吉野ヶ里町、基山町、上峰町、みやき町、有田町、白石町
大分県	**<95%> 別府市** 大分市、中津市、日田市、佐伯市、臼杵市、津久見市、竹田市、豊後高田市、杵築市、宇佐市、由布市、日出町、玖珠町

収録都道府県	市街地図収録都市
熊本県	**<80%> 菊陽町** 熊本市、八代市、人吉市、荒尾市、水俣市、玉名市、山鹿市、菊池市、宇土市、阿蘇市、天草市、合志市、玉東町、南関町、大津町、南小国町、小国町、嘉島町、益城町、山江村
長崎県	**<95%> 時津町** **<80%> 長与町** 長崎市、佐世保市、島原市、諫早市、大村市、平戸市、松浦市、五島市、西海市、雲仙市、川棚町、波佐見町、佐々町
宮崎県	宮崎市、都城市、延岡市、日南市、小林市、日向市、串間市、西都市、えびの市、三股町、高原町、国富町、新富町、門川町
鹿児島県	鹿児島市、鹿屋市、枕崎市、阿久根市、出水市、指宿市、西之表市、垂水市、薩摩川内市、日置市、曽於市、霧島市、いちき串木野市、南さつま市、志布志市、奄美市、南九州市、伊佐市、姶良市
沖縄県	**<95%> 那覇市、宜野湾市、浦添市、南風原町** **<80%> 北谷町、北中城村、西原町、与那原町** 石垣市、名護市、糸満市、沖縄市、豊見城市、うるま市、宮古島市、南城市、本部町、恩納村、宜野座村、金武町、読谷村、嘉手納町、中城村、八重瀬町

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICSシステムの問い合わせ先
VICS情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

VICS システムの問い合わせ先

VICS は、受信した内容をそのまま表示するレベル 1（文字情報）、レベル 2（図形情報）の表示と、ナビゲーション機器が地図上に表示するレベル 3 を提供するサービスです。表示内容のお問い合わせについては以下の VICS センターへ、その他の内容に関連するお問い合わせについては、弊社「お客様相談室」（連絡先は裏表紙を参照ください）にご連絡ください。問い合わせ先は次のようになります。

問い合わせ先 問い合わせ項目	（株）ホンダアクセス お客様相談室	VICS センター
VICS の概念、計画	−	○
レベル 1（文字情報）の表示内容	−	○
レベル 2（図形情報）の表示内容	−	○
レベル 3（地図上に表示される情報）の表示内容	−	○
情報のサービスエリア	○	−
受信の可否	○	−
ナビゲーション機器の調子、機能、使いかた	○	−

VICS の概念、計画、または表示された内容に関することは（財）VICS センターにお問い合わせください。

■（財）VICS センター

電話番号：0570-00-8831
受付時間：9:30 ～ 17:45（土曜、日曜、祝日を除く）
※全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。
※ PHS、IP 電話等からはご利用できません。
FAX 番号：(03) 3562-1719
●インターネット・ホームページ
http://www.vics.or.jp/

VICS リンクデータベースの著作権について
VICS 情報のデータの著作権は、（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しております。

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第１章　総　　則

(約款の適用)
第１条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の４の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

(約款の変更)
第２条　当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

(用語の定義)
第３条　この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。

（1）VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
（2）VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
（3）加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
（4）VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

(VICS サービスの種類)
第４条　VICS サービスには、次の種類があります。

（1）文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
（2）簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
（3）地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

(VICS サービスの提供時間)
第５条　当センターは、原則として一週間に概ね１２０時間以上の VICS サービスを提供します。

第３章　契　　約

(契約の単位)
第６条　当センターは、VICS デスクランブラー１台毎に１の VICS サービス契約を締結します。

(サービスの提供区域)
第７条　VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

(契約の成立等)
第８条　VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

(VICS サービスの種類の変更)
第９条　加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

(契約上の地位の譲渡又は承継)
第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

(加入者が行う契約の解除)
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

(当センターが行う契約の解除)
第 12 条
1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料　　金

(料金の支払い義務)
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保　　守

(当センターの保守管理責任)
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

(利用の中止)
第 15 条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑　　則

(利用に係る加入者の義務)
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

(免責)
第 17 条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他 当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは当該変更においても変更後３年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。

2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、３年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

[別表]
視聴料金　315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

本機で再生可能な音声ファイルについて

本機では、MP3 または WMA ファイルの記録された CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW、SD カード、USB メモリーを再生することができます。SD カード、USB メモリーについて詳しくは、**P.130** を参照ください。
MP3 とは、MPEG Audio Layer 3 の略称で、音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。
MP3 ファイルは、元の音楽データを約 1/10 サイズに圧縮したものです。
WMA とは、Windows Media Audio の略称で、マイクロソフト社独自の音声圧縮フォーマットです。

再生できる MP3・WMA ディスク

- 記録メディア※1：
  CD-ROM、CD-R、CD-RW、DVD-R、DVD-RW
- 記録フォーマット：
  CD：ISO9660 レベル 1 ／レベル 2、Joliet、Romeo
  DVD：UDF（Ver1.02 のみ）、UDF- ブリッジ、ISO9660 レベル 1 ／レベル 2、Joliet、Romeo
- パケットライトには非対応
- 拡張子が .MP3、または .WMA のファイル（雑音や故障の原因となるため、MP3/WMA ファイル以外には「.MP3」「.WMA」の拡張子をつけないでください）

※ 1 マルチセッション対応で記録したディスクは、最大 40 セッションまで再生可能です。（DVD-R/RW はマルチセッション未対応）

MP3/WMA の VBR ファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。

MP3 ファイルについて

- ID3-Tag：Ver1.x、2.x の album（Disc Title として表示）、track（Track Title として表示）、artist（Track Artist として表示）の表示に対応
- エンファシス：44.1kHz のファイル再生時のみ対応
- 再生可能なサンプリング周波数
  MPEG1：44.1kHz/48kHz/32kHz
  MPEG2：22.05kHz/24kHz/16kHz
  ※音質面においては 44.1kHz 以上 を推奨
- 再生可能なビットレート
  MPEG1：32kbps ～ 320kbps
  MPEG2：8kbps ～ 160kbps
  ※音質面においては 128kbps 以上を推奨
- MP3i（MP3 interactive）、mp3 PRO フォーマット非対応
- VBR（バリアブルビットレート）で記録された MP3 ファイルは音飛びする場合があります。
- 記録時間の短いファイルは再生できないことがあります。
- ディスク、SD カードまたは USB メモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 低ビットレートのファイルを再生、早送り・早戻しすると、再生時間の表示がずれることがあります。
- Windows Media Player、iTunes 以外の TAG 編集ソフトで TAG 情報を変更すると、TAG が正常に表示されないことがあります。

WMA ファイルについて

- 作成するパソコンのソフトウェアによっては、アルバム名が文字化けすることがあります。
- WMA9 Professional、WMA9 Voice、WMA9 ロスレスフォーマット非対応。
- ディスクまたは SD カード／ USB メモリー内に音楽データ以外の大きなデータが入っていると、曲が再生できない場合があります。
- 再生可能なサンプリング周波数は記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。
- 再生可能なビットレートは記録バージョンによって異なります。下記の表をご参照ください。

	ディスク	SD カード	USB メモリー
ビットレート (kbps)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)	サンプリング周波数 (kHz)
384	—	32	—
320	—	48/44.1	—
256	—	44.1	—
192	48/44.1	48/44.1	48/44.1
160	48/44.1	48/44.1	48/44.1
128	48/44.1	48/44.1	48/44.1
96	48/44.1	48/44.1	44.1
80	44.1	44.1	44.1
64	48/44.1	48/44.1/32	44.1/32
48	44.1/32	48/44.1/32	44.1/32
44	—	32	32
40	32	32	32
36	—	32	32
32	44.1/32/22.05	48/44.1/32/22.05	44.1/32/22.05
22	22.05	32/22.05	—
20	32/22.05/16	44.1/32/22.05/16	—
16	22.05/16	44.1/22.05/16	—
12	16/8	16/8	—
10	16/11.025	16/11.025	—
8	11.025/8	11.025/8	—
6	8	8	—
5	8	8	—
VBR ※	48/44.1	48/44.1	44.1

※ VBR（バリアブルビットレート）で記録された WMA ファイルは、再生時間の表示がずれることがあります。また、ビットレートによって、部分的に音飛びや音切れがしたり、ノイズが生じる場合があります。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

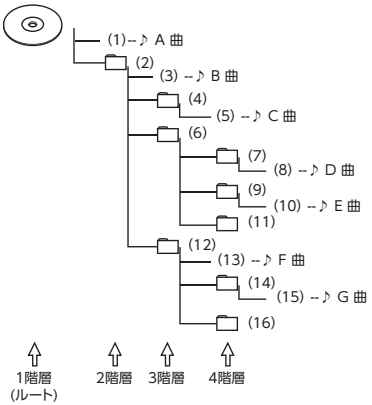
MP3・WMA の記録メディアについて

本機で MP3/WMA を再生するためのご注意

- 最大数を超えてフォルダ・ファイル・トラックが記録されている場合、超過しているフォルダ・ファイル・トラックは本機では認識されません。また、本機でのフォルダおよびファイルの表示順序は、パソコンでの表示順序とは異なります。
- フォルダを含めたファイル名が長い場合、そのファイルは再生できないことがあります。
- MP3/WMA のファイル名を表示する場合、ファイル名の長さによってはファイル名の最後に拡張子の一部（./.m/.mp/.W/.WM）が残る場合があります。その場合には、作成するファイル名の長さを調整してください。（拡張子の一部が残るファイル名の長さは使用するファイルシステムによります）
- SD カード、USB メモリーとも、著作権保護された音楽ファイルは本機では再生できません。

ディスクのフォルダ構成

MP3/WMA ファイルを記録したディスクのイメージ（例：1 ～ 4 階層の場合）は、下図のようになります。
曲のないフォルダは飛ばして再生順序を決めます。
下図の場合の再生順序は、(1) → (3) → (5) → (8) → (10) → (13) → (15) となります。



- ディスクの場合、8 階層（ルートディレクトリを含む）までの MP3/WMA ファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。

SD カード／ USB メモリーのフォルダ構成

音楽データを認識できる階層は、SD カード、USB メモリーともにルートを含む 8 階層までです。この階層内にある MP3/WMA 音楽データのみが認識されます。何階層目にデータを置かねばならないという指定はありません。
フォルダ名、ファイル名の文字数合計は半角で 250 文字以内にしてください。

MEMO

- MP3/WMA ファイルを含まないフォルダは認識されません。
- SD カード、USB メモリーともに、8 階層（ルートディレクトリを含む）までの MP3/WMA ファイルの再生に対応していますが、多くのフォルダを持つ場合は再生がはじまるまでに時間がかかります。
- SD カードで 1 つのフォルダに 99 以上のトラックが入っている場合、または USB メモリーで 1 つのフォルダに 255 以上のトラックが入っている場合はパソコンでデータが書き込まれた順序により、認識されるトラックは変わります。
- SD カード／ USB メモリーで 1 つのフォルダに MP3/WMA ファイル以外のファイルを入れた場合、認識されるトラック数が少なくなることがあります。
- SD カードの階層で認識可能なフォルダ数は最大 500、USB メモリーの階層で認識可能なフォルダ数は最大 512 になります。
- 1 つの SD カードで Music Rack と共用できます。
- 第 1 階層にファイルがある場合は、フォルダリスト画面の「MASTER FOLDER」内に置かれます。

カントリーコード一覧

国名	国コード	入力番号
ALBANIA	AL	6576
ANDORRA	AD	6568
AUSTRIA	AT	6584
BAHRAIN	BH	6672
BELGIUM	BE	6669
BOSNIA AND HERZEGOWINA	BA	6665
BULGARIA	BG	6671
CROATIA (local name:Hrvatska)	HR	7282
CYPRUS	CY	6789
CZECH REPUBLIC	CZ	6790
DENMARK	DK	6875
EGYPT	EG	6971
FINLAND	FI	7073
FRANCE	FR	7082
FRANCE, METROPOLITAN	FX	7088
GERMANY	DE	6869
GREECE	GR	7182
HUNGARY	HU	7285
ICELAND	IS	7383
IRAN (ISLAMIC REPUBLIC)	IR	7382
IRAQ	IQ	7381
IRELAND	IE	7369
ISRAEL	IL	7376
ITALY	IT	7384
JAPAN	JP	7480
JORDAN	JO	7479
KUWAIT	KW	7587
LEBANON	LB	7666
LESOTHO	LS	7683
LIECHTENSTEIN	LI	7673
LUXEMBURG	LU	7685
MACEDONIA, THE FORMER YUGOSLAV REPUBLIC OF	MK	7775
MALTA	MT	7784

国名	国コード	入力番号
MONACO	MC	7767
NETHERLANDS	NL	7876
(NETHERLANDS ANTILLES)	AN	6578
NORWAY	NO	7879
OMAN	OM	7977
POLAND	PL	8076
PORTUGAL	PT	8084
QATAR	QA	8165
ROMANIA	RO	8279
SAN MARINO	SM	8377
SAUDI ARABIA	SA	8365
SLOVAKIA (Slovak Republic)	SK	8375
SLOVENIA	SI	8373
SOUTH AFRICA	ZA	9065
SPAIN	ES	6983
SWAZILAND	SZ	8390
SWEDEN	SE	8369
SWITZERLAND	CH	6772
SYRIAN ARAB REPUBLIC	SY	8389
TURKEY	TR	8482
UNITED ARAB EMIRATES	AE	6569
UNITED KINGDOM	GB	7166
Vatican City State	VA	8665
YEMEN	YE	8969
YOUGOSLAVIA	YU	8985
FAROE ISLANDS	FO	7079
GIBRALTAR	GI	7173
GREENLAND	GL	7176
SVALBARD AND JAN MAYEN ISLANDS	SJ	8374

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

商標について

●本機には、米国特許その他の知的財産権で保護されている著作権保護のための技術が搭載されています。この著作権保護のための技術の使用に関しては、ロヴィ コーポレーションの許可が必要ですが、家庭およびその他の限定された視聴に限っては許可を受けています。またリバースエンジニアリングや分解は禁じられています。

●本機は、第三者が著作権を所有しフリーソフトウェアとして配布されているソフトウェアモジュールを使用しています。
それらの一部には MPL（Mozilla Public License）のライセンス契約の適用を受けるソフトウェアモジュールが含まれています。
ソースコードの入手および MPL については以下の WEB サイトを参照ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/products/navigation/mpl/index.html
その他、本機には以下のソフトウェアモジュールを使用しています。
・ Independent JPEG Group

●ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビーおよびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

●DVD VIDEO は DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。

● 「SDHC メモリーカード」「SD メモリーカード」「miniSD™」「microSD™」は SD カードアソシエーションの登録商標です。

●マップコードは、株式会社デンソーの登録商標です。

● Gracenote および CDDB は、グレースノート社の登録商標です。Gracenote ロゴ、ロゴ標記、および“Powered by Gracenote”ロゴはグレースノート社の商標です。

● VICS は、（財）道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

● 「QR コード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

● 「タウンページデータベース」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。

● 「ATRAC3」および「ATRAC3」ロゴは、ソニー株式会社の商標です。

● “Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod touch, and iTunes are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

● Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. の所有物であり、クラリオン（株）は許可を受けて使用しています。

● MAPPLE ガイドデータは、株式会社昭文社の登録商標または商標です。

Gracenote® Music Recognition Service℠ について

Gracenote,Inc. 提供の CD および音楽関連データ :copyright© 2000 to present Gracenote. Gracenote Software,copyright© 2000 to present Gracenote. 本製品およびサービスには、Gracenote が所有する 1 つまたは複数の特許が適用されます。
適用可能な一部の Gracenote 特許の一覧については、Gracenote の Web サイトを参照ください。Gracenote、CDDB、MusicID、Gracenote のロゴとロゴタイプ、および”Powered by Gracenote”ロゴは、米国および / またはその他の国における Gracenote の登録商標または商標です。

※本機のデータベースは、2011 年 2 月時点のものです。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

Gracenote® エンドユーザー使用許諾契約書

バージョン 20061005

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc.（以下「Gracenote」）のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア（以下「Gracenote ソフトウェア」）を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報（以下「Gracenote データ」）などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenote サーバー」）から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシー ポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2011

仕様

ナビゲーション（GPS）部

受信周波数　：1575.42MHz
　　C/A コード
感度　：－ 130dBm 以下
チャンネル数　：パラレル 13 チャンネル

LCD モニター部

画面寸法　：7 型
　　(156.2mm × 82.3mm)
表示方式　：透過型 TN 液晶パネル
駆動方式　：TFT（薄膜トランジスタ）
　　アクティブマトリクス駆動方式
画素数　：1,152,000 画素
　　[水平 800 ×垂直 480 ×
　　3（RGB)]

12 セグ／ワンセグチューナー部

受信チャンネル：UHF 13 ～ 62ch
最大感度　：－ 80dBm 以下

CD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN 比　：80dB
高調波ひずみ率　：0.05%（1kHz)

DVD プレーヤー部

周波数特性　：20Hz ～ 20kHz
SN 比　：80dB
高調波ひずみ率　：0.05%（1kHz)

FM チューナー部

受信周波数　：76.0MHz ～ 90.0MHz
実用感度　：8dB μ V

AM チューナー部

受信周波数　：522kHz ～ 1,629kHz
実用感度　：30dB μ V

オーディオ部

定格出力　：16W × 4（10%、4 Ω）
瞬間最大出力　：45W × 4
適合インピーダンス　：4 Ω

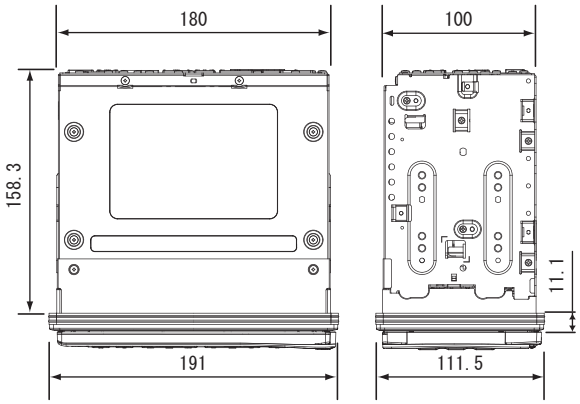
Bluetooth 部

受信周波数　：2402MHz ～ 2480MHz
　　(1MHz ステップ)
受信感度　：－ 70dBm 以下
規格　：バージョン 2.0+EDR

共通部

電源電圧　：14.4V
接地方式　：マイナス接地
消費電流　：約 4A（1W 出力時）

外形寸法図（本体）



※これらの仕様およびデザインは、改善のため、予告なく変更する　場合があります。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

困ったときに

自車位置がずれていたら

本機は、車が走行することにより、そのデータから車が地図を進む距離や方向を学習して認識します（距離係数／学習機能）ので、ある程度の走行データが必要です。
したがって、走行状態や GPS 衛星の状態により、自車位置マークが実際の車の位置とずれることがありますが、故障ではありません。
そのまましばらく走行すると、自動的に現在位置を補正します。

自車位置のずれを修正するには

はじめて使用するときやセンサーの学習リセット(P.107)の操作を行った後は、走行データが少ないために誤差を生じますが、GPS 衛星からの電波が良好に受信できる見通しのよい道（国道、主要地方道路、主要一般道路）をしばらく走行すると、自車位置マークが地図上を正確に進むようになります。次の方法により短時間で学習をさせることができます。

上空に障害物がない道、または周辺に高いビルがない（GPS が受信できる）道で、約 5 分間、法定内のスピードで定速走行を行う。

MEMO

自車位置マークの精度や誤差について詳しくは、「自車位置の精度について」(P.239)を参照ください。

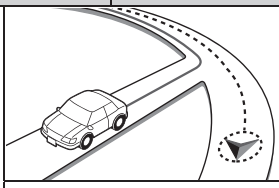
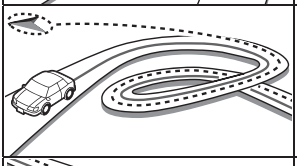
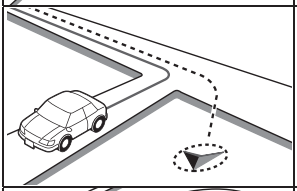
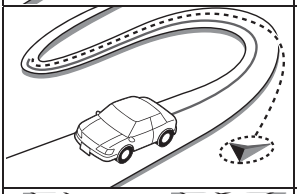
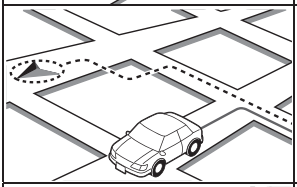
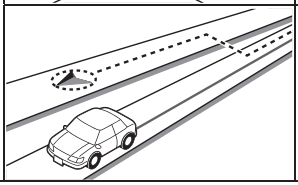
3D センサーによる上下道路判定について

自車が都市高速などに乗った場合（降りた場合）などに、車の高さの変動や道路の傾斜を 3D センサーで検出し、上下道路判定による自車位置測位を行います。

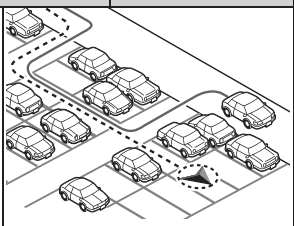
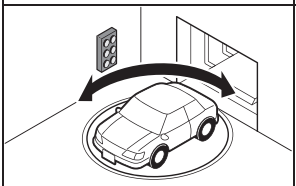
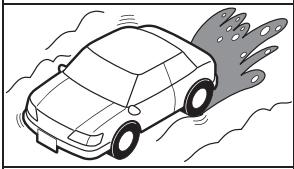
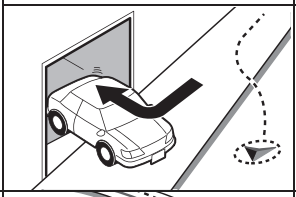
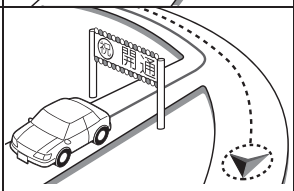
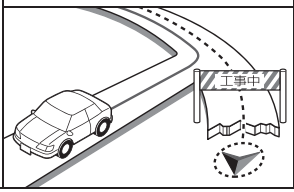
- 上下道路判定は、3D センサー並びに高さデータを収録している地図データからの情報で行います。高さデータを収録している道路は、都市高速道路（首都・名古屋・阪神・広島・福岡・北九州）、東京外環自動車道などです。
- 高さデータ収録地域においても、道路形状や走行状況により、正しく上下移動判定ができない場合があります。（道路の傾斜が緩やかで高低差が少ない、ランプの長さが短い、センサーの学習が不十分な場合など）
- 本機を別の車に載せ替えたときや、取り付け位置・角度を変更した場合は、必ずセンサーの学習記録を初期化してください(P.107)。

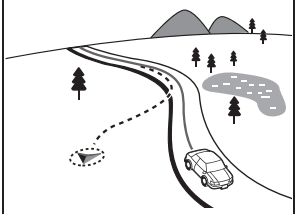
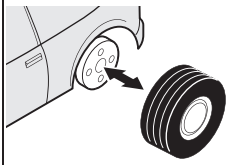
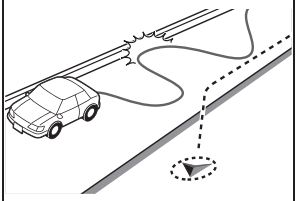
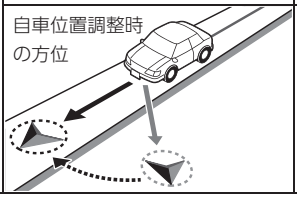
自車位置の精度について

次のような道路状況、走行状態や GPS 衛星の状態により、実際の車の位置と自車位置マークがずれ、正しく判定できない場合がありますが、そのまましばらく走行すると自動的に現在位置を補正します。

原因（状況）	―――：走行中 - - - -：表示	走行条件	備考（処置など）
道路の形状		Y 字路のように徐々に開いていくような分岐では、センサーにより推測される進行方向の誤差により、誤った道路上に自車位置マークが表示されることがあります。	10km 程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、**「現在地を修正する」(P.107)** を行ってから、**「センサーの学習リセット」(P.107)** を行ってください。これらの操作を行ったうえで、**「自車位置のずれを修正するには」(P.238)** を参照ください。
		ループ橋など、連続して大きく旋回する場合は、旋回角度の誤差の累積により、自車位置マークが道路から外れることがあります。	
		直線および緩やかなカーブを長距離走行すると、マップマッチングの効果が完全には発揮されず、距離の誤差が大きくなり、その後、角を曲がったりすると、自車位置マークが道路から外れることがあります。	
		つづら折れでは、方位の精度により近くの似た方位の道路上に誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。	
		碁盤目状道路では、近くに似た方位の道路が多いため、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。	
		高速道と側道のように、近くに似た方位の道路があると、誤ってマッチングし、その後、自車位置マークが道路から外れることがあります。	

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

原因（状況）	——— ：走行中 - - - - ：表示	走行条件	備考（処置など）
場所		駐車場など、地図上で道路のないところを走行すると、周辺の道路に誤ってマッチングし、道路に戻ったときに、自車位置マークが正しい位置から外れていることがあります。また、旋回や切り返しを繰り返すと、方位誤差が累積し、正しく道路上に乗らないことがあります。	10km 程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、**「現在地を修正する」(P.107)**を行ってから、**「センサーの学習リセット」(P.107)**を行ってください。これらの操作を行ったうえで、**「自車位置のずれを修正するには」(P.238)**を参照ください。
		ターンテーブルで旋回すると、方位が狂い、自車位置マークが正しい道路に戻りにくいことがあります。	
		雪道、濡れた路面、砂利道など、タイヤがスリップしやすい道路では、距離の誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	
		坂道の車庫入れやバンクした道路など、車両が傾斜した状態で旋回すると、旋回角度に誤差が生じ、自車位置マークが道路から外れることがあります。	
地図データ		地図画面などに表示されていない新設道路などを走行すると、マップマッチングが正確に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、表示される道路に戻ったときには、自車位置マークが正しい道路から外れていることがあります。	
		地図データに登録されている道路と実際の道路形状が違う場合は、マップマッチングが正常に働かず、近くの道路に誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	

原因（状況）	——— ：走行中 - - - - ：表示	走行条件	備考（処置など）
地図データ		詳細地図のない地域では、詳細地図のある地域と比較して、形状が正しく表現されていない場合があります。また、登録されている詳細な道路が少ないため、地図画面に表示されない道路を走行すると誤ってマッチングし、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	10km 程度走行しても正しい位置に戻らない場合は、**「現在地を修正する」(P.107)**を行ってから、**「センサーの学習リセット」(P.107)**を行ってください。これらの操作を行ったうえで、**「自車位置のずれを修正するには」(P.238)**を参照ください。
車両		タイヤチェーンを装着したり、タイヤ交換をすると、距離が正しく検出されず、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	タイヤチェーンを脱着した後やタイヤを交換した後は、**「センサーの学習リセット」(P.107)**を行ってください。この操作を行ったうえで、**「自車位置のずれを修正するには」(P.238)**を参照ください。
走りかた	無停止連続走行	長距離を停止せずに連続して走行すると、方位誤差が累積し、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	一度停止して、**「センサーの学習リセット」(P.107)**を行ってください。この操作を行ったうえで、**「自車位置のずれを修正するには」(P.238)** を参照ください。
		ホイールスピンをするなどの乱暴な運転をすると、正しい検出ができず、自車位置マークが正しい道路から外れることがあります。	**「現在地を修正する」(P.107)**を行い、**「センサーの学習リセット」(P.107)**を行ってください。これらの操作を行ったうえで、**「自車位置のずれを修正するには」(P.238)** を参照ください。
位置修正のしかた	自車位置調整時の精度	位置の設定の精度が悪いと、特に道路が多い場所では、正しい道路を見つけられずに、精度が低下することがあります。	**お願い** **修正時は、可能な限り、詳細図で行ってください。**
	自車位置調整時の方位 	自車位置の移動時に車両の方位が合っていないと、その後の精度が低下することがあります。	自車位置調整の方位修正機能で修正してください。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

故障かなと思ったら

次のような症状は、故障ではないことがあります。修理を依頼される前に、もう一度次のことをお調べください。

ナビゲーション関連

	症　　状	原　　因	処　　置
表示関連	GPS 受信の表示がでない。	障害物などにより、GPS 衛星の電波を受信できない。	障害物などがなくなれば受信できます。
		受信可能な GPS 衛星が少ない。	衛星の配置が悪く、測位できない場合もあります。
		フェリーなどで大幅に移動した。	走行することにより表示されるようになります。
	メニュー画面が表示されない。	走行中は、安全のため操作を禁止している項目のボタンは表示しない。	車を完全に停車させてください。
	アイコンがやたらに表示される。	周辺検索を行うと検索結果の表示として↓付きのアイコンが多数表示される。	現在地メニューの「検索アイコンの消去」を選ぶと表示を消せます。
	地図画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品(以下)を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
	電源投入直後、画面が見づらい。	気温が低いときは、液晶バックライトの特性上、輝度が低い場合がある。	バックライトが温まれば解消されます。
誘導音声関連	ルート誘導の音声が小さい（または大きい)。	音量が小さく（または大きく）設定されている。	音量を調整してください **(P.69)**。
	音声案内が出ない。	音声案内が、「OFF」に設定されている。	音声案内の設定を「ON」にしてください **(P.69)**。
	誘導案内の音声が、交差点に入ってから聞こえる。(発声タイミングが遅い)	「ジャストガイド」設定がONの場合、交差点直前で案内音声を発声するが、交差点形状や走行状態によっては、交差点に入ってから案内音声が聞こえてくる場合がある。	「ジャストガイド」設定を OFF **(P.100)** にしてください。
自車位置精度関連	自車位置がずれる。(購入直後)	車速パルスと距離の学習が不十分の可能性がある。	GPS の受信しやすい場所で、時速 50km 程度の速度を保ってしばらく走行すると精度が向上します。
	自車位置がずれる。(タイヤ交換後)	車速パルスと距離の関係値が交換前のタイヤに最適化されてしまっている。	センサーの学習記録を初期化してください **(P.107)**。
	自車位置がずれる。(ほかの電装品が装着されている)	GPS 内蔵レーダー探知機など装着されている電装品の影響で、GPS などのセンサーに影響が出ている可能性がある。	装着されている電装品を、本機および GPS アンテナ線から十分離してご使用ください。

症状		原因	処置
VICS関連	FM多重周波数がオート選局されない。	周波数を変えると、オート選局の設定は強制的に「OFF」になる。	オート選局の設定を「ON」にしてください（P.138）。
		出力の小さいローカル局など、電波状態が悪い場合はオート選局しない場合がある。	手動で放送局を選んでください（P.137）。
	ビーコンの簡易図形が割り込み表示されない。	ビーコンから図形情報が提供されていないことがある。	特定の場所で表示されない場合、VICSセンターにお問い合わせください。
		キー操作中やメニュー表示中は、図形情報が割り込まない。	地図表示画面かオーディオモードの画面で割り込みが行われるかご確認ください。
	情報メニューに ビーコン情報 が表示されない。	VICS光・電波ビーコンが接続されていない。	別売のVICS光・電波ビーコンを接続してください。
ETC関連	情報メニューに ETC情報 が表示されない。	ETCユニットが接続されていない。	別売のETCユニットを接続してください。
	ETCカードを確認してください。（コードXX）と表示される（XXは01、02、03、05）	詳細はETCユニットの取扱説明書を参照してください。	詳細はETCユニットの取扱説明書を参照してください。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICSシステムの問い合わせ先
VICS情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

オーディオ関連

症状		原因	処置
表示関連	オーディオ画面が乱れる。	電気的ノイズを発生する電装品(以下)を本機の近くで使用している。 ・高電圧を発生させて作動するもの ……マイナスイオン発生器など ・電磁波を発生するもの ……携帯電話、無線機など	本機からできるだけ遠ざけてお使いください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
ラジオ	雑音が多い。	放送局の周波数に合っていない。	正しい周波数に合わせてください(P.137)。
	自動で選局できない。	強い電波の放送局がない。	手動で放送局を選んでください(P.137)。
CD/DVD/MP3/WMA	ディスクを挿入しても音が出ない、またはディスクがすぐ出てしまう。	ディスクの裏表を逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
		CD-R/RW で記録された CD やコピーガード付きの CD を使用している。	CD-R/RW で記録された CD やコピーガード付きの CD は使用できない場合があります。お使いの CD をもう一度ご確認ください。
		ファイナライズされていないディスクをセットしている。	ディスクをファイナライズしてから使用してください。
		MIX MODE CD をセットしている。	MIX MODE CD は再生できませんのでディスクを取り出してください。
		8cm ディスクをセットしている。	8cm ディスクは再生できませんのでディスクを取り出してください。
	イジェクトボタンを押してもディスクが取り出せない。	異物などの混入により、通常の排出動作ではディスクを排出できない状態にある。	Honda 販売店にご相談ください。
	DVD-VR で記録した静止画の切り替えに時間がかかる。	DVD-VR をセットしている。	DVD-VR で記録した静止画の切り替えには時間がかかります。
	音飛びする。 ノイズなどが入る。	ディスクが汚れている。	ディスクをやわらかい布でふいてください。
		ディスクに大きな傷やソリがある。	ディスクを無傷なものに交換してください。
	電源を入れた直後、音が良くない。	湿気の多いところに駐車すると、内部のレンズに水滴が付くことがある。	電源を入れた状態にして、約 1 時間乾燥させてください。
	ディスクが挿入できない。	本機の中にすでにディスクがセットされている。	すでにセットされているディスクを取り出してから、聴きたいディスクを挿入してください(P.131)。

症状		原因	処置
CD／DVD／MP3／WMA	MP3/WMA の音が飛ぶ。	MP3/WMA ファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	MP3/WMA の音切れがする／音が飛ぶ。	エンコードソフトとの相性が合っていない。	エンコードソフトを変えて録音してみてください。
	MP3/WMA の音が悪い。	圧縮率が大きく録音されている。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。本機で再生可能な音声ファイルについては、**P.230**以降をご参照ください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	8 階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大 255（ルートを含む）、ファイルは最大 512（1 フォルダには最大 255 ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。 また、TAG 情報の中に画像やテキストファイルなど音楽データ以外の大きなデータが入っていると、ファイルが再生できない場合がある。	音楽データ以外のデータ部分を消去してファイルを作ってください。
	正しく表示されない。	正しく書き込まれていない。	ISO9660-LV1 または LV2 に書き込み設定を変えて書き込みを行ってください。
	CD Extra に記録した MP3/WMA が再生できない。	CD Extra で第 1 セッション以外に MP3/WMA ファイルが書き込まれている。	CD Extra の第 1 セッションに MP3/WMA ファイルが書き込まれた CD を再生してください。
	「ディスクが読めません」の画面が表示される。	ディスクを表裏逆にセットしている。	ディスクのレーベル面を上にしてセットしてください。
iPod	リストが表示されない。	65,500 曲以上のトラックを保存した iPod でトラックを再生している。	リスト表示件数には上限があるため、リストが表示されない場合があります。故障ではありません。
	iPod の操作ができない。	iPod との接続が正常に行われていない場合がある。	USB 接続を解除し、iPod 本体を Play 状態にし、再度接続を行ってください。
		iPod との通信が正常に行えない場合がある。	USB 接続を解除し、iPod 本体のリセットを行ったのち、再度接続を行ってください。
	着信 / ハンズフリー通話後、音声が出力されない。	iPod touch または、iPhone をご使用中に電話着信があった場合、ハンズフリー通話終了後に、iPod touch /iPhone の音声出力が iPod から Bluetooth 通信へ切り替わる場合があります。	iPod touch/iPhone 本体からオーディオ出力の切り替えを行ってください。または、本機から iPod touch/iPhone を取り外して再度接続してください。詳しくは、iPod touch/iPhone 本体の取扱説明書を参照ください。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

症　　状		原　　因	処　　置
●オーディオ関連			
Music Rack	タイトルが表示されない。	Gracenote のデータベースよりも新しい CD を録音した。	パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」を使った最新のアルバム情報を SD カードに保存し、アルバム情報を最新のものにしてください（**P.175**）。アルバム情報の更新については、**P.175** をご参照ください。ナビマスターSについては、**P.202** をご参照ください。 アルバム名、アーティスト名、トラック名の編集方法については、**P.174** をご参照ください。
	表示されたタイトル（アーティスト／アルバム／トラックの各タイトル）が間違っている。	Gracenote 側のタイトル検索で、タイトルが合わないなど不一致の生じる場合がある。	
	「情報更新中です。しばらくお待ちください」と表示され再生しない。	録音されたアルバムや曲を管理するファイルが破損または消失しているため復旧処理を実行している。	ファイルの復旧処理が終わるまでお待ちください。録音されているアルバム数により時間がかかる場合があります。
	音が飛ぶ。	音飛びした状態で録音された。	振動やディスクの傷により音飛びした可能性があります。ディスクに傷がないか確認して、再度録音してください。
	録音ができない。	SD カードの容量が不足している。	録音済みの曲を消してください（**P.174**、**P.175**）。
		コピー禁止ディスクを使っている。	コピー可能ディスクを使って、録音してください。
		全曲録音済みのディスクを再生している。	別のディスクをセットしてください。
		録音に使用している SD カードが書き込み禁止になっている。	SD カードの書き込み禁止スイッチを OFF にしてください。
		録音に使用している SD カードが未対応のフォーマットになっている。	SD カードの対応フォーマット種別は、FAT32、FAT16 です。お使いのパソコンでフォーマットしてください。
		自動録音モードになっていない。	自動録音モードに設定してください（**P.173**）。
		トラックの一部を録音した CD を使い、1 倍速で自動録音した場合が考えられます。	未録音の CD の場合は自動録音を開始しますが、トラックの一部を録音した CD の場合、録音済みのトラックもしくは指定されたトラックは録音されません。（再生は行います。）録音されなかったトラックは、REC で録音を行ってください。

症状		原因	処置
Music Rack	録音ができない。	SCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）で 2 世代目のコピーになっている。	本機で使える SD カードについては、**P.130** をご参照ください。
	録音したはずのアルバムが表示されない。	「設定」の「選択演奏」の「アルバム選択」でアルバムが選ばれていない。	アルバムを選択してください（**P.173**）。
SD カード／USB メモリー	SD カードの音がでない。	未対応の SD カードを使っている。	対応可能な SD カードを使ってください。
	SD カードが挿入できない。	SD カードを表裏逆に挿入している。	SD カードのラベル面を上にして挿入してください。
	USB メモリーから再生できない。	USB メモリーを正常に読み取れない場合がある。	一度 USB メモリーを取り外して再度挿入してください。本機で使える USB メモリーについては、**P.130** をご参照ください。
	音が飛ぶ。	MP3/WMA ファイルにエラーがある。	パソコンなどで再生し、音飛びしないか確認してください。
	音が悪い。	圧縮率が大きい。	サンプリング周波数、ビットレートを上げて録音をお試しください。本機で再生可能な音声ファイルについては、**P.230** 以降をご参照ください。
	再生できないファイルやフォルダがある。	• **SD** 8 階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大 500（ルートを含む）、ファイルは最大 8,000（1 フォルダには最大 99 ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。 • **USB** 8 階層以上の深いフォルダに収録されている曲は再生できない。また、フォルダは最大 512（ルートを含む）、ファイルは最大 8,000（1 フォルダには最大 255 ファイルまで）を超えた場合には、再生できない。	PC を使用し、制限内に収まるよう再構成してください。
	操作パネルを開いたら再生が停止してしまった。	SD カード内のデータ保護のために操作パネルを開くと SD カードのオーディオ機能が OFF になる。	操作パネルを閉じると再生が再開されます。
	実際に入れている MP3/WMA ファイルの数が違う。	SD カードまたは USB メモリーに MP3/WMA 以外のファイルがある。	MP3/WMA 以外のファイルを消去してください。
	音声再生は継続しているが、再生時間が停止している。	ファイルサイズが 1GB を超えているファイルを再生中の場合、再生時間の表示が停止することがある	故障ではありません。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

症　　状		原　　因	処　　置
●オーディオ関連			
TV	放送局名が表示されない。	放送局の設定をしていない、もしくは、県境などへ車が移動し同じ周波数で異なる放送局の電波を受信した。	受信できる放送局の設定をする(オートプリセット) **(P.148)** か、もしくは、優先エリアの切り替えをしてください **(P.153)**。
		受信感度が悪い。	放送局の情報は放送電波より取得するものがあります。電波環境の良いところに移動してください。
	映りが悪い。	フロントガラスからフィルム（アンテナ）がはがれている。	フィルムは貼り直しができませんので、Honda 販売店で新しいアンテナと交換してください。
	12 セグ放送が受信できない。	mini B-CAS カードを読み取れない場合がある。	以下の操作を行ってください。 ① [⏏] を押し、操作パネルを開く ② mini B-CAS カード挿入口のフタを手前に倒す ③ mini B-CAS カードを入れなおす ④ mini B-CAS カード挿入口のフタを閉める
Bluetooth オーディオ	接続できない。	Bluetooth 対応機器を正しく接続していない。	Bluetooth 対応オーディ機器を正しく接続してください **(P.186)**。
		オーディオ機器の電源が切れている。	オーディオ機器の電源を入れてください。
		オーディオ機器が近くに無い。	Bluetooth オーディオの収納場所、距離によっては、接続できない場合や音とびが発生する場合があります。できるだけ通信状態のよい場所に置いてください。
	再生されない。	AVRCP に対応していないオーディオ機器を使用している。	AVRCP 対応のオーディオ機器をご使用ください。
		接続オーディオ機器の状態を正常に読み取れない場合がある。	接続を解除し、再度接続してください。
		接続オーディオ機器のプレーヤーを起動していない。	接続オーディオ機器のプレーヤーを起動してください。
	トラック名、アーティスト名、アルバム名が表示されない。	Bluetooth オーディオから取得できない。	AVRCP1.3 対応しているオーディオ機器をご使用ください。 Bluetooth オーディオ側の再生プレイヤーを起動し直してください。

電話

症　　状	原　　因	処　　置
電話がつながらない。	Bluetooth 対応携帯電話を正しく接続していない。	Bluetooth 対応携帯電話を正しく接続してください（P.114）。
	携帯電話の電源が切れている。	携帯電話の電源を入れてください。
	携帯電話が近くにない。	本機と Bluetooth 携帯電話とは、無線で通信を行います。 無線の届く範囲内でないと通信ができません。携帯電話を車内に置いてください。
	携帯電話側が操作待ち状態になっている。	スマートフォン等で複数の電話アプリケーションがインストールされている場合、お客様に操作を促す画面が表示され、発信できない場合があります。電話側の操作をしてください。
電話画面まで遷移できない。	携帯電話との接続が正常に行われない場合がある。	本機の Bluetooth 機能を OFF → ON にし、携帯電話側の Bluetooth 機能も OFF → ON にしてください（P.124）。
自動的に接続されない。	携帯電話によって、「接続待機中」の設定でない場合や待ち受け状態にない場合、自動的に接続されないことがある。	携帯電話側の取扱説明書を参照ください。
	携帯電話を再起動した場合、携帯電話の種類によって、自動的に接続されないことがある。	リストから接続したい携帯電話を選択してください。携帯電話の登録については、P.114をご参照ください。
通話音が聞こえづらい。	通話音量が小さく設定されている。	通話中に ▲ を押して通話音量を大きくしてください。
通話者に声が聞こえづらいと言われる。	送話音量が適切でない。	送話音量を適切に設定してください（P.123）。
本機の電話帳に携帯電話の電話帳が表示されない。	携帯電話の電話帳を本機へ転送していない。	携帯電話の電話帳を本機に転送してください（P.121）。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

リアカメラ

症　　状	原　　因	処　　置
カメラ映像が表示されない。	シフトレバーがRの位置になっていない。	シフトレバーがRの位置になっているか確認してください。
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで軽く拭いてください。
カメラ映像に白い光の縦線が入る。	CCD 素子を使用したカメラの特性による。	故障ではありません。
リアカメラのガイドラインが表示されない。	ガイドライン表示がOFFになっている。	停止した状態で画面をタッチし、ガイドライン表示 をタッチしてください。
リアカメラのガイドラインが正しく合っていない。	ガイドラインが正しく調整されていない。	Honda販売店での調整が必要です。
	乗車している人数や荷物、地形の影響などで車両が傾いている。	平らな場所や荷物を降ろした状態でご確認ください。ガイドラインの調整が必要な場合はHonda販売店にご相談ください。

オプションカメラ

症　　状	原　　因	処　　置
カメラ映像が表示されない。	車速が速い。	減速してください。
	加速した。	
カメラ映像の映りが悪い。	前面のレンズカバーが汚れている。	水を含ませたやわらかい布などで軽く拭いてください。
「パネル異状停止コーション」が表示された	カメラ映像表示中に操作パネルに異物の挟み込み等で異常停止した。	⏏ ボタンを操作して異物を取り除き、操作パネルを正常な位置に戻してお使いください。

その他

症　　状	原　　因	処　　置
画面に「エラー表示」が出る。	自己診断機能がはたらき、障害が発生したことを知らせている。	いったんお車を安全な場所に停車してエンジンをかけ直してください。 その後も元に戻らない場合は、液晶バックライトの故障か、ナビゲーション本体の誤動作が考えられますので、お買い求めのHonda 販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
ナビゲーション使用中に画面が暗くなった（部分的に暗くなった）、または消えてしまった。	液晶バックライトの消灯、またはナビゲーション本体の誤動作	
起動直後に、ボタンが反応しないときがある。	起動直後は、設定情報などの確認に時間がかかる場合がある。	しばらく待ってから操作を行ってください。
「ディスプレイの位置が正しくありません。もう一度、パネルをオープンしてください」の画面が表示され、地図画面が表示されない。	操作パネルの動作が正常に終了せず、異常位置で停止している。	⏏ を押し、操作パネルを開いてください。その後も同じ症状が発生する場合は、お買い求めのHonda 販売店、または最寄りの弊社修理相談窓口にご相談ください。
「Check Map SD Memory Card」の画面が表示される。	地図用 SD カードのデータを取得できない。	以下の操作を行ってください。 ① ⏏ を押し、操作パネルを開く ② エンジンキーを OFF にする ③「MAP DATA」のフタを開ける ④ SD カードを入れなおす ⑤「MAP DATA」のフタを閉める

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

よくある質問について

ナビゲーション関連

Q: 目的地までの経路探索結果で、最適ではない経路を案内されましたが…

A: ナビゲーションが道路種別などを考慮して経路探索しますので、必ずしも最適な経路を引かない場合があります。経由地を設定したり探索条件を変えて探索を行ってみてください。

Q: 条件を変えても同じルートで案内されます。

A: 道路状況により、探索方法を変えても同じルートになる場合があります。ご希望のルート設定をするには、経由地を設定することをおすすめします。

Q: 複数ルート表示で 5 ルート表示されません。

A: 必ずしも 5 ルートが表示されるとは限りません。どうしてもあるルートが最適な場合は、ほかのルートが探索できないことがあります。また、経由地設定時には、複数ルート探索をしない仕様となっています。

Q: バイパス道路を案内されません。

A: あらかじめ設定された探索条件のルートのほうの距離が短い場合は、あらかじめ設定された探索条件のルートを優先することがあります。

Q: 有料道路の料金表示はできますか？

A: 可能です。ただし、一部対応していない路線があります。(対象道路でも、開通時期などデータ整備上の問題で、料金が正しく表示されない場合があります。このような場合には、実際の料金をお支払いください。)

Q: 個人宅検索をしたが、自宅がヒットせず、探せません。

A: ハローページに電話番号と住所が掲載されていないと、対象となりません。

Q: ナビ画面（地図画面）の VICS 情報表示が実際と違うことがあります。

A: (1) 情報は「5 分ごとに更新」ですので、渋滞状況が急激に変化した場合、実状と違うことがあります。

(2) FM 多重では、電波状態が悪いとデータが受信されず、内容が更新されない場合があります。

(3) 新設された道路、細街路など、VICS 情報が提供されていない道路では、渋滞情報は表示されません。

Q: 操作時に、その時々でボタンが出たり出なかったりすることがありますが？

A: 操作できないボタンは消える仕様になっています。画面上に表示されるボタンはそのときの状況により変化します。安全のため走行中に操作できないボタンは消えたり、タッチできないようになっています。

Q: 到着予想時刻の計算基準はなんですか？

A: インターナビ交通情報、VICS 情報または統計交通情報 (過去 1 年分の VICS 情報を、曜日や時間帯によって分類し統計処理したデータ) をもとに計算しています。
なお、**「到着予想時刻の速度設定」**で**「自動計算」**OFF に設定した場合は、上記の情報は使用せず、道路の種別ごとにお客様が設定された速度を適用して計算します。

Q: 一般道優先で探索したのに、高速道路に誘導されました。

A: 一般道路を使用すると極端に遠回りになるときは、有料道路を使うことがあります。これは、あくまでも一般道路「優先」であり、「使わない」とはしていないからです。また、無料で通行可能な高速道路の一部については、一般道優先でもルートが引かれることがあります。

Q: 案内がありません。案内が間違っています。

A: 収録されている地図データの形状から案内する方向を決めています。データの形状によって、案内しない場合や「右」を「斜め右」など方位が適切でない案内をする場合があります。

Q: Y 字路の案内がされません。

A: 地図データが道なりの場合、誘導しない仕様です。

Q: 進入禁止の道に誘導されました。一方通行を逆に案内されました。入れない道を案内されました。

A: 地図メーカよりデータの提供を受けていますが、メンテナンスが間に合っていない場合や、データが間違っている場合があります。実際の交通規制にしたがって走行してください。

Q: 交差点リストモード（高速道路）に自動で切り替わらない。

A: 高速道路／有料道路は、データ整備上、交差点リストモード（高速道路）に切り替わらない道路を含みます。

Q: 交差点リストモードが自動的に解除されます。

A: ビーコン受信時やルートを外れたときなどでリルートが発生した場合、探索が終了するまで通常地図に戻ります。探索終了後、新しいルート上を走行すれば、直前に設定していたモードに自動切り替えします。

Q:「○○のある交差点を・・・」という案内をされたが、そのような施設が見当たらなかった。

A: 地図データ上の情報をもとに案内していますが、発売後の移転や閉店などにより、当該施設がなくなっている場合があります。
さらに、現地の状況によってはお車から見えない場所にある施設を目印として案内してしまうこともあります。また、交差点の見やすさを考慮し表示を行っているので、場所によっては施設アイコンが表示されないことがあります。案内は、あくまでも参考程度にお考えくださるようお願いします。

Q: ルート設定していなくてもマルチメーターが表示されますが、仕様ですか？

A: 仕様です。マルチメーターはルート設定をしなくても表示されます。
またマルチメーターの表示は、目的地消去や目的地設定で初期化（リセット）されます。

Q: 有料道路の料金が「不明」と表示されたがどういう意味ですか？

A: 無料区間のみの場合は、「不明」と表示します。また、高速道路上からルートを探索した場合などにも「不明」と表示される場合があります。

Q: VICS 情報／一般情報が取得できません。

A: VICS 情報／一般情報は、音声放送と比べて受信できる距離が半減するため、電波が強くなければ受信できません。受信可能範囲であっても、山、ビルなどの障害物によって電波がさえぎられ、受信できない場合もあります。
また、すべての FM ラジオ放送局で VICS 情報、一般情報を放送しているわけではないので、放送状況を確認してください。

Q: 交差点リストモード時にパーキングエリアにある施設情報は表示できますか？

A: 交差点リストモードで表示される施設リストのパーキングエリア（PA）をタッチすると、そのパーキングエリアにあるガソリンスタンドやトイレなどの施設情報（施設マーク）が表示可能です。

Q: 地図上に通行止めの表示が出ている道路にルートが引かれたが？

A:「リアルタイム交通情報を考慮」設定が OFF になっている場合は、通行止めなどの規制についても無視してルートを探索します。
また、上記設定が ON であっても、遠隔地の通行止めについてはルートに反映しない場合があります。この場合は、通行止め区間にある程度まで近づいた時点で、自動的に再探索を行い、通行止め区間を回避したルートに切り替わるようになっています。

Q: ルート案内中、インターチェンジを通過するたびに、高速道路を降りるよう案内されてしまう。

A: ナビゲーションの探索条件を「有料優先」にして、再度ルート設定をお試しください。

Q: 地図データを更新したら、ルート学習が反映されなくなった。

A: 地図データを更新すると、それまでの学習内容がリセットされます。申し訳ありませんが、再度学習させていただくようお願いします。

Q: 登録地点を新しいナビに移すことはできますか？

A: 可能です。移動方法については、下記のクラリオン株式会社ホームページを参照ください。
http://www.clarion.com/jp/ja/inquiry/products_faq/index.html

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

オーディオ関連

■ 地上デジタル放送

Q: 地上デジタル放送受信時に表示される［系列局］ボタンとはなんですか？

A: 走行中に受信状態が悪くなったり現在受信中の放送局のエリアから外れた場合などに、視聴中の放送局の中継局／系列局を自動で探してそのまま視聴できるようにチャンネルを切り替えるボタンです。はじめに中継局をサーチし、中継局がなければ次に系列局をサーチします。

Q: ワンセグのサブチャンネルの番組は視聴できますか？

A: 視聴可能です。チャンネル番号を入力して選局、または番組表（EPG）から選局してください。

Q: 走行中、TV を見ることはできますか？

A: 安全運転のため、走行中に前席で TV を見ることは禁止されています。後部座席用モニターではテレビ・ビデオを見ることが可能です。

■ DVD

Q: 地上デジタル放送の番組を録画した DVD-R/RW は再生できますか？

A: 可能です。ただし、VR モードで録画された CPRM 対応の DVD-R/RW に限ります。

■ CD

Q: CD-R が再生されません。

A: CD-R の適合は書き込みソフト／ハードの組み合わせや書き込み速度に影響されます。ディスク上に凹凸のデジタル信号を書き込みますが、書き込みの深さ、幅（面積）などの規格が合わないと再生できないケースがあります。書き込み速度を遅くすると、安定して焼けますので、一番遅い速度での書き込みをおすすめいたします。

■ SD カード／ USB メモリー

Q: SD カードに音楽を入れるときの注意点を教えてください。

A: 使用できるメモリーカードは、SD メモリーカードと SDHC メモリーカードとなり、対応可能な圧縮オーディオは MP3、WMA のみとなります。
※ iTunes で購入した音楽は再生できません。
※ SD オーディオには対応していません。
※ 著作権保護された音楽は再生できません。

■ Music Rack

Q:「Music Rack」ってなんですか？

A: CD に入っている音楽を SD カードに録音、再生する機能です。ジュークボックス的な機能とお考えください。一度アルバムを録音すれば、以降の録音は不要です。

Q: 録音できる曲数は？

A: 最大 4,000 曲です。ただし、録音する曲の長さなどにより、曲数は変化します。アルバム数は 500 以内、アルバム中の曲数は 99 曲以内の制限があります。

Q: 録音中に ⏏ を押すとコーションが表示されて操作パネルを開くことができません。

A: 録音中に操作パネルを開くことはできません。コーションに表示されているように録音を停止して ⏏ を再度押してください。

Q: 気に入ったアルバムだけ聴きたいのですが。

A: お好みのアルバムを選んで再生してください。

Q: 録音したアルバムのタイトルが表示されず、録音した日時が表示されます。

A: Gracenote のデータベースに該当するアルバムの情報がありません。パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスター S」を使用して最新の情報に更新してください。

Q: 実際の曲名と表示される曲名が違う。

A: SD カードにトラック情報を書き出し、パソコン用の専用アプリケーション「ナビマスターS」を使用して Gracenote サーバーにアクセスしてください。そこで候補アルバムから正しい曲名を選択し、SD カードに保存し、その情報を本機に取り込んでください。
この方法でも曲名が違う場合は、トラック情報編集で各トラックの情報を入力してください。

Q: アーティスト／アルバム／トラックなどのタイトルが間違っている。

A: パソコンで複製したディスクを使った場合は、タイトル表示されないことがあります。

Q: 録音中に SDメモリーカード または Music Rack を選択すると、録音を停止してよいか確認するコーションが出る。

A: 録音中に、SD カードまたは Music Rack の再生は行えません。録音を停止するか、録音が終了するまでお待ちください。

Q: ランダムおよびリピート再生は、エンジンを切ったら解除されますか？

A: エンジンを切っても保持されます。

Q: CD 本体は途切れがないのに、録音すると曲が途切れて聞こえる。

A: 録音にノンストップ CD（トラックとトラックがつながっている CD）をお使いの場合、仕様上、トラックとトラックの間に 2 ～ 3 秒の無音部分が発生します。このため、曲が途切れたように聞こえます。

その他

■ 電話

Q: ペアリングができない。

A: お使いの携帯電話によっては、あらかじめ携帯電話側の Bluetooth 機能を ON に設定しないと、ペアリングできない場合があります。詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照ください。

Q:「5 台の Bluetooth 機器が既に登録されています。」とメッセージが表示されました。どうすればよいですか？

A: 本機に登録できる電話は 5 台までです。さらに電話を登録したい場合は、すでに登録された電話の設定を消し、再度電話の登録を行ってください。

Q: 電話がかかってきたら、自動的に電話に出ることはできますか？

A:「自動応答保留」の設定を ON にすると、応答保留状態で電話に出ることができます。ただし、携帯電話によっては、保留機能が動作しない場合があります。

Q: 操作が正常にできない。表示されない。

A: 携帯電話により、携帯電話側の問題で通信異常が発生する場合があります。携帯電話側の Bluetooth 機能を OFF → ON にした後、本機の Bluetooth 機能も OFF → ON にしてください。

Q: 相手の電話機からこちらの声が聞こえない。

A: マイクの接続を確認してください。プライベート ON の場合、プライベート OFF にしてください。

Q: 通話相手から聞こえづらいといわれた。

A:「送話音量」の設定を調整してください。

Q: 発着信・通話中、スピーカーから異常な音が出力される。

A: 携帯電話の充電が少ない場合、異常な音が出力される場合があります。携帯電話を充電してください。

Q: 携帯電話が自動で接続されません。

A: 携帯電話が Bluetooth 接続可能な状態に設定されているか確認してください。また、Bluetooth オーディオ再生中は、携帯電話の自動接続を行いません。手動で接続してください。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

Q: パスキーとデバイス名称を変更したい。

A: 本機に設定されているパスキーとデバイス名称は変更できます。**(P.124)**

Q: 走行中に電話をかけることはできますか？

A: 走行中は短縮ダイヤル、発着信履歴からのみ発信できます。安全上の配慮より、登録電話番号の名称は表示しますが、電話番号は表示しません。また、ダイヤル、電話帳からは電話をかけることはできません。なお、「自動応答保留」を ON に設定しておくと、着信から 2 秒後に自動で保留状態となります。保留状態から通話への切り替えは可能です。

Q: Bluetooth 携帯電話は、登録した携帯電話全部を同時に使用できますか？

A: ペアリング可能な携帯電話の登録は 5 台ですが、使用できる電話は 1 台のみとなります。ほかの携帯電話を使用する場合には、電話機選択画面から使用したい電話に切り替えてご使用ください。

Q: Bluetooth オーディオ再生中に、ハンズフリーを行うと、終話後に自動でオーディオが再生しない。

A: 接続している携帯電話によっては、終話後、自動再生しない場合があります。本機または、携帯電話で再生操作を行ってください。

Q: Bluetooth オーディオを接続したが、スピーカーから音声が出力しない。

A: 接続機器の音声出力を Bluetooth 側へ切り替える操作が必要な場合があります。接続している携帯電話を操作し、設定変更を行ってください。詳しくは携帯電話の取扱説明書を参照ください。

Q: 何もしていないのに、携帯電話のペアリングが外れる。転送して使っていた電話帳が消えている。以前はデータ通信できたのにできなくなった。

A: 携帯電話側の自動バージョンアップ、ご使用時の通信状況・電波状況、携帯電話の接続切り替えなど、様々な条件により事象が発生していると考えられます。お手数ですが、再度お試しください。

■ 画面表示

Q: 画面を時計表示にできますか？

A: 画面全体を時計表示にすることが可能です。

■ リアカメラ

Q: リアカメラの明るさを調整できますか？

A: 調整は可能です。

Q: リアカメラの映像は、リア席モニターに映りますか？

A: リアカメラの映像はナビゲーション本体のみ映り、リア席モニターには映りません。

Memo

メニューマップ

				参照先	
MENU	目的地	名称		施設の名称で探す	P.39
		電話		電話番号で探す	P.40
		住所		住所で探す	P.40
				地名で探す	P.41
		登録地点		登録した地点から探す	P.41
		ジャンル		ジャンルから探す	P.42
				ジャンル名を入力して探す	P.42
		TV サーチ		TV の情報から探す	P.48
		他の検索方法	周辺検索	現在地周辺／目的地周辺から探す	P.43
			履歴	履歴から探す	P.49
			ハイウェイ	ハイウェイの施設を探す	P.47
			登録ルート	登録ルートから探す	P.51
			緯度・経度	緯度・経度から探す	P.50
			郵便番号	郵便番号から探す	P.50
			マップコード	マップコードから探す	P.49
			バックアップ登録地点	SD カード内の登録地から探す	P.50
				目的地メニュー画面をカスタマイズする	P.104
		自宅へ戻る		自宅に戻る	P.39
		目的地消去		目的地を消去する	P.70
	ルート	案内中止／案内再開		ルート案内を中止する	P.70
		ルート編集		目的地・経由地を編集する	P.64
		ルート確認・登録		設定したルートを確認する	P.68
		音声案内		ルート案内の音量を確認・設定する	P.69
				ルート案内時の音声出力を切り替える	P.69
		再探索		設定した条件で再探索する	P.62
		迂回路探索		迂回ルートを再探索する	P.63
		探索条件設定		ルート探索条件の設定をする	P.102
		有料優先		探索条件を変更して再探索する	P.62
		一般優先		探索条件を変更して再探索する	P.62
		距離優先		探索条件を変更して再探索する	P.62
	情報	GPS 現在地情報		GPS から現在地の情報を取得する	P.88
		本体情報		本機の情報を見る	P.88
		FM 多重		FM VICS 情報を見る	P.80
		ビーコン情報 *1		ビーコン VICS 情報を見る	P.82
		メンテナンス情報		メンテナンス情報を利用する	P.88
				販売店情報を登録する	P.90
		電話	短縮ダイヤル	短縮ダイヤルから電話をかける	P.117
				短縮ダイヤルを登録する	P.120
			発着信履歴	発着信履歴からかける	P.118
			ハンズフリー電話帳	電話帳から電話をかける	P.118
				電話帳を登録する	P.121
			ダイヤル入力	番号を入力して電話をかける	P.117
			音量調整	通話音量と着信音の設定をする	P.123
			電話機登録	本機に登録（ペアリング）する	P.114
			電話機選択	接続する携帯電話を切り替える	P.115
				登録した携帯電話を消去する	P.115
		ETC 情報 *2		ETC 情報を利用する	P.84

*1 別売の VICS 光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。
*2 別売の ETC ユニット接続時に表示されます。

						参照先
MENU	設定	ナビゲーション	登録データの編集・消去		登録データを編集する	P.91
			地図表示変更		地図の表示方法を変える 地図画面の設定をする	P.27 P.33
			アイコンの表示		地図上のアイコンの設定をする	P.96
			軌跡の設定		走行軌跡の設定をする	P.97
			ルート案内の設定		ルートの設定をする	P.98
			VICS の設定		VICS 情報の設定をする	P.83
			ルート探索条件の設定		ルート探索条件の設定をする	P.102
			その他の設定	現在地名称プレートの常時非表示	地図上に表示する情報を設定する	P.107
				スクロール地点情報表示	地図上に表示する情報を設定する	P.107
				現在地修正	現在地を修正する	P.107
				センサーの学習リセット	地図上に表示する情報を設定する	P.107
				コントロールバー自動消し	地図上に表示する情報を設定する	P.107
			言語選択		表示言語・音声言語を変える	P.108
		オーディオ			オーディオの音質を設定する	P.133
		電話			電話の設定をする	P.120
		Bluetooth			本機の Bluetooth 機能について	P.124
		音量調整			操作音を消す ルート案内の設定をする 通話音量と着信音の設定をする	P.18 P.98 P.123
		画質調整			ナビゲーション画面の画質を調整する	P.104
		SD メモリーカード	登録地点		よく行く地点を SD カードにバックアップする	P.93
			オープニング画面の取り込み		オープニング画面を取り込む	P.203
			TV サーチ情報の更新		TV サーチ情報を更新する	P.203
		オープニング画面			オープニング画面の設定をする	P.105
		その他設定	時計		時計の表示を設定する	P.106
			VTR 接続設定 *3		VTR 機器接続の設定を切り替える	P.205
			カーソル表示		選択項目をハイライト表示する	P.106
			リアカメラ次回表示ビュー設定 *4		次回表示時の表示ビューを設定する	P.199
			コーナーカメラ設定 *5		フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）	P.200
			フロントカメラ設定 *6		フロントカメラ／コーナーカメラを使う（別売）	P.200
			ETC 設定 *2		ETC の設定をする	P.87
			車両設定		車両の設定をする	P.109
			販売店		※使用しません	－
	（電話）	短縮ダイヤル			短縮ダイヤルから電話をかける	P.117
					短縮ダイヤルを登録する	P.120
		発着信履歴			発着信履歴からかける	P.118
		ハンズフリー電話帳			電話帳から電話をかける 電話帳を登録する	P.118 P.121

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

			参照先	
MENU	(電話)	ダイヤル入力	番号を入力して電話をかける	P.117
		音量調整	通話音量と着信音の設定をする	P.123
		電話機登録	本機に登録（ペアリング）する	P.114
		電話機選択	接続する携帯電話を切り替える 登録した携帯電話を消去する	P.115 P.115
	(昼画面／夜画面)		昼画面／夜画面を切り替える	P.18
	(QQ コール）*7		QQ コールに電話をする	P.208
現在地	internavi*8		→インターナビ・リンク プレミアムクラブ編参照	
	現在地メニュー		現在地メニューの使いかた	P.22
	表示変更		地図の表示方法を変える	P.27
	／ (北が上／進行方向が上)		地図の向きを変える	P.25
	詳細／広域		地図を拡大／縮小する	P.24
	マルチインフォメーションキー		マルチインフォメーションキーの使いかた	P.22
AUDIO	FM/AM		ラジオを聴く	P.137
	DVD/CD		DVD を見る CD、ディスク（MP3・WMA）の音楽を聴く	P.156 P.165
	Music Rack		Music Rack を使う	P.168
	USB/iPod		SD カード／ USB メモリーの音楽を聴く iPod を聴く／ iPod ビデオを見る	P.176 P.178
	SD メモリーカード		SD カード／ USB メモリーの音楽を聴く	P.176
	Bluetooth Audio		Bluetooth オーディオを聴く	P.185
	Digital TV		テレビを見る	P.140
	VTR *3		接続したビデオを見る（別売）	P.204
	交通情報		ラジオの交通情報を受信する	P.90
	Audio OFF		オーディオを OFF ／ ON する	P.127
OPTION（長押し）			OPTION ボタンを使う	P.17
POWER（長押し）	画面消し		画面の表示を消す／時計画面にする	P.105
	時計画面表示		画面の表示を消す／時計画面にする	P.105

*1 別売の VICS 光・電波ビーコンユニット接続時に表示されます。
*2 別売の ETC ユニット接続時に表示されます。
*3 別売の VTR コード接続時に表示されます。
*4 別売のリアカメラ接続時に表示されます。
*5 別売のコーナーカメラ接続時に表示されます。
*6 別売のフロントカメラ接続時に表示されます。
*7 QQ コール入会手続きおよび設定後に表示されます。
*8 VXM-122VFi のみ表示されます。

Memo

索引

あ

アーティスト名から再生
（Music Rack） …… 172
アルバムジャケット写真の表示…… 184
アルバム情報の更新…… 175
アルバム情報の編集…… 174
アングルの切り替え（DVDビデオ）…… 160
案内開始……52
案内再開……70
案内中止……70

い

行き先位置を修正……65
行き先追加……60, 65
行き先の消去……66
行き先の並べ替え……66
一般道の方面看板表示……99
一方通行表示……32
一般優先…… 59, 102
一般優先（別ルート）……59
緯度・経度検索……50
イベントリレー（テレビ）…… 152

う

迂回路探索……63

お

オーディオOFF ／ ON …… 127
オーディオ表示画面の切り替え…… 126
オーディオリモコンスイッチ…… 190
オートプリセット
　テレビ…… 148
　ラジオ…… 138
オートリルート……70, 99
オープニング画面の設定…… 105
オープニング画面の取り込み…… 203
お好みアイコン
　検索……43
　登録……95
お知らせ設定……89
音声案内（ルート案内）
　ルート案内中……76
　音声出力……69
　音量……69
　音声案内（ETC）……84, 87
　音声案内時にオーディオ音量を下げる
　……98
音声言語の切り替え
　テレビ…… 151
　ナビゲーション…… 108
　DVDビデオ …… 160
音声の切り替え（DVD-VR）…… 160
音量の調整
　オーディオ・ビジュアル…… 126
　案内音量……69, 98
　案内・メッセージ音声……69, 98
　受話音量…… 123
　操作音を消す……18
　送話音量…… 123
　着信音量…… 123

か

カーソル表示…… 106
カード入れ忘れ警告（ETC）……87
カード挿入アイコン表示（ETC）……87
カード有効期限案内（ETC）……87
拡大図設定……98
画質の調整
　コーナーカメラ…… 201
　地上デジタル放送…… 155
　ナビゲーション画面…… 104
　フロントカメラ…… 201
　リアカメラ…… 197
　DVDビデオ …… 161
　DVD-VR …… 161
　iPodビデオ …… 183
　VTR…… 205
画面消し…… 105
画面サイズの切り替え
　DVD-VR …… 160
　DVDビデオ …… 160
　VTR…… 205
カントリーコード…… 164, 233

き

キーワード入力検索……42
軌跡の間隔……97
軌跡の消去……97
軌跡の表示……71, 97
距離優先……59, 102
緊急放送……150

く

区間設定……66
グラフィックEQ……133

け

携帯電話の接続切り替え……115
携帯電話の登録……114
携帯電話の登録消去……115
経由地の追加……65
系列局サーチ……146
言語選択……108
現在地の修正……107, 238
現在地周辺検索
　周辺検索……43
　周辺駐車場……44
　TVサーチ……48
現在地ボタン……14, 20
現在地名称プレートの常時非表示……107
現在地メニュー……21, 22
現在のルートを登録……69
検索アイコン……43
検索アイコンの消去……96
検索アイコンの表示……96
検索結果画面……52
検索地点周辺の駐車場……58
検索地点の位置修正……57
検索地点の情報……58
検索地点の登録……58
検索地点をルートに追加……57

こ

交差点ガイド設定……100
交差点手前の案内表示……72
交差点リストモード
　一般道路……29
　高速道路……30
高速道路の案内表示……73
交通事故多発地点表示……33
交通情報（ラジオ）……90
交通情報（VICS）……78
コーナーカメラ……200
コントロールバー自動消し……107
VICSの設定……83

さ

細街路案内……75
再探索……62
サービスエリア・パーキングエリア図
　……31, 275
サブチャンネル……149

し

時間規制道路……103
自車位置の精度……239
自車位置マーク……20, 33
自車周辺検索
　周辺検索……43
　駐車場検索……44
　TVサーチ……48
施設アイコンの表示……96
施設情報……53
施設名称入力検索
　施設名称……39
　ハイウェイ施設名称……47
自宅に戻る……39
自宅の登録／編集……34
自動応答保留……123
自動で選局
　テレビ……146
　ラジオ……137
自動表示メッセージ（テレビ）……150
字幕言語の切り替え（DVDビデオ）……160
字幕表示の切り替え
　テレビ……152
　DVD-VR……160

車速連動音量…… 133
シャッフル再生
Bluetoothオーディオ …… 188
iPod …… 181
車両設定…… 109
ジャンル検索
ジャンル選択検索……42
ジャンル名入力検索……42
TVサーチ ……48
住所検索……40
周辺駐車場検索
現在地周辺……44
検索地点周辺……58
スクロール先周辺……46, 54
目的地周辺……45
受信バンド
テレビ…… 148
ラジオ…… 138
出荷状態に戻す…… 269
手動で選局
テレビ…… 146
ラジオ…… 137
手動で放送局登録
テレビ…… 149
ラジオ…… 138
条件指定再生
iPod（オーディオ）…… 182
iPod（ビデオ）…… 182
Music Rack …… 173
状態表示（DVDビデオ／ DVD-VR） … 161

す

スキャン再生
CD …… 166
MP3 …… 166
Music Rack …… 172
SDカード …… 177
USBメモリー…… 177
WMA …… 166
スクロール位置の微調整……25
スクロール検索……39
スクロール先周辺検索……46
スクロール地点情報表示…… 107
スマートICを考慮 …… 103
スロー再生（DVDビデオ／ DVD-VR）
…… 157

せ

静止画の切り替え（DVD-VR）…… 159
設定情報の初期化（テレビ）…… 154
センサーの学習リセット…… 107, 238
選択演奏（Music Rack） …… 173

そ

操作音……18
操作パネル……14
操作パネルの開閉……16
操作パネルの角度調整……17
ソースの切り替え…… 126

た

探索条件…… 59, 102
短縮ダイヤル
消去…… 121
電話をかける…… 117
登録…… 120
編集…… 120

ち

遅延補正…… 155
地図上のVICS表示設定 ……83
地図色……33
地図の拡大／縮小……24
地図のスクロール…… 25, 26
地図の表示変更……27
地図の向き……25
地図文字サイズ……33
地点の登録……91
地名入力検索……41
着信音…… 123
チャンネル番号（テレビ）…… 147

つ

通過交差点の情報表示……99

通話音量…… 123

て

データの書き出し
アルバム情報（Music Rack） …… 175
登録地点……93
データの取り込み
アルバム情報（Music Rack） …… 175
オープニング画面…… 203
登録地点……93
TVサーチ情報 …… 203
データ放送（テレビ）…… 149
デバイス名変更（Bluetooth）…… 124
デフォルメ図……73
テレビ…… 140
テレビの設定…… 151
電源ON ／ OFF ……16
電話受信…… 119
電話帳登録…… 121
電話帳の消去…… 122
電話の設定…… 120
電話発信
施設情報…… 118
短縮ダイヤル…… 117
電話帳…… 118
電話番号…… 117
発着信履歴…… 118
電話番号入力検索……40

と

冬季通行止め…… 103
統計交通情報を考慮…… 103
到着予想時刻の速度設定…… 99, 101
到着予想時刻の表示切替……98
登録地点
位置を修正する……92
地点の消去……92
地点のデータを編集する……91
登録した地点から探す……41
登録リストを並べ替える……91
登録リストに登録……91
SDカードから取り込む ……93
SDカードに書き出す ……93
SDカードの登録地点を消去する ……93
登録ルート
登録ルートから探す……51
登録ルートに登録……94
登録ルートの消去……94
登録ルートの編集……94
道路名検索……47
時計画面表示…… 105
時計画面表示設定…… 106
トラック情報の編集（Music Rack） … 174

に

二重音声の切り替え（テレビ）…… 152

は

ハイウェイ……47
ハイウェイモードの自動表示……33
パスキー変更…… 124
発着信履歴から電話をかける…… 118
発着信履歴の消去…… 123
パレンタルレベル（DVDビデオ）…… 163
番組内容（テレビ）…… 149
番組表（テレビ）…… 147
販売店情報……90

ひ

ビーコンVICS情報 ……81
ピクチャービュー検索……51
ピクチャービューモード……31
昼画面……18

ふ

フェリー航路を使う…… 103
プリセットチャンネル
テレビ…… 147
ラジオ…… 138
フロントカメラ…… 200

へ

ペアリング…… 114, 186

ほ

放送局自動サーチ設定（テレビ）…… 152

放送局の自動切り替え（テレビ）…… 152
放送メール（テレビ）…… 154
本体情報……88
本体ブザー音（ETC）……87

ま

マップコード検索……49
マルチインフォメーションキー……22

め

メインチャンネル（テレビ）…… 149
メディアの出し入れ…… 131, 132
メニューから再生（DVDビデオ）…… 157
メンテナンス情報……88

も

目的地検索……37
目的地周辺検索
　周辺検索……44
　駐車場検索……45
　TVサーチ ……48
目的地消去……70
目的地方向表示……33
目的地メニュー画面のカスタマイズ…… 104
目的地履歴の消去……95
モニターサイズの設定（DVDビデオ）… 162

ゆ

優先エリアの切り替え（テレビ）…… 153
優先言語の設定（DVDビデオ）…… 162
郵便番号検索……50
有料区間の修正……67
有料道路の出入り口選択……61
有料道路の出入り口変更……67
有料優先…… 59, 102
有料優先（別ルート）……59

よ

夜画面……18

ら

ラジオ…… 137
ラジオの交通情報……90
ラジオの設定…… 139
ランダム再生
　CD …… 166
　MP3 …… 166
　Music Rack …… 172
　SDカード …… 177
　USBメモリー…… 177
　WMA …… 166

り

リアカメラシステム…… 196
リア席モニター…… 195
リアルタイム交通情報を考慮…… 103
リストから再生
　CD …… 167
　DVD-VR …… 158
　iPod …… 182
　MP3 …… 167
　Music Rack …… 172
　SDカード …… 177
　USBメモリー…… 177
　WMA …… 167
リストから選局
　テレビ…… 147
　ラジオ…… 137
立体地図の角度調整……29
立体地図表示……28
リピート再生
　Bluetoothオーディオ …… 188
　CD …… 166
　DVDビデオ …… 157
　DVD-VR …… 157
　iPod（オーディオ）…… 181
　iPodビデオ …… 181
　MP3 …… 166
　Music Rack …… 172
　SDカード …… 177
　USBメモリー…… 177
　WMA …… 166
リモコン…… 192
履歴検索……49

る

ルート音声案内の詳細設定……98
ルート案内中の案内表示……72
ルート案内中の音声案内……76
ルート案内中の地図画面……71
ルート案内の中止／再開……70
ルートサイド検索……45
ルートシミュレーション……68
ルート上の地図スクロール……69
ルート情報……68
ルートの学習……102
ルートの確認……60, 68
ルートの登録……60, 69, 94
ルートを選ぶ……59

ろ

録音する（Music Rack）……168
録音の設定（Music Rack）……173

わ

ワンセグ／12セグの切り替え…145, 151

A

AM/FMの切り替え……137
AUDIOボタン……14, 126
AV画面での割り込み……99
AVコントロールバー……21, 23

B

Balance……134
B-CASカード情報……154
Bluetooth……112
Bluetoothオーディオ……185
Bluetooth機能OFF／ON……124

C

CD……128, 131, 165

D

Dolby Volume……135
DVD-VR……156
DVDビデオ……156

E

ETC情報
　カード有効期限表示……85
　最新利用履歴読み上げ……85
　車載器情報表示……85
　ETC料金割り勘……86
ETC設定……87
ETCレーンガイドでの案内表示……74

F

Fader……134
FM VICS情報……78
FM多重情報の受信地域選択……83

G

GPS現在地情報……88

I

iPod……178
iPod接続方法の切り替え……184
iPodビデオ……178, 205

L

Loudness……133

M

MENUボタン……14
mini B-CASカード……143
MP3……128, 131, 165, 230
Music Rack……168

O

OPTIONボタン……14, 17, 201

Q

QRコード……53
QQコール……206

S

SA/PA図……31, 275
SDカード地点検索……50

SDカード
オーディオ…… 130, 132, 176, 230
オープニング画面…… 203
地点バックアップ…… 93
Music Rack …… 168
SDカード …… 202
Sound Restorer …… 133
TVサーチ情報 …… 203

T

TVサーチ情報 …… 203
TVサーチ …… 48

U

USBメモリー …… 176, 230

V

VICS情報 ……78, 228
VICS情報マーク …… 275
VICS表示の対象道路 …… 83
Virtual Bass…… 133
Vocal image Control …… 134
VTR機器 …… 204
VTR接続設定 …… 205

W

WMA…… 128, 131, 165, 230

番号

1画面表示 …… 28
2画面表示 …… 28
10キーダイレクト再生（DVDビデオ）
…… 159

製品を廃棄・譲渡・転売するときは

本機を第三者に転売・譲渡するとき、または廃棄するときのご注意について説明しています。

ナビゲーション内のデータ消去について

本機（ナビゲーション）を第三者に譲渡・転売、または廃棄される場合には以下の内容をご留意のうえ、お客様自身の適切な管理のもとにすべてのデータを消去していただきたく、お願い申し上げます。

お客様のプライバシー保護のために…

メモリーに保存された個人情報を含むすべてのデータ（登録リスト、メンテナンス情報など）を初期化（データの消去）する場合は、Honda 販売店へご相談ください。

著作権保護のために…

メモリー内に保存された画像データなどを初期化（データの消去）する場合は、Honda 販売店へご相談ください。著作権があるデータを、著作権者の同意なく本機に残存させたまま譲渡（有償および無償）・転売されますと、著作権法上、著作権者の権利を侵害します。

※弊社は、残存データの漏洩によるお客様の損害などに関しては、一切責任を負いかねますので、上記のとおりお客様自身の適切な管理のもとに対処いただきたく、重ねてお願い申し上げます。

Honda 販売店では、すべてのデータの初期化をおこなっています。データを消去するには、Honda 販売店にご依頼ください。

タッチパネルの基本操作
収録データベースについて
市街地図収録エリア一覧
VICS システムの問い合わせ先
VICS 情報有料放送サービス契約約款
本機で再生可能な音声ファイルについて
カントリーコード一覧
商標について
仕様
困ったときに
故障かなと思ったら
よくある質問について
メニューマップ
索引
製品を廃棄 譲渡・転売するときは
地図に表示される色やマーク

Memo

Memo

Memo

Memo

地図に表示される色やマーク

ランドマークのデザインおよび名称などは、変更になる場合があります。
あらかじめご了承ください。

	山岳	短	短期大学		冬季通行止め
	ゴルフ場・ゴルフ練習場	専	高等専門学校		事故多発地点
	海水浴場・湖水浴場	高	高等学校		遊覧船発着場・フェリーターミナル
	空港・飛行場	中	中学校	H	ホテル・旅館
	公園・緑地	小	小学校	P	駐車場
	支庁・都道府県庁	幼	幼稚園		道の駅
	区役所・市役所	文	養護学校・ろう・盲学校		各種資料館・博物館・美術館
	町村役場・東京以外の区役所		病院・医院	市場	卸売り市場
	警察本部・警察署		神社		カー用品店
	建設公共事業事務所・その他地方自治体の機関・その他国の機関	卍	仏閣		教会
	裁判所		展望台・タワー		スキー場
	税務署		灯台		キャンプ場
	森林管理署		城跡		動物園
	交番・駐在所		名所・観光地・墓・古墳		植物園
	消防庁・消防本部・消防署		温泉地		スタジアム・野球場
	保健所・健康相談施設・社会福祉事務所		重要港		水族館
	郵便局		老人ホーム		図書館
	地方銀行		交差点		霊園・墓地
	自衛隊関連施設	IC	インターチェンジ、出入り口（IC）		遊園地（テーマパーク）
	工場	SA	サービスエリア（SA）		遊園地（テーマパーク）ゲート
	発電所・変電所	PA	パーキングエリア（PA）		テニス場・その他総合運動施設
	大学院・大学	出入	インターチェンジ・出入り口（出入り口）	文化	文化施設
		出	インターチェンジ・出入り口（出口）		その他
		¥	料金所		

凡例の色は、印刷の都合上、本機で表示される色と異なる場合があります。
あらかじめご了承ください。凡例は、画面色が「昼画面の地図色1」の場合の色です。

一般地図凡例

	高速道・有料道		モノレール、新交通、ケーブルカー、ロープウェイ
	国道		
	主要地方道		国境線、都道府県界・都・市（指定市含む）・町・村・支庁界
	都道府県道		
	一般道・細街路		JR・私鉄・地下鉄（地上）路線

市街地図凡例

	都道府県界･都･市（指定市含む）・町・村・支庁界・町名・字界/町（丁）・大字界		歩道
			有料道路
			一方通行

SA/PA図

- ATM
- 授乳室
- コイン洗車機
- その他施設
- FAX
- 飲食店
- ガソリンスタンド
- 宿泊施設
- ハイウェイ情報ターミナル
- インフォメーション
- コインランドリー
- 駐車場
- 郵便ポスト
- レストラン
- 休憩所
- ショッピングコーナー
- コインシャワー
- スナックコーナー
- 温泉、お風呂
- ショップ
- 公衆電話
- トイレ
- 自動販売機
- 情報元のクレジットカード情報
- 情報元の営業時間
- 情報元の電話番号
- 特徴情報
- イベント情報

VICS情報マーク

交通障害情報

事故　障害物・路上障害　工事　故障車　作業　凍結

交通規制情報

通行止・閉鎖　速度規制　車線規制　入り口制限　徐行　進入禁止
片側交互通行　対面通行　入り口閉鎖　大型通行止め　チェーン規制

駐車場情報

駐車場満車　駐車場混雑　駐車場空車　駐車場閉鎖　駐車場不明

SA/PA情報

SA/PA満車　SA/PA混雑　SA/PA空車　SA/PA閉鎖　SA/PA不明

■ 商品についてのお問い合わせは、お買い求めのHonda販売店または
株式会社ホンダアクセスお客様相談室までお願いします。

株式会社ホンダアクセス「お客様相談室」

全国共通フリーダイヤル　0120-663521

（受付時間　9時～12時、13時～17時／但し、土日・祝祭日・弊社指定休日は除く）

販売元　株式会社ホンダアクセス　〒352-8589 埼玉県新座市野火止8丁目18番地4号

製造元　クラリオン株式会社　〒330-0081 埼玉県さいたま市中央区新都心7番地2

280-9027-00

PART NO.08A40-2P0-4000-8A

2011/9 Printed in Japan